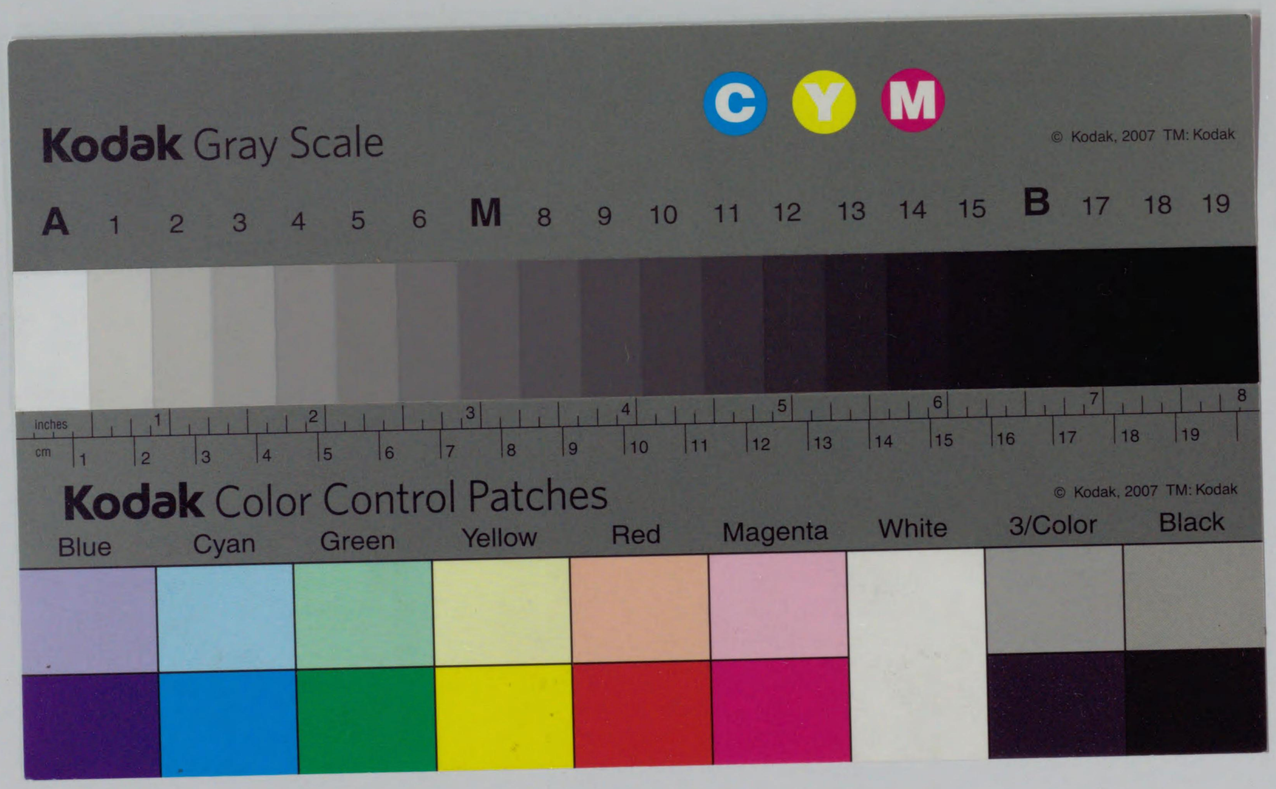

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches
cm
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

638
8 | 1

638
8

149

村越三千男編並画

内外植物原色大圖鑑

第　二　巻

東京　内外植物大圖鑑刊行會　發行

638
8

638-141
638-8/1 1

本 卷 所 載 科 名

鐘 花 群 (其二) *CAMPANULATAE* 1

2. くさとべら (山羊草) 科 Goodeniaceæ 1

3. ききゃう (桔 梗) 科 Campanulaceæ 1

ウ リ 群 *CUCURBITALES* 13

1. へうたん (葫 蘆) 科 Cucubitaceæ 13

ア カ ネ 群 *RUBIALES* 29

1. まつむしさう (山蘿蔔) 科 Dipsacaceæ 29

2. をみなへし (敗 醤) 科 Valerianaceæ 33

3. れんぷくさう (連幅草) 科 Adoxaceæ 37

4. すひかづら (忍 冬) 科 Caprifoliaceæ 37

5. あ か ね (茜 草) 科 Rubiaceæ 53

オホバコ群 *PLANTAGINALES* 74

1. おほばこ (車 前) 科 Plantaginaceæ 74

筒 花 群 (其一) *TUBIFLORAE* 78

1. はへどくさう (蠅毒草) 科 Phrymaceæ 78

2. はまぢんちゃう (濱沈丁) 科 Myoporaceæ 78

3. きつねのまご (爵 牀) 科 Acanthaceæ 79

4. たぬきも (狸 藻) 科 Leutibulariaceæ 84

5. いはたばこ (苦苣苔) 科 Gesneriaceæ 87

6. はまうつぼ (列 當) 科 Orobanchaceæ 92

7. つ の ごま (角胡麻) 科 Martyniaceæ 95

8. ご ま (胡 麻) 科 Pedaliaceæ 95

9. のうぜんかづら (紫 葳) 科 Bignoniaceæ 96

10. ごまのはぐさ (玄 參) 科 Scrophulariaceæ 97

11. な す (茄) 科 Solanaceæ 129

12. ノ ラ ナ 科 Nolanaceæ 148

* * *

638
8

第三卷所載科名豫告

筒花群（其二） *TUBIFLORAE*

13. しんけい（脣形）科 Labiatæ
14. くまつづら（馬鞭草）科 Verbenaceæ
15. むらさき（紫草）科 Borraginaceæ
16. ハゼリサウ科 Hydrophyllaceæ
17. はなしのぶ（花葱）科 Polemoniaceæ
18. ひるがほ（旋花）科 Convolvulaceæ

同旋花群 *CONTORTAE*

1. たうわた（蘿摩）科 Asclepiadaceæ
2. けふちくたう（夾竹桃）科 Apocynaceæ
3. りんだう（龍膽）科 Gentianaceæ
4. まちん（馬錢）科 Loganiaceæ
5. ひひらぎ（木犀）科 Oleaceæ

カキ群 *EBENALES*

1. えごのき（齊墩果）科 Styracaceæ
2. はひのき（灰木）科 Symplocaceæ
3. かき（柿樹）科 Ebenaceæ
4. あかてつ（赤鐵）科 Sapotaceæ

イソマツ群 *PLUMBAGINALES*

1. いそまつ（磯松）科 Plumbaginaceæ

サクラサウ群 *PRIMULALES*

1. さくらさう（櫻草）科 Primulaceæ
2. やぶかうじ（紫金牛）科 Myrsinaceæ

シャクナゲ群 *ERICALES*

1. しゃくなげ（石南）科 Ericaceæ
2. いちやくさう（鹿蹄草）科 Piroraceæ
3. りやうぶ（令法）科 Clethraceæ

イハウメ群 *DIAPENSIALES*

1. いはうめ（岩梅）科 Diapensiaceæ

* * *

序

1. 本圖鑑は一般植物研究者．教育家．植物栽培家．採集家．醫家．美術家其他苟も植物に關係を有せらるゝ熱心家が常に渴望せられつゝある完全なる彩色圖版と．之れに對する完全なる說明とを希望を有せらるゝ方に．其希望を滿足せしめんとの大抱負の下に．從來の出版界に於て未だ1回も實現せられざる程の大事業を完成せんとし發行したるものなり。
2. 本圖鑑は唯に第一項の目的にのみ止まらず．現時に於ける我大日本帝國の大發展機に際し．本邦學究の發達程度をも代表せんとの抱負により．本邦領土及び殖民地は勿論．現時本邦に移入或は輸入せられつつある植物はなるべく廣汎に亘り揭載し．購讀者の滿足なる研究資料たらしめんことに努力したり。
3. 本書に載する所の植物數は全12卷を通じ．原色圖版數實に5000餘個內外．色彩の必要なき植物の圖版數約4000個內外然して之れが說明數約10000餘種を揭載する豫定なり。
4. 本書載する所の植物10000餘種の說明に就きては總て學術的なると同時に又一般的なるを期したれども．之れ等多數の植物名排列につきては著者從來この種著書に採用しつゝある自然分科の順序に依り顯花植物より順次隱花植物に終るの形式により記述することゝせり。
5. 本書に記述する各種植物の說明は何れも各個につき其形態．特徵．花形．花色並に其の分布等につき詳細の說明を加へたるは勿論．之れ等各植物の吾人々生に關する各種方面より說明を加へ．以つて利用厚生の實を擧げしむる樣努めたり。
6. 本書載する所の圖版は殆んど實物若しくは標本或は從來著者の著作發行に係る大植物圖鑑．集成新植物圖鑑其他幾多の著書に發表せるものを嚴密なる調査研究により．正しきものは其儘再錄し．誤れるものは訂正し．不足せるものは新に採集寫生を行ひたる外．信憑すべき內外圖書を參考し．確實精細に描出し．殊に其特徵に注意し．必要に依りては分解或は特種製作工程及製造用具をも圖示したり。
7. 本書は編輯上之れを全12卷に分冊し．之れに別編一冊を加ふることになしたり。此分割方法は著者從來の種々なる經驗により．膨大なる書籍としては其取扱ひに不便なると．保存上破損し易き缺點を有するを以て夫れ等の缺點を尠くすることに勉め．下記の分類により適宜發行することゝしたり。

第1卷 合瓣花區（其1）	第6卷 離瓣花區（其3）	第11卷 隱花植物（其1）
第2卷 同（其2）	第7卷 同（其4）	第12卷 同（其2）
第3卷 同（其3）	第8卷 同（其5）	第13卷 總索引 其他
第4卷 離瓣花區（其1）	第9卷 單子葉類（其1）	
第5卷 同（其2）	第10卷 同（其2）	

尙最後13卷の別冊は著者獨特の編輯方法により下記項目に分ち．用意周到．全植物の利用上萬遺憾なきを期し着手したるものにして．其の內容は次の通りなり。

1. 植物用語解釋
2. 科名屬名檢索表
3. 全植物白圖索引
4. 雜句名總索引
5. 五十音總索引
6. 園藝用植物名索引
7. 農藝植物名索引
8. 醫藥用植物名索引

以上10項目中植物用語解釋は實に植物學研究者に取り一大植物辭典として之れが應用範圍は各種受驗用抽象的の解說として見逃す能はざる重要記載であり．第2の科名．屬名の檢索表は苟も植物學研究者．採集熱心家の修得し置かるべき要項であり．第3の全植物白圖索引は未だ曾て著述界に於て其の類例を見ざる新規軸を表現せるもにして．この索引は全12卷を通し描寫せる植物圖版を全部約1寸內外の白圖版とし．1定の形式に羅列し一見全植物の比較對照に便ならしめたるものにして．本別冊は實に之れ丈けのみにても完全なる植物圖鑑の觀を呈する價値を有するものなり。其の他10000餘の雜句名索引．五十音總索引何れも研究者の滿足を與へんことに努力したるものなり。

638
8|1

凡　例

1. 本書は全巻を通じ自然分類に従ひたれども．順序を變更し顯花植物より隱花植物に及び記述せり。
2. 本書は主として邦内固有の植物を記載するは勿論なれども．近時外來植物の多々盛々多き今日なればこれ等も出來得る限り載錄し各研究者に便せんことに努めたり。
3. 本書は第1卷に於て自然分類一覽表を掲げ植物分科の大要を示し．次に科目檢索表により當該植物の屬する科名を檢出し．各科に入りては屬名檢索表を掲げ．かくして各卷に亙り．種名・變種名・品種名及各種植物の記載を知らしむることゝなしたり。
4. 本書は各卷に亙り各科の特徵を記述したる後．其科に掲げたる植物名を五十音順に表記し．先づ其科に屬する植物中本書に記載しあるものを檢索し得る樣努めたり。但し其科に屬する植物が少數なる場合は之れを省略したるものあり。
5. 本書記載の植物名は邦内産のものを平假名．外來種を片假名として記錄し．更に本書内に圖版を掲げたるものは雙方共に夫れ夫れ「ゴシツク」體とし．一見邦内産．外來種の區別及彩色圖版．白圖の掲載有無を知悉せしむる樣注意せり。
6. 學名は外來種のものは「イタリック」として邦内産と區別したり。尙學名により其記載に二樣あるものは可成兩樣を記載し參考に資したり。
7. 本書所載彩色圖版は各卷を通じ32圖版を挿入し1圖版9種乃至12種類を掲ぐることゝせり。
8. 本書圖版中彩色を必要とせざるものは白圖として本文中に描出し．尙兩種圖版を參考しその形體．色彩其他を了知せらるゝもの．或は著者に於て調査未了のものは圖示せざることゝせり。
9. 本書說明中に記述せる日本とは北は樺太より南臺灣に至る日本列島を稱するものにして．朝鮮及滿洲は別に之を記述せり。
10. 本州は記載上之を分ちて南部・中部・北部とし．北緯約38度より34度に至るを中部．それ以南を南部．以北を北部とせり。
11. 北海道なる記入は本島のみに用ひたるものにして千島は別に記入することゝせり。
12. 各卷を通じ必ず其卷所載の全植物五十音索引を卷末に附し．以てその利用に便したり．但し12卷を通じたる總索引及學名索引は第13卷に於て掲載することゝせり。
13. 本書發行に際し特に學友高柳悅三郎氏が多年蒐集せられたる標本全部を提供し各卷の圖版製作の參考に供せられたるは余の深く感謝するところなり。
14. 其他本書編纂に當り内外各種の名著を參考に供したれどもそれ等は第1卷の卷頭に於て發表し．各著者の方々に對し敬意を表したれば茲には之を省略すれども．著者は出版と同時に各卷を寄贈し以て謝意を表することゝせり。
15. 尙本書編纂に當り特に各方面に亙り注意を拂ひたることは勿論なれど著者の淺學非才往々誤謬等これなきを保し難し．幸に之を諒とし更に好意的御指導を賜はらば著者は好んで其希望に添はんことを期す．これ著者のためのみならず廣く學界のため忠實なることゝ信ずるものなればなり。

著　者　識

内外植物原色大圖鑑卷之二

鐘　花　群

2. くさとべら(山羊草)科 (GOODENIACEÆ)

本科に屬する植物は草本或は灌木にして．葉は通常托葉を有せず．互生す。花は整齊或は不整齊にして．兩性．花序は頭狀をなす。花冠は5裂し．雄蕊は五箇を有す。子房は通常下位にして2乃至1室を有し．各室に1箇或は2箇の倒生卵子を含む．果實は蒴果．小堅果．或は　をなす。種子は肉質の胚乳を含む。本科は12屬凡そ300種の植物より成り．其大部分は「オーストラリヤ」に產し．我國には1屬3種を產するに過ぎず。本科の植物は藥用・食用材用・觀賞用に供せらるゝもの多し。

1. クサトベラ屬　SCAEVOLA.

676. **くさとべら**　山羊草 …… ヤギサウ科
Scaevola sericea, *Forst. f*

（異名）たばこのき・やぎさう　〔形態〕海岸に近き砂地等に自生する灌實灌木狀草本なり。莖は叢生し．高さ3米(8-9尺)に達す。葉も亦肉質にして．倒卵形をなし．基部狹く．上半部は波狀樣齒牙緣をなし．兩面に絹毛樣の毛茸を密布す。葉の著所には絹絲樣の銀毛を簇生す。夏日聚繖花序をなし3花或は數花を腋出す本花の總苞は對生し．萼は上位にして先端5裂し．各裂片は披針形をなす。花冠は黃色を呈し．上緣縱裂し．筒部は5裂．各裂片は倒卵形にして白色の毛緣を有す。雄蕊は5箇ありて花筒と稍長さを同じくし子房は下位にして倒卵形をなし．花柱は肥厚し．雄蕊より長く．基脚に毛茸を有す。花後生ずる果實は卵形．豌豆大の漿果なり。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

1 くさとべら

677. **ナンヤウクサトベラ** …… クサトベラ科
Scaevola microcarpa, Cav.

〔形態〕稍灌木狀を呈する常綠草本なり。全株に毛茸を有し．葉は倒卵形にして齒牙狀緣をなし．互生す。花は一方に結合せる合瓣花冠にして．穗狀花序に排列す。花後生ずる果實は小形の楕果なり。本邦にては專ら觀賞用として栽培す。〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕濠洲。(1圖版-1)

678. **てりばくさとべら** …… クサトベラ科
Scaevola microcarpa, *Cav.* var. Taccaba, *Makino.*

〔形態〕前種と同樣．海岸砂地に自生する灌木狀草本なり。前種の一變種に屬し．被形彼と同樣なれども．本種は其葉．無毛なるを彼と異るところとす。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。　(1圖版-2)

679. **ひめくさとべら** …… クサトベラ科
Scaevola hainanensis, *Hance.*

〔形態〕前種等と同樣海濱砂地に自生する小灌木なり。本種の葉は束生し．線形にして長さ1-5-2-5糎(5-8分)に達し．白色の毛茸を布く。花は花梗を缺き．葉腋上に單生す。〔分布〕臺灣。

*　　*　　*
*　　*

3. ききやう(桔梗)科 (CAMPANULACEÆ)

本科に屬する植物は通常草本．稀に灌木樣にして．乳液を含むもの多し。葉は互生なるを普通とすれども．時に對生或は輪生し．凡て單葉にして全緣なし．又は鋸齒ありて托葉を缺く。花序は腋生又は頂生にして．總狀花又は複總狀花をなし．或は穗狀花をなし．或は單に一花を着くることあり。花は雌雄兩全花にして蜜槽を具へ．萼は半上位又は上位にして．筒狀部は子房に合着し．上部は5裂し．概ね宿存す。花冠は上位にして．整齊又は不整齊．或は2唇をなし．先端5裂す。雄蕊は5箇（稀に4-6箇）ありて花冠の裂片と互生し．花　絲は分離又は下部に於て連合す。葯は2胞にして內向し．且相分離し．又は連合して筒狀をなす。子房は2室乃至5室．花柱は單一にして．上部に毛茸を環生或は脫落性毛茸を密生し．柱頭は2裂乃至8裂し．背面に毛を有するか．或は平滑なり。果實は蒴果を普通とすれども．稀に漿果にして．種子は甚だ多く微細なり。卵子は多肉にして．胚は直生す。本科は大約95屬．1500餘種より成れども．本邦には凡そ12屬．30餘種を產するに過ぎず。

本科の植物には觀賞用．藥用．食用に供するもの等有用なるもの多し。

2 ききやう

本科所載植物索引目次

イトシヤジン……713
イハギキヤウ……703
イハシヤジン……693
イハツリガネヤウ……693
オトメギキヤウ……708
オホツリガネニンジン 689
オホバノヒメシヤジン 684
カンバヌヲラブンキユロイデス……712
キキヤウ……733
キキヤウヤウ……736
キキヤウニンジン……690
サイエフシヤジン……696
サハギキヤウ……729
シデシヤジン……732
シマギキヤウ……717
シマシヤジン……694
シマホタルブクロ……715
シラゲシヤジン……699
シロバナツリガネ……686
ソバナ……691
タイワンツルギキヤウ 716
タニギキヤウ……731
タマシヤジン……690
タンゲブ……717
チシマシヤジン……697
チヤウチンバナ……709
ツリガネヤウ……719
ツリガネニンジン……697
ツルギキヤウ……715
ツルシヤジン……696
ツルニンジン……718
ツルヒナギキヤウ……738
トウロウバナ……709
トヂギキヤウ……735
トトキニンジン……680
ナガバシヤジン……695
ナガバナイトマ……721
ヌノハバ……680
バアソブ……720
ハタザヲギキヤウ……700
ハマシヤジン……698
ヒナギキヤウ……737
ヒナシヤジン……681
ヒメギキヤウ……701
ヒメシヤジン……682
ヒメツルニンジン……719
ヒロハサハギキヤウ…720
フウリンサウ……704
フギレホタルブクロ…711
フクシマシヤジン……686
フタヘギキヤウ……734
フヂイギキヤウ……726
ベニバナサハギキヤウ 722
ホソバソバナ……692
ホソバノイハギキヤウ 714
ホソバノミヤマシヤジン……685
ホソバヒメシヤジン…683
ホタルブクロ……709
マルバシヤジン……691
マルバノニンジン……690
マルバハタケシロ…745
ミヤマシヤジン……687
ミゾカクシ……727
ムラサキホタルブクロ 710
モモバギキヤウ……706
ヤツシロサウ……702
ヤヘギキヤウ……734
ヤヘノミゾカクシ……728
ヤマシヤジン……680
ヤマナカシヤジン……688
ヤマミツバ……680
ユキノシタ……731
ルリテフテフ……723
ルリミゾカクシ……723
ロベリア……724

1. ツリガネニンジン屬　ADENOPHORA.

680. **ちしましやじん** …… キキャウ科
Adenophora kurilensis, *Nakai.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は節部に白毛を有し．高さ20-25糎(7-8寸)に達し．葉は無柄にして2-5葉宛輪生す。この葉は卵形乃至倒披針形をなし．先端銳．或は銳尖頭をなし．基脚圓く．邊緣粗に銳鋸齒を有し．兩面脈上に白毛を布く。花は長柄を有し．2-3花宛輪生す。萼は披針形鑒形或は線形をなし．小萼は1-2箇を有し．白毛を布く。蒴は先端5裂し．各裂片は線形をなし．全緣或は1-2の齒緣をなす。花冠は鐘形をなし．先端5裂す。〔花色〕濃菫色。〔花候〕夏。〔分布〕千島。　(1圖版-3)

681. **ひなしやじん** …… キキャウ科
A. Maximowicziana, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。高さ30-60糎(1-2尺)に達し．葉は膜質．無毛．根生葉は長柄を有し．腎臟形．卵形．長橢圓形或は披針形をなし．莖生葉は線形を普通とすれども．屢ば鎌狀をなし．銳尖頭．銳尖脚をなし．疎細鋸齒緣を有す。花は長梗を有し．圓錐花序に排列す。花冠は白色の

638
81イ

筒狀鐘形をなし.花徑6糎(2分)許を有し.蕚は5裂し.各裂片は毛管狀をなす。〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔分布〕四國。

682. **ひめしゃじん** 姫沙參 ·(1圖版-4)…… キキャウ科
A. nikoensis, *Franch.* et *sav.* forma. genuina, *Takeda.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本なり。莖高さ60糎(2尺)許に達す。葉は小形にして互生し.披針形或は廣披針形.鋭尖頂をなし.粗鋸齒緣を具へ.基部も亦鋭尖形をなし.短柄を有す。この葉は屢ば有毛なることあり。花は5淺裂せる鐘狀の花冠をなし.雄蕊5箇を有し.花絲は基部濶く.互に相並列して筒狀をなし.末端は漸次細く.終に絲狀をなし.先端に淡黃褐色の葯を着く。子房は長楕圓形をなし.柱頭は3裂す。蕚は5裂し.各裂片は筒部の一倍半或は倍長にして.線狀或は線狀披針形をなす。本種の花は莖頭に多數集合し.圓錐花序をなす。〔花色〕藍紫色。〔花候〕夏·秋。〔分布〕本州中部及北部。

683. **ほそばのひめしゃじん** (1圖版-5)…… キキャウ科
A. nikoensis, *Franch.* et *Sav.* forma. linearifolia, *Takeda.*

〔形態〕前種ヒメシャジンに比し.葉は線形或は線狀披針形をなし。鋭齒牙緣を具へ.毛茸を有せざるを異るところとす。花期.分布等彼に同じ。

684. おほばなのひめしゃじん …………… キキャウ科
A. nikoensis, *Franch.* et *Sav.* forma. macrocalyx, *Takeda.*

〔形態〕葉はヒメシヤジンの如く.概形又彼に酷似すれども.本種の花は約3糎(1寸)許の大さを有し.蕚の裂片は線狀披針形.或は線形をなし.其長さ筒部の3-4倍なるを差異ある特徵とす。〔分布〕本州中部及北部。

685. ほそばのみやましゃじん …………… キキャウ科
A. polymorpha, *Ledeb.* var. coronopifolia, *Trautv.*

〔形態〕同じく高山草本帶に自生する多年生草本なり。全株無毛種なり。根生葉は有柄にして.卵狀圓形をなし.基部心臟形を呈し.鈍齒牙緣を具ふ。莖生葉は無柄にして.線狀披針形をなすこと.前種ミヤマシヤジンに比し細長なるものとす。花は鐘形花冠を有し.(花柱は花冠と同長)共數少く.總狀花序に排列す。蕚は5裂し.各裂片は披針形.全緣なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部及南部·臺灣。

686. ふくしましゃじん ……………………キキャウ科
A. polymorpha, *Ledeb.* var. divaricata, *Makino.*

(異名)つるしゃじん·しろばなつりがね 〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は軟弱.高さ90糎(3尺)許に達す。根生葉は無柄或は有柄.卵形にして.鋸齒緣を具へ.稍3片の輪生をなし.梢葉は披針形にして稍全緣なり。花は痩長の枝椏を多數に分岐し.圓錐花序に排列す。本種の花は前種に相等しく.蕚は5裂し.各裂片は披針狀線形にして全緣なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏·秋。〔分布〕本州中部。

687. **みやましゃじん** (1圖版-6)…………… キキャウ科
A. polymorpha, *Ledeb.* var. Lamarckii, *Trautv.*

〔形態〕高山草本帶に自生する多年生草本なり。莖高さ20-25糎(7-8寸)に達す。葉は稍無柄.卵形乃至披針形をなし.鋸齒緣を具へ.互生す。花は鐘狀花冠をなし.總狀花序に排列し.蕚は5裂し.各裂片は披針形.全緣にして直生す。〔花色〕碧紫色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州各部·臺灣。

688. やまなかしゃじん ……………………キキャウ科
A. polymorpha, *Ledeb.* var. lamarckii, *Trautv.*
forma. multifida *Takeda.*

〔形態〕本種の有する花は鐘狀漏斗形の花冠を有し.此花冠は先端7-8裂し.蕚も亦7-10裂するを特徵とす。〔分布〕本邦中部。

689. おほつりがねにんじん ……………… キキャウ科
A. polymorpha, *Ledeb.* var. pereskiaefolia, *Mak.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.莖高さ60糎(2尺)許に達す。葉は卵形乃至卵狀長楕圓形にして粗鋸齒緣を具へ.輪生す。花は概形前種に似.稍輪生す。蕚は5裂し.各裂片は線狀披針形をなし.全緣なるか或は細鋸齒緣をなす。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。

690. **まるばのにんじん** 歪脖沙參·歪脖菜 キキャウ科
A. polymorpha, *Ledeb.* var. stricta, *Makino.*

(異名)ききやうにんじん·たうしゃじん 〔形態〕原野に自生する多年生草本にして.全株に短毛を布く。莖は勁直にして高さ2-2.5米(7-8尺)に達す。根生葉は長柄を有し.廣濶にして腎臟形をなし.莖葉は無柄.卵形をなし.粗鋸齒緣を有す。花は長さ1.8糎(6分)許の鐘形花冠を有し.穗狀樣總狀花序に排列す。蕚は5裂し.各裂片は披針形.鋭頭にして全緣.果は蒴をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部·朝鮮·滿洲。

人生との關係 朝鮮に於ては本植物の嫩葉及根部を食用に供す。共食方法は桔梗の場合と異るところなし。 (1圖版-7)

691. **そばな** 薺苨·地參·甜桔梗 …… …… キキャウ科
A. remotiflora, *Miq.*

(異名)まるばしゃじん 〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。全株無毛.莖高さ1-1.5米(4-5尺)に達す。葉は長柄を有し.楕圓形にして先端尖り.不齊粗鋸齒緣をなす。花は漏斗狀の花冠を有し.莖の上方に疎圓錐花序をなし着生す。本花は正開せず.且つ下垂する特性あり。蕚は5深裂し.各裂片は披針形.全緣にして.長さ蕚筒の2倍を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部·四國·九州·朝鮮·滿洲。

人生との關係 朝鮮にては嫩葉は茹でゝ菜とし.汁の實とし.又飯に混じて食ふ。根部は水にさらし煮て食ふ。又藥劑として根部を煎服し.能く百藥の毒を解くと稱し重用す。蓋し一種の解毒劑なり。 (1圖版-8)

692. ほそばそばな 細葉薺苨 …………… キキャウ科
A. remotiflora, *Miq.* forma. angustifolia. *Makino.*

〔形態〕前種の一品種に屬し.其葉は披針形.或は往々劍狀をなすものなり。〔分布〕本州中部。

693. いはしゃじん ……………………… キキャウ科
A. Takedai, *Makino.*

(異名)いはつりがねさう 〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖高さ20-55糎(數寸乃至1.8寸)許に達し.痩長.軟弱性なり。葉は膜質を呈し.初め長柄を有する圓形乃至披針形葉を出し.莖葉は線形にして.長鋭尖頭.鋭尖脚をなし.疎細鋸齒緣を具へ.互生す。花は花梗を有せず。花冠は鐘形をなし.長さ2-3糎(7-8分)許を有す。蕚は5裂し.各裂片は絲狀を呈し疎細鋸齒緣をなす。本花は點頭又は圓錐花序に排列す。〔花色〕紫碧色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部。

694. しましゃじん …………………… キキャウ科
A. Tashiroi, *Makino.* et *Nakai.*
(*A. polymorpha.* var. *Tashiroi*, *Mak.* et *Nakai.*)

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は簇生し.直立或は斜上し.高さ6-24糎(2-8寸)許に達す。葉は稍無柄なるか.或は有翼の柄を有し.卵狀楕圓形或は倒卵狀楕圓形をなし.上部に於て稍狹く.鋭頭をなし.基脚狹搾し.粗齒牙狀鋸齒緣をなし.1.8糎(6分)許の長さを有す。花は先端5裂し.各裂片は三角狀卵形にして先端尖る。蕚は5裂し.各裂片は披針形.鋭頭をなし.全緣にして開出或は反捲す。本種の花は有梗にして少數或は單生し.大さ1.5-1.8糎(5-6分)を有す。〔花色〕碧堇色。〔花候〕秋。〔分布〕九州。

695. ながばしゃじん 長葉沙參 ………… キキャウ科
A. verticillata, *Fisch.* var. angustifolia, *Regel.*

〔形態〕本種は前種と概形相等しきものなるが.彼に比し本種の葉は披針形或は線狀披針形なるを異る特徵とす。〔分布〕本州中部及南部·臺灣。

696. さいえふしゃじん 細葉沙參 ………… キキャウ科
A. verticillata, *Fisch.* var. triphylla, *Miq.*
(*A. verticillata. f. genuina.*)

〔形態〕本種も亦前種と概形相等しく.彼との差異は.其葉線形をなし.互生或は輪生する特徵あるものとす。〔分布〕本州中部及南部·四國·琉球·臺灣·朝鮮·滿洲。

697. **つりがねにんじん** 杏葉·沙參·杏葉菜 キキャウ科
A. verticillata, *Fisch.* var. typica, *Regel.*
(*A. verticillat f. genuina.*)

(異名)とときにんじん·やましゃじん·ぬのは·やまみつば

〔形態〕山地原頭に自生する多年生草本なり。莖は直立し.高さ10-12糎(3-4尺)に達し.全株毛茸を有す。根生葉は長柄を有し.腎形或は圓腎形にして先端尖り.鋸齒緣をなし.通常輪生す。莖生葉は廣卵形乃至披針形.鋭頭.基脚楔狀をなし.不齊の鋸齒緣を具ふ。花は5裂せる鐘狀花冠を有し.輪層狀樣圓錐花序をなし.多花を着く。蕚は倒圓錐形をなし.5深裂し.各裂片は線形をなし.全緣.或は疎鋸齒緣をなす。雄蕊5箇.雌蕊は3室の下位子房を有し.蒴は倒卵形をなし.3室を有す。〔花色〕淡紫色或は白色。〔花候〕7-9月。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州·琉球·臺灣·朝鮮。

人生との關係 觀賞用として栽培し.又若き葉を食用に供する。朝鮮に於ては嫩葉及根部を食用に供す。共方法は略々桔梗に相同じ。尙根部を咳嗽.肺痿等に煎服し.人參の代用品として重用す。 (1圖版-9)

PL. 1.

638
8|6

698. **はましゃじん　濱沙參**…… キキャウ科
A. verticillata, *Fisch.* var. typica, *Regel.*
forma. glabra, *Makino.*

〔形態〕本種も亦ツリガネニンジンの一變種に屬し、莖葉共に全く無毛にして、且つ治澤なるを特徴とす。〔分布〕邦内各地。

699. **しらけしゃじん　白毛沙參** …… キキャウ科
A. verticillata, *Fisch.* var. typica, *Regel.*
forma. hirsuta, *Makino.*

〔形態〕ツリガネニンジンの一變種に屬するものにして、概形殆んど彼に酷似すれど、本種は全株白色の毛茸を密布するを特徴とし、其他花梗短きと花は彼の如く下垂せざる差異を有す。〔分布〕樺太・北海道・本州各部。
（2圖版-10）

2. ホタルブクロ屬　CAMPANULA.

700. **ハタザホギキャウ** …… キキャウ科
Campanula alliariaefolia, L.

〔形態〕前種と同樣外來の觀賞用多年生草本なり。莖高さ90糎（3尺）内外に達し、直立せずして稍傾曲し、基部には多くの小枝を分つ。葉は廣卵形、全緣にして、銳尖をなす。花は莖の上方に總狀をなして多數着生し、下部より漸次上方に開き、稍下垂する性を有す。花冠は5裂せる鐘狀、萼は筒狀をなし、先端5裂し、各裂片は細長の披針形をなし外捲す。果實は蒴なり。〔花色〕淡紅色或は白色。〔花候〕初夏。〔原産地〕南歐洲。（2圖版-11）

人生との關係　殆んど一般的に栽培せられ觀賞に供せらる。

701. **ヒメギキャウ　姫桔梗** …… キキャウ科
Campanula drabifolia, Sibth. et. Sm.

〔形態〕專ら園地或は鉢栽培とし觀賞に供するものにして外來種なり。本種は一年生草本にして、莖高さ4-5-10糎（15-30分）許に達し、全株に粗毛を帶び、多くは叢岐す。根生葉は短柄を有すれども、其他は無柄にして、長楕圓形或は楕圓形をなし、何れも鈍頭或は稍銳頭をなし、基脚狹く、粗に齒牙狀緣をなす。花は大形にして、稍頭枝端に頂生す。萼は5裂し、各裂片は披針形をなし、先端尖り、花冠は鐘形をなし、5裂し、各裂片は卵形をなす〔花色〕碧色。〔花候〕秋。〔原地地〕歐州。（2圖版-12）

702. **ヤツシロサウ**（2圖版-13）…… キキャウ科
Campanula glomerata, L.

〔形態〕園地に培養せらるゝ多年生草本なり。全株細毛を布き、莖は直立し、纖長にして高さ30-45糎（1-1·5尺）許に達す。根生葉は葉柄を有し、卵形或は卵狀披針形をなし、長さ3-7糎（1-2·5寸）、幅2-5糎（7-16分）許を有し、莖上葉は無柄にして卵形或は披針形、銳尖頭、基脚心臟形をなし、不齊の細鋸齒緣を有す。本種の花は無梗にして、莖頂に15-20花相集合し、圓形の穗狀花序をなす。花冠は鐘形をなし、長さ1·3-1·5糎（4-5分）ありて、上部は5淺裂し、各裂片は外方へ反捲し、銳頭をなし、萼の裂片は披針形なり。果實は蒴にして短圓、頂端に萼の齒緣を具ふ。〔花色〕紫碧色或は白色。〔花候〕秋。〔分布〕歐洲・九州。

人生との關係　園地に培養し觀賞に供す。園藝變種多し。

703. **いはぎきゃう　岩桔梗** …… キキャウ科
Campanula lasiocarpa, *Cham.*

〔形態〕信濃の御嶽・駒ヶ嶽・加賀の白山・越中の立山・下野の日光・白根山・北海道等、高山の絶頂に近き巖石の間に自生する矮性の多年生草本なり。莖は直立し、高さ15糎（5寸）許に達す。根生葉は披針狀倒卵形をなし、刺毛狀尖細の齒牙緣を具へ、輪狀をなして叢生し、短き葉柄を有す。莖生葉は狹小にして、披針形又は線形をなし、無柄なり。花は莖頭に一花を着く。萼は筒形をなし、先端5裂し、長毛を有し、各裂片は披針狀線形にして鋸齒緣をなす。花冠は鐘形をなし、長さ1·5-3·0糎（0·5-1·0寸）許にして先端5裂し、花冠の筒部は其裂片より長きこと2-3倍にして萼より遙に長大、内に5雄蕊、1雌蕊を有す。果實は蒴にして稍圓筒形をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道・本州中部及南部。

704. **フウリンサウ** …… キキャウ科
Campanula medium, L.

〔形態〕主として園地に培養し、或は温室等に栽植し觀賞に供する二年生草本なり。莖は直立性にして、高さ30-100糎（1-4尺）に達し、全株に粗毛を有す。葉は無柄にして、卵狀披針形乃至披針形をなし、細鈍齒牙狀緣を具ふ。花は稍上に稍總狀花序に着生し、長橢圓狀をなせる鐘狀の花冠を有し美觀を呈す。萼は5裂し、各裂片は卵狀銳尖形をなし、果實は蒴なり。〔花色〕紫碧色或は白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐洲。（2圖版-14）

人生との關係　觀賞用として栽培し、又切花として都會人に愛好せらる。

705. **しまほたるぶくろ** …… キキャウ科
Campanula microdonta, *Koidz.*

〔形態〕本種は全株無毛の多年生草本なり。莖は單一。高さ30-50糎（1-1·7尺）に達す。葉は有翼の葉柄を有し、卵形、銳頭にして鈍齒牙緣をなす。本種の花は稍上葉腋上に雙生するか、或は稍總狀花序に排列す。花冠は内面に絨毛を有す。〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔分布〕八丈島。

706. **モモバギキャウ** …… キキャウ科
Campanula persicifolia, L.

〔形態〕專ら園地或は鉢植として栽培し、觀賞に供せらるゝ外來の多年生草本なり。全株無毛。莖は直立し、高さ60-90糎（2-3尺）に達す。根生葉は廣披針形或は披針狀倒卵形にして、鈍鋸齒緣をなせども、莖生葉は狹披針形、鈍鋸齒緣をなし、桃形梢桃樹の葉に似たる觀あり、故に本和名を有す。花は大形にして總狀花序をなす。花冠は淺き鐘形をなし、先端5裂し、萼も亦深裂し、各裂片は披針形をなす。果實は蒴なり。〔花色〕碧紫色或は白色。〔花候〕5-6月。〔原産地〕歐洲。

人生との關係　庭園・鉢植等に栽培し觀賞する他、切花として重用す。

3 モモバギキャウ　4 いはぎきやう　5 ちしまぎきやう

707. **ちしまぎきゃう　千島桔梗** …… キキャウ科
Campanula pilosa, *Pall.* var. dasyantha, *Herd.*

〔形態〕本邦各地の高山に自生する伏臥性多年生草本なり。莖は高さ6-9糎（2-3寸）に達し、根生葉は有柄にして、卵形乃至橢圓形、銳頭或は鈍頭をなし、鈍鋸齒緣を具ふれども、莖葉は無柄にして、披針形の全緣葉をなす。花は莖頂に1箇を着生し、花冠は鐘狀にして、内面の口緣に毛茸を帶ぶ。雄蕊は5箇、子房は下位なり。萼は先端5裂し、短毛を布く。果實は蒴をなす。本種は一見甚だよくイハギキャウに類すれども、本種の萼片は彼の如く大鋸齒を有せざるものなり。〔花色〕青紫色。〔花候〕8-9月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州中部及北部。

708. **オトメギキャウ**（2圖版-15）…… キキャウ科
Campanula Portenschlagiana, Roem. et Schult.

〔形態〕近時の外來種に係り、本邦にては專ら小鉢仕立として栽培し觀賞に供せらるゝ多年生草本なり。莖は高さ12-15糎（4-5寸）に充たざる矮性種にして、叢生狀をなす。葉は卵形をなし、邊緣は疎齒牙狀鋸齒をなし、長柄によりて互生す。花は共形梢徒狀をなし、彼よりは小形にして、先端5裂し、各裂片は外反す。〔花色〕青藍色。〔花候〕5-6月。〔原産地〕南部歐羅巴。

人生との關係　本種は非常に花着きの佳良なるものにして、叢葉間に多數の愛らしき花を抽出せる樣は、花色と葉の調和よく、殊に目立ちて美觀を呈するものなり。繁殖は株分によるを普通とすれども、又種子によりても容易に仕立て得るものなり。播種は秋の彼岸頃を可とし、用土は壤土に腐葉土を加へ、更にそれに多少の天神川砂を混加したるものなれば充分なり。尚本植物の和名は山草愛好家田中秀三郎氏の命名發表せられたりとの石井勇義氏の發表により前に載錄せるものなり。

709. **ほたるぶくろ　山小菜**（2圖版-16）…… キキャウ科
Campanula punctata, *Lam.* var. typica, *Makino.*

（異名）つりがねさう・とうろうばな・ちやうちんばな　〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は直立し、高さ60-90糎（2-3尺）に達し、全株粗毛を散生す。根生葉は長柄を有し、腎臟形、銳尖頭をなし、尖鋸齒緣を具

638
81イ

ふれども.莖生葉は殆んど無柄にして互生し.長卵形.鋭尖頭.不齊の鋸齒縁をなす。夏日梢上葉腋に花梗を抽き.疎に圓錐花序をなす。花冠は鐘形にして.上部は5淺裂をなし.各裂片は三角形を呈し反捲し.長さ3糎(1寸)餘を有す。雄蕊は5箇ありて.基部は擴大し.葯は長く.黃褐色を呈す。子房は3室にして.萼の管狀部の中に包まる。花柱は花冠より短く.柱頭は頂端3裂し.反捲す。果實は蒴にして.短倒卵形をなす。〔花色〕白色にして紫點を有す。〔花候〕6-7月。〔分布〕北海道・本州各部。

人生との關係 本植物は觀賞用として庭園に栽培せらる。

710. むらさきほたるぶくろ ……………… キキャウ科
Campanula punctata, *Lam.* var. rubriflora, *Mak.*

〔形態〕前種と同様山野に自生する多年生草本なり。概形は前種と同様にして.花色淡紫色を呈する一種である。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部。

711. ふぎれほたるぶくろ ……………… キキャウ科
Campanula punctata, *Lam.* var. rubriflora, *Mak.* forma. partita, *Mak.*

〔形態〕前種の一品種なり。花冠は深く.或は稍淺く5裂するものゝ名稱なり。然し本種は稀品に屬する種類とす。〔花色〕紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部。

712. **カムパヌラ・ラプンキュロイデス** ……… キキャウ科
Campanula rapunculoides, L.

〔形態〕專ら園地に栽培し觀賞に供する外來の多年生草本なり。莖は高さ60-100糎(2-4尺)許に達し.毛茸を帶び.葉は全體に糙澁なり。根生葉は有柄にして心臟形乃至卵狀鋭尖形なれども.莖生葉は稍無柄にして.披針形.細鋸齒縁をなす。花は漏斗狀花冠をなし.長穗狀樣總狀花序に排列す。萼も亦糙澁にして.先端5裂し.各裂片は線狀披針形をなし.果實は蒴なり。〔花色〕鮮碧色。〔花候〕秋。〔原產地〕歐洲。

人生との關係 專ら園地に栽培し觀賞に供し.又切花として重用す。

6 カンパヌラ・ラプンキユロイデス 7 ほそばいはぎきやう

713. **イトシャジン** (2圖版-17) …………… キキャウ科
Campanula rotundifolia, L.

〔形態〕本種も亦專ら園地に栽培せらるゝ外來の多年生の小草本なり。全株無毛種に屬し.莖は纖細にして直立す。根生葉は長柄を有し.圓形或は心臟形にして鈍齒牙縁をなし.莖葉は線形或は披針形にして稍全縁なり。花は廣鐘形の花冠を有し.先端5裂し.細梗によりて總狀花序に排列す。萼も亦5裂し.各裂片は鑿形をなし直生す。果實は蒴なり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕5-6月。〔原產地〕歐洲。

人生との關係 小形の草本なれば小鉢等に栽植し觀賞に供す。繁殖力强きものなれば一鉢多數叢生する樣愛らしきものなり。

714. **ほそばいはぎきゃう** ……………… キキャウ科
Campanula rotundifolia, *L.* var. arctica, *Lange.*

〔形態〕莖高さ僅々6-18糎(2-6寸)許の小形の多年生草本なり。根生葉は長柄を有し.心臟形或は卵形をなし.疎に鈍齒牙縁をなす。莖生葉も同じく有柄なれども.葉片は線形をなし全縁なり。花は莖頂に單生し.萼片は綿狀を呈す。花後花梗は屈曲する特性を有す。〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏・秋。〔分布〕樺太・千島。

3. ツルギキャウ屬 CAMPANUMAE.

715. つるぎきゃう 金錢豹 ……………… キキャウ科
C. javanica, *Blume.* var. japnica, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生の莖草なり。葉は長柄を有し.心臟狀鋭頭にして不齊の波狀粗齒牙縁をなし.掌狀の5脈を有す。花は短梗を具へ.腋出或は單立す。花冠は5-6深裂し.各裂片は披針形をなす。萼は5裂し.各裂片は狹披針形をなす。果實は漿果にして稍球形をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣等。

716. たいわんつるぎきゃう ……………… キキャウ科
Campanumaea axillaris, *Oliv.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。痩長なる枝條を有し.高さ30-60糎(1-2尺)に達し.葉は披針形にして先端尖り.基脚圓形.邊縁細鋸齒をなす。花は花梗により葉腋上に單生し.花冠は鐘形にして.先端5-6裂し.萼の裂片は狹線形をなし.羽狀齒縁をなす。果實は漿果にして.球形.徑5分許.宿存萼を伴ふ。〔花色〕白色或は淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

717. しまぎきゃう ……………………… キキャウ科
Campanumaea truncata, *Diels.*

(異名)たんげぶ 〔形態〕山地に自生する多年生の莖草なり。葉は膜質にして.披針形.鋭尖頭をなし.基脚圓形.細鋸齒縁をなす。花は有梗にして葉腋上に單生し.花冠は5-6深裂し.各裂片は長楕圓狀披針形をなす。萼片は線形にして羽裂す。〔分布〕琉球・臺灣。

4. ツルニンジン屬 CODONOPSIS.

718. **つるにんじん** 奶樹・羊乳・蔓參・羊角菜 キキャウ科
Codonopsis lanceolata, *Benth.* et *Hook. f.*

〔形態〕山野に自生する多年生の莖草にして.莖は細長く.2米(數尺)の長さに達し.他物に纏繞す。葉は葉柄を有し.4片接在し.楕圓形或は長卵形にして.鋭尖頭狹脚をなし.不明瞭なる鋸齒縁を有し.長さ3-9糎(1-3寸)許の大さを有す。花は花梗を有し.枝端に頂生或は點頭す。萼は子房の下部に着生し.先端5裂.各裂片は卵狀楕圓形或は長楕圓狀披針形.鋭頭をなす。花冠は萼の上部に離れて着生し.漏斗狀鐘形にして先端5裂し.外面綠白色を呈し.淡暗紫色の網條を有し.內面は暗紫色の斑點及網條を具へ.花冠の裂片は反捲す。雄蕊は5箇ありて閉在し.花絲は針形をなし.基脚急遽に闊大す。子房は下位にして3室を有し.多數の卵子を含む。花柱は短く.柱頭は3-5裂す。蒴は圓錐形をなし.宿存萼を伴ふ。〔花候〕秋。〔分布〕北海道・本州・九州・朝鮮・滿洲。 (2圖版-18)

人生との關係 北朝鮮より滿洲に亙り好んで山陰の地に生ずるものにして.彼地の人は紡錘狀の根部を食糧及藥材に供す。即ち朝鮮にては根皮を去りて縱に細く裂き.生のまゝ又は茹て油醬油にして食し.乾晒したるものは專ら解毒劑として効ありとし煎用す。

719. ひめつるにんじん ………………… キキャウ科
C. Kawakamii, *Hayata.*

〔形態〕前種と同様山地に自生する莖性の多年生草本なり。莖は彼より一層細く.粗毛を散生し.葉は卵形或は三角狀圓形をなし.鈍.或は鋭頭をなし.長さ1-3糎(4分)許.上面は短く.下面に長き粗毛を帶ぶ。蒴は長柄を有し.倒圓錐形にして.1糎(3分)許の長さを有す。〔分布〕臺灣。

720. ばあそぶ 奶樹・山海螺 ………… キキャウ科
C. ussuriensis, *Hemsl.*

〔形態〕前種ツルニンジンに比し.葉は遙に小形にして.往々毛茸を帶び.花冠も亦彼より小形にして.本種のものは筒部長く.彼の種子には翼を有すれども.本種には之を缺く。〔分布〕北海道・本州・九州・朝鮮・滿洲。

イソトマ屬 ISOTOMA.

8 ナガバナイソトマ

721. **ナガバナイリトマ** キキャウ科
Isotoma longifolia, Plesl.

〔形態〕園地に栽植し觀賞に供せらるゝ外來の多年生草本なり。莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し.强直にして細く直立す。葉は披針形をなし.縁邊に缺刻及鋸齒を有し.基脚葉柄に流れ互生なり。花は長き花梗によりて梢上葉腋上に單生す。萼は長き筒狀をなし上部緊縊し.共先端5深裂し.各裂片は細長披針形をなし外反す。花冠は長き筒狀を有し.その先端5深裂し.各裂片は長卵形をなし先端尖る。雄蕊は5箇.雌蕊1箇を有し.果實は蒴をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕西印度。

PL. 2.

10 しらけしやじん
11 ハタザホギキヤウ
12 ヒメギキヤウ
13 ヤツシロサウ
14 フウリンサウ
15 オトメギキヤウ
16 ほたるぶくろ
17 イトシヤジン
18 つるにんじん

638
植
81

人生との關係 彼の地にては野生種として散見するものなれども本邦にては專ら觀賞用園藝植物として、庭園に栽培し或は鉢栽培するものにして、繁殖は株分法、或は播種により、用土は腐葉土に壤土を加へたるものにて充分なり。

6. ロベリア屬 LOBELIA.

722. ベニバナサハギキャウ (3圖版-19)…… キキャウ科
Lobelia cordinalis, L.

〔形態〕莖は直立し、分枝することなく全株無毛の多年生草本なり。莖は高さ1米(3-4尺)に達す。葉は稍無柄にして互生し、長卵形乃至披針形にして、銳尖頭、狹脚をなし、不齊鋸歯縁をなす。花は頂生或は長總狀花序に排列し、狹小なる苞を有し、萼は半球形をなし、先端5裂し、各裂片は長線形をなす。花冠は筒部長く、長さ2·5糎(8分)餘を有し、花冠の裂片中、下方にある3裂片は頗る狹長なる特徴を有す。〔花色〕鮮赤色。〔花候〕夏。〔原地地〕北亞米利加。

人生との關係 本邦にては專ら園藝植物として栽植す。

723. ルリミゾカクシ (3圖版-20)…… キキャウ科
Lobelia Erinus, L.

(異名) るりてふてふ 〔形態〕花戸は單にロベリア草と稱する一年生或は多年生草本なり。莖は多數に分岐し、叢生する性を有す。高さ15-30糎(0·5-1尺)に達し、根生葉は倒卵形或は篦形にして、鈍頭をなし、鈍齒牙縁を具へ、莖上葉は倒披針形或は長楕圓形なり。花は細梗を有し、喉部白色を帶ぶ。本花は徑1·5-1·8糎(5-6分)、總狀花序に排列す。萼は5裂し、裂片は鑿形をなし平開し、花筒と長さを同じくし、花冠の下唇3片は著大なり。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔原産地〕南阿弗利加。

724. ロベリア 魯別利亞 (3圖版-21)…… キキャウ科
Lobelia inflata, L.

〔形態〕專ら栽培せらるゝ一年生草本なり。莖は直生し、高さ60糎(2尺)許に達し、脚部は有毛なれども、上部は無毛にして小枝を分つ。葉は卵形又は長卵形にして、銳頭をなし、不整鋸齒縁を具ふ。莖の下部にあるものは短柄を有すれども、上部にあるものは無柄なり。花は不整齊の花冠を具へ、下唇に黃斑を有し、短き花梗を以て葉腋より生じ、總狀花序をなす。果實は朔にして膀胱狀をなし、肋線を現はし、多數の小種子を藏す。〔花色〕淡紫色或は白色。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係 本植物の全部を産地に於て乾燥し、これを壓縮して小包として輸出す。これを「ロベリア」と稱し、痙攣藥とす。「ロベリア」はロベリン(Lobelin)及インフラチン(Inflatin)なる二種の植物性鹽基を含有し、鎭痙藥に屬す。藥効は喘息、格魯布、實扶的里、百日咳等を治するに應用す。1回の極量0·1。1日の極量0·3とす。本品の製劑はロベリア丁幾にして、其調劑分量下の如し。

ロベリア丁幾 中剝截ロベリア草1分、稀酒精10分を取り製出す。喘息、痙攣等に應用し、1日叢固、5乃至15滴を與ふ。劇藥に屬す。(神谷藥學士)

725. まるばみぞかくし …… キキャウ科
L. loochooensis, *Koidz.*

(異名) まるばはたけむしろ 〔形態〕無莖、無毛の一年生草本にして、枝條は射出し、匍匐性を有し、長さ10糎(3寸餘)に達す。葉は稍圓形或は倒卵形をなし、全緣或は先端に近く淺鋸齒を有す。花は短梗によりて頂生し、萼は5裂し、各裂片は線狀鑿形をなし、筒部より稍長きものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏·秋。〔分布〕琉球·朝鮮。

726. ふぢむぎきゃう …… キキャウ科
Lobelia pyramidalis, *Wall.*

〔形態〕溫地に自生する多年生草本にして、莖は軟弱なる特性を有し、高さ1米(3-4尺)に達し、全株無毛種に屬す。葉は線狀披針形にして、長銳尖頭をなし、鋸齒縁を具ふ。花は總狀花序に排列し、特に上部は密集す。萼片は鑿形をなし、花冠と稍長さを同じくす。〔花色〕暗紫色。〔花候〕秋。〔分布〕臺灣。

727. みぞかくし 半邊蓮 …… キキャウ科
Lobelia radicans, *Thunb.*

(異名) はたけむしろ·あぜむしろ·からくさ·はたけごしろ 〔形態〕庭際·田野等に自生する一年生草本にして、全株無毛種なり。莖は地上を匍匐蔓延し、每節より纖維根を出し、地中に入る。莖の上部は扛起すること12-15糎(4-5寸)許に達し、上部の葉は互生し、線狀披針形なれども、下部の葉は有柄にして、倒卵形をなし、何れも疎細鋸齒縁或は稍全縁をなす。花は葉よりも長き花梗を有し、枝梢の各頂端に一花を着く。萼は鐘狀をなし、先端5淺裂し、花冠は管狀にして、上端5裂し、常に一側に並び、其狀恰も一花を半截したる如き觀あり。故に半邊蓮と名く。雄蕊は5箇ありて、聚葯雄蕊をなし、一花柱は其中間を貫き、柱頭は花冠外に高く突出す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·臺灣·朝鮮·滿洲。

人生との關係 繁殖力の旺盛なるものなれば、農作物には有害なる雜草なれども、時に觀賞用として栽培せらるゝことあり。

9 まるばみぞかくし 10 みぞかくし 11 やへのみぞかくし

728. やへのみぞかくし …… キキャウ科
L. radicans, *Thunb.* forma. plena, *Makino.*

(異名) やへのはたけむしろ 〔形態〕前種の一品種に屬し、概形殆んど異る所なきものなれども、本種は其花が重瓣なるによりこの名稱を有す。〔分布〕本邦各地。

729. さはぎきゃう 山梗菜 (3圖版-22)…… キキャウ科
Lobelia sessilifolia, *Lam.*

(異名) いそぎきやう·ちやうじな·このてばな 〔形態〕山野の池澤水邊等に生ずる多年生草本なり。全株無毛種に屬し、莖は單一にして直立し、高さ1-2米(3-7尺)に及び、葉は無柄、互生。披針形にして細鋸齒縁をなし、下部に着生するものは鈍頭なれども、上部にあるものは銳頭をなす。花は短梗によりて頂生し、總狀花序をなす。萼の管狀部は鐘狀をなし、先端5裂し、各裂片は披針形をなし、外方に開展す。花冠は稍唇形をなし、兩側の2裂片は狹く、中央の1裂片は廣闊にして、更に3裂し、殆んど5裂の觀を呈し、各裂片は邊縁に鋸齒を有し、又毛茸を生ず。雌蕊は上方に立もて、柱頭は花冠に臨み、雄蕊は5箇あれども、花絲は相連合して管狀となり、葯は紫褐色を呈す。朔は梨子形をなす。〔花色〕通常紫色を呈し、時に白色のものあり。〔花候〕秋。〔分布〕樺太·北海道·本州·九州·臺灣·朝鮮·滿洲。

人生との關係 朝鮮にては、春夏の交、その根部を煮、略々結梗の場合と同樣の方法にて調味し、食用に供す。又支那にては、古來これを淡巴菰と稱し、煎煮を製せしといふ。

730. ひろはさはぎきゃう …… キキャウ科
Lobelia sessilifola, *Lam.* var. latifolia, *Nakai.*

〔形態〕前種と同樣、山地濕潤の地に自生する多年生草本なり。本種の葉は前種よりは遙に幅廣く、卵形或は廣披針形をなし、朔は球形をなす等彼と異る要點にして、他は彼と相同じ。〔分布〕本州中部。

7. タニギキャウ屬 PERACARPA.

731. たにぎきゃう (3圖版-23)…… キキャウ科
Peracarpa carnosa, *Hook. f.* et *Thoms.*

(異名) ゆきのした 〔形態〕山地に於ける陰濕の地に自生する多年生草本なり。莖は高さ10-12糎(3-4寸)に達し、全株無毛種に屬す。本種の莖は柔軟、纖弱のみならず、葉も亦柔軟にして、其形圓く、鋸牙狀或は鋸齒縁をなし、1莖に3-4葉宛を互生す。夏日梢上葉腋に長梗を有する鐘狀花を單生す。花冠は5深裂し、各裂片は披針形をなす。萼も亦5裂し、雌蕊は花冠より短く、花柱は雌蕊より長く、柱頭は3岐す。果實は膜質にして、倒卵狀楕圓形をなし、5綻派を有し宿存萼を着く。〔花色〕白色にして微に紅紫暈を帶ぶ。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州·臺灣等。

8. シデシャジン屬 PHYTEUM.

732. してしゃじん 四手沙參 (3圖版-24)…… キキャウ科
Phyteuma japonicum, *Miq.*

(異名) やうらくしやじん·ちやうじききやう·あまな·つちあまな

〔形態〕諸國の山野に自生する多年生草本なり。全株に粗毛を散生す。莖は高さ 60-90 糎(2-3尺)に達し、根生葉は有柄なれども、莖生葉は稍無柄、長橢圓狀卵形にして、銳尖頭をなし、基脚圓形を呈し、銳鋸齒緣を具ふ。花は數多集りて圓錐花序をなす。萼の管狀部には5本の縱線を有し、先端は5裂し、各裂片は狹長にして針形をなす。花冠は5深裂し、各裂片は纖長にして線狀披針形をなし、銳頭にして反捲す。雄蕊は5箇ありて、花絲の基部廣くして廣く、白色の微軟毛を有すれども、上部は細くして平滑なり。下部は花柱の基を抱けども、上部は縲をなし、白色の長約を有す。花柱は下部平滑なれども、上部には微毛を有す。柱頭は3裂し、外部に反捲す。蒴は扁卵形にして、宿存萼を伴ふ。本植物は其莖、葉を切れば白色の乳樣液を出す。〔花色〕紫色或は白色。〔花候〕秋。〔分布〕本州北部及中部・九州・朝鮮。

人生との關係 觀賞用として庭園に栽植せらる。

9. キキャウ屬 PLATYCODON.

733. **ききゃう** 桔梗(倭・滿)(3圖版-25)…… キキャウ科
Platycodon grandiflorum, *A. DC.*

〔形態〕山野向陽の地に自生多く、又人家にも多く栽培し、觀賞に供せらるゝ多年生草本なり。莖は圓くして直立し、高さ 60-90 糎(2-3尺)、全株稍無毛なり。葉は散生、又は對生、或は三葉輪生し、殆んど無柄にして橢圓形、銳頭、銳鋸齒緣をなし、下面粉白色を呈す。花は莖又は枝の頂端に着生し、花形大形にして美麗なり。本花は單生或は2-3花撒簇することあり。萼及花冠は何れも鐘形を呈し、先端5裂す。雄蕊5箇、花絲は基脚擴大し、毛茸を有す。子房は下位にして5室を有し、柱頭は5岐し、各分枝は狹長なり。果實は蒴にして通常5室を有す。〔花色〕紫色或は白色。〔花候〕8-9月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球・朝鮮・支那本部・滿洲。

人生との關係 漢醫法にては日用の藥品とす。嫩苗を煮て食用とし、根は漬物として食用す。朝鮮人はこれを細く裂き、水にさらして後、鹽にて揉みたるものに苦草醬をつけ、又は油鹽、油醬油にて調食す。その他汁物、煮物となし、又は蜀黍、玉蜀黍、粟、稗等に混じて粥となし、或は肉、蒜等と共に串に刺し卵をつけて油揚となす等、食用法頗る廣し。又藥物としては、心臟病を始め咳嗽、風邪、下痢に煎服して効ありといふ。要は一種の强壯劑なり。

734. **ふたへぎきゃう** 二重桔梗(3圖版-26)‥ キキャウ科
Platycodon grandiflorum, *A. DC.* var. buplex, *Mak.*

(異名) やへぎきやう 〔形態〕庭園に栽植し觀賞する多年生草本なり。概形殆ど桔梗と同樣なれども、本種の花は二重花冠を有すること彼と異るところとす。本種にも亦前種と同樣花色に紫碧色を呈するものと、白色を呈するものとあり。

735. **とぢぎきゃう** …… キキャウ科
Platycodon grandiflora, *A. DC.* var. pentapetalus, *Mak.*

〔形態〕本種も亦專ら庭園に栽植觀賞に供する多年生草本なり。概形桔梗と同樣なれども、本種の花冠は先端深裂せるを異る要點とす。

10. キキャウサウ屬 SPECULARIA.

736. **オホミゾカクシ** (3圖版-27) …… キキャウ科
Specularia Speculum, A. DC.

〔形態〕外來の一年生草本にして、本邦に於專ら園地に栽植し觀賞に供する一種なり。莖は細長にして高さ 18-20 糎(6-7寸)に達し、全株に粗毛を布く。葉は下部に生ずるものは倒卵形にして緣邊に波狀の鈍齒牙緣をなし、上部に生ずるものは長橢圓形をなし全緣なるを普通とし、何れも無柄にして基部莖を抱く。花は聚繖花序をなし、短梗によりて莖の上方に腋出す。花は比較的大形にして稍短形をなし、先端深く5裂し、各裂片は廣卵形を呈し平開す。萼は有毛或は無毛にして、長き筒部を有し、上方繁縮し其先端は深く5裂し、各裂片は線狀披針形をなし、花冠と殆ど同じ長さを有す。この花は最初は平開すれども、終には反捲する特性あり。雄蕊5箇ありて離生す。花後生ずる果實は蒴果にして圓柱狀をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係 專ら園地或は鉢栽培し觀賞に供せらるゝものなり。繁殖は種子により、栽培法は頗る容易なるものにして、用土は輕き腐葉土位を用ふれば充分なり。

11. ヒナギキャウ屬 WAHLENBERGIA.

737. **ひなぎきゃう** 細葉沙參・雛桔梗 ……キキャウ科
Wahlenbergia gracilis, *A. DC.*

〔形態〕諸國の山野に自生する多年生草本なり。莖は細くして斜出し、高さ 30 糎(1尺)許に達し、叢生する性と、分枝性を有す。葉は披針形にして銳尖頭、細鋸齒緣をなし、基部銳形をなす。花冠は5裂し、各裂片は卵形を呈す。萼は鐘形をなし先端5裂し、各裂片は披針形をなす。雄蕊は5箇、柱頭は3裂し、各先端に白色の毛茸を簇生す。果實は蒴にして倒圓錐形をなし、上端3片に裂開し、宿存萼を伴ふ。〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏・秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣等。

人生との關係 庭園に栽培して觀賞用に供せらる。

13 ひなぎきやう　14 ツルヒナギキヤウ

738. **ツルヒナギキャウ** ……キキャウ科
Wahlenbergia hederacea, A. DC.

〔形態〕主に鉢植として栽培觀賞に供せらるゝ外來の多年生小草本なり。莖は稍蔓狀をなし傾臥する性を有し、多數叢生し、地上を被覆するに至る。葉は三角狀圓形をなし、緣邊疎に缺刻狀齒牙狀をなし、基脚戟狀をなし、細長なる葉柄によりて對生す。花は梢頂葉腋に長き花梗によりて單生し、葉間に多數抽出したる狀態は愛らしきものなり。本花は前種ヒナギキャウに酷似し、花形鐘狀を呈し、先端5裂し、各裂片は先端尖る。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係 專ら盆栽的に小鉢等に栽培し觀賞に供するものなり。繁殖は根分け、或は種子による。用土は輕き腐葉土位を使用すれば充分なり。

* * * * *

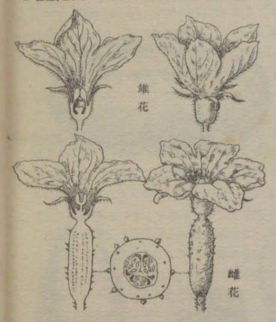
ウ リ 群

19 ベニバナサハギキヤウ
20 ルリミゾカクシ
21 ロベリヤ
22 さはぎきやう
23 たにぎきやう
24 しでしやじん
25 ききやう
26 ふたへぎきやう
27 オホミゾカクシ

4. へうたん(葫蘆)科

(CUCURBITACEÆ)

本科に屬する植物は通常草本、稀に半灌木或は灌木にして、莖の變化したる卷鬚を具へ、これによりて他物に攀緣上昇す。葉は葉柄を具へ互生し、通常心臟形の基部を有し、往々掌狀に分裂す。花は通常單性なれども、甚だ稀に兩性なり。萼は通常5裂し、雌花の萼は上位なり。花冠は通常5裂し、其裂片は芽中に於ては覆瓦樣に排列す。雄蕊は5箇ありて、凡て分離するか、或は其中の4箇は2箇づゝ結合して單體をなす。葯は通常屈曲せる葯胸を有す。子房は下位にして、多くは3心皮の結合より成り、通常3室を有し、各室に多數乃至少數の倒生胚珠(卵子)を含む。花柱は3箇の柱頭を有し、通常分裂す。果實は漿果の一種なる瓠果にして、多くは裂開せざれども、稀に裂開するものあり。種子は油分に富みたる大形の子葉を有し、胚乳を含まず。



15 きうりの花と果實

本科は87屬凡そ800餘種の植物より成り、多くは熱帶地方に產す。我國には自生或は栽培せらるゝもの、凡そ17屬、35-6種を有し、食用に供する果實を生ずるもの多く、又地下部より澱粉を採るもの、成熟果實の維管束を利用するもの、器物となすべき果實を生ずるもの、藥用に供するもの等人生に有用なるものを產出す。

本科所載植物索引目次

アヲウリ……749　アサウリ……748　アマウリ……746　アマクヤ……761　アマチヤヅル……761　イツツイロ……746　イトウリ……768　イボウリ……752　オキナハスズメウリ…743　オホスズメウリ……751　オホカラスウリ……785　カツタイカブラ……777　カボチヤ……756　カモウリ……742　カラウリ……752　カラスウリ……782　キウリ……752　キカラスウリ……783　キクザノタウナス……754　キツネノマクラ……782　キバナカラスウリ…781　グドウジ……782　クロミノオキナハスズメウリ……773　クロミノスズメウリ…773　ケカラスウリ……787　コキヅル……739　コナタウリ……759　コロシントサウ……745　サツマ……754　ザラメキスズメウリ…775　サンカクキウリ……753　サンゴジュスズメウリ 775　シマウリ……750　ジヤカウウリ……746　シヤクヘウタン……764　シロウリ……748　スキクリ……744　ススケノハナ……763　スズメウリ……770　センナリヘウタン……767　ソバウリ……752　タイワンアマチヤヅル 762　タイワンカラスウリ…788　タイワンスズメウリ…771　タウナス……756　タガフクベ……763　タソガレグサ……763　タマゴウリ……751　タマブサ……782　ツケウリ……749　ツタバゴキヅル……741　ツルアマチヤ……761　ツルレイシ……777　テツバウウリ……760　テングスズメウリ……772　トウガ……742　トウガン……742　トガトヘチマ……769　ナガウリ……768　ナガレイシ……776　ナシウリ……747　ナタウリ……758　ナンキンボウブラ……756　ナンクワ……754　ナンバンカラスウリ…778　ニガウリ……777　ノウリ……781　ハヤトウリ……750　バンナンクワ……756　ヒウガウリ……756　ヒメカラスウリ……781　ヒメクロミノスズメウリ……774　フクベ……765　フトレイシ……777　フリ……746　ヘウタン……765　ヘチマ……768　ボウアナ……754　ボウブラ……754　ボンキン……757　マクハウリ……746　マルダケ……749　ミヤマカラスウリ……779　ムスビジヤウ……782　モクベツシ……778　モミヂカラスウリ……784　モミヂバゴキヅル……740　ユフガホ……763　リウキウカラスウリ…786　レイシ……777　ワセボウブラ……755

1. ゴキヅル屬　ACTINOSTEMMA.

739. **ごきづる**　合子草(支)(4圖版-28)…… ヘウタン科
Actinostemma lobatum, *Maxim.* var. racemosum, *Mak.*

〔形態〕溝畔・水傍等に自生する多年生蔓草にして、雌雄花同株なり。莖は細長にして、單一の卷鬚によりて他物に纏繞す。葉は長柄を有し、卵狀長三角形にして、基脚深く心臟形を呈し、粗齒牙緣をなす。雄花は總狀花序に排列し、雌花は細梗によりて單生す。萼は幅形をなし、毛茸を生じ、5深裂し各裂片は線狀披針形をなす。花冠も亦5深裂し、萼に着生す。雄蕊5箇ありて離生し、子房は半位にして多くの疣を有し、柱頭は2分し半月形なす。果實は漿果にし綠色を呈し、尖卵形をなし、內に黑色の2種子を藏す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部・九州・臺灣。

740. **もみじばごきづる**(4圖版-29)…… ヘウタン科
Actinostemma lobatum, *Maxim.* var. typicum, *Mak.*

〔形態〕前種と同樣溝畔傍水等に自生する多年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。概形その他前種に酷似するものなれども、本種の葉は3-5裂し、中裂片は著大にして三角狀披針形をなし、兩面の葉脈上に毛茸を有することと、前種と異る特徵とす。

741. **はんもみぢごきづる** …… ヘウタン科
Actinostemma lobatum, *Maxim.* var. semilobatum, *Mak.*

〔形態〕前種と同樣多年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。本種は前二種の中間形にして、葉は稍3-5裂する一種なり。〔分布〕邦內各地。

742. **つたばごきづる** …… ヘウタン科
Actinostemma palmatum, *Makino.*
(*A. lobatum.* var. *palmatum*, Mak.)

〔形態〕山野に自生する多年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。葉は圓形或は腎臟狀圓形にして、通常3深裂し、中裂片は卵狀橢圓形、鈍頭をなし、且つ先端凸出す。この葉は稀には3-5裂し、側裂の2裂片は大形にして、中央及最も外側の2裂片は短形をなすことあり。葉柄は葉面より短く、苞は普常葉の如き觀を呈し、小形なり。〔分布〕本州中部。

2. トウガ屬　BENINCASA.

772. **トウグヮ**　冬瓜・白瓜(雜・支)地芝(支)　ヘウタン科
Benincasa hispida, Cogn. (B. cerifara, *Savi*)

(異名)カモウリ・トウガン・テウセンウリ(京阪地方)　〔形態〕園圃に栽培せらるゝ一年生蔓草にして、雌雄花同株なり。莖は長くして、分枝せる卷鬚によりて他物に纏ひ攀緣す。葉は心臟形にして、深波狀樣掌狀に5中裂し、各裂片は齒牙緣をなす。花は兩種とも黃色を呈し、何れも葉腋上に着生す。雄花は長梗を有し、花絲は短く、扁平にして、假雄蕊は鍼形をなす。雌花は短梗を有し、假雄蕊3箇を有し、往々葯を有するものあり。子房は3胎座を有し、花柱は肥厚す。花柱の基部には花盤を有す。柱頭3箇、卵子は多數を有す。果實は漿果にして、橢圓形をなし、長さ30-45糎(1-1·5尺)許に生育し、嫩果の時は長毛を被むれども、生長する隨ひ無毛となり、成熟期に至れば、果面に蠟質の白粉を帶ぶ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶亞細亞。　(4圖版-30)

人生との關係　果實は其味極めて淡白にして、特殊の風味を有し、主として煮食さるれども、又漬物とさるゝことあり。本邦に於ては古來栽培せらる。朝鮮、滿洲等に於ては共に栽培する者種なり。彼地に於ては其種子を西瓜の種子と同樣、瓜子兒とし間食物とす。これ等も本漿果が利尿、止渴の效を有し、種子は顏面の艶を增すとの效用に起因するものとす。以下少しく冬瓜につき、其栽培品種及栽培法を記述すべし。

冬瓜の栽培品種と其栽培法

本植物にも亦栽培種の多きものなれども、重なるものゝ列記すべし。

(イ)**在來種**　本種は强健にして、果は球形に近く、稍小形なり。果色は淡綠色を呈し、果肉厚く白粉を被裝す。豐產にして品質佳良なる早生種とす。

(ロ)**廣島冬瓜**(早生冬瓜・朝鮮)　果は長橢圓形にして小形なれども、果肉厚く、柔軟にして甘味に富み、品質優良なる品種とす。極早生種に屬し、促成栽培にも適するものなり。

(ハ)**支那種**　果は稍扁球形にして中等大なり。外皮は暗綠色にして厚く、白粉を被裝す。品質佳良なる中生種なり。

(ニ)**琉球種**　果は圓塔形をなす大形種にして、外皮は濃綠色を呈し、白粉を有せず。豐產なる晚生種なり。

(ホ)**臺灣種**　果は長圓塔形をなし、甚だ大形種なり。外皮は平滑にして暗綠色を呈し、白粉を有せず。豐產なる種類にして、長期の貯藏に耐ふるものなり。

冬瓜の栽培法

冬瓜は最も高溫なる氣候を好むものなれば、寒地には良品を出す能はざるものとす。暖地に於ては土質を選ばざれども、肥沃なる壤土、或は堆肥壤土を適地とす。

3月下旬、攝氏27-8度位の溫床內に播種すれば、1週間內外にして發芽す。播種量は、1アール(1反步)當り0.36乃至0.51立(2·3合)を要し、苗床は6-10平方米(2·3坪)を要する割合なり。5月上·中旬、本葉4-5葉を出したるとき、その先端を摘心し、定植を行ふものとす。

雌花は、主蔓に於ては12-20節目位の節所に着生するものなれば、その栽培距離は廣く、1.8米(6尺)位の距離とすべし。

管理は、西瓜に準じ差閒へなきものなれども、特に敷藁を充分にし、同時に果の上面を被ひ、日燒を防ぎ、溫氣を保つ樣に注意すべし。

謝花後5-6週閒にして採集することを得べし。　10アール(1反步)當り約4噸(1064貫)內外なり。

63 81

冬瓜の促成栽培法

冬瓜は元來發芽の困難なるものにして、叮嚀に採種したるものに非らざれば發芽力の弱きものなれば注意する必要あり。尙冬瓜の需要は、3月乃至5月頃、蔬菜の缺乏せる時期に多きものなれば、促成栽培を行ふにもその時期を考慮すれば、大に有利なる場合多きものなり。

播種期は10月—12月の間にして、適溫は攝氏27-30度位とす。播種は、箱又は鉢を用ひ、3-4回の假植を行ひ、本葉5-6葉を出したる時、4葉を殘して摘心し、4枝を發生せしめ、子蔓10糎(3寸)位に伸長したる時これを定植す。定植用の床は40糎(1-2尺)内外に踏込み、16糎(5寸)位の厚さに床土を入れ、苗は1坪に8株位を程度とす。定植後蔓が伸長したる時は藁稈を敷き、各枝に雌花を生ずるに至り、人工媒助を行ひ、確實に結實せしめたる後、その上方4-5葉目にて摘心し、枝葉が繁茂し過ぎたる時は、贅枝を除きて空氣の流通及日光の透射を充分ならしむる樣注意せざるべからず。謝花後25日前後、直徑9-12糎(3-4寸)の時を標準として採收す。1株4顆内外の結果を適度とす。(飯田)

3. オキナハスズメウリ屬 BRYONOPSIS.

744. おきなはすずめうり (4圖版-31)・・・・・・・・ヘウタン科
Bryonpsis laciniosa, *Naud.*

〔形態〕山野に自生する一年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。葉は心臟形をなし、深波樣掌狀に5中裂し、各裂片は通常卵形或は卵狀披針形をなせども、往々線狀披針形をなし、先端尖り、邊緣細齒牙狀、上面疏澁す。花は小形にして黃色を呈し、通常雌雄花共に同一葉腋上に簇生す。蕚及花冠は共に廣鐘形をなし、雄花に於ける花絲は短く、雌花に於ては3個の假雄蕊を有し、子房は3胎座を有し、卵子は少數、柱頭3箇を有し、各々2岐し、果實は球形にして黃熟、或は赤熟し、種子は肥厚し、有緣なり。〔花色〕黃色。〔花候〕秋。〔分布〕九州大島・琉球・臺灣。(擬植總)

4. スヰクヮ屬 CITRULLUS.

745. スヰクヮ 西瓜(朝・滿) 水瓜 (4圖版-32) ヘウタン科
Citrullus vulgaris, Schrad.

〔形態〕專ら畑地に栽培せらるゝ一年生蔓草にして、雌雄花同株なり。莖は細長にして、分岐せる卷鬚を有し、これによりて他物に卷絡す。葉は膜質をなし、稍毛茸を帶び、再三波狀樣羽狀に分裂し、各裂片は概ね鈍頭をなす。この葉は長柄を有し、互生なり。花は短梗を有し、何れも黃色を呈し葉腋上に單生す。蕚は5裂し、各裂片は線形をなす。花冠は廣鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は卵狀橢圓形なり。雄花は3本の雄蕊を有し、葯は稍離生し、雌花は短花柱を具へ、柱頭3裂す。果實は大形の瓠果にして、通常赤色の果肉を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞弗利加。

人生との關係 本植物は4000年以前、既に埃及に於て栽培せられたるものにして、我國へは、天正7年、初めて支那より渡來し、各地に傳播せしものと稱せらる。明治初年、米國より優良種が輸入せられたる以來、果菜類の主位を占むるに至りたり。

果實は漿液頗る多く、頗る甘味に富み、盛夏の候の生食用として最も賞味せられ、又西瓜糖を製し、種子は炒つて食用に供し、果皮は漬物用に供する等、需多多き果菜とす。

支那人は盛に之れを培養すれども、朝鮮人の栽培は遙にこれに及ばず。彼の地の栽培種には、白皮、青皮、縞皮等種類多けれども、紅肉、黑子の白皮種を最も美味として賞味す。蒙古產のものは、概ね大形にして、肉薄く、漿多く、粒少く、味甘し。彼の地に於ても、本邦の如く、夏季の副食として、甜瓜と共に嗜好する所なれども、特に核仁を瓜子兒或は白瓜子と稱し、生食又は炒食す。瓜子兒は西瓜の外、冬瓜、南瓜、瓠瓜の核仁をも含めども、瓜子兒といへば、殆んど西瓜の核仁に限るの觀あり。宴席、劇場、飯館、茶園、遊廓等凡そ支那人の聚合する處必らずこれを供へざるなき嗜食品なり。上記支那名中(打瓜)とあるは、專ら瓜子兒採取のために栽培せらるゝ品種名にして、內蒙古に饒產す。

西瓜の種子は、漢方藥として煩渴を止め、暑熱を解き、尿を利し、酒毒を消す効ありとす。蓋し支那人の瓜子兒を嗜好するの風習は、恐らくこれに因めるものならんか。以下我國に於ける品種及栽培法につき記述すべし。

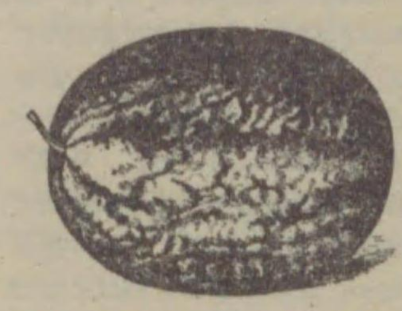
西瓜の栽培品種と其栽培法

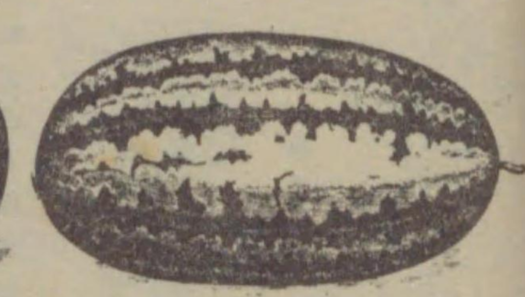
本邦に於ける西瓜には、在來種及近時の輸入に係る洋種等、品種頗る多けれども、其の風味に至りては、遙かに洋種の方を優れりとす。以下著名なる品種につき記述すべし。

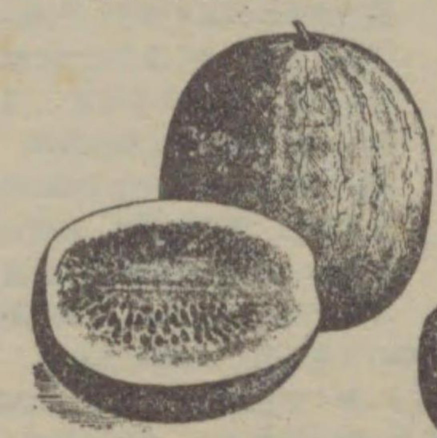
(イ) **コールス アーリー** (Coles Early) 米國の原產種。性强健にして、最も早生種なれば、寒暖兩地に適する品種とす。果は、短橢圓形の中等大にして、外皮は綠色を呈し、濃綠色の條斑を有す。果肉は紅色にして、甘味多漿なり。生育期間の短きものなれば、北鮮・滿洲地方に於ても良く結實す。種子は黑褐色を呈す。

(ロ) **マウンテン スウヰート** (Mountein Sweet) 米國の原產種。果は、長橢圓形にして頗大形なり。外皮は淡綠色にして、之に濃綠色の條斑を有す。果肉は、鮮紅色にして、味は稍淡白なれども、頗豐產、且つ早生種なれば、營利的栽培に適す。種子は暗褐色を呈す。

(ハ) **ファンニーズ アーリー** (Fanny's Early) 米國の原產種。果は、長卵形にして小又は中等大なり。外皮には不明の條斑を有す。果肉は紅色を呈し、甘味に富む早生種なり。

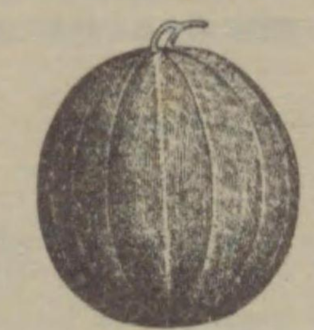

16 コールス・アーリー

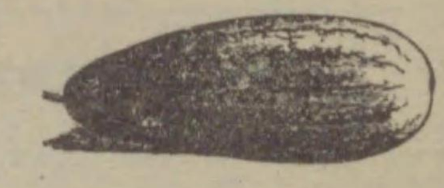

17 マウンテン・スウヰート


18 ヤマト

19 アイスクリーム

20 黃心アイスクリーム


21 スウヰート・サイベリアン


22 嘉 寶

(ニ) **スヰート サイベリアン** (Sweet Siberian) 露西亞の原產種。果は、長球形をなし小形種とす。外皮は濃綠色にして、斑點を有す。果肉は黃金色を呈し、肉緊り、甘味强く、品質頗る優良なる中生種にして、又寒地にも適す。種子は灰褐色を呈し、小形なり。

(ホ) **アイス クリーム** (Ice-cream) 米國原產。果は、球形の大形種なり。外皮は淡綠色にして、線狀の條紋を有す。果肉は淡紅色にして柔かく、甘味と漿液に富み、品質優良なり。又外皮厚きをもつて、貯藏・運搬に適す。中生種にして豐產。關東地方に多し。種子は灰白色を呈す。

(ヘ) **大和西瓜** 本種は奈良縣に於てアイスクリームに在來種(岡妙寺種)を交配し成立したるものにして、本種に早生及中生の2種を有す。何れも大形果にして、早生種は球形、中生種は稍長球形をなす。外皮は淡綠色を呈し、果粉を裝ふ。果肉は鮮紅色にして、その味**スウヰート サイベリアン**に匹敵し、品質も優良なり。草勢强く、頗る豐產なるため、最近各地に栽培せられ、都會市場の寵兒たり。

(ト) **在來種** 果は球形にして中等大をなし、外皮は帶黑綠色を呈し、果肉は黃紅色とす。甘味多きものなれども、質粗く、果皮厚きを缺點とす。現時は他の優良品に壓倒され、栽培するもの漸次減少するに至りたり。中生種に屬し、種子は黑色なり。

(チ) **黃心西瓜** 支那產。果は、中等大にして丸く、果皮は綠色、果肉黃色を呈し、甘味に富む中生種なり。

(リ) **嘉寶** 支那產。果は甚だ小さく、長橢圓形をなし、重さ1.5瓩(400匁)に過ぎざるものなり。外皮は淡綠色にして、網狀の斑紋を有し、果皮は極めて薄し。果皮は橙黃色を呈し、纖維なく、甘味に富み、品質頗る優良なり。本種は早生種に屬し現今專ら促成栽培用として愛養せらる。種子は褐色を呈す。

西瓜の露地栽培法

西瓜は高溫にして乾燥したる氣候を好み、土質は排水佳良なる砂土・砂質壤土等を適地とす。連作を忌むものなれども、酸性には割合に强きものなり。

西瓜も亦他の瓜類と同樣、移植を忌むものなれば、一般に直播すれども、直播によれば、生育遲滯の缺點あれば、早春苗床に育成せしむることも亦行はるゝものとす。

種子は豫め一晝夜位浸水し、尖りたる方を下に向け播種す。直播を行はんとするには、叮嚀に整地したる後、畦畔2.4米(8尺)、株間1.8米(6尺)に鞍築して、4月下旬より、5月上旬迄に、1鞍に對し4-5粒宛摘播し、2糎(5-6分)内外の厚さに覆土す。發芽後、苗を間引き1本とするなり。又床播とするには、3月中旬頃、素燒鉢藁苞等を利用し、これに2粒宛播種し、溫床に埋め込み發芽せしむるなり。床溫は20度位を標準とし、幼苗の徒長を抑制し、强健に發育せしめ、5月上旬、本葉2-3葉を生じたる頃、本圃に定植す。この場合枯損の恐あるものなれば、1株2本宛植ゆるを可とす。播種量は、10アール(1反步)當り0.45乃至0.54立(2.5-3合)を要す。肥料は割合に多くを要するものなれども、ために肥頁を來し易きものなれば、基肥に全部を施すことなく、數回に分施する樣に注意すべし。肥料としては、鰊粕・油粕・米糠等が風味及色澤に良好の結果を表はすものなれば、營業者間には一般に賞用せらる。

西瓜は普通摘心を避くべきものなれども、1株1本立の場合は、本葉6-7葉を生じたる時5-6枚を殘して第1回の摘心を行ひ、子蔓3-4本を出させ、其後6乃至10節位を經て第2の雌花を出す。かくして結果したる際、その3-4節先きにて第2回の摘心を行ひ、同時に結果部より生ずる腋枝は悉く摘除し、その他のものは其儘發育せしむるなり。尙結果の確實を期するため、午前中に人工媒助を行ふを安心なる方法とす。結果後は地上全面に敷藁を施し、果を保護し、時々「玉直し」と稱し、果の位置を正しくす。一層叮嚀なる方法としては、藁製の輪を敷くこと肝要なり。

收穫は、品種によりて多少の相異あれども、大抵、謝花後成熟迄に約3-40日を要するものとす。完熟したるものは、果梗の基部に有する卷鬚は枯死し、果實の先端彈力を帶ぶるに至る。又果面を輕く打てば、濁音を生ずる等によりて鑑別せらるるものとす。10アール(1反步)當りの收量は、約2.3-4.5噸(700-1200貫)とす。採收したるものを遠地へ輸送する場合は、大小を選別し、果の兩端に棧俵を當て、3-4箇合せとなし、縱橫共數ヶ所に繩をかけ結束す。

西瓜の溫室栽法

西瓜の促成栽培法は、比較的容易なると、果が高價なる關係上、近時盛に行はるゝに至りたり。

促成栽培を行ふには、「フレーム」內に於ては、徒らに繁茂徒長し、其成績が理想的ならざるものなれば、專ら溫室內に行ふべき作業とす。これが品種としては、嘉寶・洋司等の如き小果のものを選び、6月上旬頃に採收し得る樣に行ふを最も有利とするものなれば、播種期は、3月上旬を適期とし、播種の方法は「メロン」に準じ、最初素燒の10糎(3寸)鉢に1-2粒宛下種し、攝氏23-4度に保つ時は、1週間內外にて發芽す。その後は成るべく日光に當て、苗を强健に生育せしめ、本葉2-3枚を出せし時12-15糎(4-5寸)鉢に假植し、3月中・下旬頃、本葉5-6枚を出したるを期とし、株間45糎(1.5尺)內外を距てゝ定植すべし。

用土は田土6、腐葉土3、砂1の割合に混じ、これに鰊粕・油粕・米糠・過燐酸石灰・木灰等を施したるを可とす。定植後は換氣と灌水とに注意し、蔓が伸長するに至らば支柱に誘引し、概ね14-5節目に雌花を生ずるものなれば、人工媒助を行ひ、主枝は1.5米(5尺)內外の箇所にて摘心し、親蔓の各葉腋に生ずる子蔓は2-3節にて摘心し、更に、これより生ずる孫蔓も2-3節の箇所にて摘心すべし。普通、1株1顆とすれども、發育旺盛なるものにありては2顆を殘し、「メロン」と同樣絲網にて吊し、動搖と落果を防止する樣操作すべし。

病害の重なるものは炭疽病・蔓割病等にて、炭疽病の果に發生したるものは、最初黃綠色の小點を生じ、漸次擴大して褐色圓形の斑點となり、その外緣は稍濃色を呈し、凹陷す。又蔓割病は、地際に不規則なる褐斑を生じ、その部は裂開し、後に淡紅色を呈する黴を出す。本病は濕潤なる天候の連續せる時、或は連作したる場合等に多く發生するものなれば、人工的には成るべく連作を避け、「ボルドー」合劑、又は銅石鹼液の撒布に勉め、被害部は直ちに除去、燒却することに注意すべし。害蟲の重なるものは蚜蟲・瓜守等とす。これ等の防除も怠らざる樣注意肝要なり。(飯田)

746. コロシントサウ 古魯聖篤草・・・・・・・・ヘウタン科
C. *colocynthus*, Schrad.

〔形態〕亞弗利加の北部、亞刺比亞の南部、前印度の西北部に於ける砂漠地に產出すれども、「チペルス」島及西班牙の南部にて栽培する藥用植物にして、本邦は產出せず。葉及花形等頗よく西瓜に酷似すれども、花後生ずる果は、彼より遙に小形にして、橙の如く黃熟す。本果實は3個の胎盤より成り、扁平卵圓形の種子を藏す。殊に本果實の種子は、其數頗る多く、殆んど果實全重量の4分の3に達する程なりとす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。

人生との關係 果實を採收し、その外皮の堅き部分と、種子とを取除き、乾燥したるものを「コロシント」實と稱し、藥用に供す。本品は强烈なる苦味を有し、「コロシンチン」(Colocynthin)なる配糖體を含有す。その越幾斯劑、又は丁幾劑は、峻下劑に應用せらる。然れども、本品は常に單味にて用ふること少なく、他の瀉下藥に配伍して應用するを普通とす。劇藥に屬す。越幾斯劑は1回の用量を0・005乃至0・01瓦とし、極量は1回0・05瓦とす。又丁幾劑の用量は1回1・0瓦。極量は3・0瓦と規定せらる。(4圖版-33)

5. キウリ屬 CUCUMIS・

747. マクハウリ 甜瓜・香瓜(支) 甘瓜・眞瓜(朝) ヘウタン科
C. *melo*, L. var. *makuwa*, Makino.

(異名)アマウリ・フリ・イツツノイロ・ジヤカウウリ 〔形態〕世界各地に於て栽植する一年生の蔓性草本にして、雌雄花同株なり。全株に剛毛を散生し、莖は細長く、卷鬚によりて纏絡、攀緣す。葉は長柄を有し、互生なり。葉片は圓狀心臟形にして、往々掌狀に淺裂し、各裂片は鈍頭をなし、細齒牙緣を有す。花は腋生し、雄花は長梗を有し、5裂せる蕚と、黃色の5深裂をなせる合瓣花冠とを有し、雄蕊は3箇ありて相接近し、葯は短くして、銳頭をなす。雌花は短梗を有し、蕚及花冠は雄蕊のそれの如く、柱頭は3或は4裂をなし、各裂片は2淺裂をなす。果實は瓠果にして、卵狀橢圓形或は略々圓形をなし、初め短毛を布けども、後無毛となる。果は大小種々あれども、普通のものは長さ12-15糎(4-5寸)に及び、熟すれば黃綠色を呈し、8條乃至12條の縱綠條あり。皮は厚きものあり、又薄きものあり。肉色も白色或は淡黃綠色をなし、味甘くして芳香を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部亞細亞。(4圖版-34)

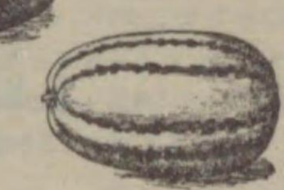
人生との關係 果實は甘味、多漿なるが故に、西瓜と同樣夏期の生食用に供せらる。殊に歐米に於て改良を加へられたる「マスクメロ」(Muskmelon)は、甘味と芳香に富めるを以て、我國に於ても、硝子室及露地栽培等漸次盛に行はるゝに至りたり。

朝鮮及支那人は共に最も嗜好する所にして、彼の地に於ても、到る處これが栽培を見ざるはなく、一戶にして數町步に亙る大圃場を經營する者少からざる狀況なり。自然栽培變種頗る多し。以下これが變種及栽培法につき記述すべし。

甜瓜の栽培品種と其栽培法

甜瓜は、その栽培品種頗多きものなれども、これを東洋種及歐米種(卽マスクメロン)に2大別す。以上主なる品種につき記述すべし。

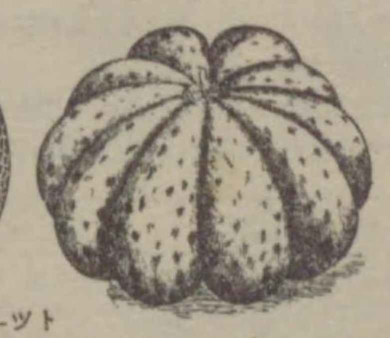
23 金甜瓜


24 銀甜瓜

25 棗 瓜

26 梨 瓜

27 サツトンス・スカレーツト


28 アーリー・ハツケンサツク

ノアニー・アーリー

〔I〕 東洋種

(イ) **金甜瓜** 支那種にして、古來本邦に渡來し、東京近郊に栽培せらるゝこと多し。果は小形にして俵狀をなし、外皮黃色の地に10條內外の淡綠色の條紋を有す。果皮は黃色を呈し、品質は中位なれども、早生にして、而も豐產なる點に於て栽培廣し。

(ロ) **銀甜瓜** 各地に分布し、前者に比し果形稍大きく、果皮粗糙にして綠色の地に白色の條紋を有す。果肉は淡綠色を呈し、品質は稍劣等なれども、豐產なる品種なり。

(ハ) **梨瓜** 明治初年の輸入にして、各地に栽培せらるゝも、名古屋附近にて改良せられたるもの、最優等品なり。果は長卵形をなし、蒂部突出し、果面は乳白色を呈し平滑なり。果肉は白色にして、多漿、頗る甘味に富む一種なり。

(ニ) **棗瓜** 明治四十年頃渡來し、神奈川縣地方に栽培多きものにして、天津瓜・スイートメロン・金瓜・黃金瓜等とも稱せらる。果形は前者に似たれども、本種は彼より小さく、果皮薄く、光澤にして濃黃色を呈するを異るとし、肉厚く風味は前者に類すれども、甘味彼に優り、品質は頗る優良なり。其上本種は早生且つ豐產なれば、近來各地に於て廣く栽培せられ、到る所の市場に見らるるに至りたり。

(ホ) **成觀瓜** 朝鮮の原產にして、果は頗る大きく、長橢圓形にして、稍稜張り、果面に凹凸多く、果皮は白綠色の地に濃綠色の斑紋を有す。果肉厚く、鮭肉樣色を呈し、甘味多漿にして芳香に富み、品質最も優良なるものにして、近時漸く其の聲價を知ら

れ.栽培するもの多きを加ふるに至れり。

〔II〕 **欧米種**

(イ) **サットンス エー ワン** (Sutton's A. I.) 英國種。果形大きく短橢圓形をなし.果皮は黃色を呈し.網狀の疣紋及淺き縱溝を有す.果肉は濃橙紅色を帶び.質軟く.甘味と芳香に富み.品質は極めて優良行とす.溫室內栽培用として.早生の良種とす。

(ロ) **ロッキー フォード** (Rocky ford) 米國種。果は中位の大きさを有し.短橢圓形をなし.外皮は淡綠にして.網狀の疣紋を有し.果面の縱溝は稍深く.果肉も淡綠色にして.品質は前種より劣れども.草勢强健なれば「フレーム」又は露地栽培等にも適する中生種とす。

(ハ) **エメラルド・ゼム** (Emerald Gem) 英國種。果は球形をなし大きく.果皮は濃綠色を呈し.品質佳良なり。早生種にして.「フレーム」栽培に適す。

(ニ) **スカーレット** (Scarlet) 英國種。果は短橢圓形乃至球形にして大きく.果皮は濃綠色を呈し.甘味と芳香に富み.品質優良なり。中生種に屬し.草勢强きものなれば露地栽培にも適す。

(ホ) **キング ジョージ** (King Geoge) 英國種。果は短橢圓形.中位大.果皮は黃白色を呈し.果肉は黃紅色にして.甘味と芳香に富み.品質優良なる中生種なり。

以上他.欧米種に屬するものに**サットンス ベスト オヴ オール** (Sutton's Best of All).**ジェニー リンド** (Jenny Lind).**アーリー ハッケンサック** (Eary Hackensack) 等有名なる種類あり。

甜瓜の栽培法

甜瓜は.一般に高溫にして.乾燥したる氣候を好み.土質は.排水佳良なる砂質壤土に適す。殊に英國種は性虛弱にして寒氣を忌み.溫室に非らざれば佳品を產せざる缺點あり。室內栽培に於ては.土壤は腐朽稍粘質を帶べる壤土を選定する必要あり。

甜瓜は移植の困難なるものなれば.露地栽培用のものは.多く直播を行ふものとす。直播を行ふには.先づ 4-5 月頃.畦幅 1.2 米 (4 尺).株間 1-1.2 米 (3-4 尺) 位に輪蒔し.5-6 粒位宛綿播すべし。

1 アール (1 反歩) 當りの所要播種量は 0.35-0.65 立 (2-3 合) 內外とす。甜瓜は側枝に結果する習性と.莖葉の繁茂甚しきものなれば.摘心は最も重要なる操作とす。普通.本葉 4-5 葉になりたる頃.3 葉を殘して摘心し.6 又は 8 本の孫蔓を發生せしむ。この孫蔓は.1 節目或は 2 節目に雌花を生ず。俗に瓜の八本蔓と稱するは.本方法に外ならざるものなり。雌花の着生の後は.その先 2 節目位にて摘心し.更に側枝の發生を促進せしめ.かくして結果を計るものとす。この際乾燥の甚しき場合は.適宜に灌水するを要す。其他の管理は.大體西瓜に準じ蔓支へなきものなり。

甜瓜の採取期は 7-8 月頃にして.謝花後 3-40 日許にして成熟し.果梗の附着部に離層を生じ.特有の芳香と.色澤を發揮するにより.その適否を推知し得らるゝなり。採取したる果は.よく選別したる後.籠又は木箱に麥稈・籾殼等の填充物と共に交互に詰めて發遣し.搬出す。收量は.10アール (1 反) 當り 1.5-3 噸 (400-800 貫) 許の標準とす。

甜瓜の溫室栽培法

品質の優良なる英國種 (メロン) は.一般にその性質頗る虛弱なれば.溫室に非らざれば優良なるものを得られざるものとす。

メロンは.播種後約 70 日內外にして開花し始め.その後 4-50 日を經て成熟す。その播種期.定植期.採取期の大體標準を示すこと下表の如し。

播種期		定植期	採收期
第一回	十月下旬・一月上旬	三月上旬	六月中下旬
第二回	五月下旬	七月上旬	九月上中旬
第三回	八月上旬	九月中旬	十一月十二月

用土は普通.溫床に用ふる床土と結土.或は田土とを略等量位宛に混合し.基肥として.鰊粕・骨粉・木灰及び石灰の少量を施し.初めは徑 3 糎 (1 寸) の鉢に 1-2 粒宛播き.本葉 1-2 葉の頃.徑 15 糎 (5 寸) の鉢に 1 本宛叮嚀に假植し.5-6 葉を出したる時定植す。或は更に 20 糎 (6 寸) 鉢に移植し.1-2 の雌花着生を見たる後定植するも差支へなきものとす。定植の床の用土は.前と同じものを用ひ.約 20 糎 (6 寸) 位の深さとす。又この際.用土の下に.堆肥を 6 糎 (2 寸) 內外に敷くを良法とす。定植の距離は.45-60 糎 (1.5-2 尺) 內外とし.定植を終りたる時.直ちにその根際に硫黃華を撒布すべし。整枝は一本仕立とし.主枝を其儘支柱に導き.主枝より發生する側枝は.3-4 節目より每節發生すれども.地上 60-75 糎 (2-2.5 尺) 位の位置に發生したるものを結實せしむる方良結果を得らるゝものとす。1 本 1 顆に止め.他は摘芽するを習慣とすれども.始めは 2-3 箇を結實せしめ.凡そ鷄卵大に生育したる後.その中最も佳良なるもの 1 箇を殘して適除するを良策とす。主枝は結果枝の上方.5-6 葉の處にて摘心し.結果枝は.雌花の着生せる.2-3 葉上方にて摘心すべし。主枝・側枝共に更に伸長するものなれば.1 葉を殘し絕えず摘心するを可とす。この際切り口に硫黃華を撿床することを忘るべからず。

開花し始めたらば.人工媒助を行ふを可とす。開花期及成熟期間中は.最も乾燥を要するものなれども.その他の時期には.多量の水を要するものなれば.充分に地表灌水を行ひ.又定植後 2 週間位を經過したる時と.結果後は稀釋したる油粕の腐汁を施す樣になすべし。

果は徑 10 糎 (3 寸) 內外に達したらば.網にてこれを吊し.動搖を防ぐことを肝要とす。落花後 20 日を經れば.果面に網狀疣を生じ.其後更に 20 日內外を經過すれば成熟し.固有の芳香を放つに至るものなれば.この時期に採收す。栽培家は宜しく落花の日を記入し置き.採收日を定め置くを最も安全なる方法とす。採收するには.果梗に莖の一端を附し.荷造りは 1 箇宛紙にて包み.籾殼と共に木箱に 1 列又は 2 列に詰め.蓋附けして繩を掛く。溫室に於ては特に病害蟲の發生著しきものなれば.栽培家は周到なる注意を肝要とす。(飯田)

748: シロウリ 越瓜・白瓜・青瓜 (變支) ……ヘウタン科

C. Melo, L. var. *Conomon*, Mak. foma *albus*, Mak.

(異名) あさうり 〔形態〕その性狀は全く甜瓜に類似し.その間に最格なる區別を立て難く.又兩種は容易に交雜し易きより考察するも.原產地も同一.即ち南部亞細亞.或は印度地方と推定せらるゝ一種とす。然し.本種の果實は.成熟するも.果面淡綠色或は白色を呈し.果肉は甘味に乏しきものとす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕同前。 **(4 圖版-35)**

人生との關係 本邦に於ては畑地に栽培し.專ら漬物として食用に供す。殊に奈良漬としては.最も必要なる果菜にして.本邦の特有食品として著名なり。朝鮮.滿洲共に.これを栽培するも比較的少く.支那人は主として淹菜として食用す。栽培變種多し。

越瓜の栽培品種と其栽培法

本種も亦栽培變種の多きものなれども.その性狀は全く甜瓜に類似し.その間に最格なる區別を立て難く.又兩種は容易に交雜し易き點より考察し.原產地は同一地方.即ち印度地方と推定せらる。去れど本種は.その果成熟するも甘味に乏しく.專ら漬物用に供せられ.夏日その需要は甚だ多きものなり。然し欧米にては未だ栽培せられざるものなり。品種の重なるものは次の如きものあり。

(イ) **早生越瓜** 東京市板橋町附近の產なり。果は長圓壺形にして小さく.先端に向ひ肥大す。外皮は鮮綠色を呈し.最も早生種なり。

(ロ) **鎗 瓜** 廣島縣深安郡平城村及福岡縣筑紫崎町等に產す。果は圓壺形をなし.小又は中。外皮は濃綠色を呈し.淡綠色の縱條を有す。果肉厚く.よく緊り.品質佳良にして.豐產なる中生種なり。

(ハ) **桂 瓜** 京都府葛野郡桂村の產なり。果は圓壺形にして大きく.外皮は綠色なり.果肉は厚くして緊り.甚だ豐產なり。奈良漬用に適す。

(ニ) **大越瓜** 東京府豐多摩郡野方町に產す。果は長圓壺形にして.先端に向ひ稍肥大し.頗る大形種とす。外皮は淡綠色を呈し美しく.果肉は肥厚し.よく緊り.性强健.品質優良.且つ豐產なる良品種とす。

越瓜の栽培法

總て甜瓜の栽培に準じ.蔓支へなきものなれども.彼よりは早蒔に弱く.抱水力に富む土壤を好み.極めて多くの窒素質肥料を要するものなり。普通 4-5 月に下種す。播種量は 1 アール (1 反歩) 當り約 0.35 立 (2 合) 內外を要するものなり。

收穫は 7-8 月頃とす。俗 5 謝花後 2-3 週日を經て採收す。過熟せしむれば品質を損するものなれば.尙早の程度を可とす。收量は 1 アール (1 反歩) 當り.約 1.6 乃至 3 噸 (425-800 貫) 內外あり。

越瓜の促成栽培法

促成栽培を行はんとするには.普通「フレーム」內にて行ふを可とす。早生種を撰定すれば.左程困難なる操作にあらず。12 月中旬に行へば.4 月頃採收せらる。溫度は攝氏 25 度位を適當とす。先づ「フレーム」內に埋め込み.本葉 2 枚を出したる時 15 糎 (5 寸) 鉢に植込み.更に本葉 2 枚を出したる時 15 糎 (5 寸) 鉢に植込み.更に本葉 5-7 枚を出し.側枝伸長し始むるに至らば.1 畝に 12-16 本位に定植す。管理は甜瓜の溫室栽培に準ずべし。

〔附〕 **奈良漬の漬け方**

先づ適度に成熟したる越瓜を採り.縱に二つ割にして種子を除去し.直ちに食鹽を擦り込み.これを 2 時間程目光に曝し.滲出したる水を除き.日陰に入れて良く冷却させたる後漬け込む。漬け込むには.桶の底に食鹽を混じたる麩を 10 糎 (3 寸) 位の厚さに敷き.その上に多數の小孔のある中蓋を置き.その上に食鹽を適宜に加味したる酒粕にて.順次に漬け込み.最後に輕く重石を置く。桶の底に麩を敷くは.材料より浸出する水分を吸收せしむる目的なり。漬け終り 1 年後.更に酒粕を新にして漬け直し.爾後 3 年を經過したるものを最も美味なる時期とす。(廣田)

749. アラウリ 青瓜 (4 圖版-36)……ヘウタン科

C. Melo, L. var. *Conomon*, Mak. forma *viridis*, Mak.

(異名) つけうり・まるづけ 〔形態〕越瓜の一種にして.氣果の色暗綠色を呈し.堅に淡黃色の間道及斑紋を有するものなり。食用方法.栽培法越瓜に同じ。參照すべし。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕同前。

750. シマウリ　縞瓜 ……………………… ヘウタン科
C. Melo, L. var. *Conomon*, Mak. forma *variegatus*, Mak.

〔形態〕越瓜の一栽培品種と見らるべきものにして．成熟したる果實は．果面に暗．淡兩綠線を交互に有すると．全體に軟毛を有するを特徴とす。主として鹽漬とし．食用に供す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原産地〕同前。（4圖版-37）

751. タマゴウリ　銀瓜（5圖版-38）………… ヘウタン科
C. Melo, L. var. *Tamago*, Mak.

〔形態〕甜瓜の一變種と見るべきものにして．全體に稍彼より小形．且つ莖葉共に剌毛少く．柔軟なり。果實は大さ．殆んど鷄卵大にして．楕圓形を呈し．成熟したるものは．果面白色にして．淡黄綠色暈を有し．果肉は味頗る苦く．食用に供するに堪へず。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原産地〕同前。

752. キウリ　胡瓜・黄瓜・瓜菜・莿瓜（朝·支） ヘウタン科
Cucumis sativus, L.

（異名）ソバウリ・カラウリ・イボウリ　〔形態〕各地に廣く栽培せらるゝ一年生の草本にして．雌雄花同株なり。全株に剌毛を密布し．莖は細長く．單一の卷鬚を有し．他物に捲絡上昇す。葉は互生し．長柄を具ふ。葉片は心臓形にして．掌狀に 3-5 淺裂し．各裂片は三角形．鋭頭或は鋭尖頭をなし．中央の裂片最大きく．緣邊は微に凸尖齒牙狀をなし．掌狀脈を有す。卷鬚は葉柄の着せる傍より生じ．花は葉腋上に着生し．雌雄兩花共に黄色を呈し．萼は筒形にして．細長なる5片に分れ．花冠は輻形をなし．5中裂し．各裂片は橢圓形．鋭頭をなす。雄花に於ては3本の雄蕋を有し．葯は離生す。雌花を花柱短く．柱頭は3箇に分れ．子房は下位なり。果實は漿果にして．長圓柱形をなし．多數の刺を生ず。熟すれば黄色となる。故に「キウリ」と稱す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原産地〕東印度。（5圖版-39）

人生との關係　廣く世界各地に培養し．果實は食用に供せらる。原産地は正確に詳かならざれども．前記の如く東印度の原産なりといひ．或は今尙「ヒマヽヤ」の山麓には野生種を見るとも文獻に見へたり。栽培の起源は極めて古く．三千年以前とも云はれ．我國へも既に千三百年以前．支那より渡來し．爾後廣く各地に分布し．殊に近時其需要は頓に增加し．露地栽培の外．促成．早熟．抑制栽培等行はれ．四時その供給を絕れざる狀況なり。

一般には．その果實の未熟なるものは．肉質緊り．味は淡白にして．清爽なる感を與ふるものなれば．これ等を生食に供し．又漬物．煮食等に用ひられ．又縱に裂きて乾燥貯藏する他．近時本果の佳香を利用し．香水を製造する原料に供する等．需要甚だ多きものなり。

胡瓜の栽培品種と其栽培法

現在栽培せらるゝ胡瓜は．實に其の變種頗る多く．殆んど枚擧に遑なきものなれども．先づ之を大別すれば．果面に剌を有するものと．有せざるものに區別せらる。我國に於ける在來種は剌を有するものに屬し．外國種のものは剌を有せざるを普通とす。何れも栽培變種の頗る多きものにして．又之れを大別して．節成種と大長種の2種とす．節成種は 4-5 節目以上の各節に雌花を着生し．果は小形なれども．早熟にして．豐産種に屬し．大長種は．多くは側枝に結果し．晩生種にして．果は長大なれども．結果の種少き種類とす。以下主なる品種を列擧すべし。

I　**節成種**

（イ）**三枚目**　東京市長崎町の原産種なり。果形は．正圓壔狀にして小さく．肩部張り．果皮濃綠色を呈す。本種は莖の基部 2-3 節目より各節に雌花を着け．早生種に屬し．頗る豐産のものなり。

（ロ）**馬込節成**（半白節成）　東京市馬込町の原産にして．肩部淡綠色を呈し．中部以下は更に淡色をなす。爲めに此の名を有す。廣く各地に栽培せらるゝ一種なり。

（ハ）**針ケ谷節成**（靑節成）　埼玉縣北足立郡與野町附近の原産にして．果形細く．正圓壔形をなし．肩部は狹長なり。果色は濃綠色を呈す。東京府豐多摩郡落合町の産なる**落合節成**は．この一種にして．果は．下方に向つて．稍太く肩は著しく瘦せたるものなり。

（ニ）**刈羽節成**　新潟縣刈羽郡の原産にして．節に果を結ぶことあり。果は中部細く．その先端は尖りたるものなり。以上記述せる他．節成種には**三保節成**（靜岡縣三保村）。**砂村青節成**（東京市砂村）。**聖護院節成**（京都聖護院町）。（**金澤節成**（石川縣金澤市）等．著名なる種類とす。

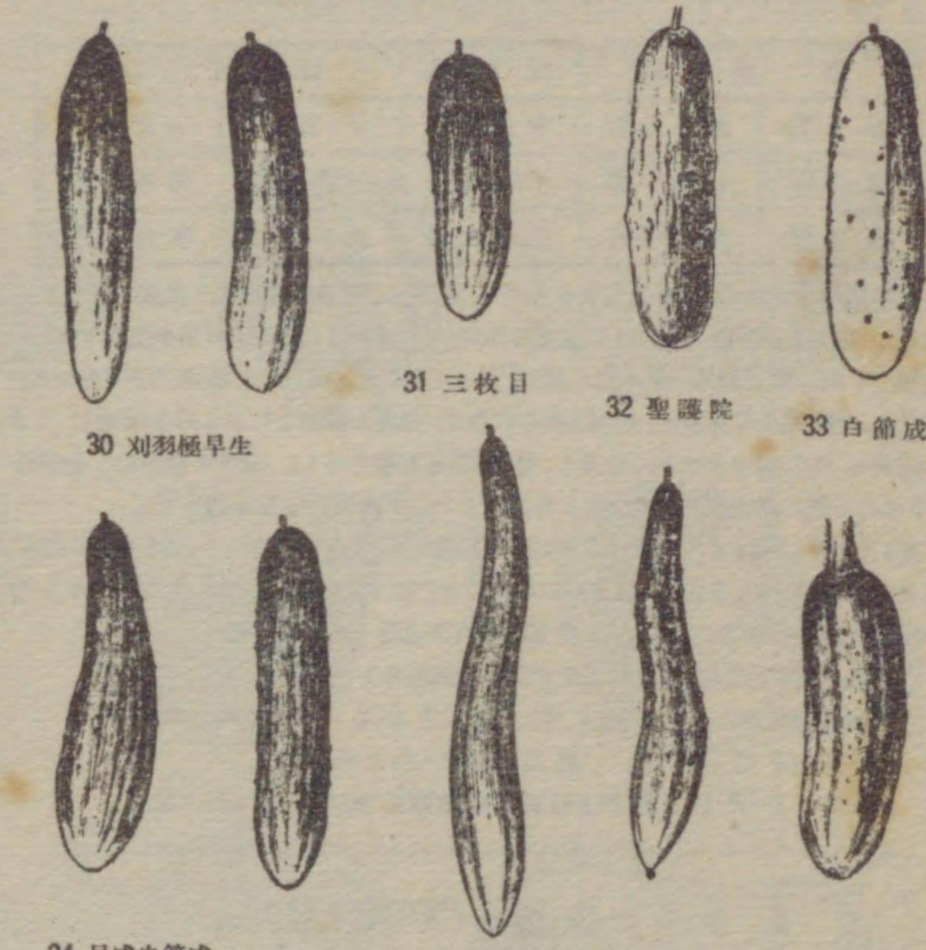
II　**大長種**

（イ）**毛馬**　大阪府東成郡毛馬村の産にして．果は長さ 45 糎（1.5 尺）に及び．下方に向ひ稍膨大し．先端尖る。剌は大形にして．數少し。豐産種に屬し．京阪地方に多く栽培す。

（ロ）**開原大胡瓜**　果は長大にして．外皮は濃綠色を呈し．剌は粗大．品種は中等種とす。豐産なる中生種なり。

（ハ）**支那三尺胡瓜**　支那に産し．果は細長にして．長さ 60 糎（2尺）許に達し．濃綠色にして．剌は極めて少數なり。晩生種に屬し．品質中位なり。

（ニ）**博多大胡瓜**　福岡縣博多附近の産にして．果は長大．果皮は濃綠色を呈し．品質中位なり。



30 刈羽極早生　31 三枚目　32 聖護院　33 白節成
34 早成白節成　35 針ヶ谷　36 支那三尺　37 毛馬　38 西洋種の一種

（ホ）**サットンス エー ワン**（Suttons A. I）　英國の産にして．剌を有せざるものに屬す。本種は露地栽培に適せず。

（ヘ）**サットンス エヴリー デー**（Suttons Every Day）　本種は殆んど剌を有せず。果形は長紡錘形にして．淡綠色に濃綠色の縱條を有す。前種と同樣露地栽培に適せず．專ら促成栽培用に供せらるゝものなり。

胡瓜の栽培法

胡瓜は．溫暖にして日當り良く．乾燥したる氣候を好むものなれども．酷暑は忌む性質を有す。土質としては．排水良好にして肥沃なる壤土．又は砂質壤土最も適す。

播種は普通．床播にすれども．又直播を行ふことあり。直播によるには．霜害の惧なき時季に至り．豫め整地．鞍築したる箇所へ．1鞍に 4-5 粒宛摘播し．苗の生長後間引きて1本立とす。又床播とせん場合は．溫床にては 2-3 月頃．冷床にては稍遲く．6糎（2寸）の距離に條播し．本葉 1-2 枚を生じたる頃．同床内に假植し．尙 1-2 回移植を行ひ．苗を丈夫に發育せしめ．晩霜の憂なき時季に達したる時本圃に定植す。

溫床の溫度は 23 度内外を適當とし．日中は陽光に當て．午後4時半頃に至らば．覆蓋して熱の放散を防止するを必要とす。

播種量は 10 アール（1 反步）當り 2.5-3.5 竕（1.5-2 合）許を要す。播種床は 10 アール（1反步）當り 5-6.5 平方米（1.5-2 坪）を要し．移植床は 0.5 アール（15 坪）を要す。

定植するには．立作りならば畦幅を 75 乃至 90 糎（2.5-3尺）．株間を 40-50 糎（1.3-1.5 尺）内外とし．匍ひ作りならば．株間共に 1-1.2 米（3-4尺）とす。定植後長期降雨なく．乾燥．萎凋の惧ある場合は．定植したる翌日更に灌水し．日覆を施すを可とす。苗の活着したる時は．直ちに補肥を與へ．中耕・除草を行ひ．立作りの場合は支柱を與へて纏絡せしむる樣にし．匍ひ作りの場合は敷藁を施すことを必要とす。

節成種に於ては．摘心する必要なきも．他の種類にては．本葉が 5-6 枚の時 2-3 葉を殘して摘心し．分莖卽ち子蔓が 3-4 葉生じたる頃．更に摘心して多數の分莖を促し．孫蔓を發生せしむべし。かくして孫蔓が結果したる時は．その 2-3 節先にて摘心す。

肥料 10 アール（1 反步）當り．堆肥 750 瓩（200 貫）．油粕 22 瓩（6 貫）．過燐酸石灰 22 瓩（6 貫）．木炭 56 瓩（15 貫）．人糞尿 1300 瓩（350 貫）内外とし．補肥としては 3-4 回に分施し．その都度．中耕・除草を行ふものとす。

採收は果の綠色なる幼時に行ふものなれども．その適期は特に市場の狀況によりて左右せらるゝこと著し。その極めて早きものは．花丸と稱へ．開花後 2-3 日にして採收するものなれども．一般には．謝花後2週間位を要するものとす。採收は早朝又は夕方．手鋏にて摘取す。10 アール（1 反步）當り 1.1-4.5 噸（290-1190 貫）の收量を標準とす。

荷造りは．遠隔の土地へ搬出するには．石油箱又は籠詰とし．採種用に供するものは．二番成又は三番成にして．形正しく．品種の特性を具備せるものを選び．充分に成熟せしめたる後．果を縱斷し．種子を分離し．清水にて洗滌したるものを陰干にし．乾

燥せしめたる後.紙袋に入れ貯藏すべし。

促成栽培法

促成栽培は.時に栽培家に有利なる場合多きものなれば.以下少しく實際的に.促成栽培法を記述すべし。

促成栽培には.節成種中.三枚目.針ヶ谷.刈田系統の强健なる早生種を選定し.冬より早春に亙り生產せんとする場合は.下記の期日を大體の標準とす。

播種期		定植期	採收期	
第一回	九月上旬	十月中旬	十一月下旬	一月下旬
第二回	十月中旬	十二月上旬	一月上旬	三月上旬
第三回	十二月中旬	二月上旬	三月上旬	五月中旬

第1回の場合は.未だ外溫高きをもつて.露地又は冷床に播種し.氣溫の低下するに從ひ.攝氏22-25度の溫床又は溫室を用ゐ.2-3回假植し强健なる苗を養成すべし。定植は1框に對し30本(10本宛3列).36本(3本宛3列)又は40本(10本宛4列)植とし.棚を架して整枝し.發育の狀況に應じ.油粕の腐熟したるものを稀釋し.1-2回施用し.常に灌水及換氣に注意し.繁茂•鬱蒸を避くべし。灌水の程度は.冬季は3-4日に1回。春季4-5月頃には1日乃至2日に1回位行ふを普通とす。

2-3月頃迄に採收するものは.果の長さ1糎(3寸)位を適當とし.3-4日毎に採收することを得。4-5月頃.暖氣を加ふる頃に至れば15糎(5寸)位に生長したるものを採收す。採收量は1框に對し.約200本內外を得らるゝものなり。

〔備考〕溫床踏込量の一例（愛知縣農事試驗場）

（2月上旬定植の幅1.2米(4尺). 長さ2米(6尺)の1框に對し）

紡績屑 13−16瓩　藁 22−30瓩　水5荷

厚さ2-25糎とし.用土は田土4.堆肥4.細砂2.草木灰小量。

6. タウナス屬 CUCURBITA.

753. **アコダウリ**　紅南瓜・安古太瓜(5圖版-40)へウタン科
Cucurbita moschata, Duch.

(異名)あこだ・あかだうり　〔形態〕概形大種タウナスに酷似せるものにして.彼の原種と見做すべきものなり。唯本種の果は.その形小形にして.長さ18糎(6寸)許に達し.果形は正圓形.或は長楕圓形をなし.果皮赤くして.光澤を有し.條紋を有せず。その味淡きものなれば.食用に供するもの稀なる種類とす。〔花色〕黄色。〔花候〕8-9月。〔原產地〕南部支那。

754. **ボウブラ**　南瓜(朝•支)……………ヘウタン科
C. moschata, Duch. var. *melonaeformis*, Mak.

(異名)きくざたうなす・なんくわ・ぼうぶな・さつま　〔形態〕各地に栽培せらるゝ一年生蔓草にして.雌雄花同株なり。莖及葉柄とに刺毛を密布す。葉は剛く.心臟形にして.掌狀に5淺裂し.各裂片は鈍頭をなし.邊緣微に凸尖齒牙緣をなす。この葉は軟毛を有し.下面には葉脈上に刺毛を生ず。花は黄色を呈し.葉腋上に單生す。萼は鐘形にして.花冠下に於て緊縮し.裂片は鑿形をなす。花冠は大形の鐘形をなし.花筒は平開し.裂片は鋭尖頭をなす。雄花に於ては3雄蕊を有し.聚成葯をなし隔葯は延長せず。雌花に於ては一花柱を有し.先端3裂す。果實は扁圓にして.兩端共に凹形をなし.竪にひだ數多あり。全面瘤質或は平滑。果內は空洞をなし.この空洞中には粗に網様の軟絲を張る。果柄は著しく5稜乃至8稜と.深溝とを有す。この果柄は通常果體に接する部分甚しく擴大す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原產地〕南支那。

〔備考〕東京邊にて「タウナス」と呼び.京都邊にて「カボチャ」と呼ぶものは前種「タウナス」に非らず.本種「ボウブラ」のことなり。

755. ワセボウブラ……………ヘウタン科
C. moschata, Duch. var. *melonaeformis*, Mak. forma. *yakohamana*, Makiko.

〔形態〕前種の一栽培變種に屬し.果實小形にして.果徑僅々12-15糎(4-5寸)に過ぎざるものなり。早成種に屬す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。

756. **タウナス**　南瓜・倭瓜・撓瓜(支)蕃南瓜　ヘウタン科
C. moschata, Duch. var. *Toonas*, Makino.

(異名)かぼちや・ひうがうり・ばんなんくわ・なんきんぼうぶら

〔形態〕本邦各地に栽培せらる。本種は全體大に揭げたるボウブラに似たれども.果實は形長く.且頸ありて壺の如き狀態をなすものなり。本種の果は初め深綠色を呈すれども.熟すれば黄色となり.果柄は錦形の5稜をなすことボウブラに同じく.果實を食用に供すること.亦彼に同じ。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原產地〕南支那。　(5圖版-41)

757. **ポンキン**　(*Ponkin*)……………ヘウタン科
Cucurbita maxima, Duch.

〔形態〕各地に栽培せらるゝ一年生蔓草にして.雌雄花同株なり。莖は稍圓柱形をなし.刺毛を疎生す。葉は圓形或は腎臟形にして.基脚心臟形をなす。この葉は5淺裂或は波狀様微凸起緣をなす。花は葉腋上に着生し.萼筒は倒圓錐形にして.先端5裂し.各裂片は線様絲狀をなす。花冠は鐘形にして5淺裂し.各裂片は闊大にして展開す。果實は球形にして.稍壓扁し.黄赤色或は綠色に成熟し.果柄は柔軟にして海綿質をなし.無稜なり。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原產地〕東印度。

人生との關係　以上記述せる南瓜類は何れも其果は甘味に富み.專ら煮食し.又成熟したるものは.永く貯藏し得らるゝ種類とす。種子は炒つて食用に供す。支那にては特に種子採收を目的として栽培する品種あり。又家畜の飼料に供せらるゝ等.用途頗る廣きものなり。

朝鮮.滿洲に產するものは.內地產に比し.其味遙に劣る。殊に「ホンキン」に於て一層然りとす。彼の地にては.鳥.獸.魚肉と共に煮て食するの風あり。或は輪切乾とし.或は生のまゝ溫突內に貯え置き.寒中に至り.汁に入れ.或は蒸し.或は煮て食ふ。支那人は專ら煮て食ひ.時として蜜藏することあり。

758. **ナタウリ**　鉞瓜(*Hubbrard*)……………ヘウタン科
Cucurbita Pepo, L.

〔形態〕各地に栽培せらるゝ一年生蔓草にして.雌雄花同株なり。莖及葉柄に刺毛を多生す。葉は暗綠色にして.3-5淺裂す。花は黄色を呈し.葉腋上に着生す。萼は5深裂し.各裂片は狹長なり。花冠は筒狀をなし.上方擴大し.裂片は鋭尖頭をなし.直生す。花梗は花後深溝をなし.果體に接し.基部は擴大せず。果體は形色.大小等一ならず。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原產地〕亞米利加。

759. コナタウリ……………ヘウタン科
Cucurbita Pepo, L. var. *ovifera*, Bailey.

〔形態〕前種の一變種なり。莖は瘠長。葉は小形にして通常深く分裂す。果體は小形にして硬き果皮を有し.果形は卵形.球形.梨形等種々あり。又屢ば條紋を有するものあり。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原產地〕同前。

南瓜類の栽培品種と其栽培法

以上記述せるところを綜合するに南瓜類は植物學上.異りたる3種を有す。卽ち**支那南瓜** (Cucurbita Duch)。**印度南瓜** (C. maxima Duch)。**亞米利加南瓜** (C. Pepo L)にして.これ等の各は又多くの栽培品種を有す。以下重なる品種につき記述すべし。

〔I〕**支那南瓜**　亞細亞南部の原產種にして.古來我國に於て栽培せらるものは.多くは本種に屬す。果は一般に小さく.扁球又は瓢形をなし.縱溝著しく.瘤多し。外皮は黄赤褐色にして.白粉を被ふ。主なる品種に次のものを有す。

(イ)**縮緬**(居留木橋)　東京市大崎町附近の產にして.果は扁球形をなし.花痕頗る大きく.縱溝淺く.果面に縮緬様の瘤狀突起甚だ多く.美觀を呈す。肉質は.重粘•緻密にして甘味多く.品質最も佳良なる早生種とす。**赤羽•黑皮•大久保**等は.本種と同型に屬する良種なり。

(ロ)**菊座**(內藤)　東京市淀橋町の產にして.一名淀橋ともいふ。果形は.前種に稍似たれども.果面に瘤狀突起なく.縱溝深く.花痕甚だ小形なり。本種の果は果皮濃綠色の時美味にして.完熟し.果皮飴色となる時は.却つて劣變す。促成栽培用に適す。**見附•大覚•荻原**等は本種と同型に屬する良種なり。

(ハ)**西京**(鹿ヶ谷)　京都市鹿ヶ谷町の產なり。本種は本文に記述せる「タウナス」(C. m. var. Toonas, Mak.)の栽培種の名稱なり。果は瓢形にして大きく縱溝淺く.縮緬狀の不明なる瘤起を有す。甘味に富み.品質優良なる晚生種とす。

(ニ)**三毛門**(ミケカド)　福岡縣築上郡三毛門の產にして.果形は菊座に似たれども.更に扁平にして大きく.果面は殆ど平滑.黄褐色の顯著なる斑紋を有す。晚生種にして.尙貯藏に耐ふるものなり。

(ホ)**錦南瓜**(絲南瓜•素麵南瓜)　支那の原產にして.果は楕圓形をなし.果色淡黄色にして斑紋を有し.表面に淺溝を有すれども平滑なり。果肉は黄色を呈する絲狀纖維より成る。これを茹て絲蒟蒻狀にしたるものを.酢物.和物等として食用に供す。

〔II〕**印度南瓜**　古來東印度にて栽培せられたるにより.この名を有すれども.實際は「アフリカ」の原產種なり。一般に果形大きく貯藏に堪ふ。

(イ)**ポンキン**　本種につきては本文中に説明を加へたれば.茲には省略することゝす。宜しく本文を參照すべし。

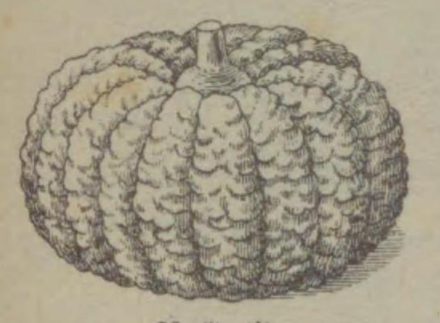
(ロ)**鉞南瓜**「ハッバード」(Hubbard)　果は.短紡錘形にして先端尖り.外皮は暗綠色を呈し皮質頗る硬く.鉞ならでは割る能はざる程なり。故に鉞南瓜の名あり。果肉は.黄色にして粉狀を呈し.甘味と芳香に富み品質優良なる品種なり。

(ハ)**カステラ南瓜**「デリシアス」(Delicious)　果は前種より稍小形にして.短圓錐形をなす。外皮は.前者よりは薄く.平滑にして.灰綠色を呈す。果肉は.鮮黄褐色にして.前者よりは粘力强く.又甘味と芳香に富み.品質甚だ優良なり。

〔III〕**南亞米利加南瓜**　南部亞米利加の原產種にして.果は概ね矮性種とす。果形は奇異のもの.色彩の鮮美なるもの等變種多し.多くは裝飾用.愛玩用等に供せらるれども.亦家畜の飼料に供せらるゝものあり。

(イ)**ファンシーゴート** (Funcy Gourd)　專ら觀賞用に供せらるゝものゝ總稱にして.色彩•形狀等種々雜多なり。**クルック ネック** (Crock Neck)。**カスタードマロー** (Custard Marrow)等はこれに屬す。

(ロ)**ヴェヂタブルマロー** (Vegetable Marrow)　果は甚だ大形にして.色澤に種々美觀を呈するものあり。

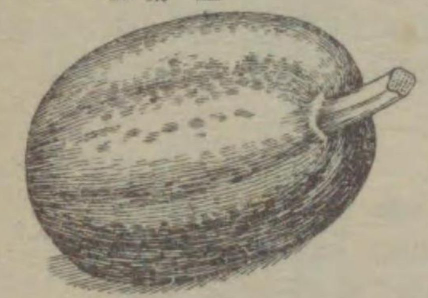

39 菊座

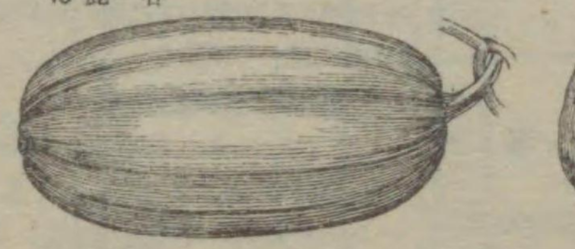
40 鹿ヶ谷

41 縮緬

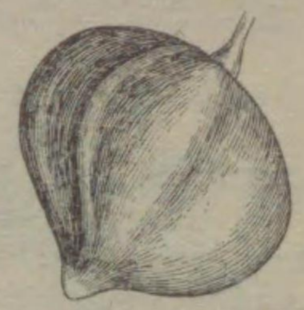
42 黑皮

43 三毛門

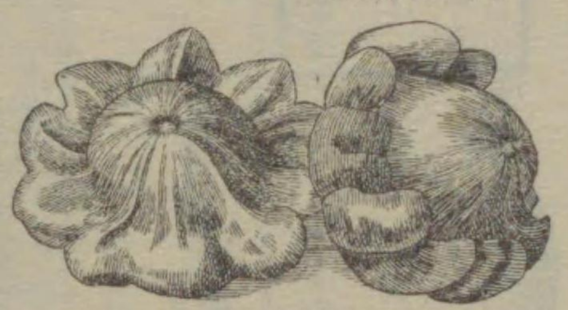

44 錦南瓜


45 ベヂタブル・マロー

46 ハツバート


47 デリシアフ

48 コモチマロー


49 菊座マロー

50 菊座マローの一種

51 青皮マロー

南瓜類の栽培法

南瓜類は.比較的風土を選ぶこと尠きものなれども.何れかといへば高溫にして.乾燥したる氣候を好み.又土質としては.排水の可良なる砂質壤土乃至壤土に最も適するものとす.殊に開花期以後は高溫にして.且つ乾燥することを要するものとす。

南瓜は多くの地方に於て.直播を普通とするものなれども.早期に採取せんとする目的ならば.溫床內にて育苗せしものその.結果は良好なりとす。

直播するものは豫め鞍築(後述の)を行ひ.4月頃1鞍に4-5粒宛點播し.發芽後.之れを間引き.最後に1本立となすなり。

床播するものは.3月上-中旬10糎(3寸)位の距離にて下種し.床內の溫度は23度內外とし.發芽後は.徒長せざる樣.出來得る限り生長を抑制し.床內にて2-3回假植を行ふ。苗が本葉5-6葉を生じ.既に雌花の着生する頃を標準とし.結霜の惧なきに至りたる頃.成るべく早く定植するなり。10アール(1反步)當り約450-900本の苗を要する割合なり。

本圃は.豫めよく整地したる後.畦幅1.5-2米(5-6尺).株間1.2米(4尺)毎に植穴を穿ち.これに基肥を施し.土壤とよく混和し鞍築を行ひたる後定植を行ふなり。この爲め前作として大麥を畦間2米(6尺)位に作るか.又は0.6米(2尺)として3畦目を空けて作る方法等が行はるゝものとす。

苗が根付きたらば補肥を施し.10日位以後に淺く中耕し.更に稀釋したる下肥を施し培土すべし。爾後屢々中耕•除草を行ひ.又敷藁を與へるものとす。10アール(1反步)當りの施肥料は.基肥として堆肥562瓩(150貫).油粕22瓩(6貫).過燐酸石灰•木灰•下肥等各37瓩(11貫)位とし.補肥としては.下肥562瓩(150貫).餅粕37瓩(11貫)位を標準とす。

南瓜は放任して親蔓に結果せしむれば.結果數少く.且つその成熟は遲るゝものなれば.摘心を行ふことは.管理中の主要なる要項とす。卽ち第1回は定植後間もなく.本葉5-6葉の時3-4葉を殘して摘心し.子蔓3-4本を發生せしむる樣にす。その際.側枝の基部に生じたる雌花は結實し難く.よし結實せるも小形なるものなれば必ず除去し.6-7節目に生じたるものを殘し.人工媒助を行ひ.果實が拳大に生育したる時.その2-3節先にて摘心し.上部の節に生じたる側枝は全部摘去する樣注意すべし。

謝花後2-30日許にして採收に適す。早生種の場合は.外皮が濃綠色に變じたるを程度とし.餘りに成熟し硬化せざる以前に採收すべし。中生種の場合は果面に少しく白粉を現はし.赤褐色を呈する頃を適期とす。收量は10アール(1反步)當り2.2-2.3噸(600-1000貫)許とす。

採種　採種せんとするには.豫め花粉の雜交せざる圃場にて栽植し.特に4-5節目に開花したる雌花を選び.人工媒助を行ひたるものゝ中.果形正しく.品種固有の特質を具へたるものを選び.充分に成熟せしめたる後採取し.1-2週間後熟せしめ.然る後果を割り種を採取し.淸水にて充分に洗ひ乾燥.貯藏するものとす。

南瓜の促成栽培法

南瓜は.性質强く比較的低溫度にても良く生育するものなれば.促成栽培も容易.且つ極めて有利なるものとす。促成栽培用の品種としては.早生小南瓜種を最も適當なるものとす。

先づ12月上旬.攝氏23度位の溫度を保つ溫床に播種し.1.2-1.5糎(4-5分)位に覆土し.適度に濕氣を與ふれば4-5日にて發芽し.12月中旬.1月中旬.2月上旬の3回に移植を行ひ.本葉4-5葉を出したる時適心し.2月下旬.又は3-月上旬に17糎(6寸)內外に伸び.4本の蔓を有すものを「フレーム」の中央に1列に8本位定植す。植土は堆肥4.肥土6の割合に混じ.床土の厚さは17糎(6寸)內外とす。溫度は22-23度位を保つ樣にすべし。定植後は.蔓の延長に從ひ數葉を與へ.4本の蔓より生ずる孫蔓を摘除すべし。特に雌花を生じたる節より出づる孫蔓は.注意して必ず摘除する樣注意すべし。床內は常に換氣に注意し.過濕に陷らぬ樣勉め.殊に開花期以後は乾燥せしむる等.大體胡瓜に準ずべし。開花し初めたる時は人工媒助を行ひ.結果部より2-3節の上部にて摘心す。謝花後1ヶ月にして採取し得るものなれば.大體4月より收穫を擧げ得らるゝものとす。(飯田)

7. テッパウウリ屬 ECBALLUM.

760. **テツパウウリ**　鐵砲瓜(5圖版-42)……ヘウタン科
Ecballinm elaterium, A. Rich.

〔形態〕多年生蔓草にして.雌雄同株なり。全株肉質にして粗毛を布き.莖は高さ1-2米(4-6尺)餘に達す。葉は長柄を有し.三角狀心臟をなし.互生す。花は先端5裂せる單性花にして.葉腋上に着生す。果實は漿果にして長楕圓形をなし.多くの刺毛を有す。本果實は成熟すれば.容易に果柄より離るゝと同時に.果實中に成熟せる種子を放出す樣奇觀なり。これ植物が自然的に種子の散布をなす特種方法として.植物學上好參考に供するところなり。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原地地〕地中海沿岸•「コーカサス」及北部亞弗利加。

人生との關係　本邦にては觀賞用として.移植栽培するに過ぎず。

8. アマチャヅル屬 GYNOSTEMMA.

761. **あまちゃづる**　紋股藍(支)(5圖版-43)‥ヘウタン科
Gynostemma pentaphyllum, *Makino*.

(異名)あまくさ・つるあまちゃ　〔形態〕林野藪叢等に多く自生する多年生の蔓草にして.雌雄異株。莖は單一の卷鬚により他物に攀緣す。葉は鳥足様の掌狀複葉にして.5-7片の小葉合して一葉をなし.膜質にして.葉面及下面の葉脈上に短毛を散生す。葉緣には粗齒牙狀の鋸齒を有す。萼は鐘形にして5裂し.各裂片は三角形鋭頭をなす。花冠は輻形をなし.先端5裂し.各裂片は披針形をなし.先端鋭尖なり。雄花は5箇を有し.花絲は基

脚に於て合着し、子房は扁圓、3花柱は凸起狀をなし、各頭頂端2岐す。果實は豌豆大にして、紫黑色に成熟す。〔花色〕淡黃綠白色。〔花候〕8-9月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係　本植物の葉は甘味に富めるが故に、その葉を乾燥して甘茶を製す。年々4月8日の灌佛會に用ひらるゝことは周知の事實である。

762. たいわんあまちゃづる …… ヘウタン科
G. pedata, *Blume*. var. trifoliata, *Hayata*.

〔形態〕林野に自生する多年生の蔓草にして、雌雄花同株。莖は多溝にして、粗毛を散生す。葉は膜質にして、柄を有し、3出葉にして、頂片は披針形、鋭尖頭をなし、基脚楔狀、緣邊芒光狀鋸齒齒をなす。葉大約9糎（3寸）許を有し、側片は卵狀披針形にして、先端尖り、鈍脚をなし、大さ約6糎（2寸）を有し、何れも兩面脈上に粗毛を布く。卷鬚は單一にして腋出す。花も亦腋出し、圓錐花序をなし粗毛を布く。花色淡黃綠色を呈す。雄花は萼片5箇を有し、線形をなし、瓣片も亦5箇を有し、長橢圓狀披針形をなし、細鋸齒緣を具ふ。雄蕊は5箇を有し、稍花絲を缺く。果實は徑6粍（2分）許を有する球果なり。〔分布〕臺灣。（擬植組）

9. ユフガホ屬　LAGENARIA.

763. ユフガホ　扁蒲・夕顏（5圖版-44）…… ヘウタン科
Lagenaria vulgaris, Ser. var. *clavata*, Ser.

（異名）たそがれぐさ・すすけのはな・ながふくべ　〔形態〕畑地に栽培せらるゝ一年生蔓草にして、雌雄花同株なり。全株粗毛を布く。莖は細長く、2岐せる卷鬚によりて他物に纏絡す。葉は長柄を有し、腎臟形にして、掌狀に淺裂し、齒牙緣をなす。花は長梗を有し、萼は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は線形をなす。花冠は先端5裂し、各裂片は倒卵形をなす。雄花に於ては3箇の雄蕊を有し、聚成葯をなす。雌花は短柱を有し、柱頭3裂す。果實は長橢圓形或は卵形をなし、何れも大形なり。〔花色〕白色にして綠色の線條を有す。〔花候〕夏。〔原産地〕印度・亞弗利加。

人生との關係　我國へは平安朝以前に渡來したものといひ傳へられ、爾來各地に栽培し、殊に栃木縣は本植物の栽培地として著名なり。果の未熟なるものは、其味冬瓜に似、煮食に適し、又薄く剝ぎ、干瓢を製す。又完熟したるものは、果皮堅硬なるを以て、壺、炭取り等の如き容器を製す。朝鮮及滿洲地方に於ても、人家の周圍等に栽培せられ、殊に朝鮮にては南瓜と同じく籬邊より屋根に纏絡せしめ、栽培する風習あり。朝鮮人は嫩果及果皮を茹て菜となす。其他干瓢を作り、種々の容器を作る。容器の種類は本邦より多く、桝、杓、釣瓶、その他種籾の貯藏器、種蒔器、油計り器等の諸器を製す。又種子を瓜子兒となし、西瓜、南瓜の種子と共に、支那人の嗜好する間食物となす。

人生との關係　果の成熟したるものを採取し、その果梗部に孔を穿ち果肉を腐熟せしめて、種子と共に取り出し、乾燥したるものを、酒を容るゝ器とすることは、古來周知の事なり。又棚作りとして、庭園に風致を添へ、これを眺め、時に生花用として雅趣を添ふるものとす。生花とし水揚の困難なるものなれども、莖の切り口を酒精に1-2秒間浸し、手早く冷水に挿入すれば、萎ゝることなく、生々して眺めらるゝものなり。

扁蒲の栽培品種と其栽培法

扁蒲は果形により、これを丸形・長形との2種に區別す。以下それ等の栽培品種につき主なるものゝ記述すべし。

1. **丸扁蒲**　果は、扁球形にして果梗部は圓錐形に近く、花痕は略扁平、頗大形なるものにして、1箇重量7-15瓩（24貫）に達す。豐産なる良品にして、栃木縣を有名なる產地とす。

2. **長扁蒲**　果は、長圓壔形にして、直徑12-15糎（4-5寸）、長さ90糎（3尺）內外のものあり。專ら未熟なものを採取し、煮食用に供するものとす。

扁蒲の栽培法

扁蒲は風土を選ぶこと少きものなれども、高燥にして排水の良好なる礫質壤土乃至砂質壤土等には良品を產出す。生育期間中は適度の水溫を要し、一般に寒氣に弱きものなれども、結實後は乾燥することを要す。殊に收穫の際降雨に逢へば著しく品質を害する場合多し。

栽培法は大體南瓜に準ず。卽ち3-4月頃、溫床に點播し、苗を育て、5月上・中旬、本葉4-5葉を生じたる時、本圃に定植するを普通とすれども、又直播を行ふことあり。

丸扁蒲の大果を得るには、5米（3間）內外に、又長扁蒲には1.3米（1間）內外の距離に、深1米（3尺）、深さ10糎（3寸）內外の植穴を穿ち、基肥を施し、よく攪拌して平坦にし、その中央に苗を植付くるものとす。本葉8-9葉を生じたる時、6-7葉を殘して摘心し、強壯なる3-4本の莖を殘し、他は凡て掻き取るなり。この際に、直接雌花を生ずることなく、雄花を生ずるを普通とし、更にこれより生じたる稚莖の其部近くに雌花を着生するものとす。結果したる時は、その先2-3節の所にて摘心し、同時に結果部の腋枝を除き、補肥は摘心の度每に行ひ、又數囘を與ふるものとす。

採收　蔬菜用時に干瓢製造用に供するものに於ては、適期を逸せざる樣注意すを要す。その適期は謝花後凡そ25-35日內外を經過し、果の外面に着生せし細毛が脫落し、僅かに之を存し、稍光澤を帶ぶるに至りたる時を適期とす。これに反し果實の細毛が、全く脫落したるものは、適期に遲れたるものにして、果肉は粗剛となり、剝皮すること困難なるのみならず、製品の品質惡しく、又生產量少なきものなり。

干瓢製造用に採取するものは、晴天の日の早朝に採收し、幅3糎（1寸）內外の輪切とし、小鉈を用ひて薄く剝ぎ、竹に廣幅を卷きたるものに掛けて陽干とし、1日にて大凡乾燥し終るを普通とするものとす。

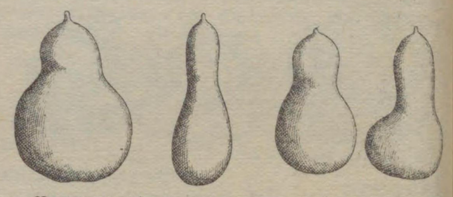
收量は10アール（1反步）當り、生果2.2-3.7噸（600-1000貫）、干瓢110瓩（30貫）內外とす。又容器を作るものは、完熟して外皮堅硬となりたるものを採取し、製造するものなれば、一般的には採種用のものを利用すること多きものとす。（飯田）

764. シャクヘウタン　懸瓠 …… ヘウタン科
L. vulgaris, Ser. *Cougourda*, Ser.

（異名）ひさご・つるくび　〔形態〕本種の果は下部圓く、大さ12-15糎（4-5寸）許。上部は柄の如く、細長にして、長さ30糎（1尺）許を有し、これを竪に2分すれば天然の柄杓狀となるものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕同前。

765. フクベ　瓠 …… ヘウタン科
L. vulgalis, Ser. var. *depressa*, Ser.

〔形態〕本種は果體の壓扁せるものにして、之れに反し細長なるものをナガフクベと稱す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕同前。



52 シャクヘウタン　53 ナガフクベ　54 センナリヘウタン

766. ヘウタン　葫蘆・壺蘆・蒲蘆・瓢箪（支）　ヘウタン科
Lagenaria vulgaris, Ser. var. *Gourda*, Ser.

〔形態〕各地に栽培せらるゝ一年生蔓草にして、雌雄花異株なり。莖は毛茸を有し、單一の卷鬚を出し、他物に纏絡し上昇す。葉は長柄によりて互生し、圓狀心臟形にして、銳頭をなし、往々掌狀に淺裂す。花は葉腋上に花梗によりて着生す。花冠は5裂し、遂條相接す。萼は子房に附着し、長き筒狀をなし、上部5裂す。雄花に於ては3箇の雄蕊を有し、雌花にては3裂、又2裂せる柱頭、及毛茸を有する子房を有す。子房は下位、3室にして、各室には2箇の中軸胎座を具ふ。果實は長き瓠果にして、中部に縊ありて、兩部不等大をなす。種子は扁平にして帶褐色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶亞弗利加・熱帶亞細亞。（5圖版-45）

一種**オホヘウタン**と稱するは瓢果大形にして、數升の酒を入れ得る程の大さを有するものとす。

767. センナリヘウタン　千成瓢箪・天生一寸葫蘆　ヘウタン科
L. vulgalis, Ser. var. *microcarpa*, *Hort*.

〔形態〕本種の果は頗る小形にして、長さ漸く3糎（1寸）に過ぎざるものなれども、結果甚だ多きをもつて、この和名を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕同前。

一種**ヒヤクナリヘウタン**（百成瓢箪）と稱するものあり、本種は前種の一品種にして、果は長さ10糎（3寸）內外を有し、苦味强し、主として觀賞用愛玩用に供せらるゝものなり。

〔附記〕以上瓢箪類の栽培法は扁蒲に準じ差異へなきものとす。

10. ヘチマ屬　LUFFA.

768. ヘチマ　絲瓜（俚・支）　菜瓜（5圖版-46）　ヘウタン科
Luffa aegyptica, Mill.

（異名）ナガウリ・イトウリ　〔形態〕廣く熱帶及暖帶諸地に栽培する一年生の蔓草にして、雌雄花同株に屬す。全株粗澁し、莖は蔓生にして、有枝卷鬚を有し、これによりて他物に卷絡し、莖は稜線す。葉は互生し、濃綠色を呈し、圓狀心臟形にして5-7淺裂し、掌狀をなし、各裂片は鋭尖頭にして、不齊の鋸齒緣をなす。雄花は總狀花序に排列し、雄蕊5箇を有し、雌花は

PL. 5.

38 タマゴウリ　39 キウリ　40 アコダウリ

41 タウナス　42 テツパウウリ　43 あまつやづる

44 ユフガホ　45 ヘウタン　46 ヘチマ

單生し、1箇の雌蕊を有す。雌雄兩花共黃色の花冠を有し、先端5深裂し、各裂片は圓卵形をなす。果實は氣果にして細長く、熟すれば果肉内に强靱なる纖維を生ず。種子は多數ありて黑色、稀に白色にして、狹翼を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏・秋。〔原産地〕熱帶亞細亞・熱帶亞弗利加。

人生との關係　嫩果實は漬物とし、又は煮、或は炙り、或は油煮にして食用に供す。熟したる果實の纖維は帽子の心、垢磨、汗除其他物を洗ふタワシ等とす。又葉を切りて流れ出づる汁液は甚だ清透にして、これを絲瓜水又は美人水と稱し、化粧用として重用す。

朝鮮、滿洲地方の人は醬漬即ち味噌甕の中に嫩果を漬け漁菜として食す。藥材として本品は痔漏、癰疽、痘瘡を治するに効ありといひ、又通經劑としても之を服服す。

769. トカドヘチマ　十角絲瓜 …… ヘウタン科
Luffa acutangula, Roxb.

〔形態〕前種等と同樣園圃に栽培するものなり。本種の葉は淡綠色を呈し、圓形にして淺裂し、粗鋸齒緣をなす。本種の果實は果面に10條の稜を有す。これ本和名を有する所以なり。種子は黑色にして無翼を有せず。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原産地〕同前。

絲瓜の栽培變種と栽培法

絲瓜の栽培品種の主なるものは次の如し。

（イ）**遼棗**　果實は肥大し、纖維緻密にして、品質優良なり。

（ロ）**鵲首**　果梗、果形、皆共に長く、その先端は膨大す。纖維は前者に比し、粗く、品質稍劣等なり。

（ハ）**支那種**　果形小にして、纖維料としては劣等種なり。

絲瓜は高温を要し、その生育期間中には稍多濕にして、成熟期には乾燥するが如き氣候を好み、土質に就きては、腐地にては別に選定するに及ばざるも、肥沃なる壤土、壤質土壤等は最も適當な土質とす。

先づ四月中・下旬に床播又は直播す。副業的に栽培せんとするには、普通10アール（1反歩）當り、約20平方米（6坪）を要す。降霜の憂なきに至り、夢の畦間に植穴を掘り、施肥を行ひ定植す。畦幅1.2米（4尺）、株間0.9米（3尺）許とす。夢播の時徠め株間を定め置くを可とす。其後數回施肥中耕を行ひ、高さ1.5-2.0米（5-6尺）許の棚を作り、これに誘引す。この棚は風に向はざる樣注意すべし。

一株より1-2本の主枝を伸し、脇芽を摘除し、果の發育を助くる樣注意すべし。尙一株に着生せしむべき顆數は約7-8箇に制限し、出來る限り肥大したるものを收穫するを得策とす。

蔬菜として果實を採取するには、7月より8月に亙り、順次未熟幼小なるものを摘取するものなれども、纖維用としては、果實全體に黃色を帶び、果梗に黑斑を突ふる頃を適期とす。或はその果を握り、果端を地上に擲けば果は直ちに破れ、内より黑色の種子を散出する時を適期をす。一般に降霜後に採取したるものは、纖維の質脆く、品質は劣變するものなり。收量は10アール（1反歩）當り、200本内外とす。

採收したる果は、果端を破り、これを清流中に並べ、竹の簀と交互に積み重ね、上部な板又は簀にて被ひ、重石な置き浮揚せざる樣にし、約2週間程浸漬し、後これを板に打付け、果肉と種子とな除去し、更に清水にて洗滌し乾燥す。充分乾燥したる後は其の形狀及品質な擇別し、適宜に荷造りし市場に出すものとす。（飯田）

11. スズメウリ屬　MELOTHRIA.

770. すずめうり　馬絞兒（支）（6圖版-47）…… ヘウタン科
Melothria japonica, *Maxim.*

〔形態〕田畝、藪林、小川の堤防等に自生する一年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。莖は細長にして平滑。卷鬚は單一にして莖に對生す。葉は卵狀三角形にして基部心臟形をなし、全緣或は稍3淺裂し、齒牙狀緣を有し、上面縐澁、下面は脈上に刺毛を有す。夏日莖上方葉腋毎に細梗を有する雌雄花を並出す。萼は鐘形にして5裂し、各裂片は線形をなす。花冠は鐘形にして先端5裂し、各裂片は卵形を呈す。雄花に於ては3雄蕊、雌花に於ては1花柱を有し、柱頭は3岐す。果實は廣卵狀球形の漿果にして、秋日白色に成熟し、種子は卵形をなし、褐色或は黑色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州谷部・九州・朝鮮・滿洲。

771. たいわんすずめうり …… ヘウタン科
M. formosana, *Hayata.*

〔形態〕山野に自生する一年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。卷鬚は單一にして莖に對生し、葉は長柄を有し、紙樣質にして箭狀或は三角狀心臟形をなし、先端銳尖、或は鈍頭をなし、不整の鈍齒牙緣を具へ、上面縐澁、下面は脈上に粗毛を布く。花は總狀花序をなして腋出し、通常2-3花を着く。雌花は長さ11糎（3-6分）許。萼は鐘形にして、5齒緣をなし、花冠は5深裂し各裂片は卵形にして鈍頭をなす。漿果は徑9粍（3分）許を有し、灰白色に成熟す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。（據植總）

772. てんぐすずめうり …… ヘウタン科
Melothria heterophylla, *Cogn.*

〔形態〕山野に自生する多年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。葉は短柄を有し、革質にして、心臟形或は戟形をなし、多角樣に淺裂するか、或は5深裂し、各裂片は卵形、橢圓形或は線形をなし、銳頭或は鈍頭をなす。雄花は稍繖形花序に着生すれども、雌花は單生す。果實は長橢圓形の漿果にして、赤色に成熟し、長さ4-5糎（1-5分）許。種子は稍球形をなし無緣なり。〔花候〕春・夏。〔分布〕臺灣。（據植總）

773. くろみのすずめうり …… ヘウタン科
Melothria mucronata, *Cogn.*

（異名）くろみのおきなはすすめうり　〔形態〕全株無毛種に屬する多年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。莖は纖細、葉は細柄を有し、膜質の廣卵形にして、基脚心臟形をなし、全緣或は3-5裂し、各裂片は銳頭或は銳尖頭をなし、細齒牙緣を具へ、上面縐澁なり。雄花は頭狀或は短總狀花序をなし、萼片は狹三角形を呈し、花冠の裂片は卵形にして先端尖る。雌花は單生、或は繖形花序をなす。果實は廣卵狀長橢圓形の漿果にして、長さ9-12糎（3-4分）許を有し、黑熟す。種子は卵狀長橢圓形にて有緣なり。〔分布〕琉球・臺灣。（據植總）

774. ひめくろみのすずめうり …… ヘウタン科
Melothria kelungensis, *Hayata.*

〔形態〕全株無毛種に屬する一年生の蔓草なり。概形は前種クロミノスズメウリに似たれども、本種は彼に比し、葉、果實等凡て小形なる品種なり。〔分布〕臺灣。

775. さんごじゅすずめうり …… ヘウタン科
Melothria maderospatana, *Cogn.*

（異名）ざらめきすすめうり　〔形態〕山野に自生する一年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。本種は全株に粗毛を帶び、葉は硬き葉柄を有し、心臟形或は稍三角形をなし、全緣なるか、多角或は3-5淺裂す。雌花は單生し、雄花は叢生す。花冠の裂片は卵狀長橢圓形をなし、長さ3粍（1分）に達せず。果實は球形にして、徑1糎（3-4分）許を有し、赤色或は黃色に成熟す。種子は廣卵狀長橢圓形にして兩面凹陷す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏・秋。〔分布〕琉球・臺灣。

12. ナガレイシ屬　MOMORDICA.

776. ナガレイシ（6圖版-48）…… ヘウタン科
Momordica charantia, L.

〔形態〕本邦に於ても各地に栽培せらるゝ一年生の蔓草にして、雌雄花同株なり。莖は稍毛茸を帶び、卷鬚によりて他物に纏絡上昇す。葉は腎臟狀圓形にして、掌狀に5-7深裂し、各裂片は卵形を呈し、微に凸尖齒牙緣をなす。花は葉腋に單生す。この花は長梗を有し、その中部下に1苞を有す。この苞は卵形をなす。萼は鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は卵形にして鈍頭、花冠は幅形をなし、5深裂し、各裂片は卵圓形をなし、徑6-7分を有す。雄花は3雄蕊を有し、雌蕊に於ては1花柱を有し、先端3岐す。果實は長橢圓形にして嘴狀の先端をなし、基部細く、果面には大小の疣狀突起を滿布す。この果實は黃色に成熟し、内に紅肉を纏りたる種子を藏す。果實は長さ18-20糎（6-7寸）のものあり。この果實は次の種類と同樣食用に供せらる。〔花色〕黃色。〔花候〕夏・秋。〔原産地〕舊熱帶。

777. ニガウリ　苦瓜・癩葡萄・錦荔枝 …… ヘウタン科
Momordica Charantia, L. var. *senegalensis*, Makino.

（異名）れいし・つるれいし・かつたいかつら・ふとれいし

〔形態〕前種と同樣各地に栽培せらるゝ一年生の蔓草にして、概形全く彼と同樣のものなれども、本種の果實は長さ6-9糎（2-3寸）を出でざるものなり。〔花色〕黃色。〔花候〕夏・秋。〔原産地〕舊熱帶。（6圖版-49）

人生との關係　本種及前種共その果實を食用に供す。又紅熟したる藏心をも食用す。支那人は初生の青瓜を猪の肉と共に煮て喰ふといふ。本邦にても九州地方にては盛に之を食用す。その方法は同じく未熟の果を輪切りとし、最初油にて充分に痛め、これを砂糖、醬油等にて煮付けて食用す。又鹽漬としても食すといふ。何れにしても苦味多きものなれども、慣用すれば反つて一種の嗜好品として貴重せらるゝ食品とす。支那にては藥材として、蔬類をその種子と共に解熱清凉劑、又は滋養壯陽劑として煎服す。

苦瓜の栽培法

4月上旬若しくは中旬頃、種子を溫床に播下し、5月中旬に至りて圃場に定植す。或は5月上旬直ちに圃地に播下するも妨げなし。いづれにせよ定植後生長するに從ひて支柱な與へ、これに纏絡せしむべし。斯くすれば7月上旬より、降霜の頃まで繼續

して瓜果を採收することを得るものなり。（飯田）

778. もくべつし 木鼈子・木別子・土木鼈（支） ヘウタン科
Momordica cochinchinensis, *Spreng.*

（異名）なんばんからすうり 〔形態〕山野に自生する多年生の蔓草にして.雌雄花同株なり。葉は腺質の葉柄を有し.心臓形にして.波狀様に3-5中裂.或は深裂し.各裂片は卵形を呈し.先端尖り.通常全緣なれども.稀に波狀様齒牙緣をなす。花は直徑9糎（3寸)餘。雄花は長梗を有し.花下に大形の苞を具へ.雌花は短梗を有し.花梗の中部に小形の苞を有す。果實は長橢圓形にして.紅色を呈し.長さ9-15糎（3-5寸)餘ありて.表面に疣狀の突起を有し.熟すれば裂開す。種子は扁平にして.長さ2-4糎（8分).幅1-8糎（6分).厚さ3-6粍（1-2分）あり。表面粗く.灰白色を呈し.中に仁を藏す。〔花色〕青色にして黄色を帶び.紫色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔原地地〕印度。〔分布〕臺灣。 (6圖版-50)

13. ミヤマニガウリ屬 SCHIZOPEPON.

779. みやまにがうり (6圖版-51) ･････････････ ヘウタン科
Schizopepon bryoniaefolius, *Maxim.*

〔形態〕林野に自生する一年生の蔓草にして.雌雄花同株なり。莖は纖細にして卷鬚によりて他物に纏絡す。葉は膜質をなし.長柄を有し.心臟狀卵形をなし.2-7角或は淺裂し.側片は短形.頂片は長三角形をなし.先端尖り.微凸尖齒牙緣.稀に全緣にして.兩面稍糙澁す。両性花は葉腋上に單生し.雄花は圓錐花序に排列す。蕚は低鐘形をなし.先端5裂し.各裂片は鑿狀線形をなす。花冠は輻形をなし.先端5深裂し.各裂片は狹卵形をなす。雄蕊は2箇を有し.蕚筒の基部に着生す。子房は廣卵形をなし.花柱は短く.中部まで3裂す。漿果は橢圓形.銳頭をなし.種子は3箇を有し.卵形にして.稍鋸齒緣をなす。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

14. ハヤトウリ屬 SECHIUM.

780. ハヤトウリ 隼人瓜（*Chayote*）(英)････ ヘウタン科
Sechium edule, Sw.

〔形態〕近時盛に培養せらるゝに至りたる一年生蔓草にして.雌雄花同株なり。莖は伸張力極めて旺盛.地下に大形の塊根を有す。葉は膜質をなし.三角狀心臟形をなし.稍糙澁し.長さ9-15糎(3-5寸)に達す。卷鬚は3-5岐し.他物に纏絡す。花は小形にして淡綠色或は淡黄色を呈す。雌花は單立し雄花は長き花梗の先端に數個簇生し.稍穗狀をなす。蕚は皿形をなし.先端5裂し.花冠は輻形をなし.同じく5深裂し.各裂片は卵狀披針形をなす。花絲.花柱は合着して.中央柱をなす。果實は概ね橢圓形をなし.先端稍膨大し.果面に縱溝及縱皺を有し.一見佛手柑の如き外觀を呈す。內部の先端に近き部分に.唯1個の稍大形.扁平の種子を有す。この種子は軟弱にして果肉と分離し難きものなり。〔花色〕淡黄色或は淡綠色。〔花候〕秋。〔原產地〕西印度。 (6圖版-52)

人生との關係 墨西哥及西印度地方の原產種にして.亞弗利加及印度等の熱帶地方にては廣く栽培せらる。本邦には大正6年2月初めて米國より鹿兒島に渡來し.隼人瓜と稱せられ.爾來漸次注意を惹きつゝある菜果なりその果は肉質緻密にして.胡瓜.越瓜等の代用として生食.或は漬物に適し.又煮物用としても美味なりとす。又その嫩梢.塊根.種子等も食することを得.一種の風味を有す。特に生果のまゝ翌春迄の貯藏に耐へ.果菜に乏しき冬季間の蔬菜として頗る珍重せらるゝものとす。

隼人瓜の品種と其栽培法

隼人瓜には.果の外皮に綠白色を呈するものと.白色を呈するものとの2種あり。形質は略同様なれども.白色種の方綠色種より稍早生にして.纖維少く.品質優良なるものなり。

隼人瓜の栽培法

隼人瓜は.生育期間中は高温なることを要し.霜に遭へば忽にして莖葉凋萎し.遂に枯死するに至るものなり。土質は.乾燥を忌み.適度の濕氣を有する肥沃なる埴質壤土を好むものなり。

隼人瓜を栽培するには.温暖なる地方ならば.秋末莖を地上9糎（三寸）許の長さの所にて切斷し.少しく覆土し.更に籾殼或は藁•菰の如きものを覆被し.充分に防寒を行へば.完全に越年し.翌春地下の塊根より發芽するを以て.莖1-2本を殘し.他は株分けすることを得。

普通には.稍完熟したる果を貯藏し置き.3月中•下旬.種子を果より取出すことなく.果其儘を素燒鉢.又は木箱内に床土を入れたるものに.花痕を下にし.斜に半ば程埋め温床内に埋置し.切藁を被ひ置く。但し暖地に於ては.四月上旬.温床に播下するを普通とす.發芽日數は相當に長きものなれど.僅かに發芽する迄は灌水せざるを可とす。幼苗は其生育頗る緩漫なるものなれども.苗の高さ25糎（八寸）内外に達したる時定植するを可とす。

本圃は.定植3-4週位以前.9-10米（5•6間）平方に7個宛.徑90糎（3尺）深さ30糎(1尺)位の植孔を穿ち.1植孔に對し.堆肥37瓩（10貫）.油粕3.7瓩（1貫）過燐酸石灰1.8瓩（0.5貫）を施し.土とよく攪拌混合し.更に定植に際し.木灰3.7瓩（1貫)下肥20瓩（6貫）位を施し.これに1株宛鉢土を落さざる樣.叮嚀に植付くべし。苗が活着せし時.第1回補肥として.下肥7.5瓩(2貫）内外を施し.爾後1ヶ月隔に2-3回補肥を施すものとす。整枝法には.棚に誘引する方法と.敷藁を施し.地面に匍匐せしむる方法とあれども.1.5-2米（5-6尺）位の高さに棚を架して誘引する方.良結果を得らる。本瓜は孫蔓以下に結果する性質を有するものなれば.苗床内にて本葉5-6枚を生じたる時.4-5葉を殘して摘心し.子蔓2-3本を立て.定植後子蔓を棚の直下にて摘心し.6-7本の孫蔓を發生せしめ.之を棚上に誘引する樣にすべし。その他の管理法としては.夏季乾燥の甚だしき時.根邊に敷藁を施し.屢ゝ灌水を行ふ事.及莖の基部より發生する腋芽は.必ず掻き取ることに注意する等とす。

斯くすれば.九月上旬に開花し.10月上旬より收穫を始め得らるゝなり。果は完熟すれば.肉質を硬化するものなれば.未熟の中に採收することを必要とす。種瓜とするものは.完熟少し以前に採取し.箱又は籠に切藁又は籾殼と共に詰め込み.冷涼なる所に貯藏すべし。

1株の收量は.300-500箇を普通とすれども.栽培宜しきを得たるものは1000箇以上に及ぶことあり。（飯田）

15. オホスズメウリ屬 THALADIANTHA.

781. ひめからすうり 王瓜（朝•支）赤雹（支） ヘウタン科
Thladiantha dufia, *Bunge.*

（異名）おほすずめうり・のうり・きばなからすうり 〔形態〕山野に自生する多年生の蔓草にして.雌雄異株なり。莖は單一の卷鬚を有し.葉は廣卵形にして.基脚は深く心臟形をなし.不齊の齒牙緣を具へ.上面に粗毛を布く.雄花は葉腋上に單生し.小梗には多毛を有す。蕚は短鐘形をなし.裂片は線形を呈す。花冠は鐘形にして5深裂し.各裂片は長橢圓形をなし.外反す。雄蕊は2箇づゝ接近し.假雄蕊は線形をなす。雌花も亦單生し.蕚及花冠は雄花の如くなるも.鱗片を缺除し.假雄蕊5個を有し.花柱は圓柱形をなし.先端3岐す。果實は球形の漿果にして赤熟す。〔花色〕鮮黄色。〔花候〕夏。〔原產地〕支那・朝鮮・滿洲。 (6圖版-53)

人生との關係 鮮滿の山野に遍生する植物にして.彼の地の人は其嫩芽を茹て菜となし.根部よりは一種の澱粉を製し.赤熟の果實は生の儘にて食用に供す。藥材としては.根部を煎服すれば.便通.利尿.その他婦人病に效ありとして盛に應用す。

16. カラスウリ屬 TRBCHOSANHTES.

782. からすうり 烏瓜・王瓜（和）(6圖版-54) ヘウタン科
Trichosanthes cucumeroides, *Maxim.*

（異名）たまづさ・むすびじやう・ぐどうじん・きつねのまくら
〔形態〕路傍.林側等に自生多き多年生蔓草なり。雌雄異株.全株糙澁なり。根は多肉にして塊形をなし.數塊相連りて長く土中に蔓延す。莖は纖長にして線稜を有し.長さ4-5米（10-15尺）許に達し.單一の卷鬚を有し.これによりて他物に攀緣す。葉は長さ15-18糎(5-6寸).卵形にして多角或は掌狀に3-5淺裂し.若しくは深裂し.不明瞭なる齒牙緣をなす。雄花は短梗上に3花乃至15花を攢簇す。蕚は筒狀となり長さ6糎（2寸）餘.本細く末漸く太く.上緣に爪様の蕚片5箇を有す。花冠は盆形をなし5裂し.各裂片は卵狀披針形をなし.邊緣は細裂し絲狀をなす。3雄蕊を有し.花冠の筒部の內面に着き.葯は相接し.淡黄色にして花心を塞く。雌花は3個の假雄蕊及1花柱を有し.柱頭は3裂し.淡黄色を呈し花喉に立つ。果實は漿果にして橢圓形をなし.冬月朱紅熟す。種子は淡灰黄黑色をなし.縱に輪層を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係 根より澱粉を取る。果實は陰乾にして貯へ皮膚を洗ふに用ふ。又種子を炒り醬油にて煮食す。

783. きからすうり 括樓・天瓜・天圓子（支•朝） ヘウタン科
Trichosanthes japonica, *Regel.* (6圖版-55)

〔形態〕前種と同様多年生の蔓草なり。雌雄異株。前種カラスウリに比し彼は單一の卷鬚を有すれども.本種のものは3-4岐し.葉は滑澤にして.3-5深裂し.彼の雄蕊は3箇なれども.本種は4箇を有す。其他本種の漿果は殆んど球形をなして黄熟し.種子は雁扁し.輪紋帶を缺く等.彼と異れる特徵とす。〔花色〕白色。〔花候〕8月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球

朝鮮・滿洲。

人生との關係　冬月、根を堀り取り水飛し、澱粉を製す。これを天花粉と稱し、漢法の藥品とす。凶歲には山民その根を堀り取り、「うりね」と稱し、搗き碎きて水飛し、米、麥等の粉に和し、餅として食ふ。嫩果は醬藏、又は鹽藏し食用に供す。朝鮮、滿洲の山野にも廣く分布し、之れが利用法等殆んど內地と同樣なれども、彼の地にては種子より點燈用の油を搾取すと。

784. **もみじからすうり** (7圖版-56)…… ヘウタン科
Trichosanthes multiloba, *Miq.*

〔形態〕多年生の蔓草にして、雌雄異株なり。本種の卷鬚は2岐し、葉は3裂又は5-9深裂して掌狀をなし、各裂片は披針形或は長橢圓形、銳尖頭をなし、細齒牙緣或は鈍齒牙狀淺裂をなす。雄花は總狀花序に排列し、苞は卵形又は倒卵形にして深き鋸齒を有す。萼は倒圓錐形、裂片は線形をなす。果實は6-9糎(2-3寸)大にして、廣橢圓形、銳頭、銳脚をなし、熟すれば鮮紅色を呈し、橙黃色の線條を現出し、果肉は綠色にして、中に多種子を藏す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

785. **おほからすうり** …… ヘウタン科
Trichosanthes shikokiana, *Makino.*

〔形態〕林野に自生する多年生の蔓草にして、雌雄異株なり。莖は卷鬚を有し、葉は長柄を有し、5-7裂す。花冠は長く、苞は大形にして多數を着く。花冠の裂片はカラスウリの如く細裂す。果實は6-9糎(2-3寸)大にして廣橢圓形をなし、赤色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

786. **りうきうからすうり** …… ヘウタン科
Trichosanthes miyagii, *Hayata.*

〔形態〕多年生の蔓草にして、雌雄異株なり。莖は多溝にして纖質をなす。葉は葉柄を有し、圓三角形、鈍端、基脚は廣心臟形或は截脚にして稚全緣。長さ及徑は約9糎(3寸)許、上面に細瘤起點を滿布す。卷鬚は腋出にして3岐す。雄花は無梗、萼筒は漏斗狀圓柱形をなし、先端5裂し、各裂片は線形をなす。瓣片は5個にして倒卵形をなし、長さ12糎(4分)許、邊緣は細裂し、外面に毛茸を有す。〔分布〕琉球。(據植總)　(7圖版-57)

787. **けからすうり** …… ヘウタン科
Trichosanthes anquina, *L.*

〔形態〕一年生の蔓草にして、雌雄異株なり。葉は稍圓形にして3-7裂し各裂片は卵狀橢圓形をなし、上面に粗毛を散生し、下面に褐色の短毛を密布す。雄花は總狀花序をなし、雌花は單生す。瓣片は長橢圓形をなし、緣邊は細裂す。果實は長圓柱形をなし、長さ往々1米(3尺)を超ゆるものあり。種子は壓扁し、輪層を缺く。〔分布〕琉球。(據植總)

788. **たいわんからすうり** …… ヘウタン科
Trichosanthes formosana, *Hayata.*

〔形態〕全株粗毛を帶ぶる多年生の蔓草にして、雌雄異株なり。葉は紙樣膜質にして、長三角狀心臟形をなし、先端尖り、基脚心臟形をなす。此葉は長さ6-9糎(2-3寸)を有し、全く分裂せざるか、或は3淺裂し、全緣なるか或は稍齒牙緣をなす。雄花は腋出し、總狀花序に排列し、果實は徑6糎(2寸)許の球形果にして、頂部凸出す。〔分布〕臺灣。(據植總)

* * * * *

アカネ群

1. まつむしさう(山蘿蔔)科
DIPSACACEÆ.

本科の植物は通常草本、稀に半灌木、或は灌木にして、刺毛を有するものと、否らざるものとあり。葉は托葉を具へず、通常對生、稀に輪生す。花は通常頭狀花序に排列し苞樣の總苞を有す。萼は上生し、其緣部はコツプ狀、若しくは盤狀をなすか、或は剛毛狀の裂片に分裂す。花冠は合瓣花冠にして、4裂或は5裂し、多くは不整齊なり。其裂片は芽中に於ては覆瓦樣に排列す。雄蕊は通常4箇、稀に2箇或は3箇ありて、花冠に着生し、其裂片と互生す。雄蕊は2箇の結合せる心皮より成り、子房は下位にして、1箇の室及1箇の倒生胚子を含む。花柱は單體にして、1箇或は2箇の柱頭を有す。果實は瘦果にして、種子は胚乳を含む。

55 まつむしさう

本科に屬する植物は、多くは歐洲南部、地中海沿岸、及亞弗利加等に產出し、10屬凡そ150餘種を產すれども、我國には自生し、或は栽培せらるゝもの、凡そ2屬、4種を有するに過ぎず

本科の植物中有用なるものは **オニナベナ** なり。本植物の果實は羅紗の毛を搔き出すには、缺くべからざるものなり。

本科所載植物索引目次

オニナベナ……790　タウマツムシサウ……793　ビメカノコサウ……800
キベナマツムシサウ…793　タカネマツムシサウ…794　マツムシサウ……793
クロバナマツムシサウ797　チイゼル……791　ヤナギマツムシサウ…793
コーカサスマツムシサウ796　テウセンマツムシサウ793　ラシヤカキグサ……791
ナベナ……789　ニヒタカマツムシサウ795　リンボウギク……792
スカビオサ……796　ニヒタカカノコサウ…800
セイヤウマツムシサウ797

1. ナベナ屬　DIPSACUS.

789. **なべな** 續斷 (7圖版-58)…… マツムシサウ科
Dipsacus japonicus, *Miq.*

〔形態〕多く山地に自生する多年生草本なり。莖は刺毛を散生し、地下に直徑9-10粍(2-3分)許を有する塊莖を有す。高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は對生し、膜質をなし、羽狀に全裂し、各裂片は卵形、或は狹長橢圓形にして先端尖り、楔脚或は銳脚をなし、鋸齒緣を具へ、兩面に刺毛を布く。頭花は小形にして、球形に着生し、總苞片は線形。小苞は膜質、廣闊にして、截頭楔脚、先端芒をなし、芒緣に刺毛有し、且つ細毛を布く。小總苞は倒圓錐形をなし、4稜を有し、上端には絨毛を密布す。萼は杯形、花冠は4裂し、外面絨毛を帶ぶ。雄蕊は4箇を有し、花冠に着生し、花柱は疳長なり。〔花色〕帶紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本邦各部・九州・朝鮮・滿洲。

790. **オニナベナ** (7圖版-59)…… マツムシサウ科
Dipsacus sylvestris, Mill.

〔形態〕本邦には觀賞用として栽培せらるゝ二年生草本なり。莖は高さ0-6-2米(2乃至6-7尺)に達し、強勁にして多くの溝條、及多くの刺を有す。根生葉は倒披針狀橢圓形にして、刺毛を粗生し、莖葉は披針形をなし、對生

し、基脚合生す。この葉は下面の中肋に刺を有す。頭花は廣楕圓形にして、長さ6-9糎(2-3寸)に達し、多數の總苞片を有し、綠形、草質にして多くの刺を直生し、往々頭花より超出す。頭花内の小苞は、長楕圓形にして針頭をなし、概ね花冠より超出す。〔花色〕殆ど白色かと見ゆる淡紫色。〔花候〕秋。〔原産地〕歐羅巴。

791. ラシカキグサ (7圖版-60)…… マツムシサウ科
Dipsacus Eullonum, L.

(異名) チーゼル　〔形態〕本邦には專ら畑地に栽培せらるゝ一年生草本なれども、本種の果實は、毛布製造の際、その纖維を掻出すに、缺くべからざる工業用品なれば、獨逸、佛蘭西、英吉利等に於ても盛に培養せらるゝ一種の栽培植物なり。前種オニナベナに比するに、本種の葉は楕部のみに刺を生じ、葉は頗る狹く、緣邊殊に尖鋭なる突起狀齒牙をなす。總苞片は平開し、先端部反捲す。頭花内の小苞は、末端鉤曲し、花冠より超出せざるものなり。

人生との關係　本植物の原種は、希臘地方に野生品頗る多く、冬季、他草本の落葉したる後、本植物の種種が、平野一面に目立ちて見ゆる樣、奇觀なりとせらる。尙本植物が、夏季原野に青々と生育する際は、其葉廣く、常に其葉面に水滴を保持し、旅人は其水滴を飲用し、特に他の飲用水を使用せるよりは、一層快感を覺へ、渴を醫するに妙なるにより、彼の地に於ては、一種の神授なりと云ひ傳ふる程なり。去れど以上記述せるは原野に自生する狀態を述べたるものにして、羅紗製造の必要品としては、野生其儘のものを直ちに應用せられざるものなり。即ち本植物の特徵は、一見葉の狹長なることなり、これ培養の結果、人爲淘汰により、必要なき葉部を退化せしめ、果穗をして目的に適ふ樣にするためなりとす。即野生種に生ずる果穗は、其鉤敏弱にして、纖維を引き出す力なきものなれば、この缺點を補はんがためには、是非共人工的栽培を爲さざれば、使用に堪へざるものなり。野生種の敏弱なるは、全く肥料の不足に基因するものなれば、歐洲諸國にては、盛に之れを培養し、其需要を充す狀態なり。本品が羅紗製造業者に必要なるは、常に斯業間に金屬製の如何なる精巧品も、本品に優るもの發明する能はず。又斯業者が、自己の工場の前を運ばるゝ本品の荷車の跡が、他方に印せらるる程、自己の工場は衰退するの證據なりと悲觀する等、これ等の言は如何に本品が必需品なるかを證據立つるものなり。

本品は、英名にて「チーゼル」(Teasle, teasel)と稱し、我國にては「ラシヤガキグサ」或は極めて俗に「アザミ」と稱し、製絨業者は勿論、「綿フランネル」「伊太利ネル」「メリヤス」等の裏毛を引出すために必要なる原料なれば、その需要は頗る多大なるものなり。我國にては和歌山、茨城、千葉縣地方にて盛に栽培し市場に出す。

2. マツムシサウ屬　SCABIOSA.

792. まつむしちう　山薑菊·玉毬花·松蟲草　マツムシサウ科
Scabiosa japonica, *Miq.*

(異名) りんぼうぎく(綸錂菊)　〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖高さ60-99糎(2-3尺)に達し、全株細毛を帶ぶ。根葉は羽狀に中裂し、各裂片は倒卵形にして、鈍頭をなし、莖葉は羽狀に深裂し、各裂片は狹長にして、下方の裂片は全緣、上方の裂片は缺刻狀齒牙緣をなす。花は花軸の頂端に多數を揪簇し、頭狀花序をなす。花序の外圍に有する花は大形にして淡紫色を呈し、花形稍唇形をなし、上唇は小さくして2裂し、下唇は大形にして3深裂をなし、其中の中央裂片は長く、兩側の2裂片は短し。花序の中央にある花は小形にして、稍管狀をなし、先端4淺裂し、花色淡紫なれども殆と白色なり。總苞は披針形の苞片10數箇より成る。雄蕊は4本を有し、葯は紫褐色にして、白粉を吐く。子房は莖の内にありて、1花柱を挺出す。果實は瘦果にして、露生し、半球形をなし、每果頭5箇の尖起を有し、尖上に紫色の刺毛を有す。〔花候〕8-9月。〔花色〕本文中に記述す。(7圖版-61)

人生との關係　觀賞用として栽培し、又嫩葉を取りて浸し物とし、或は飯に和して食用に供す。朝鮮、滿洲地方に於ては夫種の如くし食用す。

793. たうまつむしさう …… マツムシサウ科
Scabiosa Fischeri, *DC*,

(異名) てうせんまつむしさう　〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。本種は殆ど前種と同樣なる品種なり。朝鮮にては單に山菜と稱し、苗葉を茹て菜となし、又山蒸として食用す。山蒸とは苗葉を搗き、糯米の粉と混じ、これを團子とし、油にて揚げたるものにて、油餅の一種なり。

〔分布〕朝鮮、滿洲。

794. たかねまつむしさう …… マツムシサウ科
Scabiosa Fischeri, *DC.* var. alpina, *Nakai*.

〔形態〕**マツムシサウ**と同樣の土地にして、高山草本帶に自生する一種に屬し、概形彼に酷似すれども、本種は彼に比し、形態は全體矮性にして、花色は稍淡色を呈す。〔花候〕8月頃を普通とす。

795. にひたかまつむしさう …… マツムシサウ科
Scabiosa lacerifolia, *Hayata*.

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は疎に枝を分ち、高さ9-18糎(3-6寸)に達し、葉は稍莖を抱き、綠狀披針形をなし、邊緣は齒牙狀或は不齊に分裂し、長さ4·5-6糎(1·5-2寸)を有す。頭花は長梗によりて頂生し、花形壓扁形にして、徑3糎(1寸)許を有す。總苞片は3列し、稍披針形をなし、薄質を呈す。萼は緣部5刺毛に分裂す。邊花は總苞より超出し、花冠は5裂し、唇形をなす。果實は瘦果にして宿存萼を冠す。〔花色〕白色に近き淡紫色。〔花候〕不定。〔分布〕臺灣殊に新高山。

796. コーカサスマツムシサウ …… マツムシサウ科
Scabiosa caucasia, Bieb.

(異名) スカビオサ　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は高さ34-45糎(1·5寸)内外に達す。基部に生ずる葉は、細き披針形をなし、上部に生ずるもの羽狀に分裂し、全體に粉白或は白色を呈す。花は扁平をなし、マツムシサウより大形にして、内に結合せざる雄蕊を有す。〔花色〕淡青紫色。〔花候〕6-10月。〔分布〕「コーカサス」地方。　(7圖版-62)

人生との關係　觀賞用として栽培し、近時は切花として需要多し。

797. クロバナマツムシサウ …… マツムシサウ科
Scabiosa atropurpurea, L.

(異名) せいやうまつむしさう　〔形態〕原産地は未詳に屬する一年生草本なり。莖は分枝性にして、高さ60糎(2尺)許に達す。根生葉は披針狀卵形にして羽裂し、この裂片は頭部大形をなし、邊緣齒牙をなす。莖葉は羽狀に深裂し、各裂片は長楕圓形をなし、邊緣齒牙狀をなすか、或は更に分裂す。頭花は長梗を有し、卵形或は長楕圓形をなす。

〔花色〕暗紫色、或は紅色、白色を呈するものあり。〔花候〕7-8月。

56 クロバナマツムシウ

人生との關係　前種と同樣觀賞用として栽培す。殊に近時都會に近き土地にて盛に培養し、切花として市中に出す等需要多き草花なり。

798. ヤナギマツムシサウ …… マツムシサウ科
Scabiosa orientalis, Leg.

〔形態〕本邦には園藝種として栽培せらるゝ一年生草本なり。葉は長楕圓形にして、缺刻狀緣或は全緣をなす。總苞は圓柱形をなし、苞片は5-10箇を有し、披針形にして直生す。花も亦5-10箇を有し、邊花は總苞より長し。〔花色〕暗紫色。〔花候〕7-8月。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　前種と同樣專ら觀賞用として栽培す。

3. キバナマツムシサウ屬　CEPHALARIA.

799. キバナマツムシサウ (7圖版-63)…マツムシサウ科
Cephalaria procera, Fisch. et Lall.

〔形態〕本邦には園藝植物として、栽培せらるゝ多年生草本なり。莖は翼を有し、高さ1·5-2米(5-7尺)に達す。葉は羽狀に全裂し、各裂片は卵狀披針形をなし、鋸齒緣を具ふ。頭花は直生す。小總苞は4稜をなし、溝狀の凹所を有し、邊緣に不等長の芒を生ず。小苞は銳尖頭をなし、絨毛を布く。萼は邊緣4稜をなし、且つ細裂す。花冠は4裂し、柱頭は分岐せず。果實は方柱形をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕4月。〔原産地〕西部亞細亞。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培し、切り花としても需要多し。

4. ヒメカノコサウ屬　TRIPLOSTEGIA.

800. ひめかのこさう (7圖版-64)…… マツムシサウ科
Triplostegia glandulifera, *Wall.*

(異名) にひたかかのこさう　〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は高さ15-60糎(0·5-2尺)に達し、稍部には腺毛を帶ぶ。葉は長柄を有し、長楕圓形にして、羽狀に接近中裂し、裂片は5-7片を有し、粗鋸齒緣をな

PL. 7

56 もみぢからすうり　57 りうきうからすうり　58 なべな

59 おになべな　60 ラシヤカキグサ　61 まつむしさう

62 コーカサスマツムシサウ　63 キバナマツムシサウ　64 ひめかのこさう

し.有毛なり。花は疎に聚繖花序をなして着生し. 花冠は漏斗狀をなし. 先端5裂.平開し.雄蕊は4箇ありて花筒の基脚に着生す。果實は瘦果にして短嘴をなし. 不明の4肋を有し. 宿存萼を冠す。〔花色〕紅紫色〔花候〕不詳。〔分布〕臺灣。(據植總)

＊　＊

2. をみなへし(敗醬)科
VALERIANACEÆ.

本科に屬する植物は. 概ね草本. 稀に半灌木. 或は灌木なることあり。葉は對生し.托葉を有せず。花は兩性.或は單性にして.相稱ならず。花序は2出聚繖花序. 又は中軸の短縮によりて叉分せるが如く見ゆる. いはゆる僞繖花序狀をなし. 各花は殆ど常に基部に於て僅に合着せる2箇の小包を有す。萼は上生にして.共緣部.花時に於ては僅に發達すれども. 多くは花後增大して冠毛を生じ開出するものあり。花冠は上位にして. 5稀に3分裂し. 下部に合着して合瓣花冠をなし.基底に往々疣.叉は距を有す。雄蕊は1-4箇ありて. 花冠の筒部に着生し.その裂片と互生し.葯は內向す。子房は3箇の結合せる心皮より成り.常型としては3室を有すれども.常にその中1室のみが完全に發達し. 內に1箇の倒生卵子(胚珠)を有するのみにして. 他の2室は往々退化するものなり。花柱は合一して單體をなし.1-3分せる柱頭を有す。果實は乾果にして.1箇の無胚乳種子を含む。

75 かのこさう

本科の植物は. いづれも敗醬酸(Valeriana acid)を含む。概ね北半球に廣く分布する植物にして. 凡そ9屬. 350餘種あれども. 我國には野生するもの.栽培するものにて. 4屬. 15種餘を產するに過ぎず。その植物には觀賞に供するもの.藥用に供するもの等.人生に必要なるもの尠からず。

本科所載植物名目次

アハバナ……803	ヲミナメシ……803	ノヂシヤ……815
ウスベニカノコサウ…802	カノコサウ……813	ハクサンヲミナヘシ…806
エゾキンレイクワ……808	キンレイクワ……806	ハルヲミナヘシ……813
ヲトコヲミナヘシ……805	コキンレイクワ……807	ヒガノコサウ……801
ヲトコヘシ……804	タカネヲミナヘシ……810	フラットス……801
ヲトコメシ……804	チシマキンレイクワ…810	マルバキンレイクワ…808
オホキンレイクワ……809	チチグサ……803	ミヤマカノコサウ……814
オホツチ……804	ツルカノコサウ……811	ヤウシユカノコサウ…812
オホバヲミナヘシ……808	ナガバノカノコサウ…802	ヤマカノコサウ……811
ヲミナヘシ……803	ノヂサ……815	ロングチユベツト……801

1. ベニカノコサウ屬　CENTRANTHUS.

801. **ベニカノコサウ** (8圖版-65)……………ヲミナヘシ科
Centranthus ruber, DC.

(異名) ヒガノコサウ・フラットス・ロングチユベツト　〔形態〕園地に栽培せらゝる多年生草本なり。全株無毛種に屬し.白粉を裝ふ。莖は高さ30-90糎(1-3尺)に達し. 根生葉は披針形をなし. 莖葉は卵形或は披針狀卵形にして先端尖り.全緣なり。花は複房狀花序をなして着生し. 萼は5裂し.各裂片は狹長.花冠は盆狀にして5裂し.各裂片は長楕圓形.鈍頭をなし.距に對する1片は他より長し.距は子房より長し。雄蕊は1箇を有し.濃紫色を呈す。果實は長楕圓形にして.壓扁し. 橄欖色を呈し. 白色羽形凋落生の毛冠を有す。〔花色〕紅色を普通とすれども.時に白色のものを見ることあり。稀に白色花を見ることあり。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　本邦にては專ら觀賞用として栽培す。

802. ウスベニカノコサウ ……………ヲミナヘシ科
Centranthus macrosiphone, Boiss.

(異名) ながばかのこさう　〔形態〕前種と同樣南部歐羅巴に原產する彼は二年生なれども.本種は一年生草本なり。全株黃白色を呈し. 高さ30-60糎(1-2尺)に達し.葉は厚質.卵形にして.粗鋸齒緣をなす。本種は花色淡紅色を呈し美麗なり。

人生との關係　前種と同樣觀賞用として栽培する園藝草本なり。

2. ヲミナヘシ屬　PATRINIA.

803. **をみなへし**　敗醬(草)(朝鮮) 女郞花(和)　ヲミナヘシ科
Patrinia scabiosaefolia, *Link.*　(8圖版-66)

(異名) ちめぐさ・をみなべし・をみなめし・ちちぐさ・あはばな
〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は直立し.高さ60-90糎(2-3尺)に達し.全株疎に毛茸を帶ぶ。殊に樺太地方のものは毛深し。根生葉は長柄を有し. 卵形又は長楕圓形にして. 犬牙狀の粗鋸齒緣をなし. 莖生葉は概ね羽狀に深裂し. 1-5對の裂片に分たれ頂片は頗る長大.各裂片は通常線形.或は長楕圓形.或は披針形をなし.先端尖り.全緣又は粗鋸齒緣をなす。花は徑約3粍(1分)許にして.圓錐狀をなせる2出聚繖花序をなし.花梗に2列の細毛を有す。小包は線形にして.その緣邊に毛茸を有し.萼は鈍齒緣を有す。花冠は短濶なる鐘狀部と. 5裂せる舷部とより成り.各裂片は楕圓形にして.鈍頭を有し.平開し.咽喉部に毛茸を有す。雄蕊は4箇を有し.花冠より超出し.花絲は細長くして毛茸を有す。葯は長楕圓形にして內向し.黃色を呈す。雌蕊は1箇.花柱は花冠より短く.子房は3條の縱溝と3稜とを有す。果實は殆ど無柄.楕圓形にして. 3稜を有し.無毛にして.大さ約3粍(1分)許を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕秋。〔分布〕本邦各地·滿洲。

人生との關係　移植栽培し.觀賞に供す。又切花とし.挿花等に使用し雅趣あるものとして珍重せらる。本植物の根部は腐敗せる豆腐の臭氣あるを以て敗醬と名付くといふ。朝鮮にては嫩葉を茹て菜となし. 又生の儘飯に混じ食す。藥劑としては癰及婦人血の道に効ありとして根部を煎用す。

804. **をとこへし**　男郞花　(8圖版-67)……ヲミナヘシ科
Patrinia villosæ, *Juss.*

(異名) おほつち・をとこめし・をとこべし　〔形態〕前種と同樣なる多年生草本なり。莖の基部より生ずる匐枝は所々より新條を出して繁殖し.全株短毛を密布し.粗糙なり。莖は直立し.高さ60-90糎(2-3尺).時に1·2-1·5米(4-5尺)に達するものあり。葉は柄を有し.概ね卵形にして.羽狀に分裂或は分裂せず.邊緣齒牙狀をなす。花は白色にして. 2出聚繖花序をなし.花冠は鐘形にして先端5裂し.各裂片は卵形にして銳頭をなす。この5裂片の內2片は稍小形なり。花冠は咽喉部に白毛を有す。雄蕊は4箇.花絲は鐘狀部に着生し.葯は淡黃色にして內向す。雌蕊は1箇.子房は楕圓形をなし.花柱は彎曲して.花冠の小裂片上に出づ。果實は倒卵狀楕圓形にして.3稜を有し.これに接して圓形の翼あり。これ子房の基部に合着せる2箇の小苞が增大せるに外ならざるものなり。〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔分布〕前同。

805. をとこをみなへし ……………ヲミナヘシ科
Patrinia hybrida, *Makino.*

〔形態〕九州地方に多く產出する多年生草本なり。本種はヲトコヘシとヲミナヘシとの中間種にして.全株に細毛を散生す。莖は直生し.高さ0·9-1·2米(3-4尺)に達し.上方に小枝を分つ。葉は羽狀に深裂し.各裂片は各側2-3片を有す。〔花色〕花は細小にして黃色を呈す。〔花候〕秋。〔分布〕九州。

806. **きんれいくゎ**　地花菜・水莨葉敗醬(支)　ヲミナヘシ科
Patrinia palmata, *Maxim.* var. typica, *Makino.*
(*P.* *triloba*, Matsum)

(異名) はくさんをみなへし　〔形態〕高山に自生する多年生草本なり。全株稍無毛.莖は高さ33-45糎(1·0-1·5寸)許に達し.明瞭に節を有す。葉は根際に數箇を生じ.莖上にては對生す。この葉は膜質にして6糎(2寸)許の長柄を有し.托葉を缺き.心臟形にして掌狀に5深裂し.各裂片は銳尖頭をなし.粗鋸齒を有し.表面平滑.下面淡綠色を呈し.脈に沿ふて微毛を有す。花は黃色小形にして.複繖房花序をなし.花冠は漏斗狀を呈し.花筒の下部.萼に接する所に距を有す。子房は下位1室にして.1卵子を藏し.果實は楕圓形をなし.長さ3粍(1寸)許.果面に斜なる倒卵狀膜質の翅を有す。これ子房の下部に接せる小苞自長して成れるものなり。〔花色〕黃色。〔花候〕6-7月。〔分布〕本州各部·九州特に中部以北の高山。(8圖版-68

807. こきんれいくゎ ……………ヲミナヘシ科
P. palmatu, *Makino.* var. gibbosa, *Makino.*
(*P.* *triloba*, vas. *gibbosa*, *Mak.*)

〔形態〕前種と產地を同じくする多年生草本なり。概形凡て前種と同樣

なれども、本種の有する花は、花筒の基部に距を有せず、微かに膨起するを彼と異る所とす。〔花色・花候〕亦前種と略同様なり。

808. **まるばきんれいくわ**（8圖版-69）……ヲミナヘシ科
Patrinia gibbosa, *Maxim.*

（異名）おほばをみなへし・えぞきんれいくわ　〔形態〕高山に自生する多年生草本なり。全株稍無毛。莖は高さ60-90糎（2-3尺）許に達し、根生葉は長柄を有し、稍圓形を呈し、莖生葉は短柄を有し、圓卵形にして、先端尖り、基脚は心臟形、或は截脚をなし、羽狀に淺裂し、缺刻狀鋸齒緣をなす。この葉は裏面の葉脈に沿ふて毛茸を有す。花は前種キンレイクヮに同じきも花筒の下部は距をなすに至らず、稍囊狀を呈す。〔花色〕黃色。〔花候〕6-7月。〔分布〕北海道・本州中部及北部。

809. **おほきんれいくわ**……ヲミナヘシ科
Patrinia Takeuchiana, *Makino.*

〔形態〕本州中部地方に自生する多年生草本なり。莖は肚大にして直生し、高さ1·5米（5尺）許に達し、上部分枝し、その先端に花序を有す。葉は膜質をなし、長柄を有し、卵狀圓形にして3-7裂し、下面に毛茸を散生す。莖生葉は稍3-5裂し、各片裂は先端尖り、不齊の三角狀齒牙緣を有す。花は無梗、聚繖花序に排列す。苞は小線形、鈍頭にして、基部のものは大形をなし、小苞は2箇ありて、外者は離生し、內者は子房に着生す。萼は至つて短く、殆ど環の形をなす。花冠は長さ4粍（1·3厘）許にして、距を有す。子房は倒卵狀棍棒狀をなし、無毛なり。〔花色〕黃色。〔花候〕8-9月。

810. **ちしまきんれいくわ**（8圖版-70）……ヲミナヘシ科
Patrinia sibirica, *Juss.*

（異名）たかねをみなへし　〔形態〕山地の岩壁等に自生する多年生草本なり。全株短毛を布く。莖は高さ9-12糎（3-4寸）に達す。葉は倒卵形或は橢圓形にして、羽狀に深裂或は中裂し、各裂片は線狀長橢圓形乃至倒卵鈍齒牙緣或は不齊齒牙狀鋸齒緣をなす。花は黃色を呈し、複總狀花序をなす。苞は輪生にして、羽狀に深裂し、各裂片は線形をなし、毛緣を有す。小苞は線形にして、亦毛緣を有す。果實は廣倒卵形をなし、果實に接する最後の小苞は圓形膜質にして、網脈を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道の山地。

3. ヤマカノコサウ屬　VALERIANA.

811. **やまかのこさう**……ヲミナヘシ科
Valeriana flaccidissima, *Maxim.*

（異名）つるかのこさう　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。全株無毛種に屬し、莖は軟弱にして、甚だしく匍匐枝を出す。根生葉は長柄を有し、多數簇出し、莖葉は無柄にして、羽狀に全裂し、各裂片は1-3對をなし、卵形鋭頭にして、基脚圓形或は截形をなし、波狀齒牙緣をなす。花は細小にして、複繖房狀花序に排列す。花冠は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は卵狀を呈す。雄蕊は3箇。苞は初めは不明瞭なれども、後には生長し、冠毛となる。果實は長味がいりたる卵球形なり。〔花色〕淡紅色或は紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣・朝鮮・滿洲。（8圖版-71）

812. **やうしゅかのこさう**……ヲミナヘシ科
Valeriana officinalis, *L.*

〔形態〕內地には栽培せらるゝ多年生草本なり。全株無毛なるか或は脚部にのみ稍毛を有するものあり。莖は高さ0·6-1·5米（2-5尺）に達す。葉は何れも羽狀に分裂し、根生葉の裂片は卵狀長橢圓形をなし、莖生葉は披針形にして、先端尖り、各裂片は何れも7-10對にして、齒牙狀の鋸齒を具ふ。花は房狀花序をなして着生し、廣圓錐狀をなす。本花は芳香を有す。〔花色〕花は多數に着生し、白色或は淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

58 ヤウシュカノコサウ

813. **かのこさう**　繖草（8圖版-72）……ヲミナヘシ科
Valeriana officinalis, *L.* var. latifolia, *Mig.*

（異名）はるをみなへし　〔形態〕山地に自生し、又亞細亞、歐羅巴にも自生、或は栽培品を見る多年生草本なり。地下に肥厚せる根莖を有し、匍枝を地中に曳く。葉は奇數羽狀に分裂するか、或は奇數羽狀複葉にして對生す。小葉は披針形にして、緣邊鋸齒をなす。花は小形にして少しく不整齊なる合瓣花冠を具へ、繖房狀の聚繖花序に排列す。雄蕊は3筒を有し、雌蕊は1箇の卵子（胚珠）を含める下位子房を有す。本種の萼は隆起して輪緣をなし、花後開舒して毛冠となり脫落す。果實は淡橄欖色を呈し、狹長にして扁扁し、肋脈數條を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕樺太・北海道・本州各部及九州。

人生との關係　本植物の根莖を根と共に採集し、乾燥したるものを藥用に供す。本品は「ヒステリ」其他の神經痛に用ひ、時に婦人の鎭痙藥として効ありといふ。本邦藥局方製劑には繖草丁幾あり。又根部浸劑をも使用せらる。（神谷）

カノコサウの栽培法　生藥採集の目的を以て、各地に栽培せらる。其栽培法は、10月上旬株分けを行ひ、畦幅60糎（2尺）、株間30糎（1尺）に植付け、翌年5月及6月の2回中耕を行ふ。肥料は元肥として堆肥、下肥、米糠等を與へ、追肥は主として下肥を與ふ。5月上旬花穗の抽出するに至り、地上9糎（3寸）許の處より莖を切り取り、根の肥大を圖る。8月下旬收獲す。主なる生產地は神奈川、群馬、長野、埼玉の諸縣とす。

814. **みやまかのこさう**……ヲミナヘシ科
Valeriana Kawakamii, *Hayata.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。全株無毛種にして、頗る香の強き小草本なり。葉は莖脚に接近して著生し、倒卵狀楕形にして羽狀に全裂し、頂片は卵形或は鏃狀に3裂し、各裂片は倒卵狀長橢圓形をなす。側裂も亦倒卵狀長橢圓形をなし、上方の裂片は大、下方の裂片は小形にして、何れも稍全緣なり。花は無梗にして聚繖花序をなす。花冠は筒狀鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は長橢圓狀三角形をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

4. ノヂシャ屬　VALERIANELLA.

815. **ノヂシャ**（8圖版-73）……ヲミナヘシ科
Valerianella olitoria, Moench.

（異名）ノヂサ　〔形態〕諸國これを培養する一年生草本なり。莖は軟弱にして、平滑或は柔毛を疎生し、直立又は斜上し、高さ45糎（1·5寸）許に達す。この莖は基部より分岐し、分枝また極を分つ。根生葉は倒披針形を呈し、夙く枯凋する性を有す。莖生葉は倒披狀長橢圓形にして對生し、2葉の基脚は稍合生し、莖を抱擁す。緣邊に鋸齒を有すること多し。花は甚だ小形にして、花莖の頂端に多數集り、小なる聚繖花序をなす。花は直徑6-12粍（2-4分）ありて、小さき披針形の苞を有し、この苞は平開す。花冠は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は鈍頭をなす。果實は楯圓形をなし、稜縁色に成熟す。〔花色〕紫青色のものを普通とし、又稍白色を呈するものあり。〔花候〕春・夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係　本植物の苗葉を「コーンサラダ」（Corn salad）と稱し、食用に供す。多く西洋料理に使用せらる。

*　*　*
*　*

65 ベニカノコサウ

66 をみなへし

67 をとこへし

68 きんれいくわ

69 まるばのきんれいくわ

70 ちしまきんれいくわ

71 やまかのこさう

72 カノコサウ

73 ノヂシヤ

3. れんぷくさう(連幅草)科
ADOXACEÆ.

本科の植物は平滑なる多年生草本にして.地下に根莖を有す。葉は地下莖より生ずるものと.花莖上に生ずるものとありて.前者は3出複葉.後者は單葉又は複葉にして對生す。花は小形の兩性花にして.團聚花序に排列す。花冠は整齊にして.4-6裂し.雄蕊は4-6箇ありて.花冠に着生し.其裂片と互生す。雌蕊は3-5箇の結合せる心皮より成り.子房は3-5室を有し.各室に1箇の倒生卵子(胚珠)を含む。果實は核果にして.1-5箇の有胚乳種子を藏す。

本科は凡そ1屬1種の植物を有するのみにて.北半球の温帶地方に產し.本邦にも自生品あり。

1. レンプクサウ屬 ADOXA.

816. **れんぷくさう** 連幅草 ………… レンプクサウ科
Adoxa Moschatellina, *L.*

(異名) ごりんばな 〔形態〕高山に自生すれども.稀品に屬する多年生草本なり。全體に小形なる草本にして.莖高さ僅に9-12糎(3-4寸)に過

59 れんぷくさう

ぎず。初め長柄を有する根生葉を出し.其中央より2-3本の花軸を抽出す。この莖は中間に小形の2葉を對生し.梢頭に小形白質にして.稍淡綠色を呈する4裂の合瓣花を着生す。この花の1團は4箇の小花を周緣に.1箇を中心として成るものにして.蓋ゴリンバナなる名稱も.これより出でたるものなり。この中央に有する1花は.花冠4裂し.内に8雄蕊を有すれども.輪生せる4花は花冠5裂し.内に10雄蕊を有す。果實は核果にして1-3箇の核を有す。〔花色〕白質にして淡綠色を帶ぶ。〔花候〕初夏。〔分布〕樺太・北海道・本州の北部・中部等。

* * * * *

4. すひかづら(忍冬)科
CAPRIFOLIACEÆ.

本科の植物は通常木本.稀に草本なり。莖は特立し.或は上昇す。葉は對生し托葉を有せざれども.時に絲狀或は線狀の突起をなし.葉柄の基脚に着生することあり。花は兩性.即ち兩全をなし.花冠は整齊.或は不整齊なる合瓣花冠にして5裂し.花冠の裂片は芽中に於ては覆瓦樣に排列す。萼は通常5萼片より成る合片萼なり。雄蕊は通常5箇ありて花冠の筒部に着生し.花冠の片と互生す。心皮は2-5箇ありて互に結合し.1體の複子房を形成す。子房は下位にして.室.稀に1室を有す。雌蕊通常2-5は2-5箇の柱頭を有し.各心皮に1箇.數箇或は稀に多數の倒生卵子(胚珠)を含む。果實は通常肉果にして.到果樣.或は漿果樣.稀に莢をなす。種子は肉質の胚乳と小形の胚とを有す。

60 すひかづら

本科の植物は北半球の温帶地方に多きものなれども.南半球には甚だ少く.又熱帶地方にては高山にのみ產出し.世界に產する既知のものは.凡そ10屬400餘種を算す。我國には自生種.栽培種を合し.6屬凡そ130種許あり。

本科の植物中藥用に供するもの.木材を使用するもの.觀賞に供するもの等.吾人人類に利用せらるゝもの甚だ多し。

本科所載植物名目次

アカバナツクバネウツギ……829
アカバナヘウタンボク 888
アサゲヘウタンボク…873
アヂサキバノサンゴジユ……927
アラゲガマズミ……905
イヌソゾミ……933
イヌタラエフ……926
イヌニンドウ……852
イハツクバネウツギ…827
イボタヘウタンボク…887
ウグヒスカグラ……857
ウグヒスカクレ……857
ウグヒスノキ……857
ウグヒスボク……857
ウコンウツギ……840
ウシノヒタヒ……934
ウラミウグヒスカグラ 863
エゾニハトコ……899
エゾヘウタンボク……881
エノミタンネ……888
オキナハサンゴジユ…928
オキナハハクサンボク 932
オクノウグヒスカグラ 860
ヲトコヨウゾメ……922
オニツクバネウツギ…826
オニヘウタンボク……884
オホカメノキ……933
オホシマガマズミ……917
オホチヤウジガマズミ 911
オホデマリ……935
オホニハトコ……893
オホバエゾヘウタンボク……882
オホバヘウタンボク…873
ホホヘウタンボク……883
オホベニウツギ……834
オホムシカリ……933
オホヤヘクチナシ…1005
オホリンネサウ……848
カベサウ……933
カベノキ……933
カベンサウ……933
ガマズミ……904
カメガラ……934
カラスガマズミ……919
カンボク……938
キサンゴ……926
キダチニンドウ……853
キタダ……890
ケヨノミ……867
コウグヒスカグラ……864
コウルウメ……925
コガマズミ……906
コゴメヘウタンボク…876
コツクバネウツギ……822
コネソ……922
コネヅ……934
コハクサンボク……931
コバナツクバネウツギ 819
コバノガマズミ……907
コブノキ……893
ゴマギ……924
ゴマシホヤナギ……924
コミヤマガマズミ……914
コモウツギ……89[illegible]
ゴモジユ……925
コヤブデマリ……936
サイコクガマズミ……910
サンゴジユ……926
サンゴジユボク……926
シナツクバネウツギ…831
シマガマズミ……918
シマタラエフ……926
シマハクサンボク……930
シロバナウツギ……839
シロバナノウグヒスカグラ……858
シロバナビロウドウツギ……844
スヒカヅラ……849
セイヤウニハトコ……[illegible]02
セツカコウ……92[illegible]
ソクヅ……845
ソクド……845
ソゾミ……904
ダイセンヘウタンボク 874
ダイダイイロニハトロ 897
タイワンソクズ……846
タカサゴガマズミ……916
タサタヅ……845
タチニンドウ……853
タツツキ……890
タツバ……89[illegible]
タニウツギ……838
チウゴクガマズミ……912
チシマヘウタンボク…886
チチブヘウタンボク…865
チヤウジガマズミ……912
ツキヌキサウ……903
ツキヌキニンドウ……854
ネムロフシグマ……889
ノムラヘウタンボク…877
ハクサンボク……929
ハクサンヘウタンボク 864
ハコネウツギ……832
ハゴロモニハトコ……901
ハナゾノツクバネウツギ……830
ハチヂヤウハクサンボク……931
ハナヘウタンボク……879
ハマニンドウ……852
バンザノキ……934
ヒメスヒカヅラ……850
ビラカ……933
ビロウドウツギ……843
ビロウドスヒカヅラ…851
ヒロハヲトコヨウゾメ 923
ヒロハツクバネウツギ 824
ヒロハニハトコ……896
ヒロハヘウタンボク…885
ヒロハヨノミ……869
フイリウグヒスカグラ 859
ヘウタンボク……872
ベニウツギ……833
ベニコツクバネウツギ 829
ベニツクバネウツギ…828
ベニバナスヒカヅラ…849
ベニバナヘウタンボク 888
ヘミノキ……934
ホシナシミヤマガマズミ……915
ホソバウコンウツギ…841
ホソバニハトコ……895
ホソバヤブデマリ……936
ホソバヨノミ……871
ボネチ……888
ムシカリ……933
ムラサキツクバネウツギ……829
マルバケヨノミ……868
マルバツクバネウツギ 825
マルバミヤマシグレ…921
ミヤマウグヒンカグラ 861
ミヤマガマズミ……913
ミヤマシグレ……920
ミヤマニハトコ……898
ミヤマヘウタンボク…882
メタラエフ……926
メツクリバネウツギ…820
メドギ……938

キバナウツギ……842
キバナノツキヌキニンドウ……855
キバナツクバネウツギ 822
キミノエゾニハトコ…900
キミノニハトコ……892
キンギンボク……872
クサニハトコ……845
クロバナニハトコ……891
クロバナヘウタンボク 886
クロミノウグヒスカグラ……866
ケウグヒスカグラ……86[illegible]
ケガマズミ……918
ケカンボク……940
ケツクバネウツギ……821
ケナシカンボク……939
ケナシヤブデマリ……937
ケニハトコ……894
ツクシヤブウツギ……837
ツクバネウツギ……817
ツクバネタニウツギ…818
ツシマヘウタンボク…880
テマリカンボク……941
テマリクワ……935
テマリバナ……935
テリハコバノガマズミ 908
テリハツクバネウツギ 823
トキハガマズミ……910
トリガタヘウタンボク 864
ナガヒゲヨノミ……870
ナガバガマズミ……909
ニシキウツギ……836
ニツクワウヘウタンボク……878
ニハタヅ……845
ニハトコ……890
ニヒジマガマズミ……918
ニンドウ……849
ヤマウグヒスカグラ…856
ヤブウツギ……835
ヤブサンゴ……926
ヤブデマリ……934
ヤブヘウタンボク……875
ヤヘカハ……872
ヤヘザキヘウタンボク 885
ヤヘヤマヘウタンボク 877
ヤマシグレ……921
ヤマデマリ……934
ヤマテラシ……929
ヨツヅミ……904
ヨメコロシ……872
ランバヘ……933
リンネサウ……847

1. ツクバネウツギ屬 ABELIA.

817. **つくばねうつぎ** (9圖版-74)……スヒカヅラ科
Abelia spathulata, *Sieb.* et *Zucc.* (*Linnaea spathulata, Graebn.*)

(異名) つくばねたにうつぎ 〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。高さ1·5-1·8米(5-6尺)に達し，葉は柄を有し對生す。この葉は卵形或は倒卵形にして，鋭尖頭或は鈍端をなし，上半部疎鋸齒緣を具へ，下面脈上に絨毛を生ず。花は2箇づゝ枝端に頂生し，1箇の苞，2箇の小苞を有す。萼は筒狀をなし，5分裂し，各裂片同大なり。花冠は漏斗狀をなし，雄蕊4箇を有し，花絲，花柱共に毛茸を有す。果實は宿存せる萼片を有するを以て，頗るよくツクバネの果實に似たり。故にこの和名を有す。〔花色〕帶紅黃白色。〔花候〕5月。〔分布〕本州各部·四國·九州·朝鮮。

818. おほつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia spathulata, *Sieb.* et *Zucc.* var. tetrasepala. *Koidz.*

〔形態〕前種の一變種に屬するものにして，概形彼に酷似すれども本種は花冠大形にして，長さ3·6糎(1·2分)を有し，彼は萼片5箇を有し，長楕圓形をなせども，本種は萼片4箇を有し，廣卵形を呈するものなり。
〔分布〕本州中部。

819. こばなつくばねうつぎ 新稱……スヒカヅラ科
Abelia spathulata, *Sieb.* et *Zucc.* var. micrantha, *Nakai.*

〔形態〕同じくツクバネウツギの一變種にして，概形彼に酷似すれども，本種は花冠小さく，長さ1·3-1·5糎(4-5分)を有するに過ぎざるものなり。
〔分布〕本州中部。(蜂栖 細)

820. めつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia spathulata, *Sieb.* et *Zucc.* var. subtetrasepala, *Makino*

〔形態〕同じくツクバネウツギの一變種に屬し，概形彼に酷似すれども，本種の有する萼は，彼の5裂し，各裂片同形なると異り，萼筒は同じく5裂すれども，4箇は同形にして，1箇は遙かに小形なる特徴を有するものなり。
〔分布〕本州中部及南部·四國。

821. けつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia spathulata, *Sieb.* et *Zucc.* forma. pilosa, *Nakai.*

〔形態〕ツクバネウツギの一異品に屬し，本種は彼に比し，秋季に至るも尙ほ毛を存し，萼片は5裂し，各裂片は何れも同形なるものなり。

822. こつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia serrata, *Sieb.* et. *Zucc.* (*Linnaea serrata, Graehn.*)

(異名) きばなつくばねうつぎ 〔形態〕山地に自生する落葉の小灌木なり。高さ0·9-1·2米(3-4尺)に達し，嫩枝は普通毛茸を有すれども，時に無毛。葉は短柄を有し對生し，卵形或は廣披針形をなし，不齊の細鋸齒を具へ，長さ0·9-2·4糎(3-8分)許を有し，上面は無毛或は細毛を散生し，下面は中肋上に毛茸を有す。花は2-7花を頂生し，各花は1箇の苞及2箇の小苞を有す。萼片は2-3箇ありて，楕圓形をなし全緣なるか，2叉或は少數の鋸齒緣をなす。花冠は長さ0·9-2糎(3-7分)にして，雄蕊4箇を有し，花柱は毛茸を有す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕5月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·朝鮮。

823. てりはつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia serrata, *Sieb.* et *Zucc.* var. glaberrima, *Nakai.*

〔形態〕前種コツクバネウツギの一變種にして，本種は全株に毛茸を生ぜざるものなり。〔分布〕本州中部。

824. ひろばつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia serrata, *Sieb.* et *Zucc.* var. gynocarpa, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦コツクバネウツギの一變種に屬し，其葉彼より濶大なる他子房其他に毛茸を有せず。〔分布〕前同。

825. まるばつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia serrat, *Sieb.* et *Zucc.* var. integerrima, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦コツクバネウツギの一變種に屬し，本種は其葉は廣卵形全緣をなし，萼片は2-5箇に分裂し，全緣なるものとす。

826. おにつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia serrata, *Sieb.* et *Zucc.* var. tomentosa, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦コツクバネウツギの一變種に屬し，枝條及葉面共に殊に多くの毛茸を有する種類なり。〔分布〕四國。

827. **いはつくばねうつぎ** 溲疏 (9圖版-75) スヒカヅラ科
Abelia integrifolia, *Koidz.* (*Linnaea biflora, Koehne*)

〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。高さ2米(6尺)餘に生長し，幼條には粗毛を布く。葉は短柄によりて對生し，葉身は倒卵形或は卵狀披針形をなし，先端急遽に尖り，鋭尖頭をなすか，或は鋭端をなし，基脚又鋭尖をなし全緣なるか，或は疎鋸齒緣をなす。花は枝端に2花宛頂生し，苞は線狀鑿形をなし，3裂し，中裂片最も長し。萼は筒狀をなし，萼片4箇を有し，長楕圓狀篦狀をなす。花冠は漏斗狀をなし毛茸を有せず。長さ12粍(4分)許にして，先端4裂し，各裂片は稍圓形をなし，內面に毛を有す。雄蕊も亦毛を有し，花柱は閉在す。〔花色〕白色に紅暈を帶ぶ。〔花候〕5月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·朝鮮·滿洲。

828. **べにつくばねうつぎ**……スヒカヅラ科
Abelia sanguinea, *Makino.* (*Linnaea spathulata*, var. *sanguinea, Matsum.*)

(異名) あかばなつくばねうつぎ 〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。高さ1·8-2米(6-7尺)許に達し，葉は短柄によりて對生し，卵圓形或は楕圓形にして長き鋭尖頭をなし，疎鋸齒緣をなす。長さ3-6糎(1-2寸)兩面に毛茸を散生し，往々紫色の緣邊をなす。花は双生し，梗端に細小の苞6箇を有す。萼は先端5裂し，各裂は篦狀長楕圓形をなす。花冠は鐘狀漏斗形をなし，長さ1·5-2·5糎(5-8分)あり。〔花色〕濃紅色。〔花候〕5-6月。
〔分布〕本州中部。
人生との關係 花色美麗なるを以て庭園に栽植せらる。

829. むらさきつくばねうつぎ……スヒカヅラ科
Abelia sanguinea, *Makino.* var. purpurascens, *Honda.*

(異名) あかばなつくばねうつぎ・べにこつくばね 〔形態〕前種の一變種に屬し，花色紫色を呈するものなり。〔分布〕同前。

830. **ハナゾノツクバネウツギ** (9圖版-76)··スヒカジラ科
Abelia grandiflora, Rehd.

〔形態〕園地或は鉢栽培品に供せらるゝ半落葉の小灌木にして，高さ60-糎(2-5尺)に達し，小枝は細毛を有す。葉は短柄を有し對生す。葉身は卵形にして，上部狹窄し，鈍頭をなし，鋸齒緣をなし，長さ1·5-4·5糎(5-1·5分)を有し，上面滑澤にして無毛，下面は中脈の下部兩側に白毛を有す。花穗は頂生し，多花を着く。萼片は2-5箇を有し，一部往々合生し，狹篦形をなし，淡綠色にして紅染す。花冠は鐘形をなし，先端5裂し，長さ1·5糎(5分)許，花喉に毛を有す。雄蕊は4箇を有し，花冠外に挺出せず。子房は狹長にして疎毛を有す。〔花色〕白色にして極めて淡き紅暈を帶ぶ。〔花候〕6-11月。
人生との關係 多くの小枝を分ち，各枝梢に白色花を着生する樣美觀を呈するものにして，其上花季長きものなれば鉢植として觀賞するに價値あるものなり。

831. シナツクバネウツギ……スヒカヅラ科
Abelia chinensis, R. Br.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ落葉灌木なり。葉は卵形をなし，鋸齒緣をなし，長さ1·5-3·5糎(5-1·2分)許にして，下面中肋に毛茸を有す。花は圓錐花序をなし頂生す。花冠は漏斗形をなし，長さ1·3糎(4分)許，萼片は長楕圓形をなし，長さ0·6糎(2分)許を有し，雄蕊は花冠外に挺出す。
〔花色〕白色。〔花候〕5月。

2. ハコネウツギ屬 DIERVILLA.

832. **はこねうつぎ** 錦帶花・海仙花(支)……スヒカヅラ科
Diervilla hortensis, *Sieb.* er *Zucc.* (9圖版-77)

〔形態〕多く瀕海の地に自生品を見る落葉灌木なり。高さ2-2·5米(8-9尺)に達し中空なり。幼條は毛を有せず。葉は短柄によりて對生し，葉片は厚質を呈し，卵形又は倒卵形，或は楕圓形にして普通無毛なれども，稀に葉柄及葉脈上に稍毛を有するものあり。この葉は淡綠色にして上面滑澤，邊緣は鋭き鋸齒をなす。花は聚繖花序をなして，腋生或は頂生し，苞及小苞を有すれども，早落性なるか，或は葉狀をなして宿存す。花冠は筒狀漏斗形をなし，果實は蒴果にして長楕圓形なり。〔花色〕初め白色なれども，後，次第に淡紅色となり，終には紅色に變ず。又初めより紅色花を混生するものあり。〔花候〕6月。成果10月。〔分布〕北海道·本州各部·朝鮮·滿洲。
人生との關係 本植物の花は美觀を呈するものなれば，庭園に栽植し觀賞に供す。

833. べにうつぎ……スヒカヅラ科
Diervrilla japonica, *Miq.* (*D. amabilis, Plancnch.*)

〔形態〕山麓，丘陵等に多く自生する落葉灌木なり。高さ30-45米(1-1·5丈)に達し，枝條は稍無毛なり。葉は倒卵形にして，長さ9糎(3寸)許にして，稍滑澤なれども，主脈は葉柄と共に毛を有す。萼及花梗も亦毛を有す。花冠は鐘狀筒形をなし，長さ3-3·8糎(1-1·3寸)許。蒴は長さ18糎(6寸)餘。種子は翼を有す。〔花色〕本種は初めより鮮紅色を呈す。〔花候〕夏。
〔分布〕本州中部。

834. オホベニウツギ……スヒカヅラ科
Diervilla florida, Sieb. et Zucc.

(異名) オホタニウツギ・カラタニウツギ 〔形態〕支那の原產にして庭園に栽植せらるゝ落葉灌木なり。枝條には2列の毛茸を有す。葉は短柄によりて對生し，楕圓形乃至倒卵形をなし，鈍鋸齒緣を具へ，長さ4·5-9糎(1·5-3寸)に達し，上面中肋及下面脈上に毛を有す。花は1-4箇着生し，花冠は廣鐘形をなし，中部以下は急激に狹搾す。萼は5中裂し，各裂片は披針形をなし，稍無毛。子房は稍毛を有す。〔花色〕淡或は濃紅色。〔花候〕夏。栽培植物。

835. **ツクシヤブウツギ**……スヒカヅラ科
Diervilla japonica, *DC.* (*D. versicolor, Sieb.* et *Zucc.*)

61 ツクシヤブウツギ

〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。幼條には短毛2縱列に生じ，葉柄には短毛を布く。葉身は卵形或は楕圓形にして先端尖り，基脚は鈍或は鋭尖脚をなし，細鋸齒緣を具ふ。花は腋出或は單生し，稍無梗なり。苞は線形をなし，萼は5深裂，或は全裂し，各裂片は線形をなす。花冠は長さ約3糎(1寸)許。雄蕊は花冠より短く，花柱は挺出す。〔花色〕初め黃色を呈すれども，後，赤色に變ず。〔花候〕5月。〔分布〕九州·朝鮮。
人生との關係 庭園に栽植し觀賞に供す。

836. やぶうつぎ……スヒカヅラ科
Diervilla floribunda, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。高さ1·5-3米(5-10尺)に達し，幼條には2條の毛線を有す。葉は柄によりて對生し，葉身は卵形或は楕圓形にして，長き鋭尖頭をなし，基脚圓く，鈍鋸齒緣を具へ，上面脈上と，下面及葉柄に毛茸を有す。花は殆んど花梗を有せず，腋生す。この花は線形を呈する早落性の苞，及先端5裂し，各裂片線形をなせる萼を有す。花冠は狹漏斗狀をなし，長さ約3糎(1寸)許を有し，子房と共に外面に毛茸を密生す。雄蕊は4箇ありて，花柱は花冠外に挺出す。蒴は長さ1·3-2糎(4-7分)あり。種子は翼を有す。〔花色〕濃紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·朝鮮。
人生との關係 觀賞用として庭園に栽植せらるゝことあり。

837. **にしきうつぎ** 路邊花(支) (9圖版-78)··スヒカヅラ科
Diervilla floribunda, *Sieb.* et *Zuss.* var. versicolor, *Rehd.* (*D. dacora, Nakai.*)

〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。高さ2-2·5米(7-8尺)に達し，幼條は無毛なるか，或は2條の毛線を有す。葉は有柄にして對生し，葉身は長卵形或は楕圓形にして，基脚は楔形をなし鋸齒緣を具ふ。上面は脈上に毛を有し，下面は中肋上に毛茸を密生す。花は梢上葉腋上に數花宛簇生す。この花の有する苞は線形をなし，萼筒は無毛或は，有毛にして，裂片は線形をなす。花冠は筒狀の漏斗形をなし，雄蕊は花冠の裂片と同長，花柱は花冠外に挺出す。蒴は稍彎曲し，種子は翼を有す。〔花色〕花冠は初め帶綠色なれども，後，白色に變ず。稀には最初より紅色を呈するもの，或は同一花叢の內に紅，白花混生し，美觀を呈するものなり。〔花候〕5月。〔分布〕本州南部及中部·四國·九州·朝鮮。
人生との關係 花色美觀を呈するものなれば，到處庭園に，或は鉢植に移中部及植栽培し觀賞に供せらる。

838. **たにうつぎ** 楊櫨(支)……スヒカヅラ科
Diervilla hortensis, *Sieb.* et *Zucc.* (*D. japonicc, DC.*)

〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。高さ1·8-2米(6-7尺)餘に達し，嫩枝には短毛を布く。葉は短柄を有し對生し，卵形，倒卵形或は楕圓形にして，先端尖り，細鋸齒緣をなし，上面には細毛を散生し，下面，殊に脈上に絨毛を密生す。花は聚繖花序に排列し，腋出或は頂生す。この花は線形の小苞を有し，萼片5箇ありて，線形をなし，離生す。花冠は漏斗狀をなし，先端5裂し，雄蕊は5箇ありて，花筒の內部に着生し，花冠と稍同長。花柱は花冠外に挺出す。蒴は圓柱形をなし，多數の孤子を藏す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕5月。〔分布〕北海道·本州各部·四國·支那。
人生との關係 觀賞用として庭園に移植栽培するものなり。

839. しろばなうつぎ……スヒカヅラ科
Diervilla hortensis, *Sieb.* et *Zucc.* var albiflora, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕本種は前種の一變種にして，花色白色を呈するに過ぎず。栽培種。

62 たにうつぎ

63 うこんうつぎ

840. **うこんうつぎ**……スヒカヅラ科
Diervilla Middendorfiana, *Carr.*

(異名) あをばなのはこねうつぎ・みやまたにうつぎ・もえぎうつぎ
〔形態〕深山に自生する落葉灌木なり。全體小形にして高さ僅々1米(3尺)許に過ぎず。幼條には毛茸2縱列し，葉は極めて短く互生す。葉身は膜質を呈し，卵狀長楕圓形或は長楕圓披針形をなし，鋸齒緣をなす。この葉は網狀脈微細なる特徵を有し，兩面脈上に毛茸を有す。花は複總狀花序をなし枝端に着生す。苞は披針形或は線形をなし，萼は脣形をなし，上脣は2裂し，下脣は3裂す。花冠は鐘狀漏斗形をなし，長さ4·5糎(1·5寸)內外を有し，裂片は卵形にして，覆瓦樣をなす。葯は花柱の下部に合着し，蒴は木質をなし裂開す。〔花色〕稍綠色を帶ぶる淡黃色を呈し，花冠の基部に紅紫色の斑點を有す。〔花候〕5-6月頃。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部·朝鮮。

841. ほそばうこんうつぎ……スヒカヅラ科
Diervilla Middendorfiana, *Carr.* var. angustifolia, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し，其葉披針形或は狹披針形をなす。
〔分布〕北海道。

842. きばなうつぎ ……………………スヒカヅラ科
Diervilla Middendorfiana, *Carr.* var. Maximowiczii, *S. Moore.*(*D. Maximowicyii, Makino.*)

〔形態〕前種と同様ウコンウツギの一變種にして.本種は蕚片著しく佛襟狀をなし.花筒は狹長にして.花梗を有せず。〔花色〕黄色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

843. びろうどうつぎ ……………………スヒカヅラ科
Diervilla sanguinea, *Nakai.*(*D. hortensis, Nakai.*)

〔態形〕山地に自生する落葉灌木にして.幼條には短毛を布く。葉は柄を有し互生す。葉身は長橢圓形或は倒卵形をなし先端尖り.細鋸齒緣をなす。この葉は初め有毛なれども.後.無毛となり.下面には絨毛を布く。花梗は長く.葉腋上に着生し.短毛を有す。花冠は筒狀の鐘形をなし.雄蕊は花冠と同長.花柱は花冠外に挺出す。蒴は毛を有せず.長さ1·2-1·5糎(4-5分)許あり。〔花色〕白色或は赤色。〔花候〕5-6月。〔分布〕本州中部。

844. しろばなびろうどうつぎ …………スヒカヅラ科
Diervilla sanguinea, *Nakai.* var. leucantha, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し.花色白色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

3. ソクヅ屬 EBULUS.

845. **そくづ** 蒴藋(朝·支)(9圖版-79)……スヒカヅラ科
Ebulus chinensis, *Nakai.*(*Sambucus japonica, Blume.*)

(異名)くさにはとこ・くさたづ・にはたづ・そくど　〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は高さ1·8-2米(7-8尺)に達し.熱帶に於ては灌木となる.地下に匐枝を曳く。葉は大形なる羽狀複葉をなし.對生し.小なる托葉を有することあり。小葉は通常5-7箇を有し.廣披針形にして.鋸齒を具ふ。花は小形にして繖房花序に排列し.花の間に黄色の杯狀體を雜ふ。蕚及花冠は通常5裂し.雄蕊は5箇ありて.花冠の基部に着生す。子房は下位にして3室を有す。果實は赤色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·朝鮮·滿洲。

人生との關係　民間にては本草の煎汁を挫傷部の溫罨法に用ふれば效ありとし重用す。朝鮮.滿洲に於ても.到る處の山野に自生するものにして.彼地にては嫩葉を茹て菜となし.又茶飯として食す。又藥効も接骨木と同樣にして.その莖葉は浴湯を作り.折傷.小瘡を治するに效ありとし.盛に使用せらる。

846. たいわんそくづ ……………………スヒカヅラ科
Ebulus. formosana, *Nakai.*

〔形態〕本種は前種に比し.彼は草本なるに.本種は小灌木をなし.果實は綠色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕九州·琉球·臺灣·朝鮮。

4. リンネサウ屬 LINNAEA.

847. **りんねさう** (9圖版-80)……………スヒカヅラ科
Linnaea borealis, *L.* forma. arctica, *Nittr.*

(異名)えぞありどほし・めをとばな　〔形態〕山地樹陰濕潤の平地に自生する匍匐性の小灌木なり。全株に稍細毛を有し.匍匐莖は地上に蔓延して.長さ6-9糎乃至3·6-3·9糎(2-3寸乃至1·2-1·3寸)となり.廣橢圓形にして.上半部に鋸齒緣を有する有柄葉を對生し.長さ0·6-2糎(2-7分)許ありて.革質を呈す。花は長き細梗によりて.2花宛頂生し.一種の佳香を放つ。この花は2箇の苞及小苞を有し.蕚は球狀卵形をなし.蕚片は凋落性を有す。花冠は長さ6糎(2寸)許の鐘形をなし.雄蕊4箇を有し.2强をなし.子房は3室を有す。果實は革質にして.極めて小さく圓形をなす。〔花色〕白色のもの.淡紫色のもの.稍赤色を呈するものあり。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部·朝鮮·滿洲。

848. おほりんねさう ……………………スヒカヅラ科
Linnaea borealis, *L.* forma. guecica, *Wittr.*

〔形態〕本種は前種と共に一異種にして.前種に比し莖葉共に大形にして葉の長さ1·5糎(5分)許を有するものなり。〔分布〕本州中部。

5. スヒカヅラ屬 LONICERA.

849. **すひかづら** 忍冬草·金銀花·忍冬藤(朝·支) スヒカヅラ科
Lonicera japonica, *Thunb.*

(異名)にんどう・べにばなすひかづら　〔形態〕山野.路傍等に自生する纏繞藤本なり。全株に褐色毛を帶び.莖は細長にして.他物に纏繞し.4-5米(14-15尺)の長さに達し.下部は木質をなす。葉は柄を有し.卵形或は橢圓形にして對生し.殆ど常綠なり。花は有梗にして.葉腋上に2箇宛着生し.卵形を呈する巨大な苞を有し.同じく卵形を呈する小苞を有す。蕚は小形にして5裂し.各裂片は披針形をなし.先端尖る.花冠は長き漏斗狀をなし.深く脣裂し.長さ2·5-5糎(0·9-1·6分)許を有し.上脣は4裂す。外面稍有毛.1種の芳香を放つ。雄蕊は5箇を有し.花喉に着生し.花冠と同長。子房は球形をなし.1花柱を有し.花冠より挺出す。果實は漿果樣.球形にして双出.離生し.黑色に成熟す。〔花色〕初め白色.或は帶紫白色を呈すれども.後に至り黄色或は帶紫黄色に變ず。〔花候〕初夏。
〔分布〕北海道·本州·四國·九州及朝鮮·滿洲。

人生との關係　葉及花を乾燥し.藥用に供す。瘡腫を治するに效ありといふ。民間にては生葉を熱灰中に挿込み.變色したるを度とし.これを手にて揉みたる後.瘡腫の上に貼附し.その毒を吸ひ出すために重用す。所謂發泡劑に供するものなり。朝鮮.滿洲の山野にも通生す。朝鮮にては.その莖葉を陰乾となし.茶の代用に供す。又藥劑としては.莖葉及花を癰疽.梅毒.僂麻質斯等に浸劑とし飲用し效果ありとす。(9圖版-81)

850. ひめすひかづら ……………………スヒカヅラ科
Lonicera japonica *Thunb.* var. Miyaguskiana, *Makino.*

〔形態〕本種は琉球地方に產し.前種に比し.その葉小形なれども.本種の葉は肥厚し.長さ1-3糎(3-9分)あり。花も亦小形にして漸く2·4糎(4分)許に過ぎざる1種なり。〔花色〕白質。〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

851. びろうどすひかづら ………………スヒカヅラ科
Lonicera japonica, *Thunb.* var. sempervillosa, *Hayata.*

〔形態〕本種も亦前掲スヒカヅラの一變種にして.專ら臺灣島の山野に產出す。本種は彼に比し.葉の上面に毛茸を散生し.下面に絨毛を密生するを特徵とす。〔花候〕春より秋に及ぶ。

852. はまにんどう 濱忍冬 ……………スヒカヅラ科
Lonicera affinis, *Hook.* et *Aru.*

(異名)いぬにんどう　〔形態〕海邊或は海邊に近き所に自生する藤本なり。全株稍無毛種に屬し.葉は柄を有し.紙質を呈し.廣卵形乃至長橢圓形にして.先端急に尖り.基脚は稍心臟形をなす。花は短梗を有し.2箇宛相並びて着生し.枝頭總狀花序をなす。この花は圓形の小苞を有し.花冠は漏斗狀をなし.長さ0·6-1糎乃至4·5-4·8糎(2-3分乃至1·5-6分)なり。漿果は卵形にして黑熟す。〔花色〕初め白色を呈し後黄色に變ず。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部及南部·九州·琉球·臺灣。

853. きだちにんどう ……………………スヒカジラ科
Lonicera hypoglauca, *Miq.*
(*L. affinis,* var. *pubescens, Maxim.*)

(異名)たちにんどう　〔形態〕山地に自生する藤本なり。枝條は葉柄と共に褐色の偃毛を布き.强硬にして木本狀を呈す。葉は卵形或は長橢圓形にして.長さ4·5-6糎(1·5-2寸)餘を有し.上葉には脈上.下面には全面に褐色の偃毛を布く。花は花梗を有し.緊形或は披針形をなせる苞と.長橢圓形或は倒卵形にして4裂せる小苞とを有し.何れも毛茸を有す。花冠は長さ3·8-4·8糎(1·3-1·6分)にして.毛茸を有し.雄蕊及花柱共に花冠外に挺出す。漿果は黑熟す。〔分布〕四國·九州及臺灣。

854. **ツキヌキニンドウ** (9圖版-82)………スヒカヅラ科
Lonicera sempervirens, L.

〔形態〕本邦にては觀賞用として栽培する藤本なり。全株無毛種に屬し.葉は廣橢圓形乃至長橢圓形.全邊にして.下面白粉を裝ふ。この葉は下部のものは短柄を有すれども.最上方の1-2對は無柄にして基部合着し.花梗は葉の中央を貫通せる如き外觀を呈す。花は無梗にして.輪狀に集りて隔離せる穗狀花序をなす。花冠は長漏斗形をなし.長さ3·6-4·8糎(1·2-1·6分)筒部は稍偏側膨出す。漿果は紅色に成熟す。〔花色〕濃紅色或は橙紅色.或は稀に黄色のものあり。〔花候〕5月頃。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　庭園或は圓柱等に纏絡開花せしめ觀賞に供す。繁殖は株分及挿芽によるものなれど挿芽は結果良好ならず。性質强健なればよく戶

74 つくばねうつぎ　75 いはつくばねうつぎ　76 ハナゾノツクバネウツギ
77 はこねうつぎ　78 にしきうつぎ　79 そくづ
80 りんねさう　81 すひかづら　82 ツキヌキニンドウ

外に繁茂す。

855. キバナノツキヌキニンドウ ……… スヒカヅラ科
Lonicera Browni, Carr.

〔形態〕前種の一種にして原産地は不詳なる庭園に栽培する灌木なり。葉は廣楕圓形乃至長楕圓形にして、下面に白粉を裝ひ、莖の上方に着生するものは2片基部合生すること、前種の如く、花は橙紅色を呈し、頭狀花序に排列す。本種の花は、花筒の基脚偏側膨大し、蚊部より長きを特徴とす。

人生との關係　前種と同樣觀賞として庭地に栽培す。

856. **やまうぐひすかぐら**（10圖版-83）……スヒカヅラ科
Lonicera gracilipes, *Miq.* var. genuina, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する灌木なり。幹高さ2-2·5米（7-8尺）に達し、枝條は無毛、廣楕圓形廣卵形或は倒卵形にして、兩面に粗毛を散生し、毛緣をなす葉を、短柄によりて對生す。花は葉腋上に長さ1·3-1·5糎（4-5分）許を有する無毛の花梗によりて點頭し、概ね單立す。本花の有する苞は線形をなし、萼片より長く、花冠は長さ約1·5糎（5分）許の漏斗狀をなし、基脚は稍膨出、先端5裂し、各裂片は先端尖る。雄蕊及花柱は共に毛を有せず。果實は漿果にして橢圓形を呈し、紅熟す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕4月。
〔分布〕本州中部及南部·九州。

857. **うぐひすかぐら**（10圖版-84）……スヒカヅラ科
Lonicera gracilipes, *Miq.* var. glabra, *Miq.*

（異名）うぐひすのき·うぐひすがくれ·うぐひすぼく　〔形態〕山野に自生する落葉の小灌木なり。全株無毛種に屬し、高さ2米（7尺）に達す。蟄月より諸木に先立ちて芽を出す。葉は圓形或は圓卵形にして、毛緣をなすこと前種に同しけれども、本種のものは葉色鮮綠色にして、葉緣紅色を帶ぶ。花は纖長なる花梗を下垂し、その先端に1花、又は3花を着く。果實は漿果にして、ヒヤウタンボクの實に似て紅熟し、味甘く、內に白色の細種子を有す。〔花色〕花冠は紅色又は淡紅色。〔花候〕4·5月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

人生との關係　時に風致樹として庭園に栽植し、果實は小兒等の好みて嗜食するところなり。

858. しろばなうぐひすかぐら ……… スヒカヅラ科
Lonicera gracilipes, *Miq.* var. albiflora, *Maxim.*

〔花色〕園地に栽培せらるゝ灌木にして、花色白色を呈するものなり。

859. ふいりうぐひすかぐら …… スヒカジラ科
Lonicera gracilipes, *Miq.* forma. aureo-variegata, *Maxim.*

〔形態〕本種も亦園地に栽培せらるゝ灌木にして、葉に黃斑を有し兩面に粗毛を散生する1種なり。

860. おくのうぐひすかぐら …… スヒカヅラ科
Lonicera gracilipes, *Miq.* var. adenophora, *Nakai.*

〔形態〕本州北部の山地に自生する灌木にして、本種はその子房に稍腺毛を布くを特徵とす。

861. みやまうぐひすかぐら …… スヒカヅラ科
Lonicera tenuipes, *Makino.* (*L. gracilipes.* var. *glandulosa, Matsum.*)

〔形態〕山地に自生する灌木なり。高さ3米（1丈）許に達し、枝條には褐色の毛茸を密生す。葉は廣卵形、若しくは卵狀或は倒卵狀橢圓形をなし、上面は皺を有し、褐色の細毛を布き、下面には褐色の毛茸を密布す。葉は腺毛を密生する柄を有す。花は葉腋上に着生し、苞と共に毛茸及腺毛を散生し、萼筒にも稍腺毛を有す。花冠は長さ1·5-1·6糎（5-6分）を有し、基部膨出し、雄蕊は無毛なれども、花柱は毛を有す。果實は漿果にして橢圓形をなし、紅熟す。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕5月。〔分布〕本州各部·四國·九州。

862. けうぐひすかぐら …… スヒカヅラ科
Lonicera tenuipes, *Makino.* var. tomentosa, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し、枝條、葉柄等は、秋に至るも長毛を密生し、花梗及萼筒のみに腺毛を布く特徵を有するものなり。

863. うらみうぐひすかぐら …… スヒカヅラ科
Lonicera macrocalyx, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、枝條及葉柄に毛茸及腺體を混生す。葉は廣卵形或は圓形にして、先端尖り、上面細毛を散生し、下面中肋に毛茸を密生す。花は葉腋上に着生し、苞は葉狀をなし、小苞4箇を有し、無毛なり。萼は殼斗形をなし、不齊齒緣或は毛緣をなす。果實は橢圓形にして、腺毛を有す。〔花色〕淡黃白色を呈すること、ミヤマウグヒスカグラと異る特徵とす。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

864. こうぐひすかぐら …… スヒカヅラ科
Lonicera ramosissima, *Franch.* et *Sav.*

（異名）はくさんへうたんぼく·とりがたへうたんぼく　〔形態〕山野に自生する小灌木なり。全株細毛を有く種類にして、莖は多くの枝を出す。葉は短柄を有し、廣楕圓形或は卵形をなし、上面皺質をなし、鈍頭、基脚圓形をなす。花梗は葉より長く超出し、花は苞及小苞を有し、苞は卵狀長楕圓形をなし、子房の長さに2倍し、小苞は合生し、杯形、裂片は卵形をなし、子房と同長なり。萼は稍缺如す。花冠は黃色を呈し、狹漏斗狀をなし、基脚偏側膨出し、雄蕊は花冠と稍同長、子房は離生し、花柱は稍超出し、有毛なり。漿果は小形にして紅色に成熟す。〔花色〕黃色。〔花候〕5月。
〔分布〕本州中部及南部·四國。

865. ちちぶへうたんぼく …… スヒカヅラ科
Lonicera Fudzimoriana, *Makino.* (*L. ramosissima.* var. *Fudyimoriana, Nakai.*)

〔形態〕山地に自生する小灌木なり。本種は前種コウグヒスカグラに比するに、彼の莖は有毛なれども、本種は無毛、彼の葉は基脚圓形をなすに、本種は心臟形をなし、且彼の葉面は皺質をなせども、本種は然らず等彼と異るところにして、他は略彼と同樣なり。花は双生し、花冠は筒狀の漏斗形をなし、稍無毛なり。〔花色〕黃色。〔花候〕5月。〔分布〕本州中部及北部。

866. くろみのうぐひすかぐら …… スヒカヅラ科
Lonicera caerulea, *L.* var. emphyllocalyx, *Nakai.*

〔形態〕山野に自生する小灌木なり。全株粗毛を有し、橢圓形或は長楕圓形にして、先端尖り、基脚鈍形の全緣葉を短柄によりて互生す。花は双生す。この花は短梗を有し、花冠は偏側膨大し、長さ1·3糎（4分）許。苞2箇を有し、鞏形或は線形を呈し、子房より長し。漿果は球狀をなし、碧色に成熟す。〔花色〕帶白色。〔花候〕6月。〔分布〕千島·北海道·本州中部及北部。

867. けよのみ …… スヒカヅラ科
Lonicera caerulea, *L.* edulis, *Regel.* (*L. caerulea.* var. *villosa. Miyabe.*)

〔形態〕前種と同樣の地方に自生する灌木なり。高さ1-1·5米（3-5尺）に達し、幼條には毛茸を密生す。葉は披針形或は橢圓形をなし、下面に毛茸を有す。花は梢上葉腋に着生し、花梗には絨毛を有す。この花は苞及小苞を有し、苞は細長にして細毛を布き、小苞は癒合して子房を包む。花冠は漏斗形をなし、整齊に4裂し、內面に毛を有す。漿果は橢圓形或は球形をなし、碧黑色に成熟す。〔花色〕淡黃白色。〔花候〕5月。〔分布〕同前。

868. まるばよのみ …… スヒカヅラ科
Lonicera caerulea, *L.* var. venulosa, *Rehd.*

〔形態〕山地に自生する小灌木なり。枝條及葉柄は共に無毛、葉は廣卵形或は廣橢圓形にして毛緣をなすか、或は毛を有せず。下面に多くの細脈を有し、時に白粉を裝ふことあり。〔分布〕北海道·本州中部及北部。

869. ひろはよのみ …… スヒカヅラ科
Lonicera caerulea, *L.* vav. glabrescens, *Rupr.*

〔形態〕前種と同樣枝條及葉柄は共に無毛にして、葉面は前種よりは稍薄く、橢圓形或は稀に狹き橢圓形をなし、下面は初め有毛なれども、後に無毛となるか、或は脈上のみに殘存する特徵を有す。

870. ながばけよのみ …… スヒカヅラ科
Lonicera caerulea, *L.* var. glabrescens, *Rupr.* forma. longibracteata, *Scheid.*

〔形態〕本種は、その葉が前種に比し、長楕圓形或は長楕圓狀披針形をなすことを差異點とし、苞は子房に3倍する長さを有する特徵を有す。
〔分布〕北海道及本邦の中部·北部。

871. ほそばよのみ …… スヒカヅラ科
Lonicera caerulea, *L.* var. venulosa, *Rehd.*

〔形態〕前種と同樣の土地に産出する小灌木なり。本種は唯其葉が長倒披針形乃至倒披針形を呈するを差異の要點とす。

872. **へうたんぼく**（10圖版-85）……スヒカヅラ科
Lonicera Morrowii, *A. Gray.*

（異名）きんぎんぼく·やへかは·よめごろし　〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株細毛を有す。高さ1·5-1·8米（5-6尺）に達し、葉は卵狀橢圓形にして、短柄を有し、對生す。花は長さ葉面の半ばある花梗を有し、1梗に通常2箇を着生す。この花は苞及小苞を有し、苞は披針形或は披針形線形をなし、子房より超出し、小苞は卵形をなし、毛緣を有し、離生す。花冠

は稍幅形をなし、不齊に5裂し、各裂片は長橢圓形をなし、基脚は偏側膨出す。雄蕊は花冠より短く、子房は無毛にして離生し、花柱は有毛なり。漿果は球形をなし、紅熟す。〔花色〕初めは白色を呈すれども、後に黄色に變ず。〔花候〕6-7月。成果9月。〔分布〕北海道・本州・四國。

873. おほばへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera strophiophora, *Franch.*

（異名）あらげへうたんぼく 〔形態〕山地に自生する灌木にして全株粗毛を有す。葉は膜質をなし、短柄を有し、卵狀橢圓狀にして、先端尖り、基脚圓形をなし、毛緣を有す。花は葉腋上に双生す。この花は苞のみを有し、苞を缺く。この苞は廣卵形にして毛緣を有す。萼は不齊に5裂し、各裂片は圓形をなし、毛緣を有す。花冠は漏斗狀をなし、整齊に5裂し、花筒の下部は偏側膨出す。雄蕊は無毛、花柱は下部に毛を有す。子房は毛茸を有し離生す。漿果は球形をなし、毛茸を有し、紅色に成熟す。〔花色〕初め白色を呈し、後黄變す。〔花候〕6月。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

874. だいせんへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera strophiophora, *Franch.* var. glabra, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして、子房花柱共に無毛なり。〔分布〕本州中部。

875. やぶへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera linderifola, *Maxim.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株短毛を布く。葉は柄を有し、長橢圓狀卵狀乃至披針形をなし、先端尖り、基脚狹し。花は長梗を有し、双生す。この花は苞を有し、小苞を缺く。この苞は鑿形にして毛を有せず。子房より稍長し。萼は短形にて截頭をなし、花冠は廣鐘形をなし、長さ1糎(3分)餘を有し、整齊に5裂し、各裂片は圓形をなす。雄蕊並に花柱は稍冠毛より超出す。漿果は球形をなし、離生し、紅色に成熟す。〔花色〕白色にして少しく紫暈を有す。〔花候〕5月。〔分布〕本州中部及北部。

876. こごめへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera Konoi, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する小灌木にして、無毛種に屬すれども、嫩枝にのみ白毛を散生す。葉は橢圓形乃至倒卵形にして、鈍頭或は鋭頭をなし、基脚楔狀を呈す。この葉は長さ0·6-1·8糎(2-6分)許にして、兩面共下半部に白毛を布く。花は毛管狀を呈する花梗により双生し、葉の長さより超出す。本花は苞及小苞を有し、苞は線形をなし對生す。小苞は細小にして、形は廣橢圓形をなし、兩片全く合着す。萼は鈍齒緣を有し、子房は無毛、漿果は球形にして基脚のみ合着し、毛を有せず。紅色に成熟ず。〔花色〕白色を呈す。〔分布〕本州中部。

877. やへやまへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera Momurana, *Makino.* (*L. Mochidzukiana.* var. *Nomurana, Nakai.*)

（異名）のむらへうたんぼく 〔形態〕山地に自生する小灌木にして、全株稍無毛、細纖なる枝條を有す。葉は柄を有し、卵形乃至長橢圓狀披針形にして、先端は鈍或は鋭頭をなし、基脚は圓形をなす。花は葉面の半ばに達せざる花梗を出し、双生す。この花は苞及小苞を有す。この苞は細小にして卵狀鑿形をなし、小苞は對生し、屢ば合生す。萼は5裂し、各裂片は披針狀にして鑿形をなし、腺毛緣を有す。花冠は筒狀をなし、脣形に深裂し、基脚の偏側膨起し、内面に毛茸を有す。子房は廣橢圓形にして、基脚まで全部合着し、毛無なり。〔花色〕白色。〔花候〕5-6月。〔分布〕本州中部及南部・九州。

878. につくわうへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera Mochidzukiana, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する灌木なり。高さ0·9-1·2米(3-4尺)に達し、幼條は四角形をなし、無毛。葉は無柄にして質薄く、廣卵形乃至廣披針形をなし、先端尖り、鋭脚乃至截脚をなし、上面は中肋に細毛又は腺毛を有し、下面には腺毛を布く。花は花梗を腋生し2-4花を着生す。この花は線形の苞、及卵形を呈する小苞を有し、何れも腺毛を布く。花冠は脣形をなし、基脚膨出す。雄蕊は花冠と同長、花絲は基脚に毛を有す。柱頭は全長にして有毛。子房は半ば癒着す。漿果は球形をなし、紅色に成熟す。〔花色〕白色にして基部は紫色を帶ぶ。〔花候〕6月、成果7月。〔分布〕本州中部。

879. はなへうたんぼく (10圖版-86)……スヒカジラ科
Lonicera Maackii, *Herd.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ1·8-2米(6-7尺)餘に達し、葉は柄を有し、膜質をなし、卵狀披針形乃至披針形にして長鋭尖頭をなし、基脚狹搾す。この葉は嫩枝と共に葉面脈上、並に邊緣に稍縮せる毛茸を散生し、葉柄には粘毛を布く。花は短形にして、稍に葉柄より長き程度の花梗によりて腋生し、苞及小苞を具ふ。この苞は萼より長 小苞は圓形截頭をなし、毛緣を有し、基脚合生す。萼は鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は卵形乃至披針をなす。花冠は唇形をなし、上唇は4裂し、各裂片は花冠全長の3分2のを有す。雄蕊は筒部の半ば丈け長く、漿果は球形にして離生し、暗紅色に成熟す。〔花色〕純白色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部及北部。

880. つしまへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera Harai, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する灌木なり。全株剛毛を散生し高さ0·9-1·2米(3-4尺)に達す。葉は長さ6糎(2寸)餘にして短柄を有し、卵形乃至廣橢圓形をなし、先端圓くして、微に凸端し、基脚圓く、全緣なり。花は短梗によりて双生す。この花は苞のみを有し、この苞は鑿狀披針形にして、對生し、一側は稍稜狀に擴大し、他方は基脚合着す。萼は杯狀をなし、5齒緣を有す。花冠は深く脣形をなし、長さ1-1·3糎(3-4分)許にして、花絲、花柱等に毛を有せず。子房は下半部癒着す。漿果は球形にして、毛を有せず、紅色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕3月。〔分布〕長崎縣對馬。

881. えぞへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera Glehnii, *Fr. Schm.*

〔形態〕山野に自生する小灌木にして枝條は毛を有せず。葉は膜質をなし、短柄を有し對生す。この葉は廣橢圓形、時に倒卵形或は長橢圓狀卵形をなし、先端尖り、基脚は圓形或は稍心臟形をなし、毛緣を有し、下面に毛茸を密生す。花は肥厚せる花梗を有し双生す。小苞は2對ありて、前者は合着し後者は離生す。漿果は赤合着し、赤熟す。〔花色〕赤色。〔花候〕5月。〔分布〕樺太・千島・北海道。

882. おほばえぞへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera alpigena, *L.*

（異名）みやまへうたんぼく 〔形態〕山野に自生する灌木なり。本種は嫩枝四角形を呈し、葉は柄を有し、廣披針形或は橢圓形にして、緣邊に毛を有し、互生す。花は花梗によりて腋出し、毛を有せず。この花は苞及小苞を有す。苞は鑿形をなし、小苞は2箇を有し、細小の廣三角形をなす。花冠は脣形をなし、長さ1·5糎(4-5分)許。花絲は基部有毛、花柱は半以下毛を有し、漿果は紅熟す。〔花色〕紅色或は黄色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

883. おほへうたんぼく (10圖版-87)……スヒカヅラ科
Lonicera Brandtii, *Franch.* et *Sav.* (*L. Tschonoskii, Maxim*)

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株稍無毛種に屬す。高さ1·5-1·8米(5-6尺)に達す。葉は短柄を有し、膜質をなし、橢圓狀長橢圓形にして、先端尖り、鋭脚をなす。花は葉面の半ば以上の長さを有する花梗により双生す。この花は苞及小小苞を有し、苞は披針形にして、2箇を有し、小苞は2箇、半圓形にして、基脚稍合着す。花冠は漏斗狀をなし深く脣形に分裂し、偏側膨出し、内面は基部より中部迄毛を有す。花絲は基脚に、花柱は全部に毛を有し、子房は離生す。漿果は紅色に成熟す。〔花色〕暗紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部・朝鮮。

884. おにへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera Vidalii, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ1·2-1·5米(4-5尺)に達し、幼條には初め腺毛を有し、後消失す。葉は長さ4·5-9糎(1·5-3寸)許にして短柄を有し對生す。この葉は下面に毛茸並に腺點を布く。葉身は橢圓形なり花は葉腋上に花梗を出し、2花宛着生す。この花は苞及小苞を有し、苞は線形、小苞は卵形或は長橢圓狀卵形にして鈍頭をなし、基脚合着す。(この點前種エゾヘウタンボクと異る所とす) 萼は卵形を呈し、5齒緣をなし、花冠は長さ1糎(3分)餘の脣形をなし、外面に毛茸、内面に白色の長毛を有す。雄蕊4箇。漿果は大形にして紅色に成熟す。〔花色〕白色なれども、花冠の内面は基部より先端に向つて黄色の斑點を有し、老ゆれば全部黄色に變す。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部・朝鮮。

885. ひろはへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera praeflorens, *Batalin.*

（異名）はやざきへうたんぼく 〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ6-9米(2-3尺)に達す。葉は柄を有する柄を有し、廣卵形若くは卵形或は橢圓形をなし、先端尖り、基脚は截形或は鋭形をなし、長さ6糎(2寸)許あり。この葉は最初絹毛を有すれども、長ずれば短毛を疎生するに至る。花は葉の生ずる以前に双生し、短梗及苞を有し、小苞を缺く。本種の苞は披針形或は卵形をなし、子房は癒着す。萼は卵形の齒片を有し、花冠は無毛、漿果は赤熟す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部。

886. ちしまへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera Chamissoi, *Bunge.*

（異名）くろばなへうたんぼく 〔形態〕山野に自生する灌木にして、全株無毛種に屬し、高さ90糎(3尺)許に達す。葉は短柄を有し、廣卵形或は卵形にして、鈍頭をなし、基脚圓形を呈し、長さ4·5糎(1·5寸)許を有す。花は葉腋上に双生し、苞及小苞を有す。苞は細小にして鑿形をなし、小苞は卵形にして2對を有し、何れも毛を有せず。花冠は脣形をなし、長さ0·9糎(3分)許。基脚は偏側膨出す。花柱は花冠より短く、全長有毛なり。漿果は合生し、赤熟す。〔花色〕暗紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州中部及北部。

887. いぼたへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera demissa, *Rehd.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株絨毛を布き、高さ1·2-1·5米(4-5尺)に達す。葉は短柄を有し、長さ3糎(1寸)許、廣披針形或は倒卵形をなし、先端尖り、鋭脚をなす。花は長さ1·3-1·5糎(4-5分)の花梗により双花を腋生す。この花は苞及小苞を有す。苞は長さ3粍(1分)許。小苞は長さ苞の半ば位にして卵形を呈す。花冠は脣形をなし、約1·3糎(4分)許。外面に毛を有す。雄蕊は花冠と同長、花柱は雄蕊より短く、全長有毛なり。子房は線を有し、離生す。果實は紅熟す。〔花色〕黄色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部・朝鮮。

888. べにばなへうたんぼく ……スヒカヅラ科
Lonicera sachalinensis, *Nakai.*

（異名）えのみたんね・あかばなへうたんぼく・ぼねち 〔形態〕山野に自生する灌木にして、高さ1·8-2米(6-7尺)に達す。本種の幼條は四角形を呈す。葉は橢圓形或は長披針形をなし、短柄によりて對生し、往々下面に毛茸を有す。殊に中肋に沿ひ縮毛を生ず。花は葉腋上に2花宛双生す。花梗は葉の2分1の長さを有し、彎曲して葉の下に出づ。この花は苞及小苞を有す。この苞は細小、小苞も亦極めて小さく、合着す。花冠は深く脣形をなし、長さ7粍(2·5分)許。雄蕊は花冠外に挺出し、花柱は全長有毛なり。子房は過半部癒着し、漿果は紅熟す。〔花色〕濃紅色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・朝鮮。

889. ねむろふしだま ……スヒカヅラ科
Lonicera chrysntha, *Turcz.* var. crassipes, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株粗毛を有す。葉は菱狀橢圓形乃至卵狀披針形にして、長鋭尖頭をなし、短柄によりて對生す。花は葉長の半ば位の長さを有する花梗により1梗2花宛腋生す。花冠は脣形をなし、基脚膨出す。雄蕊は花冠より短く、花柱は全長有毛。子房は離生し、漿果は球形をなし、紅熟す。〔花色〕初白色を呈し、後黄色に變ず。〔花候〕春。〔分布〕樺太・千島・北海道。

5. ニハトコ屬 SAMBUCUS.

890. にはとこ 接骨木 (10圖版-88)……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. typica, *Nakai.*

（異名）たづのき・こもろつぎ・きたづ・たつば 〔形態〕山野に自生する落葉灌木なり。高さ6米(2丈)餘に達し、幼條は無毛或は僅毛を布く。材は柔軟なる髓を有す。葉は對生し、巨大にして深く羽狀に分裂し、裂片單一羽狀複葉の觀を呈す。この葉の裂片は披針形にして、細鋸齒緣を具ふ。托葉は針形をなす。花は圓錐狀傘狀聚繖花序をなし頂生す。萼は細小にして5齒緣を有し、花冠は幅形をなし、直徑僅に3粍(1分)に過ぎず。この花冠は5裂し、各裂片は卵形を呈し、覆瓦列をなす。雄蕊5箇ありて花瓣と互生し、花筒の上端に生ず。子房は下位にして、三箇の心皮より成る。花後紅色の小さき球果を結ぶ。〔花色〕淡黄色。〔花候〕4月、成果6月。〔分布〕本州各部四國・九州。

人生との關係 時に庭園に移植し、生垣等に仕立つることあり。本植物は葉、花等共に苦味を有し、民間にて綻下又利尿の効ありといひ、水腫に葉の煎汁を用ふ。尚ほ筋裂又は骨折等に煮湯劑として、ニハトコ末にキハダ末等を伍し、水に練りて患部に外用し、或は緩和興奮劑及發汗劑として、葉末を内服するものあれども、其効果に至りては次に掲げたる西洋接骨木に比し、藥效少しと稱せらるゝものなり。

891. くろばなにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. typica, *Nakai.* forma. purpurascens, *Nakai.*

〔形態〕前種の一品種に屬し、花色帶紫色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

892. きみのにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. xanthocarpa, *Nakai.*

〔形態〕前種ニハトコの一變種に屬し、本種は其果實の黄色に成熟するものなり。〔分布〕本州中部。

893. おほにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. major, *Nakai.*

（異名）こぶのき 〔形態〕前種ニハトコの一變種に屬し、本種は花枝に小葉2對を生じ、長さ12糎(4寸)、徑4糎(1·4寸)許を有するものなり。〔分布〕本州各部・四國・九州。

894. けにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. pubescens, *Nakai.*

〔形態〕同じくニハトコの一變種に屬し、本種は嫩枝並に葉面に白毛を有するを特徴とす。〔分布〕本州北部及中部・四國。

895. ほそばにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. stenophylla, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦ニハトコの一變種に屬するものにて、本種の有する小葉は狹線狀披針形を呈するものとす。〔分布〕本州中部。

896. ひろばにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. latifolia, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦ニハトコの一變種に屬す。本種は其小葉廣卵形を呈し、側葉は基部圓形をなし、葉は下面及中肋に毛茸を有すれども、總葉柄軸には毛茸を有せず、花序には細乳頭を布く。〔分布〕本州中部。

897. だいだいいろにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Sieboldiana, *Blume.* var. aurantiana, *Nakai.*

〔形態〕前種に酷似するものなれども、本種の果實は橙黄色に成熟するものなり。〔分布〕四國。

898. みやまにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus microsperma, *Nakai.*

〔形態〕本種は綫形ニハトコに酷似すれども、彼に比し、花は小形なるものなり。〔分布〕同前。

899. えぞにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Buergeriana, *Blume.* var. Miquelii, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する落葉の灌木、或は喬木にして、高さ6米(2丈)餘に達するものあり。幼條には開出粗毛を布く。前種ニハトコに比し、本種は全形粗大なり。花序に生ずる毛茸は彼の如く粒狀をなさず、毛狀を呈する等の差異あり。漿果は赤色に成熟し、徑6粍(2分)許を有す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州中部。

900. きみのえぞにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Buergeriana, *Blume.* var. aurantiana, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして、果實が橙黄色に成熟するものなり。〔分布〕北海道。

901. はごろもにはとこ ……スヒカヅラ科
Sambucus Buergeriana, *Blume.* var. lacera, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦エゾニハトコの一變種にして、其葉が羽狀に條裂するものとす。〔分布〕北海道。

902. セイヤウニハトコ 西洋接骨木 ……スヒカヅラ科
Sambucus nigra, *L.*

〔形態〕本邦には栽培品のみを有する落葉灌木なり。香氣の強きものにて、概形は本邦在來のニハトコに酷似す。葉は卵圓形又は長橢圓形をなし、果實は黒熟す。花の乾燥したるものは黄色を呈す（在來種は乾燥すれば黒變す）。處、花等共に苦味强し。(10圖版-89)

人生との關係 本植物の花を乾燥し、これを接骨木花と稱し藥用に供す。其新鮮なるものは白色なれども、乾燥すれば黄色に變じ、香氣愈々濃著に發生す。其味は粘液性にして、微に甘く、後、稍苛辣なり。主成分は其本性未だ明かならざる少量の揮發油を含有す。藥用としては茶劑として發汗の目的に用ひ、又香原料としても重用す。(神谷)

6. ツキキヌサウ屬 TRIOSTEUM.

903. ツキヌキサウ (10圖版-90)……スヒカヅラ科
Triosteum sinuatum, Maxim.

〔形態〕本邦には園地に栽培せらるゝ亞灌木にして、高さ6-9糎(2-3尺)

に達し、全株に軟毛を密布す。葉は橢圓形にして、先端尖り、2葉對生し、基部合着し、恰も莖は葉の中間を貫通するの觀あり。故に本和名を有す。花は毎葉腋に2花宛着生す。萼は2深裂し、各裂片は毛緣をなす。花冠は漏斗形にして脊形をなし、稍5裂す。雄蕊5箇を有し、2箇は稍超出し、3箇は花冠と同長なり。葯は長橢圓形をなし內向し、花絲の下部に細毛を有す。子房は下位にして、開出せる腺毛多く、卵子は傾向す。花柱は花冠外に挺出し、柱頭は球形をなし、3-5裂す。果實は核果にして、宿存萼を冠す。〔花色〕帶綠淡黃色にして、內面紫褐色を呈す。〔原産地〕滿洲。

7. ガマズミ屬 VIBURNUM.

904. がまずみ 英速(支) (10圖版-91)……スヒカヅラ科
Viburnum dilatatum, *Thunb.* forma. piiosulum, *Nakai.*

(異名) そぞみ・よつづみ 〔形態〕山野に自生、時に庭園等に栽植せらるゝことある喬木に近き灌木にして、高さ3米(1丈)餘に達するものあり。嫩枝、葉柄及花序に腺點並に星毛を密布す。葉は廣闊なる橢圓形或は稍圓形をなし、先端は短き銳尖頭、緣邊は稍重鋸齒緣を有し、葉面皺縮す。この葉は短柄によりて對生し、長さ4·5-14糎(1·5-4·5寸)あり。花は聚繖花序或は繖形花序をなし、一見傘狀を呈し、新枝に頂生す。本花は花梗を有せず萼及花冠は外面星毛を布く。花冠は幅形をなし、徑0·5糎(1·5分)許。先端5裂し、各裂片は稍圓形を呈す。雄蕊5箇を有し、花冠の裂片の倍長。雌蕊の花柱は稍缺如し、柱頭は3起をなす。果實は核果にして長さ0·6糎(2分)許に生長し、扁卵形或は扁廣橢圓形をなし、赤熟す。核は腹面に3縱溝を有し、背面に2縱溝を有す。〔花色〕白色。〔花候〕5月、成果10月。
〔分布〕北海道·本州·四國·九州·朝鮮。

人生との關係 觀賞用として庭園、裏山等に栽植し。果實は小兒等好みてこれを採食す。其材は鎌、鍬等の柄を作るに重用す。

905. あらげがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum dilatatum, *Thunb.* forma. hispidum, *Nakai.*

〔形態〕本種は嫩枝、葉柄及花序等に何れも粗毛を有する點が、前種と異るところにして、他は概ね彼に同じ。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

906. こがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum dilatatum, *Thunb.* var. microphyllum, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、莖は多くの小枝を分つ性を有し、高さ3米(1丈)許に達す。本種は枝條に粗毛及星毛を布く。葉は柄を有し、圓形或は倒卵形なるか、稍圓形或は菱狀卵形をなし、上面に星毛、下面脈上に細毛を布く。其他はガマズミに同じ。〔分布〕本州中部。

64 こがまずみ　65 こばのがまずみ

907. こばのがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum erosum, *Thunb.* var. punctatum, *Eranch.* et *Sav.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ4米(12尺)餘に達す。本種は幼條に星毛を密布す。葉は柄を有し、葉片は卵形或は卵狀長橢圓形をなし、先端尖り、基脚は鈍或心臟形或は銳脚をなし、下面は星毛の外に、脈上に鬚毛を生ず。この葉は線形の托葉を有す。花は聚繖花序或は繖形をなし、新枝に頂生す。萼は子房と共に星毛を帶び、花冠は稍幅形をなし、約0·6糎(2分)許の花徑を有し、先端5裂し、各裂片は卵圓形を呈す。雄蕊は5箇ありて、花冠の裂片より超出し、雌蕊は花柱を有せず、柱頭は3起す。果實は核果にして赤熟す。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·朝鮮。

908. てりはこばのがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum erosum, *Thunb.* var. laeve, *Franch.* et. *Sav.*

〔形態〕本種は概形前種と相同じけれども、本種の葉は上面に毛を有せず滑澤なるを異るところとす。〔分布〕本邦中部。

909. ながばがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum erosum, *Thunb.* var. lanceum, *Nakai.*

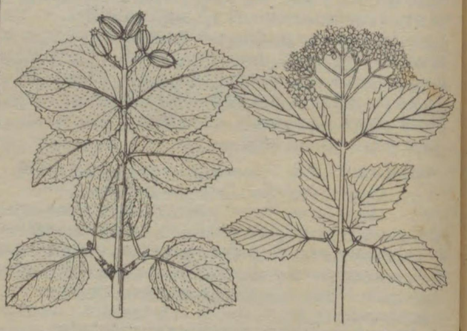
〔形態〕山野に生ずる灌木にして、概形コバノガマズミに似たるものなれども、本種の葉は廣披針形にして銳尖頭をなすものなり。〔分布〕九州。

910. さいこくがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum eroum, *Thunb.* var. Taquetii, *Rehd.*

〔形態〕本種は概ね前種コバノガマズミの一變種と見るべく、唯其葉の小形にして、缺刻緣なるを異る要點なりとす。〔分布〕本州中部·九州。

911. おほちやうじがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum Carlesii, *Hemsl.*

〔形態〕山地に自生する小灌木にして、高さ0·6-1·8米(2-6尺)に達す。全株に星毛を密布す。葉は革樣の紙質をなし、短柄を有し、葉片は廣卵形にして、鈍頭或は銳頭をなし、微に凸尖鈍齒牙緣をなす。花は聚繖花序或は繖形花序をなし、新枝に頂生し、苞及小苞を有し、何れも披針形をなす。萼は先端5裂し、各裂片は卵形をなす。花冠は漏斗狀をなし、花筒は0·9-1·3糎(3-4分)にして、先端5裂し、各裂片は卵形を呈す。雄蕊は閉在し、花筒に着生す。果實は核果をなし、長橢圓形無毛にして黑色に成熟す。〔花色〕1株に淡紅色を呈するものと、白色を呈するものと交錯す。〔花候〕初夏。
〔分布〕長崎縣對馬。



66 ちやうじがまずみ　67 みやまがまずみ

912. ちやうじがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum Carlesii, *Hensl.* var. bitchuense, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し、概形其他彼に相同じけれども、本種の有する葉は卵狀長橢圓形にして、先端尖り、基脚圓形、截形或は往々稍心臟形を呈するものにて、その他には花形稍小形なり。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

913. みやまがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum Wrightii, *Miq.* var. typicum, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する落葉の灌木にして、高さ1·5-1·8米(5-6尺)に達す。樹皮は淡褐色を呈し平滑、幼條は無毛或は粗毛を布く。葉は柄を有し、葉身は廣倒卵形、又は菱狀廣橢圓形にして、銳尖頭、基脚は圓形、或は截形をなし、波狀齒牙緣を有す。この葉は上面に短毛を疎生し、下面は平滑、或は脈上に長粗毛を生じ、又脈腋に腺點を有く。側脈は明に相並行し、6-10對を具ふ。花は聚繖花序は繖形をなし新枝に頂生す。萼は5裂し、各裂は三角形を呈す。花冠は幅形をなし、直徑6粍(2分)許。雄蕊は5箇ありて、花冠より超出す。果實は肉質球形の核果にして、赤熟し、核は腹面に3縱溝、背面に2縱溝を有す。〔花色〕白色にして紅暈を帶ぶ。〔花候〕7月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國·九州·朝鮮。

914. こみやまがまずみ ……スヒカヅラ科
Viburnum Wrightii, *Miq.* var. minus, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして、本種は彼に比し、枝條細長く、葉は小形にして、且つ枝條及葉柄は共に紫色を帶ぶる特徴を有す。〔分布〕本州中部·四國·九州。

83 やまうぐひすかぐら　84 うぐひすかぐら　85 へうたんぼく
86 はなへうたんぼく　87 おほへうたんぼ　88 にはとこ
89 セイヤウニハトコ　90 ツキヌキサウ　91 がまずみ

915. ほしなしみやまがまずみ …… スヒカヅラ科
Viburnum Wrightii, *Miq.* var. eglandulosum, *Nakai.*

〔形態〕本種は葉の下面に腺點を有せざるを特徴とす。〔分布〕本州各部·四國·九州。

916. たかさごがまずみ …… スヒカヅラ科
Viburnum formosanum, *Hayata.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株に褐色の短毛を密布す。葉は短柄を有し、橢圓形或は卵形にして先端尖り、基脚は鈍脚或は鋭脚をなし、緣邊は鋭齒牙狀をなす。花は聚繖花序をなし、新枝に頂生し、萼片は短圓卵形花冠の裂片は長橢圓をなす。果實は核果にして赤熟す。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

917. おしまがまずみ …… スヒカヅラ科
Viburnum Tashiroi, *Nakai.*

〔形態〕同じく山地に生ずる灌木にして、概形前種に似たれども、彼に比すれば、本種は幼條に星毛を密布すること、葉の兩面葉脈上にも星毛を布き其他には腺點を有すること、尙本種の核は腹面のみ有溝なること等彼と相違する要點なり。〔分布〕琉球。

918. しまがまずみ …… スヒカヅラ科
Viburnum brachyandrum, *Nakai.*

(異名) けがまずみ·にひじまがまずみ　〔形態〕山野に自生する灌木なり。本種は幼條に短毛及星毛を密生す、葉は卵形或は圓形にして、粗齒牙緣をなし、有柄にして互生す。この葉は兩面脈上に毛を有す。花は聚繖花序をなし、傘狀を呈し、短毛並に星毛を密生す。萼も亦星毛を密生す。花冠は幅形をなし、花徑0·6糎(2分)許。裂片は卵形或は圓形をなし、雄蕊は花冠より短し。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕伊豆諸島。

919. からすがまずみ …… スヒカヅラ科
Viburnum burejaeticum, *Regel.* et *Herd.*

〔形態〕山野に自生する灌木にして、高さ1-2米(3-6尺)餘に達し、幼條には星毛を布く。葉は卵形或は橢圓形にして、邊緣鋸齒をなし、有柄、互生なり。この葉は下面葉脈上に星毛を布く。花は複繖花序をなし、新枝に頂生し、星毛を散生す。果實は核果にして黑熟し、5縱條を有す。〔花色〕白。〔花候〕初夏。〔分布〕九州·朝鮮。

920. みやましぐれ (11圖版-92) …… スヒカヅラ科
Viburnum urceolatum, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕深山に自生する落葉灌木にして、高さ1-1·5米(3-5尺)に達す。葉は眞質をなし、長橢圓形或は披針形にして、先端尖り、波狀緣鋸齒緣を有す。この葉は托葉を缺き、有柄にして對生し、尙兩面脈上に星毛を布く。花は聚繖花序をなし、新枝上に頂生す。この花の有する花梗は葉の長さより短く、苞及小苞は何れも線形をなす。萼は5裂し、各裂片は卵形を呈す。花冠は壺形をなし、先端5裂し、各裂片は短形、無毛なり。雄蕊は5箇を有し、稍花冠外に超出す。子房も亦無毛、果實は核果にして卵形をなし黑熟す。核は5縱溝を有す。〔花色〕帶紅色或は帶白黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部及中部·四國·九州·朝鮮。

921. まるばみやましぐれ …… スヒカヅラ科
Viburnum urceolatum, *Sieb.* et *Zucc.* forma. brevifolia, *Makino.*

(異名) やましぐれ　〔形態〕概形凡て前種に酷似すれども、本種はその葉卵形なり。〔分布〕四國·九州。

922. をとこようぞめ　糯米樹·糯樹 …… スヒカヅラ科
Viburnum phlebotrichum, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) こねそ　〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ1·8-2米(6-7尺)に達す。葉は卵形或は卵狀橢圓形をなし、先端は鋭尖頭或は鋭頭をなし、基脚は鋭或は鈍脚をなし、微に凸尖する齒牙緣を具ふ。この葉は兩面葉脈上に稍鬚毛を布く。花は聚繖花序に排列し、傘狀をなし、新枝上に頂生す。苞及小苞は線形をなし、萼は鐘形にして5出す。花冠は幅形をなし、徑0·7糎(2·5分)許を有し、先端5裂し、各裂片は半圓形をなす。雄蕊は5箇を有し、雌蕊は花柱を缺き3突起をなす。果實は下垂し、核果にして、赤熟し、核は腹面に或は縱溝背面に2縱溝を有す。〔花色〕淡紅白色。〔花候〕5月、成果秋。〔分布〕本邦中部及南部·四國·九州·朝鮮。(11圖版-93)

923. ひろはのをとこようぞめ …… スヒカヅラ科
Viburnum phlebotrichum, *Sieb.* et *Zucc.* rar. latifolium, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして、概形凡て彼に酷似すれども、本種の有する葉は廣卵形を呈するものとす。〔分布〕本州中部。

924. ごまぎ (11圖版-94) …… スヒカヅラ科
Vidurnum Siedoldii, *Miq.*

(異名) ごましほやなぎ　〔形態〕山地の河邊、原野等に自生する落葉灌木にして、高さ3米(1丈)餘に達し、幼條には星毛を布く。葉は橢圓形或は倒卵形をなし、先端尖り、上半部鈍鋸齒緣をなし、側脈は平行し、下面に毛茸を有す。この葉は短柄を有し、對生なり。花は聚繖花序に排列し、圓錐形稀に繖形を呈し、新枝上に頂生す。萼は短く、先端5裂し、各裂片は橢圓形をなす。雄蕊は5箇ありて花冠の裂片と長さを同じくし、花柱を缺き、柱頭は球形を呈す。核果は球形にして初め淡紅色を呈すれども、やがて成熟し碧黑色を呈す。〔花色〕白色にして淡黃色を帶ぶ。〔花候〕5月。〔分布〕本州各部·九州。

〔註〕本種の葉は、これを揉めば胡麻鹽に似たる香氣を放つ、これゴマシホヤナギの異名を有する所以ならんか。

925. ごもじゆ　聖瑞花(支) (11圖版-95) ····· スヒカヅラ科
Viburnum Sandannkwa *Hassk.*

(異名)　こうるうめ　〔形態〕高山に自生する常綠灌木なり。高さ1·2-1·5米(5-7尺)に達し、樹皮は暗褐色を呈し、全株に褐色の星毛を布く。葉は橢圓形或は長橢圓狀卵形或は倒卵形に近く、長さ3-12糎(1-4寸)許を有し、先端鈍頭或は鋭頭をなし、基脚は圓形或は楔狀をなし、緣邊は平滑なるか或は中央以上に稍鈍齒を有し、齒の頂に腺毛を有す。この葉は中肋の左右に强大なる側脈を有し、表面鮮綠色を呈し、光澤を有し、裏面は淡綠色なり。短き葉柄を有し對生す。花は稍頭或は上部の葉腋に聚繖花序をなして着生す。栽培品には殆んど球形に集團するものあり。この花は苞及小苞を有し、苞は披針形、小苞は稍倒卵形をなす。萼は5裂し、各裂片は卵形なり。花冠は盃形をなし、長さ1糎(3分)、先端5裂し、各裂片は圓形をなす。雄蕊は花冠外に挺出す。花柱は短形、柱頭は3起す。果實は核果にして、徑0·6糎(2分)許を有し、赤熟す。核は腹面に單溝を有す。〔花色〕白色にして稍淡紅を帶ぶ。〔花候〕5月。〔分布〕本邦南部·琉球·臺灣·朝鮮。

人生との關係　時に庭園等に栽植し觀賞に供す。栽培變種あり。

926. さんごじゆ　珊瑚樹 (11圖版-96) ····· スヒカヅラ科
Viburnum odoratissimum, *Sieb.* et *Zucc.* (*V. Awabucki, K. Koch.*)

(異名) きさんご·さんごじゆぼく·めたらえふ·やぶさんご·しまたらえふ·いぬたらえふ　〔形態〕山地に自生するものあれども、亦多く人家に栽植せらるゝ常綠灌木、又は喬木にして、全株無毛種に屬す。幹は直立し、高さ9米(3丈)、周圍1米(3尺)餘に達し、樹皮は赫黑を呈し、後、脆弱なる鱗片狀となる。嫩枝は葉柄と共に赤色を呈す。葉は橢圓形又は長橢圓形にして、銳頭又は鈍頭をなし、基脚楔狀にして、全緣又は波狀の微鋸齒を有す。この葉は革性にして厚く、上面は深綠色にして光澤を有し、下面は綠色に稍白色を帶び、長さ9-12糎(3-4寸)許、葉柄は長さ1-1·3糎(3-4分)許を有す。花は聚繖花序に排列し、圓錐形或は卵形を呈し、新枝上に頂生す。この花は苞及小苞を有し、小苞は披針形をなす。萼は鐘形にして先端5裂し、各裂片は低三角形をなす。花冠は漏斗狀をなし、筒部は長さ0·6糎(2分)許、先端は5裂し、各裂片は卵形或は橢圓形をなす。雄蕊は5箇ありて、花喉に着生し、花冠外に挺出す。花柱は短形なり。果實は漿果にして、長さ1糎(3分)許。卵狀橢圓形にして、初は殆んど赤色なれども、後、變じて黑色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕5-6月。〔分布〕本州中部及南部·九州·琉球·臺灣·朝鮮·支那。

人生との關係　本樹の邊材は褐色を呈し、心材は深褐色を帶び、材質硬重にして裂け易きものなり。多く鑑作用に供せらる。又庭園に植ゑ、或は生垣とし、風致樹とするのみならず、防火用樹木として尊重す。

927. あおさのはのさんごじゆ …… スヒカヅラ科
Viburnum odoratissimum, *Sieb.* et *Zucc.* var. serratum, *Makino.* (*V. serratum, Nakai.*)

〔形態〕前種の栽培變種に屬し、葉脈並に鋸齒の顯著なものなり。(栽植種)

928. おきなはさんごじゆ …… スヒカヅラ科
Viburnum liukiuense, *Nakai.*

〔形態〕山野に自生する常綠灌木にして、概形殆どサンゴジュに酷似すれども、本種は彼に比し、葉柄は肥厚し、褐色の星毛を有すること、花序が低平なること、花冠筒は彼より稍短きこと、花を密生すること等彼と異るところとす。〔分布〕琉球。

929. はくさんぼく 堅英樹 …… スヒカヅラ科
Viburnum japonicum, *Spreng.*

（異名）やまてらし・せっかこう 〔形態〕暖地の山地に自生する常綠灌木、又は喬木なり。全株無毛種に屬し、高さ3-6米（1-2丈）餘に達す。葉は短柄を有し對生し、柔革質にして稍稜狀卵形、廣橢圓形或は倒卵形をなし先端尖り、基脚は廣楔形或は鈍脚をなし、波狀様鈍鋸齒牙緣を具へ、兩面に細腺點を滿布す。葉長4-5-15糎（1-5-5寸）、上面滑澤なり。花は大なる聚繖花序に排列し、新枝上に頂生す。花軸及花梗は各々綠狀の苞を有す。萼は先端5裂し、各裂片は卵形をなす。花冠は輻形をなし、徑約0-6糎（2分）許にして5深裂し、各裂片は橢圓形をなす。雄蕊は5箇ありて花冠と略同長なり。花柱は短く、柱頭は3起す。卵子は各室に單生して懸垂す。果實は漿果にして紅熟す。核は腹面に3縱溝、背面に2縱溝を有す。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州南部及中部・九州・朝鮮。（11圖版-97）

930. しまはくさんぼく …… スヒカヅラ科
Viburnum japonicum, *Spreng.* var. boninsimense, *Makino.*

（異名）ときはがまずみ 〔形態〕前種の一變種に屬し、雄蕊は花冠の裂片より短きものなり。〔分布〕本邦暖地。

931. はちぢやうはくさんぼく …… スヒカヅラ科
Viburnum japooicum, *Spreng.* var. fruticosum, *Nakai.*

（異名）こはくさんぼく 〔形態〕同じく前變種に屬する品種なり。本種の葉は斜上性にして、高さ1-2米（3-7尺）に達し、枝條は稍疎長なる特徴を有す。〔分布〕八丈島。

932. おきなはくさんぼく …… スヒカヅラ科
Viburnum fusiforme, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株無毛種に屬す。葉は二年生にして、廣卵形或は長橢圓形にして、先端尖り、基脚は圓形或は鋭脚をなし、粗に波狀の鋸齒緣をなすか、或は全緣にして、長さ8-17糎（2·5-5·5寸）を有し、上面に腺點を布く。花は新枝上に頂生し繖形をなす。この花は苞及凋落性の小苞を有す。萼は短く、5齒緣をなす。花冠は輻形をなす。徑0-6糎（2分）許を有す。果實は漿果にして扁紡錘形或は扁長橢圓形をなし、種子は無溝なり。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕琉球。

933. むしかり 粉團（支）（11圖版-98）……スヒカヅラ科
Viburnum furcatum, *Blume.*

（異名）かべんさう・かべさう・らんばい・きそむしかり・おほむしかり・びらか・いぬそぞみ・かべのき・おほかめのき 〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株に星毛を布く。高さ3米（1丈）餘に達し、多くの枝極を分ち、樹皮は黒褐色、幼條にては黄褐色を呈す。葉は長柄によりて對生し、長さ15糎（5寸）許、幅12糎（4寸）に及び、圓形又は心臟形にして、先端尖り、基脚は深く心臟形をなし、重細鋸齒緣を具へ、兩面共に脈上に毛茸を有す。花は聚繖花序をなして排列し、繖形をなし、短枝の先端に着生す。本花序は關地に中性の大形花を有す。萼の裂片は微小にして、萼の管狀部より小なり。又花序の中央にある有性花は、其花冠5裂し、各裂片は橢圓形或は長橢圓形をなし、先端圓し。雄蕊は5箇を有し、何れも短く、僅に花冠の長さの半分に過ぎず。花柱は之れを缺き、柱頭は3起す。果實は卵形或は橢圓形色にして、先端に萼の裂片を宿存し、初めは赤色を呈すれども、熟すれば黒に變ず。種子は扁平にして背、腹兩面に各々1箇の凹溝を有す。〔花色〕白色。〔花候〕6-7月。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

人生との關係 北海道アイヌは、この植物の材を以て「アマツボ」の弓を作るに用ひ、嫩葉及果實を食用に供すといふ。

934. やぶてまり 蝴蝶樹（支）（11圖版-99）…スヒカヅラ科
Viburnum tomentosum, *Thunb.*

（異名）やまでまり・ばんざのき・かめがら・へみのき・ごねづ・うしのひたひ 〔形態〕山地に自生する落葉の喬木なれど、又多く庭園に栽植す。葉は多くの枝を出し、幼條には星毛を布く。高さ3米（1丈）餘に達し、枝は長柄を有し對生し、卵形或は廣卵形、稀に圓形をなし、鋭頭又は急に鋭尖頭をなし、邊緣に齒牙狀の鋸齒を具へ、基部は鈍形をなす。この葉は表面暗綠色を呈し、平滑なれども、裏面には星狀の細軟毛を密生し、長さ3-9糎（1-3寸）許を有す。花は聚繖花序をなして、新枝に頂生し、多花を攅簇したる樣手毬に似たり。花序の周緣にある花は著しく大形にして中性なり。中央の花は兩性花にして、萼は整齊、先端5裂し、各裂片は卵形を呈し、花冠は輻形をなし、徑4-5糎（1-5寸）許にして、整齊に5裂し、各裂片は卵形をなす。雄蕊は5箇ありて、花冠外に挺出し、柱頭は3起をなす。果實は核果にして、初め紅色を呈し、熟すれば碧黒色となる。核は腹面に3條溝を有す。〔花色〕白色。〔花候〕6月頃。〔分布〕本州各部・九州・朝鮮。

935. てまりばな 粉團兒 …… スヒカヅラ科
Viburnum tomentosum, *Thunb.* var. plicatum, *Maxim.*

（異名）おほでまり・てまりくわ 〔形態〕庭園に栽植せらるゝものにして、前種の一變種とす。花は聚繖花序をなし、各花は凡て無性花に變じ大形となり、花序も亦大形にして恰も手毬の如く、直徑6-7·5糎（2-2·5寸）に達す。花色雪白色を呈し、頗る美麗なるを以つて觀賞用に供せらる。（栽植種）

936. こやぶてまり（11圖版-100）…… スヒカヅラ科
Viburnum tomentosum, *Thunb.* var. cuspidatum, *Maxim.*

（異名）ほそばやぶでまり 〔形態〕本種の葉は橢圓形又は長橢圓形をなし、鋭尖頭にして、長さ2·4-4·5糎（8-1·5寸）許。花序も亦小形なるものなり。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州等の山地。

937. けなしやぶてまり …… スヒカヅラ科
Viburnum tomentosum, *Thunb.* var. glabrum, *Koidz.*

〔形態〕本種も亦前種の一變種にして、本種の特徴としては、各部初めより毛茸を有することなく、葉は下面の脈腋に於て初めは有毛なるものなり。〔分布〕本州中部。

68 こやぶでまり　69 かんぼく

938. かんぼく …… スヒカヅラ科
Viburnum pubinerve, *Blume.* forma. intermedium, *Nakai.*

（異名）めどのき 〔形態〕山地に自生する落葉灌木なり。高さ24-27糎（8-9寸）に達し、幼條は毛茸を有す。葉は線形にして、宿存する托葉を有し、長柄によりて對生す。葉身は圓形をなし、深波狀様に3中裂し、各裂片は鋭尖頭をなし、上半部は不齊の粗齒牙狀鋸齒緣をなし、下面には全部或は沿脈に短毛を有するも、時に3中裂せざるものあり。花は聚繖花序をなし、新枝上に頂生す。外方にある花は大形中性花にして徑1-3糎（0·3-1寸）を有し、不齊に5裂し、各裂片は圓形をなす。中央に生ずる兩性花は、鐘形の萼を有し、腺點を有す。花冠は輻形にして徑約0·6糎（2分）、雄蕊は5箇ありて花冠外に挺出す。柱頭は3岐す。果實は核果にして赤熟し、核は溝を有せず。〔花色〕黄白色。〔花候〕5月、成果9月。〔分布〕樺太・北海道・本州中部及北部・朝鮮。

人生との關係 本植物の材は白色、柔軟なるを以て專ら總楊子を作るに用ひらるゝと多し。

939. けなしかんぼく …… スヒカヅラ科
Viburnum pubinerve, *Blume.* forma. calvescens, *Nakai.*

〔形態〕本種は葉の下面脈腋に鬚毛を有し、その他には葉の全部に毛を有せざると及枝條、花序も亦無毛なるを特徴とす。〔分布〕樺太・北海道・本州中部及北部。

940. けかんぼく …… スヒカヅラ科
Viburnum pubinerve, *Blume.* forma. puberulum, *Nakai.*

〔形態〕本種は花序を除き、枝條、葉の下面の全部或は沿脈に毛茸を有するを特徴とす。〔分布〕同前。

941. てまりかんぼく …… スヒカヅラ科
Viburnum pubinerve, *Blume.* var. sterile, *Makino.*

〔形態〕本種はその花全部が中性なるもの、即ち大形の花冠を有すること恰もテマリバナの如き觀を呈するものなり。栽植種とす。

人生との關係 庭園に栽植し觀賞に供す。繁殖は根分け若しくは插木による。

92 みやましぐれ　93 をとこようぞめ　94 ごまぎ

95 ごもじゆ　96 さんごじゆ　97 はくさんぼく

98 むしかり　99 やぶでまり　100 てまりばな

5. あかね(茜草)科 (RUBIACEÆ)

本科の植物は喬木・灌木・又は草本にして.稀に一年生草本を有し.直立又は纏繞するものありて.無刺又は有刺なり。葉は單葉.普通全緣にして托葉を有し.對生或は輪生し.托葉は普通葉身よりは小形にして對生する葉柄間に位すれども.時に大形にして一見葉身の如く見ゆるものあり。花序は圓錐或は聚繖花序をなす。花は通常兩性なれども.稀に單性なることあり。萼片は子房に着生し.裂片一樣ならず.花冠は整齊にして.通常四裂又は五裂し.各裂片は鑷合樣にして.且覆瓦樣をなす。雄蕊は花冠と同數にして.花冠の喉部又は筒狀部の內面に着生し.花絲は長短同じからず。葯は二室.概ね背着にして.全部又は側部に於て裂開す。花盤は上位にして.概ね輪形をなす。子房は下位にして.2室乃至10室をなす。花柱は單一又は分叉す。柱頭は一樣ならず。卵子(胚珠)は每室1箇あり。果實は蒴果.或は核果をなし.種子は肉質又は角質なり。胚は直生.又は屈曲す。子葉は扁たく.又は圓く.幼根は上位.又は下位なり。

73 あかね

本科に屬する植物は多く熱帶・亞熱帶地方に産し.溫帶・寒帶諸地方に分布す。世界に產するもの.凡そ343屬・4500餘種を有すれども.本邦には自生.或は栽培せらるゝものを合し.37屬・凡そ150種を產出し.觀賞に供するもの.藥用に供するもの.工業用に供するもの等尠からず。

本科所載植物名目次

アヲキヌタサウ……992
アカキナノキ……955
アカダマカヅラ……1020
アカダマノキ……1019
アカネ……1054
アカネムグラ……1050
アカバナムグラ……1068
アカブラキ……1073
アカミヅキ……1073
アカミミヅキ……1073
アカミミズ……1073
アカンバ……1073
アメリカタマガサノキ 950
アラゲクワエンサウ……1017
アラビヤコーヒノキ……959
アリドホシ……961
イシカンラ……1048
イナモリサウ……1043
イハヅタヒ……1048
イハハギ……1015
ウスギカハラマツバ……996
ウスユキムグラ……945
エゾノヨツバムグラ……989
エゾムグラ……982
オトギリキヌタサウ……993
ヲドリヅル……1040
オホアカネ……1058
オホキヌタサウ……1062
オホクルマバアカネ……1056
オホシマアリドホシ……968
オホシラタマカヅラ……1049
オホタマガサ……1021
オホバアリドホシ……963
オホリンネサウ……848
カベサウ……933
カベノキ……933
カベンサウ……933
ガマズミ……904
カメガラ……934
カラスガマズミ……919
カンボク……938
キサンゴ……926
キダチニンドウ……853
キタヅ……890
キバナウツギ……842
キバナノツキヌキニンドウ……855
キバナツクバネウツギ 822
キミノエゾニハトコ……900
キミノニハトコ……892
ケナシエゾヨツバムグラ……990
ケンサキ……1007
コギヨクシンクワ……953
コグチナシ……1006
コテウボク……1063
コトリトマラズ……961
コバジユズネノキ……965
コバノヘクソカヅラ……1041
コバノヨツバムグラ……985
コバンムグラ……1033
コリンクチナシ……998
コーヒモドキ……970
コンロンクワ……1021
サヲトメカヅラ……1040
サツマイナモリ……1036
サツマルリミノキ……1014
ザブンノキ……1021
サルトカヅラ……1069
サンタンクワ……1010
シテウゲ……1015
シマギヨクシンクワ……952
シマソナレムグラ……1032
シマザクラ……1034
シマハビロ……1009
シマヘウタンボク……1069
シマミサヲノキ……1052
ジヤコンサウ……1036
ジユズネノキ……963
シラタマカヅラ……1048
シロバナイナモリサウ 1046
シロバナカンチヤウジ 947
シロバナサンタンクワ 1011
タサタヅ……845
タチニンドウ……853
タツツキ……890
タツバ……890
タニウツギ……838
チウゴクガマズミ……912
チシマヘウタンボク……886
チチブヘウタンボク……865
チヤウジガマズミ……912
ツキヌキサウ……903
ツキヌキニンドウ……854
ツクシヤブウツギ……837
ツクバネウツギ……817
ツクバネタニウツギ……818
ツシマヘウタンボク……880
テマリカンボク……941
テマリクワ……935
テマリバナ……935
ハニカギ……1027
バンテイシ……1063
ヒゴロモコンロンクワ 1025
ヒメアリドホシ……952
ヒメムグラ……977
ヒメヨツバムグラ……985
ヒロハコンロンクワ……1022
フイリイナモリサウ……1045
フイリクチナシ……1002
フイリケンサキ……1008
フクリンクチナシ……1003
フタバムグラ……1028
フタヘザキハクテウゲ 1064
ヘウタンカヅラ……1069
ヘウタンボク……1069
ヘクサヅル……1040
ヘクソカヅラ……1040
ヘツカニガキ……1027
ベニマツリ……1053
ホウワウツゲ……1066
ホシザキイナモリサウ 1044
ホソバアカネ……1059
ホソバギヨクシンクワ 954
ホソバクチナシ……1000
ホソバジユズネノキ……967
ホソバノキヌタサウ……994
ホソバノヘクソカヅラ 1042
ホソバノヨツバムグラ 986
ホソバミサヲノキ……1051
ボチヤウジ……1047
ボリビヤキナノキ……958
マルバクチナシ……1001
マルバノコンロンクワ 1023
マルバケヨノミ……868
マルバツクバネウツギ 825
マルバミヤマシグレ……921
ミヤマウグヒンカグラ 861
ミヤマガマズミ……913
ミヤマシグレ……929
ミヤマニハトコ……898
ミヤマヘウタンボク……882
メタラエフ……926
メツクリバネウツギ……820
メドギ……938
ヤマウグヒスカグラ……856
ヤブウツギ……835
ヤブサンゴ……926
ヤブデマリ……934
ヤブヘウタンボク……875
ヤヘカハ……872
ヤヘザキヘウタンボク 885
キンギンボク……872
クサニハトコ……845
クロバナニハトコ……891
クロバナヘウタンボク 886
クロミノウグヒスカグラ……866
ケウグヒスカグラ……862
ケガマズミ……918
ケカンボク……940
ケツクバネウツギ……821
ケナシカンボク……939
ケナシヤブデマリ……937
ケニハトコ……894
テリハコバノガマズミ 908
テリハツクバネウツギ 823
トキハガマズミ……930
トリガタヘウタンボク 864
ナガヒゲヨノミ……870
ナガバガマズミ……909
ニシキウツギ……836
ニツクワウヘウタンボク……878
ニハタヅ……845
ニハトコ……890
ニヒジマガマズミ……918
ニンドウ……849
ヤヘヤマヘウタンボク 877
ヤマシグレ……921
ヤマデマリ……934
ヤマテラシ……929
ヨツヅミ……904
ヨメコロシ……872
ランバヘ……933
リンネサウ……847

1. クルバマサウ屬 ASPERULA.

942. **くるまばさう** (12圖版-101)…………………… アカネ科
Asperula odorata, *L.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は方形をなし.高さ17-30糎(5-6寸乃至1尺)に達し.匍枝を曳く。葉は倒卵形乃至披針形にして.鈍頭を有するか.或は銳尖をなす小葉を.通常6-8葉づゝ輪生す。この葉は兩面糙澁す。花は疎に房狀聚繖花序をなし頂生す。花冠は漏斗狀をなし.先端四裂し.各裂片は長橢圓形をなす。雄蕊4箇ありて花筒に着生す。花柱は頂端2岐す。果實は乾果にして鉤毛を密布し.內に2種子を藏す。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州中部及北部。

943. **タマクルマバサウ** (12圖版-102)……………… アカネ科
Asperula orientalis, Boiss. et Hohen.

〔形態〕專ら園地に栽培せらるゝ一年生草本なり。高さ30糎(1尺)許に達し.葉は狹長なる披針形をなし.無柄にして各節に8葉づゝ輪生す。この葉は邊緣に剛毛を有す。花は頭狀花序をなし頂生し.花冠は筒狀にして.先端5裂し.苞は花冠より短きものなり。〔花色〕青紫色。〔花候〕夏。
〔原產地〕高加索。
人生との關係 專ら園地に栽培し觀賞に供す。

944. **カスミムグラ** (12圖版-103)……………… アカネ科
Asperula hxaphylla, All.

〔形態〕最近の外來種にして一般には「アスペルラ」と稱すれども.牧野博士により本和名を附せられたるものなり。莖は高さ半米(1・5-6尺)內外に成長す。この莖は纖細にして多くの小枝を分ち.葉も亦纖細にして殆んど松葉狀をなし.6-8葉宛輪生す。花は多數に分岐せる小枝の先端に着生し.その狀恰も石竹科のカスミサウに酷似し.上品にして愛らしきものなり。
〔花色〕白色。〔花候〕5-7月。〔原產地〕歐洲南部。
人生との關係 栽培宜しきを得れば數尺の間一杯に擴張して花を開き美麗なるものなれば觀賞用として花壇に栽培するに適すれども.亦近時は切り花として盛に市場に見らるゝものなり。繁殖は種子により.普通秋播とし.冬季は簡單なる霜除により越年せしむれば翌年5月頃より開花し始む。元來原產地にては高燥なる土地に自生するものなれば多濕ならざる土地を撰定培養すれば.餘り土質等を撰ぶ必要なきものなり。

945. **うすゆきむぐら** (12圖版-104)………………… アカネ科
Asperula trifida, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は高さ僅々20-25糎(7-8寸)に過ぎず.年々地下より細莖を出し.長橢圓形にして短柄を有する全緣葉4-5葉を輪生す。この葉は上面.緣邊及び下面の中肋上に剛毛を布く。花は聚繖花序をなし.梢上葉腋に着生す。花冠は3裂.稀に4裂し.各裂片は卵形をなす。果實は毛を有せず。〔花色〕白色。〔花候〕8月。〔分布〕本州中部及南部・四國。

2. カンチャウジ屬 BOUVARDIA.

946. **カンチャウジ** (12圖版-105)…………………… アカネ科
Bouvardia lciantha, Benth.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ常綠の小灌木にして高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は廣卵形にして先端尖り.基部は圓形.或は心臟形を呈し.上面に短毛.下面に絨毛を布く。この葉は三片づゝ一節毎に輪生す。花は聚繖花序をなし.梢頭枝端に頂生す。花冠は長さ2糎(7分)許の筒狀をなし.上方漸く擴大し.舷部は4淺裂し.各裂片は廣卵形・鈍頭をなす。雄蕊は花喉に着生し.花柱は上端2岐し.赤色を呈す。〔花色〕濃紅色を呈し美麗。〔花候〕夏。〔原產地〕墨西哥。

人生との關係 本邦にては專ら觀賞用として栽培す。

947. シロバナカンチャウジ …… アカネ科
Bouvardia Davisoni, Hort.

〔形態〕專ら園地に栽培せらるゝ常綠の小灌木なり。莖は高さ 90-120 糎(3-4 尺)に達し、稍柔軟性を有す。葉は長卵形全緣にして先端稍尖り、對生す。花は前種と同樣聚繖花序をなして梢頭枝端に着生すること、花冠の形狀等、前種と同樣なれども、本種は花色、白色を呈するものなり。花後球形をなせる小形の蒴果を結び、種子は翅を有し熟すれば飛散す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

人生との關係 觀賞用として栽培し愛らしきものなり。

948. **ナガバナカンチヤウジ**…… アカネ科
Bouvardia longiora, H. B. K.

〔形態〕前種と同樣の小灌木なり。高さ 60-90 糎(2-3 尺)に達し、全體平滑なる種類とす。葉は長卵形にして先端尖り、短柄によりて對生す。花は前種と同樣聚繖花序をなして、梢頭枝端に着生す。本種の花は頗る長き筒部を有し、先端は 4 裂し、各裂片は卵狀披針形をなす。〔花色〕白色を呈し、一種の佳香を放つ。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

人生との關係 本種も亦園地に培養し觀賞に供せらるゝものなれど、特に香氣を有するにより愛養せらるゝ品種なり。

71 シロバナカンチヤウジ

72 ナガバナカンチヤウジ

949. ミツバナカンチャウジ …… アカネ科
Bouvardia triphylla, Salisb.

〔形態〕近時の外來に係り多くは切花として愛玩せらるゝ灌木にして全株に細毛を布き、高さ 1 米(3-4 尺)内外に達するものなり。葉は下部にあるものは 3 葉宛輪生すれども、梢頭に至れば 2 葉對生す。花は鮮紅色を呈し頗る見榮なるものにして、長さ約 3 糎(1 寸)内外を有す。〔原産地〕墨西哥・中部亞米利加。

人生との關係 主として溫室内に培養せらるゝものにして、花の美麗なること特に目立ちて見ゆるものなり。前種カンチヤウジと共に花色の取り合せよく、而も栽培頗る容易なるものなれば、最も普通に培養せられつゝある品種とす。繁殖は株分或は挿木による。

3. タマガサノキ屬 CEPHLANTHUS.

950. **たまがさのき** (12 圖版-106) …… アカネ科
Cephalanthus occidentalis, *L.*

異名) アメリカたまがさ 〔形態〕本邦には專ら觀賞として栽培せらるゝ灌木なり。葉は葉柄を有し、卵形或は披針狀長橢圓形にして先端尖り、普通下部に生ずるものは 3 葉宛輪生し、梢頭に至れば對生す。この葉は短小なる托葉を有す。花は花梗を有し、萼は倒圓錐形をなし先端 4 裂す。花冠は筒形にして先端 4 齒緣をなし、花柱は絲狀を呈し、著しく花冠外に挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕7-8 月。〔分布〕臺灣。

4. ギョクシンクヮ屬 CHOMELIA.

591. **ぎょくしんくわ** 玉眞花 (12 圖版-107) …… アカネ科
Chomelia corymbosa, *K. Sch.* (*Tarenna zeylanica*, Gaertn.)

〔形態〕山野に自生する灌木、或は小木本なり。葉は短柄を有し、稍革質をなし、平滑、葉身は廣披針形にして先端尖り、基脚亦鋭底をなし對生す。托葉は三角形をなし、基脚合着し、粗毛を有す。花は枝稍に聚繖花序をなして腋生、或は頂生す。この花序は三出なり。萼は細小にして、先端 5 裂し、稍疎毛を有し、花冠は筒狀をなし、先端 4 裂し、各裂片は長橢圓形鋭頭をなし、反捲す。花喉に毛茸あり。雄蕊は筒部に着生す。花柱は挺出し、下部に絨毛を布き、柱頭は單一なり。果實は漿果にして稍球形、無毛にして黑色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州・四國・琉球・臺灣・印度等。

人生との關係 觀賞用として庭園に移植栽培することあり。

592. しまぎょくしんくわ …… アカネ科
Chomelia subsessilis, *Matsum.*

〔形態〕山野に自生する低灌木なり。本種は前種に酷似するも、この葉の有する葉柄は甚だ短く、先端は漸尖頭をなし、基脚圓形を呈す。花序は稍密生、萼及花冠は無毛なる特徴を有す。〔分布〕小笠原島。

953. こぎょくしんくわ …… アカネ科
Chomelia gracilipes, *Hayata.*

〔形態〕山野に自生する灌木なり。本種の枝條は甚長なるを特性とし、葉も亦前種の革質に反し膜質をなし、長卵形或は長橢圓形にして、先端は有尾鋭尖頭、基脚は楔形をなし、全緣、長さ 10 糎(3-4 寸)許あり。花は聚繖花序をなして頂生し、萼は筒形、花冠は盆形をなし、先端 5 深裂し、各裂片は箆狀披針形をなす。雄蕊 5。花柱は上端 2 岐す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

954. ほそばぎょくしんくわ …… アカネ科
Chomelia lancifolia, *Hayata.*

〔形態〕同じく灌木にして枝條は細長く、多少細毛を有す。葉は稍革質をなし、披針形或は倒披針形をなし、花序は頂生し、多少毛茸を布く。其他は大低ギョクシンクワと同樣なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

5. キナノキ屬 CINCHONA.

本屬の特徴は喬木、又は灌木にして葉は對生し、單葉にして全緣をなし托葉を具へ、卵形又は長橢圓形をなし、後に脫落す。花は花梗を有し、小形にして白色、又は淡紅色を呈し、芳香馥郁たり。蜂鳥多く集り來りて花蜜を吸ふ。數花枝頭に攢簇して複總狀花序をなす。萼は小形にして、五尖をなし、宿存性なり。花冠は長き筒狀をなし、上部は 5 裂して開展し、裂片の緣邊に毛茸を密生す。雄蕊 5 箇、雌蕊 1 箇を有し、子房は二室にして中軸胎座をなし、數多の卵子(胚珠)を藏す。果實は蒴にして、基部より上方に向ひ胞間裂開をなす。種子は小さくして多數あり。この種子は扁薄にして、周圍に翅を具ふ。本屬の植物は極めて變化多く、學者により諸說一定せざるものなり。本植物は全部「ペルー」・「ボルヴィア」・「コロンビア」等に產す。本邦には產出することなきも、藥用植物として重要なるものなれば、以下重なる種類につき記述すべし。

人生との關係 本植物の樹皮は、解熱藥及强壯藥として盛に賞用せらる。日本藥局法にも使用せらる。其有效成分は數種の「アルカロイド」類より成れども、其效力の多少は、主として「キニン」の存在に左右せらるゝものとす。以下記述せる諸種は、其樹皮及「キニン」等の鹽類を採收せんがため、東印度・「セーロン」島・「ジャワ」島及西印度諸島中の「ジャマイカ」等の熱帶諸地に移植栽培せらる。以下記述する赤規那皮・黃色規那皮・褐色規那皮・「ロハ」規那皮等の他に、銅規那皮と稱する品種あれども、本品は規那樹の近屬にして "Remijia Purdieana" と稱する植物より製するものなり。

955. **アカキナノキ** 赤規那 (12 圖版-108) …… アカネ科
Cinchona succirubra, Pav.

〔形態〕高山に生じ、高さ 15-25 米(50-80 尺)に達し、頗る壯觀を呈する大木なり。葉は廣橢圓形にして、長さ 30 糎(1 尺)に及び、上面は稍平滑、下面には短き軟毛を密生す。萼は帶紅色、花冠は淡紅色を呈し、蒴は頗長きものなり。本種の樹皮を赤規那皮 (Coetx chinae ruber) 英語にて "Redbark" と稱す。

956. **キキナノキ** 黃規那・王規那 (12 圖版-109) …… アカネ科
Cinchona calisaya, Wedd.

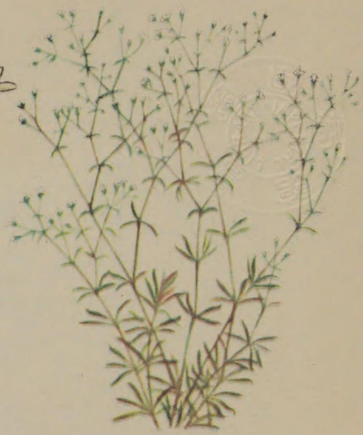
〔形態〕「ボリヴィア」と「ペルー」の東南部との境界に於ける溪谷の森林に產出する壯麗なる大木なれども、前種よりは高からず、高さ 9-12 米(30-40 尺)許とす。葉は長さ 7-10 糎(25-30 分)許、形狀は種々あれども、概ね長橢圓形にして鈍頭をなす。花は淡紅色、蒴は卵形なり。本種の樹皮は市來產中最良品とす。本品は抱層を被り、管狀をなすものと、抱層を有せず扁んど木部より成り、板狀を呈するものとあり、何れも黃色を呈す。英語にて "Calisaya bark" 又は "Yellow bark" といふ。

957. **カッシヨウキナノキ** 褐色規那 (13 圖版-110) アカネ科
Cinchona officinalis, Hook.

〔形態〕本種も亦前種等と同樣大木をなす喬木にして、概形殆ど彼等と同

101 くるまばさう

102 タマクルマバサウ



103 カスミムグラ

104 うすゆきむぐら

105 カンチヤウジ

106 はながさのき

107 ぎよくしんくわ

108 アカキナノキ

109 キキナノキ

様なれども.本種の特徴は蒴果長形をなすものとす。尚本種の樹皮は品位第三位に屬し.本種は管狀をなし.外部は灰褐色.内部は桂褐色を呈するものなり。本品を藥物學上より「ロハ規那皮」と稱し.英語にて "Pale bark" 又 "Loxa bark" と稱するものなり。

958. **ボリビヤキナノキ**(13圖版-111)……………… アカネ科
Cinchona Ledgeriana, Moens.

〔形態〕本種は「ボリビヤ」に産出する小喬木なり。葉は小形の楕圓形にして質厚く.下面赤色を呈す。花は黄色を呈し.香氣を有せず。蒴は短形なるものなり。本種の樹皮も亦前種と同様第三位の品種に屬し.前種と共に「ロハ規那皮」と稱するものなり。

6. コーヒーノキ屬 COFFEA.

本屬の植物は今日まで知られたるもの約29種あれども.主として廣く培養せらるものは「アラビヤ」珈琲及「リベリア」珈琲の二種とし. この2種の内最も重要なるは前種「アラビヤ」珈琲にして.「アフリカ」洲南「アビシニア」より「ヴイクトリヤ」湖邊に野生種あれども.今日では其の培養區域頗る廣く.又永き培養の結果品種極めて多く.生産地によりて種子の色澤及其成分にも多少の差異を有す。「アフリカ」珈琲・「アラビヤ」珈琲・「オランダ」領印度珈琲・「セーロン」珈琲・西印度珈琲・又南亞米利加には「ブラジル」珈琲・「スリナム」珈琲等の種別あり。以下主要なる種につき記述すべし。

959. **アラビヤ・コーヒーのき** 珈琲樹 ………… アカネ科
Coffea arabia, L.

〔形態〕熱帶地方に自生或は栽培せらるゝ常綠木本なり。高さ6-9米(20-30尺)に達し.枝は對生して廣がり.先端は多少下垂す。葉は稍革質・有柄にして對生. 葉身は楕圓狀卵形或は倒卵形にして. 兩端に向ひて尖り.波緣をなす。この葉は廣卵形の托葉を有し.短凸頭をなし.基脚合着す。花は短き花梗を有し. 3-7箇づゝ.葉腋上に簇生す。小苞は卵形.蕚は截形或は鈍5齒緣をなす。花冠の下部は1糎(3分)許の筒狀をなし. 上部は五箇に分裂し.各裂片は卵形をなす。雄蕊は5箇ありて.花筒より超出し.葯は長さ1糎(3分)許ありて丁字形をなし.花絲に接す。子房は下位. 球形にして2室を有し.花柱は1.3糎(3分)許を有し.先端2裂し.後外反す。果實は楕圓形の核果にして.帶黄色或は稀に黄色又は白色を呈し.中に二箇の種子を藏す。花は雪白色を呈し.花期極めて短く大低3-4日に過ぎず。一年を通じ2-3回開花すといふ。果實の成熟期には紅果累々として頗る美麗なり。この種子を熬りて飲料の珈琲を製す。(13圖版-112)

960. リベリアコーヒーのき…………………………… アカネ科
Caffea liberica, Hiern.

〔形態〕 本種は前種コーヒーのきに比すれば.その葉更に長く.中部以上廣く.先端は短かく.鋭尖緩徐なるものなり。葉柄も遙に長く.托葉は廣卵形を呈す。花冠は6-9箇の裂片を有し. 果實は球形にして黒色を呈するものなり。

人生との關係 種子を熬りて粉にしたるものを「コーヒー」と稱し飲料に供す。本品の主成分は「コヒーネ」にして.百分中平均1.21を含有す。卽ち飲料としての價値はこの「コヒーネ」の興奮性によるものとす。近時我國に於ても珈琲の需要頓に增加し.「ブラジル」等より輸入せらるる價格實に驚くべき程なり。

7. アリドホシ屬 DAMNACANTHUS.

961. **ありどほし** 虎刺 (13圖版-113)……………… アカネ科
Damnacanthus indicus, *Gaertn. f.* var. genuinus, *Makino.*

(異名)ことりとまらず・ねずみばな・ねずみのはなとほし 〔形態〕山中陰地に自生する常綠の小灌木なり。幹の高さ小なるものは15-18糎(5-6寸).大なるものは60-90糎(2-3尺)のものあり。多く枝を分ち.幼條には細毛を布き.葉間に鋭して直生する刺を有す。葉は革質にして.短柄を有し.卵形或は楕圓狀卵形をなし.先端尖り.基脚圓形をなし.全緣なり。花は小形にして短梗を有し.腋生す。花冠は筒狀をなし.長さ6糎(2分)許.先端4裂し.各裂片は卵形・鋭頭なり。雄蕊は花喉に着生し. 稍挺出す。花柱は4岐し.各分岐は線形をなす。果實は核果にして赤熟す。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球。

人生との關係 園地に栽倍し觀賞に供するものあり。

962. ひめありどほし………………………………… アカネ科
Damnacanthus indicus, *Gaertn.* var. genuinus, *Makino.* forma. microphyllus, *Makino.*

〔形態〕前種の一品種に屬するものなれども.本種は葉の形頗る小さく.僅々0.5-1.5糎(1.5-4.0分)に過ぎず. 尚本種の有する刺は葉より長きを特徴とす。〔分布〕前同。

963. じゅずねのき…………………………………… アカネ科
Damnacanthus indicus, *Gaertn. f.* var. major, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する常綠の小灌 にして.頗るよく前種に酷似するものなれども.本種の有する刺は葉より短く.葉柄よりは長く.葉は卵形を呈するを特徴とす。花色・花候等前種に同じ。果實は秋日成熟し紅色を呈す。尚本種類の植物は其根黄赤色を呈し. 連珠狀をなす。これ本和名を有す所以なり。〔分布〕本州中部及南部。

964. おほばじゅずねのき………… ……………… アカネ科
Damnacanthus indicus, *Gaertn.* f. var. major. *Makino.* forma. macrophyllus, *Makino.*

〔形態〕前種の一種に屬し.葉は大形にして.卵形又は楕圓形をなし.刺は極めて短小なるか.或は全く缺如するものなり。〔分布〕四國・九州。

965. こばじゆずねのき…………………………… アカネ科
Damnacanthus, indicus, Gaertn. f. L. var. parvifolius, *Koidz.*

〔形態〕山地に自生する 常綠小灌木なり。本種の枝端に生ずる葉は 長楕圓形にして.長さ1.5-1.6糎(5-6分)乃至3糎(1寸)許を有し.刺は葉の半長.或は稍長きか.或は短きものとす。〔分布〕本州中部・九州。

966. ながばじゆずねのき…………………………… アカネ科
Damnacanthus indicus, Gaertn. f. var. giganteus, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する常綠の小灌木なり。本種はジユズネノキに似.葉は披針形をなし.刺は葉より短く.葉柄よりは短き特徴を有す。〔分布〕四國・九州。

967. ほそばじゆずねのき…………………………… アカネ科
Damnacanthus indicus, Gaertn. f. var. lancifolius, *Makino.*

〔形態〕本種を亦常綠の小灌木なり。は披針形をなし.刺は葉より短く.葉柄より長きを持徴とす。〔分布〕本州中部及南部。

968. おほしまありどほし…………………………… アカネ科
Damnacanthus, indicus, Gaertn. f. var. parvispinus, *Koidz.*

〔形態〕本種はコバノジユネノキに比し.其葉は强く鋭尖頭をなし.葉柄は彼倍長.刺は至つて短き特徴を有す。〔分布〕本州大島。

969. りうきうありどほし…………………………… アカネ科
Damnacanthus Tashiroi, *Hayata.*

〔形態〕本種も亦常綠の小灌木にして.葉は革質をなし.長楕圓形或は長楕圓狀倒卵形をなし.先端尖り.基脚楔形なり.約6糎(2寸)許の長さを有す。漿果は扁球形をなし.長さ6糎(2寸)許あり。本種の花は腋出或は簇生す。〔分布〕琉球。

8. シロミミズ屬 DIPLOSPORA.

970. しろみみず………………………………………… アカネ科
Diplospora viridiflora, *DC.*

(異名)コーヒーもどき 〔形態〕山野に自生する小喬木なり。葉は長楕圓形或は披針形にして先端尖り.9-12糎(3-4寸)の長さを有す。この葉の托葉は三角形をなす。花は短形の聚繖花序をなし腋出す。この花は小形にして.花冠は筒形をなし先端4裂し.各裂片は平開す。雄蕊は閉在し.漿果は徑6糎(2分)許の球形果をなし赤熟す。〔花色〕黄白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球・臺灣。

9. ヤヘムグラ屬 GALIUM.

971. **やへむぐら** 猪殃々 八重葎 (13圖版-114)…… アカネ科
Galium Aparine, *L.*

〔形態〕隨所に自生する一年又に二年生莖草なり。莖は四稜をなし.稜上に柔くして逆行せる刺毛を有し.これを以つて他物に攀緣し.高さ60-150糎(2-5尺)に達す。葉は通常8葉宛輪生し.各細き倒披針形にして.微に凸頂をなし.尖刺を有し.緣邊と中部とに逆向せる剛刺毛を生じ.基部に向ひ漸く狹く.葉柄を有せず。花は1花乃至3花を花梗により葉腋上に對生し.聚繖花序をなす。花冠は輻形をなし.先端4裂し.各裂片は披針形をなし.4本の雄蕊ありて.黄葯を有す。子房は2箇.花柱も亦2箇を有す。果實は球形をなし.紫色を呈し.鉤毛を密生す。〔花色〕帶綠黄色。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太北海道・本州・四國・九州等各地。

972. **とげなしやへむぐら**…… アカネ科
Galium Aparine, *L.* var. spurium, *Koch.*

〔形態〕前種の一變種に屬し,概形殆ど彼に酷似するものなれども,本種はその果實に鉤を有せざるを特徴とす。〔分布〕北海道。

973. **おほばのやへむぐら**…… アカネ科
Galium pseudo-asprellum, *Makino.*

〔形態〕隨所に自生する多年生草本なり。莖は上昇性を有し,高さ2米(7-8尺)許に達し,稜角を有し,これに上下向の硬隆起を列生す。葉は線狀披針形或は長橢圓形にして凸頭をなし,下部に於ては6葉宛輪生し,上部に於ては4葉宛輪生することあり。花は腋出,或は頂生し2-3回3出の聚繖花序をなす。苞及小苞は線形或は披針形をなし,花冠は先端4裂し,各裂片は3角形をなし,果實は鉤毛を有す。〔花色〕綠色。〔花候〕7-9月。〔分布〕北海道·本州·四國·九州等。

974. **やぶむぐら**…… アカネ科
Galium Niewerthi, *Franch. et Sav.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は平滑にして斜上性を有し,高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は4葉或は6葉づゝ輪生し,長橢圓形·凸頭にして基脚狹く,兩面糙澁し,毛緣をなし,單行脈を有す。花は小梗により腋生或は頂生し,圓錐花序をなす。花冠は4深裂し,各裂片は橢圓狀卵形にして鈍端をなし,平開す。果實は長橢圓形にして,毛を有せず。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

975. **くるまむぐら**(13圖版-115)…… アカネ科
Galium japonicum, *Makino.* (*G. trioriforme Kom.*)

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は匍匐斜上し,高さ15-30糎(5-1寸)に達す。葉は膜質を呈し,長橢圓形にして先端尖り,長さ2-4糎(8分)許を有し,6葉宛輪生す。花は聚繖花序をなし,1回乃至2回3出をなす。苞及小苞は線形或は披針形をなし,花冠は4深裂す。本種は前種に反し,種子に鉤毛を密生す。〔花色〕紫白色。〔花候〕5月。〔分布〕樺太·北海道·本州·九州等。

976. **やくしまむぐら**…… アカネ科
Galium yakushimense, *Masamune.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は細長く,伏臥性を有し,無毛。基部分岐し,葉は4枚づゝ輪生す。この葉は下部に生ずるものは小さく,上方に生ずるものは大きく,倒披針形或は篦狀倒披針形にして稍銳頭をなし一脈を有す。花は聚繖花序をなして少數花を頂生す。果實は腎形をなし長き鉤毛を有す。〔分布〕九州屋久島。

977. **ひめむぐら**(13圖版-116)…… アカネ科
Galium shikokianum, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する小形の多年生草本なり。莖は斜上性を有し,高さ18-20糎(6-7寸)に達す。葉は4乃至6葉宛輪生し,葉身は長橢圓形或は橢圓形をなし,銳頭或は稍銳頭をなし,單行脈を有す。花序は頂生し,果實は細小にして點頭し,乳頭を布く。〔花色〕綠色。〔分布〕四國。

978. **やまむぐら**…… アカネ科
Galium setuliflorum, *Makino.* var. setuliflorum, *Makino.*

〔形態〕林野に自生する多年生草本なり。本種は簇生する特徴を有し,直生或は斜上性なり。高さ15-90糎(5-30寸)許に達し,葉は4葉宛輪生し披針形或は狹披針形をなし,上面·緣邊·下面中肋等に毛茸を散生し,下部に生ずるものは柄を有す。花は花梗を有し,聚繖花序をなし頂生或は腋生す。花冠は外面に毛を有し,先端4裂し,各裂片は卵形をなす。果實には毛茸を密生す。〔花色〕通常紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州に亙る。

979. **けなしやまむぐら**…… アカネ科
Galium setuliflorum, *Makino.* var. nudiflorum, *Makino.*

〔形態〕產地·形態殆んど前種に等しきものなれども,本種は彼に比し,花冠の外面に毛茸を有せざるを相異る特徴とす。

980. **をやまむぐら**…… アカネ科
Galium tric opetalum, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦ヤマムグラに酷似したるものなれども,彼に比し葉質剛く,莖葉共に往々毛茸を帶び,4葉の輪生葉は稍同長なるを差異の特徴とす。〔分布〕本州中部。

981. **みやまむぐら**(13圖版-117)…… アカネ科
Galium paradoxum, *Maxim.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は軟弱·平滑にして單生す。葉は有柄にして對生し,上面及邊緣に細毛を布く。この葉は圓形乃至楕形をなし,上部にありては合生托葉と共に,一見4片輪生の觀を呈す。花は聚繖花序をなして頂生し疎に着生す。萼は鉤毛を有し,花冠の裂片は長卵形鈍頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕8月。〔分布〕北海道·本州中部及南部·四國·九州。

982. **えぞむぐら**…… アカネ科
Galium asprellum, *Michx.*

〔形態〕林野に自生する多年生草本なり。莖は方形をなし,性軟弱,高さ1-1.5米(3-5尺)に達し,多くの小枝を分つ。この莖は稜角に上下向す硬隆起を列生す。葉は4-6葉宛輪生し,披針形或は倒披針形,銳尖頭をなし,先端に下向せる小剛毛を布く。花は2-3分岐せる聚繖花序をなし,この花序は基脚のみに苞を有す。果實は毛を有せず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

983. **はなむぐら**(13圖版-118)…… アカネ科
Galium asprellum, *Michx.* var. tokyoense, *Nakai.*

〔形態〕多く濕地を好みて自生する多年生草本なり。莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し,纖細なれども直立す。葉は線狀倒披針形をなし,先端尖り,6葉づゝ輪生するを常とす。前種と同樣莖及葉脈上に下向せる剌毛を有す。花序·花色·果形等前種に同じ。〔分布〕本州中部。

984. **よつばむぐら**(13圖版-119)…… アカネ科
Galium gracile. *Bunge.*

〔形態〕田野·路傍等に自生する小形の多年生草本なり。莖は方形にして斜上性を有し,平滑。高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は長橢圓形銳頭或は鈍頭をなし,4葉宛輪生す。この葉は兩面·緣邊及肋脈上に粗毛を散生す。花は短縮せる圓錐花序を頂生或は腋出す。花冠は四裂し,各裂片は卵形を呈す。果實には鱗毛並に鉤毛を密布す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·臺灣等。

73 ひめよつばむぐら

74 ほそばのよつばむぐら

985. **ひめよつばむぐら**…… アカネ科
Galium gracilense, *Makino.*

(異名) こばのよつばむぐら 〔形態〕山地溫潤の地に自生する多年生草本なり。莖は方形をなし,簇生す。質軟弱にして毛茸を有せず。高さ15-30糎(數寸-1尺)に達す。葉は披針形をなし,兩面に細毛を散生し,4葉づゝ輪生す。花は聚繖花序をなし,頂生或は腋生す。苞は線形をなし,小苞は細小なり。花冠は4深裂し,各裂片は卵形を呈し,先端尖る。果實には鱗毛並に鉤毛を密布す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣等。

986. **ほそばのよつばむぐら**…… アカネ科
Galium trifidum, *L.*

〔形態〕山地陰濕の地に自生す多年生草本なり。全體細小なるものにして,莖は上昇性を有し,高さ30-60糎(1-2尺)に達し,稜形をなし,稜角に上下向の硬隆起を列生す。葉は線形或は狹き倒披針形にして鈍頭を有し,6葉乃至4葉宛輪生す。この葉は下面の中肋並に緣邊に下向する剌毛を疎布す。花は聚繖花序をなし頂生或は腋生す。この花は細梗を有し,花冠は3裂す。果實は無毛なり。〔花色〕純白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國·九州·臺灣等。

110 カツシヨクキナノキ

111 ボリビヤキナノキ

112 コーヒーノキ

113 ありどほし

114 やへむぐら

115 くるまむぐら

116 ひめむぐら

117 みやまむぐら

118 はなむぐら

119 よつばむぐら

987. **まるばのよつばむぐら**…… アカネ科
Galium brachypodium, *Maxim.*

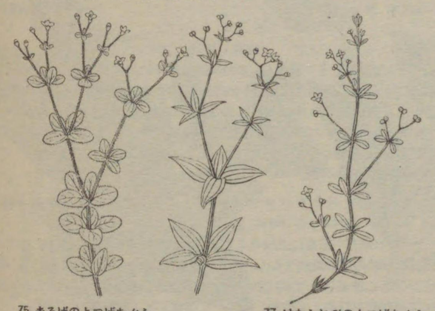
（異名）きくむぐら　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は柔軟にして傾臥若くは傾上し、長さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は楕圓形或は倒卵形をなし、先端尖り、微に凸端、單行脈を有し、上面及緣邊に粗毛を散生す。この葉は莖の上方にては 5 或は 4 葉、下方にては 6 葉宛輪生す。花は聚繖花序をなし、2-3 花を着生す。この花は有梗にして葉より長く、小苞は線形或は披針形をなす。花冠は 4 裂し、果實は疎に短き鉤毛を有す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣等。

988. **おほばのよつばむぐら**…… アカネ科
Galium kamtschaticum, *Stell.* var. oreganum, *Piper.*

〔形態〕山野陰濕の地に自生する稍大形の多年生草本なり。莖は柔軟にして稍無毛、高さ 15-30 糎（5-10 寸）に達す。葉は 3 行脈を有し、4 葉宛輪生す。葉身は下部に生ずるものは篦狀圓形、上部に生ずるものは廣楕圓形をなし、兩面殊に脈上には細毛を散生し、緣邊には齒毛を有す。花は圓錐花序をなし疎に頂生す。花冠は 4 裂し、各裂片は銳頭をなし、果實は鉤毛を有す。〔花色〕黃白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道・本州・四國等。

989. **えぞのよつばむぐら**…… アカネ科
Galium kamtschaticum, *Stell.* var. hirsutum, *Stell.*

〔形態〕前種と同樣山野の濕地に自地す多年生草本なり。概形前種に酷似し、莖は高さ 45 糎（1.5 寸）を出でず、下葉は篦狀圓形をなし、兩面に毛を有せず、中葉及上葉は廣卵形・圓形稀に長楕圓狀倒卵形をなし、上面に疎毛を布き、緣邊に齒毛を有し、下面は無毛なる特徵を有す。花色・花候共前種に同じ。〔分布〕樺太・千島・北海道等とす。



75 まるばのよつばむぐら　77 けなしねぞのよつばむぐら
76 おほばのよつばむぐら

990. **けなしえぞのよつばむぐら**…… アカネ科
G. kamtschaticum, *Stell.* var. hirstum, *Stell. forma.* intermedia, *Takeda.*

〔形態〕前種の一品種にして、中葉並に上葉は倒卵形をなし、上面細毛を散生し、緣邊も亦毛を有す。下面は脈上に細毛を有するか、或は稍無毛なる特徵を有す。〔分布〕本州各部・四國等とす。

991. **きぬたさう**（14 圖版-120）…… アカネ科
Galium japonicum, *Makino.* et *Nagai.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は方形をなし、平滑にして稍紫色を帶び、高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し、强硬にして直立す。葉は 4 葉宛輪生す。この葉は無柄にして、卵狀披針形或は廣披針形をなし、先端尖り、基脚楔形を呈し三行脈を有し、上面に疎毛を布き、毛緣をなす。花は圓錐花序をなし頂生し、疎に小花を着く。苞は細小、花冠は輻形をなし、先端 4 裂す。果實は平滑なり。〔花色〕白色。〔花候〕5 月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

992. **あをきぬたさう**…… アカネ科
Galium japonicum, *Makino.* var. viridescens, *Matsun.* et *Nakai.*

〔形態〕同じく山野に自生する 多年生草本なり。本種は前種の一變種に屬し、形態彼と稍同樣なれども、本種の莖は綠色を呈し 花序は彼に比し頗る短縮せる特徵を有す。〔花色〕白色。〔花候〕5 月。〔分布〕本州中部。

993. **おとぎりきぬたさう**…… アカネ科
Galium japonicum, *Makino.* var. bract.atum, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦前種の一變種に屬するものにして、概形凡て彼に酷似するものなれども、本種の特徵としては、其花の有する苞が、顯著大にして、卵形或は圓形を呈することゝす。〔花色〕白色。〔花候〕5-6 月。〔分布〕四國。

994. **ほそばのきぬたさう**…… アカネ科
Galium boreale, *L.*

〔形態〕山野陰濕の地に自生する多年生草本なり。莖は方形、强硬にして高さ 30-80 糎（1-2·6 尺）許に達す。葉は披針形或は線狀披針形をなし、三行脈を有し、無柄。4 葉宛輪生す。花は圓形花序をなして多花を密生し、頂生す。花冠は先端 4 裂し、各裂片は卵狀披針形、短凸頭をなす。果實は粗毛を有す。〔花色〕白色。〔花候〕5 月。〔分布〕樺太・千島・北海道。

995. **かはらまつば**（14 圖版-121）…… アカネ科
Galium verum, *L.* var. lacteum, *Maxim.* forma, lacteum, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は叢生し、直立又は上昇し、高さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達し、四稜をなす。葉は細狹にして線形をなし、質硬く、下面に毛茸を有す。この葉は 8 葉宛輪生す。花は複狀の聚繖花序をなし、多花を攢簇し、少しく油樣の臭氣を放つ。花冠は 4 裂にして外方へ反捲し、4 本の雄蕊と 2 本の花柱とを具ふ。果實は小形、平滑なり。〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔分布〕樺太・北海道・本州北部・中部・朝鮮・滿洲。

996. **うすぎかはらまつば**…… アカネ科
Galium verum, *L.* var. lacteum, *Maxim.* forma. luteolum, *Makino.*

〔形態〕本種は淡黃色の花を着生するものにして、恐くは前種カハラマツバと次種キバナカハラマツバとの間に生じたる一品種に屬するものなるべし。〔分布〕本邦各地。

997. **きばなかはらまつば**　蓬子菜（14 圖版-122）· アカネ科
Galium verum, *L.* var. typicum, *Maxim.*

〔形態〕前種の一變種にして、黃色花を有し、莖及葉の下面とは平滑なるものなり。〔花候〕秋。〔分布〕千島・北海道・本州・九州・朝鮮・滿洲。

人生との關係　本邦にては之れを聞かざれども、朝鮮にては、以上二種共に苗を茹で、他の菜と共に食し、又は汁の實として食すといふ。

10. クチナシ屬　GARDENIA.

998. **こりんくちなし**（14 圖版-123）…… アカネ科
Gardenia florida, *L.*

〔形態〕山地に自生する常綠灌木にして、幼條には細毛を有す。葉は短柄を有し、長楕圓形或は廣倒披針形にして急激に先端尖り、基脾狹まる。この葉は長さ 3-15 糎（1-5 寸）に達す。花は無梗にして楕頭に單生す。萼は 6-7 裂し、各裂片は線形を呈す。花冠は盆形をなし、花徑約 4-5 糎（1-5 寸）許、先端 6-7 裂し、各裂片は卵形にして斜頭をなす。雄蕊は 6-7 箇を有し、花喉に着く。果實は漿果にして卵形をなし 6-7 條の稜角なし、宿存萼片を冠し、成熟すれば黃紅色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕7 月。〔分布〕九州。

本種は殆ど以下記述するクチナシの原種をなすものにて、或は之れが人工的變種もあり、又自然的變種を形成せるもの等あり。

999. **くちなし**　梔子・山梔（14 圖版-124）…… アカネ科
Gardenia florida, *L.* var. grandiflora, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕諸國の山地に自生多きものなれど、人家にも移植栽せらるゝ常綠灌木なり。全體無毛種にして、數幹直立叢生し、枝を分ち繁茂する性を有し、高さ 1.8-2 米（6-7 尺乃至 1 丈）餘に達するものあり。葉は長さ 6-9 糎（2-3 寸）にして暗綠色を呈し、橢圓形にして先端尖り、基部に向つて漸く細く、全緣にして 10 對の支派を有し、短き柄を具ふ。花は單生し、枝頭に着く。この花は大形にして香氣馥郁たり。無柄なるあり、又は短き花梗を具ふるものあり。萼は 6 裂し、各裂片は長き披針形にして直立す。花冠は高盆形をなし、長さ 6 糎（2 寸）許、質厚くして先端 6 裂、或は 7-8 裂、稀に 9 裂するものあり。果實は黃色にして、長さ 3 糎（1 寸）許を有し、長楕圓形にして兩尖をなし、6-7 箇又は稀に 8-9 箇の縱稜を有し、その頂端に永存性の細長なる萼片を附着す。外果皮は薄くして、內に紅肉と、白色小形の種子を藏す。

〔花色〕初めは白色を呈すれども、脫落の前には淡黃色に變ず。〔花候〕春の末より夏の初にかけて着生す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣・小笠原島・朝鮮・滿洲。

人生との關係　葉に光澤を有し、花繁く、清香高きが故に、觀賞用として庭木とす。又和漢共に果實を乾燥貯藏し、黃色の染料とし、又漢方の藥用に供す。花は食用に供す。卽ち醋味噌に和して喰ふも可なり。又煮て食し、或

は乾燥貯藏す。殊に梅酢に紫蘇の葉を入れ、これにこの花を漬け込めば鮮紅色を呈し、味も亦佳なるものなり。その他食物を黄色に染むるに無害にして、その色鮮美なれば料理用として重用せらる。

〔附記〕本植物は、その枝を切り取り地中に插せば、容易に活着するものなれば、繁殖し易きものなり。

1000. **ほそばくちなし** 細葉山梔 …… アカネ科
Gardenia florida, *L.* var. grandiflora, *Franch. et Sav.* forma. oblanceolata, *Nakai.*

〔形態〕前種の一品種に屬し、その葉倒披針形を呈するのなり。
〔布分〕九州。

1001. **まるばくちなし** 丸葉山梔 …… アカネ科
Gardinia florida, *L.* var. Maruba, *Matsum.*

〔形態〕クチナシの一變種にして、その葉倒卵形・圓頂をなし、長さ3糎(1寸)許を有するものなり。園養せらるゝこと多し。〔分布〕九州。

1002. **やへくちなし** 八重山梔 …… アカネ科
Gardenia florida, *L.* var. ovalifolia, *Curtis.*

〔形態〕コリンクチナシの一變種に屬し、花冠の重瓣をなすものにして各地に園養觀賞せらるるものなり。〔分布〕九州。

78 まるばくちなし　79 やへくちなし　80 コクチナシ

1003. **コクチナシ** 小山梔 …… アカネ科
Gardenia florida, L. var. radicans, *Matsum.*

(異名) テウセンクチナシ・カラクチナシ・ハナクチナシ・ヤヘクチナシ
〔形態〕莖は多くの小枝を分岐し、匍匐性を有す。葉は倒披針形或は倒廣卵形をなし、上面滑澤、長さ3糎(1寸)許あり。花は無、重瓣をなし、蒂片は6箇、果實は6稜を有す。〔花色〕白黄色。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

1004. **おほやへくちなし** (14圖版-125) …… アカネ科
Gardenia florida, *L.* var. Hortuniana, *Lindl.*

〔形態〕前種ヤヘクウナシよりは其葉及花共に大形なるものにして、葉の長さの如き10糎(3·5寸)より大なるものは15糎(5寸)餘に達するものあり。花も亦大形にして、花徑10糎(3·5寸)許を有す。この花も前種等と同樣最初白色を呈し、後黄變し、香氣は一層高きものなり。〔花候〕5-6月。
(栽培種)
人生との關係 本種は樹姿大形なるものなれば鉢作りとするよりは寧ろ庭木として植込みたる方、その風致、香氣を愛する等に最もよく適するものなり。繁殖は挿木により簡單に行はる。

1005. **ふいりくちなし** 斑入山梔 …… アカネ科
Gardinia florida, *L.* forma. aueor-variegata, *Nakai.*

〔形態〕コリンクチナシの一品種に屬するものにして、本種はその葉に黄色の斑紋を有するものなり。園養せらるゝこと多し。栽培變種なり。

1006. **フクリンクチナシ** (14圖版-126) …… アカネ科
Gardinia florida, *L.* forma. variegata, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦コリンクチナシの一品種に屬し、葉の綠色に白色の覆輪を有するものなり。一名フクリンサンヒチと稱し園養せらる。栽培變種なり。

1007. **けんさき** 劍先 …… アカネ科
Gardenia florida, *L.* var. radicans, *Matsum.* forma. simpliciflora, *Makino.*

(異名) ひとへのこくちなし　〔形態〕花は單六瓣をなすものなり。
〔原産地〕支那。

1008. **ふいりけんさき** 斑入劍先 …… アカネ科
Gardenia florida, *L.* var. radicans, *Matsum.* forma. variegata, *Carr.*

〔形態〕本種は、その葉に黄白の斑紋を有するものなり。
〔原産地〕支那。

11. シマハビロ屬 GUETTARDA.

1009. **しまはびろ** (14圖版-126) …… アカネ科
Guettarda speciosa, *L.*

(異名) はてるまぎり　〔形態〕海濱に自生する常綠の小灌木なり。葉は柄を有し對生し、倒卵形をなし、長さ12-24糎(4-8寸)を有し、下面に短毛を密生す。本種は雌雄雜花を有し、聚繖花序をなし、長梗によりて小數花を着け、芳香を有す。蒴は筒形にして截頭をなし、花冠亦筒形をなし、先端6裂し、各裂片は倒卵形をなし、蒴と共に短毛を布く。雄蕊8箇、葯は線形、花柱は絲狀をなし、柱頭は稍球形を呈す。子房は5室を有す。核果は球形をなす。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球・臺灣。

12. サンタンクワ屬 IXORA.

1010. **サンタンクヮ** …… アカネ科
Ixora chinensis, Lam.

(異名) センダンクヮ　〔形態〕園地に栽培せらるゝ灌木なり。全株無毛、葉は稍無柄にして對生し、倒卵形或は倒卵狀長楕圓形にして、鈍頭或は鋭頭をなす。花は房狀聚繖花序を頂生し、蒴は4齒緣をなし、齒片は子房より短く、花冠は盆形をなし、筒部は長さ1.8-2.4糎(6-8分)。裂片は圓形を呈す。雄蕊は4箇ありて花喉に着生し、子房は2室を有し、下位なり。核果は球形をなし、2核を有す。〔花色〕朱紅色を呈し美麗。〔花候〕夏。
〔原産地〕馬來半島。

1011. **シロバナサンタンクワ** …… アカネ科
Ixora parviora, Vahl.

〔形態〕同じく園地に栽培せらるゝ常綠喬木なり。葉は稍無柄にして、長楕圓形或は楕圓形鈍頭をなし、長さ7.5-15糎(2.5-5寸)を有す。花は聚繖花序をなし、無梗にして稍球形をなす。花冠は筒部長さ7.5糎(2.5分)、裂片は長楕圓形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

13. ルリミノキ屬 LASIANTHUS.

1012. **るりみのき** (14圖版-128) …… アカネ科
Lasianthus japonicus, *Miq.*

(異名) るりだまのき　〔形態〕高さ10-15糎(4-5尺)許に達する小灌木なり。幼條は毛を有せず、葉は短柄を有し對生し、披針狀長楕圓にして鋭尖頭をなし、緣邊波狀、基脚鋭形を呈し、裏面に褐色の絨毛を有す。花は小形にして4-5花を簇生し、細小の苞を有す。蒴は杯形にして5齒緣をなし宿存性なり。花冠は內面に絨毛を布き、先端5裂し、各裂片は卵形をなす。果實は球形の漿果にして紫藍色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。
〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮。

1013. **まるばるりみのき** …… アカネ科
Lasianthus plagiophyllus, *Hance.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、枝條には粗毛を密布す。葉は短柄によりて對生し、長楕圓形或は長楕圓狀披針形をなし、鋭尖頭或は鈍頭をなし、側脈7-8對、下面に粗毛を布く。花は鬘形の苞を有し、蒴は5裂、花冠は筒狀をなし、核果は廣楕圓形にして無毛なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。
〔分布〕九州大島・臺灣。

1014. **さつまるりみのき** …… アカネ科
Lasianthus satumensis, *Matsum.*

〔形態〕小灌木にして幼條には毬毛を密布し、葉は有柄にして對生し、長楕圓形にして、下面に掻縮毛を布く。側脈は5-0對を有す。核果は帶黒色に成熟す。〔分布〕九州。

120 きぬたさう

121 かはらまつば

122 きばなかはらまつば

125 おほやへくちなし

124 くちなし

123 こりんくちなし

126 フクリンクチナシ

127 サンタンクワ

128 るりみのき

14. シテウゲ屬 LEPTODERMIS.

1015. **してうげ**（15圖版-129）…… アカネ科
Leptodermis pulchella, *Yatabe.*

（異名）いははぎ・むらさきちやうじ　〔形態〕園地に栽培せらるゝことある小灌木にして、高さ1米(3-4尺)に達す。葉は稍革質をなし、葉柄を有し、對生。葉身は橢圓狀披針形をなし、上面の中肋に稍細毛を布く。托葉は鱗狀をなし、先端尖る。花は頂生し、簇生す。苞は對生し、線狀披針形をなし、小苞も亦對生す。萼は筒狀にして、先端5裂し、各裂片は長橢圓形をなし、先端尖り毛絨を有す。花冠は漏斗狀をなし、筒部は狹り、內面有毛、先端5裂し、各裂片は廣闊、波緣をなす。雄蕊5箇、花絲は至つて短く、子房は五室、花柱は5箇にして絲狀をなす。果實は廣橢圓形にして、十稜をなし、宿存萼を有す。

〔花色〕紫色。〔花候〕8-9月。〔分布〕九州南部·四國。

人生との關係　庭園に栽植し觀賞に供す。

15. クワエンサウ屬 MANETTIA.

1016. **クヮエンサウ**　火焰草（15圖版-130）…… アカネ科
Manettia ignita, K. Schm.

〔形態〕園地に栽培せらるる藤本なり。全株毛を有せず、莖は强硬にして細長なり。葉は柄を有し、心臟形にして先端尖り、稍三角形を呈するものあり。この葉は表面滑澤にして細小なる托葉を有す。花は絲狀を呈する花梗を有し、花冠は棍棒狀漏斗形をなし、內面に白毛を密布す。紘部は4裂し、各裂片は三角形をなし反捲し、雄蕊4箇を有し、花絲は花筒に著生し、花冠より稍挺出す。子房は二室。花柱は雄蕊より稍長く、先端2岐し、蒴は卵形をなす。〔花色〕帶朱橙黃色。〔花候〕夏。〔原産地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　花色美麗なれば觀賞用として栽培せらる。

1017. **アラゲクヮエンサウ** ……アカネ科
Manettia inflata, Sprangue.

81 アラゲクワエンサウ

〔形態〕近時の外來に係り本邦にては專ら鉢仕立てとし觀賞に供する多年生草本なり。莖は蔓性をなし、長さ30-40糎(1-1·5尺)內外に伸長し、葉は長さ6糎(2寸)、幅2糎(0·7寸)許にして葉柄を有し、基脚圓形を呈す。花は2糎(0·7寸)許を有する花梗によりて梢上葉腋上に着生し、花冠は前種と同樣長き筒狀を呈し、先端淺く5裂すれども、前種の如く反捲することなく、前種の花は全部鮮紅色を呈すれども、本種の花筒は眞紅色を呈するのみならず、其先端鮮黃色を呈し、前種よりは一層愛らしく且つ美觀を呈するものなり。尙本種は其花筒部に粗剛なる毛を有するを特徵とす。即アラゲなる語は粗毛を意味したるものなり。本和名も亦松崎直枝氏の命名せられたるものなり。

人生との關係　前述の如く本邦にては專ら觀賞用として栽培する品種にして箱作り等に仕立つれば頗る愛らしきものなり。繁殖は挿芽による。冬季は5度內外の溫度內に保護するを要す。

16. ツルアリドホシ屬 MICHELLA.

1018. **つるありどほし**（15圖版-131）…… アカネ科
Michella repens, *L.* var. undulata, *Makino.*

〔形態〕山中陰地に自生する匍匐性の多年生草本なり。莖は細長くして多くの枝を出し、他物に纏繞す。葉は柄を有し、三角形卵狀にして鈍頭をなし、波狀樣縐縮性をなす。この葉は上面の肋脈顯著なり。花は小形にして、通常2箇づゝ莖の頂端に生ず。花冠は漏斗狀をなし、先端4裂し、外面往々紅暈を有す。本植物の花は二種の花形をなし、1は長花柱·低雄蕊、1は短花柱·高雄蕊花にして、各異株に着生するものとす。果實は球形をなす。

〔花色〕白色なれども、外面往々紅暈を有す。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國。

17. ハナガサノキ屬 MORINDA.

1019. **ヤヘヤマカヅラ** …… アカネ科
Morinda citrifolia, L.

（異名）アカダマノキ　〔形態〕小笠原、臺灣等の如き熱帶地方に生有する常綠灌木にして全株無毛種に屬す。本種の枝條は鈍方形をなし、葉は紙質を呈し、肉厚く、卵形全緣にして長さ18糎(6寸)許に達し、托葉は膜質にして廣橢圓形をなす。花は長き花梗によりて單生し、通常葉に對生す。萼は杯形にして先端は截頭をなし、花喉に短毛を有す。花冠は先端5深裂し毛茸を有することなく雄蕊は花喉に着生す。果實は聚合果にして球形或は廣橢圓形をなし、果形4糎(1·3寸)許に達し、成熟すれば黃色を呈するものなり。

82 ヤヘヤマカヅラ

〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島·臺灣。

1020. **はながさのき**…… アカネ科
Morinda umpellata, *L.*

（異名）あかだまかづら　〔形態〕山地に自生する攀緣生灌木にして、往々攀開するものあり。葉は膜質をなし、短柄を有し、橢圓形或は線狀披針形をなし、下面は無毛或は毛を有す。花は繖形花序をなして頂生し、花冠は幅形をなし、花喉に鬚毛を有す。核果は合生し、稍豌豆大にして黃紅色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州の大島及屋久島·小笠原島·臺灣等。

18. コンロンクヮ屬 MUSSAENDA.

1021. **こんろんくわ**　玉葉金花（15圖版-132）…… アカネ科
Mussaenda parviflora, *Miq.*

〔形態〕園地にも栽培せらるゝこともある常綠の小灌木なり。全株に僵毛を散生し、高さ1.5-1.8米(5-6尺)に達す。葉は紙質をなし、長柄によりて對生す。この葉は橢圓形にして先端尖り、銳脚をなし、長さ7.5-9糎(2.5-3.0寸)を有し、托葉は線形をなし基脚合着す。花は聚繖兌序に排列し、房狀を呈し頂生す。苞は線狀披針形をなす。萼は鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は鑿形をなす。尙愛性萼を有す。花冠は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は短廣卵形の銳頭をなし、稍反捲し、內面には短毛を布き、花喉には淡黃色の長毛を有す。雄蕊は閉在し、柱頭は2岐す。果實は橢圓形をなし、黑色に成熟す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕九州·琉球·臺灣等の山地。

人生との關係　內地にては多くの庭園に栽植し觀賞に供せらる。

1022. **ひろはこんろんくわ**…… アカネ科
Mussaenda shikokiana, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する小灌木にして、前種と同樣全株に僵毛を散生す。葉は前種と異り腺質をなし、葉柄を有し對生し、廣橢圓形をなし、先端は急激に尖り、基脚圓形を呈し、長さ10糎(3寸)餘あり。花は聚繖花序をなして頂生し、披針形をなせる苞を有し、萼裂片も亦披針形をなし先端尖り、變生萼片は廣卵形をなす。果實は廣橢圓形にして、黑熟す。〔花色〕黃白色。〔花候〕夏。〔分布〕四國·九州。

人生との關係　園地に移植栽培し、觀賞に供するものあり。

1023. **まるばのこんろんくわ**…… アカネ科
Mussaenda taiwaniana, *Kanehira.*

〔形態〕前種と同樣小灌木にして、葉は紙質をなし、有柄にして對生す。この葉は廣卵形をなし、先端は急激に尖り、長さ12糎(4寸)許を有し、兩面脈上に毛茸を有す。果實は球形にして黑熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1024. **けこんろんくわ**……アカネ科
Mussaenda pubescens, *Ait.*

〔形態〕本種も前種と同様臺灣に自生品を見る小灌木なり。全株に僅毛を散生す。葉は有柄にして對生し、卵狀長橢圓形をなし先端尖り、脉上に短毛を有す。この葉の有する托葉は双生す。花は房狀花序をなし頂生。萼裂片は鑿形をなし、花筒は細長く、裂片は銳頭をなす。〔分布〕臺灣。

1025. **ヒゴロモコンロンクワ**（15圖版-133）……アカネ科
Mussaenda erythrophylla, Schum. et Thom.

〔形態〕原産地にては高さ10米（30尺）餘に達する灌木なれども、本邦にては專ら鉢仕立てとして温室中に栽培し觀賞に供せらるゝものなり。本種は前種コンロンクワに對し、花色紅色を呈するにより帝大植物園園藝主任松崎直枝氏の命名せられたるものなり。〔花色〕紅色。〔花候〕5-6月。
〔原産地〕熱帶亞弗利加。

人生との關係　最近の渡來に係るものにして專ら觀賞用に供す。繁殖は挿木により、冬季は温室内に（最低50度）保護するを要す。

19 タニワタリノキ屬 NAUCLEA.

1026. **たにわたりのき**（15圖版-134）……アカネ科
Nauclea orientalis, *L.* var. macrophylla, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして幼條には細毛を生ず。葉は短柄を有し、倒披針形をなし、先端は急激に銳尖頭をなす。托葉を有すれども早落性なり。頭花は長梗を有し、腋出又は頂生す。花は小形にして、萼は5齒緣をなし、花冠は長漏斗形をなし、先端5裂し、雄蕊5箇ありて花筒に着生す。子房は2室、花柱は長く挺出す。果實は2箇の小堅果に分解す。〔花色〕淡黄色。〔花候〕7月、成果10月。〔分布〕九州。

人生との關係　本植物の材は種々の器物を造るに重用せらる。

1027. **へっかにがき**（15圖版-135）……アカネ科
Nauclea racemosa, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）はにがき・ざぶんぎ・おほたまがさ・けなしたまがさ
〔形態〕山地に自生する灌木なり。本種の枝條は鈍方形をなし、嫩枝には稍短硬毛を布く。幹は高さ3米（丈餘）に達す。葉は長柄を有し、卵形にして先端尖り、下面脉上に短毛を布き、托葉は卵狀長橢圓形をなし早落性なり。頭花は頂生し總狀花序をなす。各花は小形、萼は赤褐色を呈し、短剛毛を有し、先端5裂し、各裂は短卵形をなす。花冠は筒狀漏斗形をなし、雄蕊は花喉に着生閉在す。花柱は長く花冠外に挺出す。〔花色〕帶黄色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・琉球・臺灣。

20. フタバムグラ屬 OLDENLANDIA.

1028. **ふたばむぐら**……アカネ科
Oldenlandia diffusa, *Roxb.*

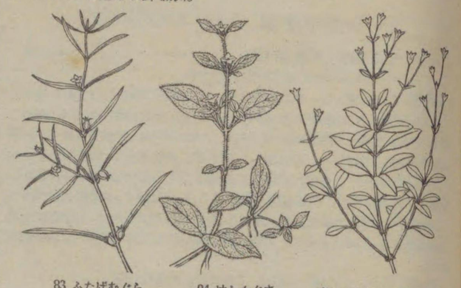
〔形態〕田野・庭園等に自生する一年生草本なり。全株無毛にして高さ15-20糎（4-5寸乃至7-8寸）に達す。葉は對生し、線形にして長さ3糎（1寸）、幅3糎（1分）許を有し、全緣にして銳頭、無柄、小形の托葉を有す。花は短梗を有し葉腋上に單生す。萼の裂片は鑿形をなし、花冠は鐘狀にして先端4裂す。雄蕊は4本、葯は淡黄褐色、子房は半ば萼に被はれ、花柱は1にして先端2裂す。蒴は球形にして柄を有す。〔花色〕白色或は先端に微紅點を有することあり。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

1029. **ながえふたばむぐら**……アカネ科
Oldenlandia diffusa, *Roxb.* var. longipes, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し、花形小さく、花梗は長さ6糎（2分）餘を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1030. **はしかぐさ**……アカネ科
Oldenlandia hirsuta, *L. f.*

〔形態〕蘞薁・路傍等に自生する匍匐性の多年生草本なり。莖は柔軟にして毛を有することなく、節間に翳根を出し、枝及莖の先端部扛起す。葉は對生し、卵圓形或は橢圓形にして、先端尖り、殆んど全緣をなし、葉柄は甚だ短く、基部に3針又は5針狀の托葉を有す。花は無梗にして腋生し、萼は鐘狀をなし、外面に翳毛を有し、先端5裂す。花冠も亦鐘狀をなし先端は4裂す。雄蕊は4箇を有し、葯は淡紫色を呈し、雌蕊は1箇を有す。本種の萼は宿存性にして、蒴は成熟するも脱落せず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州・臺灣・朝鮮・滿洲。



83 ふたばむぐら　84 はしかぐさ　85 そなれむぐら

1031. **そなれむぐら**……アカネ科
Oldenlandia crassifolia, *A. P. DC.*

〔形態〕海邊の岩石上に自生する一年生草本なり。全株に毛を有せず、液質をなし、高さ15-45糎（5-1.5寸）許に達し、小枝を分ち撒開性なり。葉は有柄にして對生し、橢圓狀卵形或は長橢圓形をなし、細小の托葉を有す。花は聚繖花序をなして頂生し、圓錐狀をなす。花冠は4裂し、各裂片は橢圓形なり。蒴は膜質をなし、柄を有す。〔花色〕白色或は帶紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮。

1032. **しまそなれむぐら**……アカネ科
Oldenlandia biflora, *L.*

〔形態〕海邊に自生する一年生草本なり。莖は前種と同樣液質、撒開性をなし無毛、葉は前種と同樣なれども、本種の有する托葉は殘形をなし、短き剛毛を有す。聚繖花序は短形にして、1-4花を着く。蒴は前種よりは短柄を有し、四稜をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1033. **こばんむぐら**……アカネ科
Oldenlandia kiusiana, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する多年性草本なり。莖は稍匍匐性をなし、粗毛を布く。葉は紙質をなし、短柄により對生す。葉身は卵狀廣橢圓形或は橢圓形をなし、兩面脈上に粗毛を散生す。この葉は托葉を有し、膜質を呈す。花は聚繖花序をなし腋出し、花冠は漏斗狀をなし、先端4裂し、各裂片は長橢圓狀披針形をなす。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕九州地方。

1034. **しまざくら**……アカネ科
Oldenlandia Grayi, *K. Sch.*

〔形態〕海邊に近く自生する亞灌木なり。全株無毛、莖は紙質をなし、短柄を有し、卵形或は長橢圓狀披針形をなし、小形の托葉を有す。花は聚繖花序をなし、頂生し、密簇す。花冠は筒狀をなし先端4裂し、各裂片は長線形をなし、蒴は長橢圓形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島。

1035. **トキハナツナ**（15圖版-136）……アカネ科
Oldenlandia caerulea A. Gray. *(Houstonia caerulea, L.)*

〔形態〕歸化植物にして温地に自生する二年生小草本なり。全株無毛、莖は斜昇にして直生し、疎に枝を分ち、高さ10-12糎（3-4寸）に達す。葉は倒披針形或は長橢圓形にして對生し、下部のものは葉柄を有すれども、上部のものは無柄なり。花は梢上に2箇宛の絲狀を呈する花梗を出し、其頂端に高盆狀をなし、先端4裂せる合瓣花を着生す。〔花色〕淡碧色にして黄色の眼點を有するもの、白色のもの等あり。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

21. キダチイナモリサウ屬 OPHIORRHIZA.

1036. **きだちいなもりさう**（15圖版-137）……アカネ科
Ophiorrhiza japonica, *Blume.*

（異名）じやこんさう・さつまいなもり　〔形態〕九州の南部殊に薩摩の山地・山足の監地等に多く自生する多年生草本なれば、特に本和名を有す。莖は高さ15-30糎（4-5寸乃至1尺）許に及び、下部は地に塌して根を生じ、上部は扛起して枝を分つ。葉は對生し、橢圓形又は卵形にして、先端尖り、基部は鋭形又は圓形にして全緣、質にして光澤を有し、兩面共脈上に微毛を有す。花は聚繖花序をなして頂生し、疎に5-10花を着く。本花は極めて短

PL. 15.

129 もてうげ　130 クワエンサウ　131 つるありざほし

132 こんろんくわ　133 ヒゴロモコンロンクワ　134 たにわたりのき

135 へつかにがき　136 トキハナツナ　137 きだちいなもりさう

き花柱を有し、花柱の傍に線狀の小壺を有す。花冠は管狀をなし、先端五裂し、外面は平滑なれども、內面には深き毛を有す。5雄・1雌蕊を有す。本種の花は2形をなし、1は長雌蕊花、1は短雌蕊花をなす。この兩種は株を異にし着生す。果實は漿にして、上部稍2裂す。

本植物は乾燥すれば萊・葉共に紅色を呈し、殊に花は鮮紅色となりて頗美麗なり。乾燥品を見て紅花と誤認せらるることあれば、往々ベニバナイモリサウの名さへ附せらるることあり。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・朝鮮。

本種にはジャコンサウの和名を有するも2種あり。(據植總)

1037. **ちゃうちうじゃこん** …… アカネ科
Ophiorrhiza japonica, *Blume.* forma. longistigma, *Hayata.*

〔形態〕本種はその花の有する花柱の分枝が線形を呈し、長さ2粍(8分)許を有するを特徴とす。〔分布〕本州中部。

1038. **たんちうじゃこん**…… アカネ科
Ophiorrhza japonica, *Blume.* forma. brevistisma, *Hayata.*

〔形態〕本種は花柱の分枝短きものなり。〔分布〕本州。

1039. **やへやまいなもりさう**…… …… アカネ科
Ophiorrhiza inflata, *Maxim.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は上昇性を有し、高さ7糎(2寸5分)許に達し、赤色の鱗毛を密布す。葉は有柄にして對生し、披針狀長橢圓形にして、兩面に粗毛を散生す。花は聚繖花序をなして頂生し、多花を着く。花冠は外面に鱗毛を有じ、花喉に長毛を生ず。花柱は先端(岐し、各技は圓形を呈す。本種は乾燥するも紅色を呈することなし。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球・臺灣等。

22. ヤイトバナ屬 PAEDERIA.

1040. **やいとばな** 牛皮凍・女青 (16圖版-138)…… アカネ科
Paederia tomentosa, *Maxim.* (*P. chinensis, Hance.*)

(異名) へくそかづら・さをとめかづら・かばねぐさ・へくさづる・さをとめばな・へうそかづら・をどりづる・きうすゐぐさ 〔形態〕原野・樹林・竹林中、殊に好んで野薔薇・萱等に纏絡上昇する多年生草本なり。全株に一種の臭氣を有す。莖は長さ10-15米(數丈)に達し、幼條は無毛或は短毛を布く。下部は木質をなす。葉は對生し、長き葉柄を有し、葉身は心臟形・卵形・長卵形・卵狀披針形等をなし、長短一ならず、何れも鋭尖頭にして、全緣又は波狀緣をなし、平滑又は細毛を有す。花は圓錐狀聚繖花序をなし、頂生或は腋生す。萼は鐘形をなし、5齒緣を有し、齒片は三角形をなす。花冠は盃形をなし、長さ1-1.3糎(3-4分)を有し、外面には粉狀毛を密生し白色を呈し、內面は紫紅色を呈し、長毛を散生す。この花冠は先端5裂し、各裂片は圓形をなす。雄蕊は5箇ありて花筒に着生し、葯は黃褐色なり。子房は球形をなし、2花柱細長くして絲の如く、淡紅色を呈し、末端は花喉の外に出づ。果實は小形にして球形をなし、黃褐色を呈し、頂端に微細なる齒狀の萼片を有す。〔花色〕外面白色、內面紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係 花冠は長き筒狀をなし、筒狀部は恰も俗にいふ天狗の鼻の如く見ゆるにより、小兒等これを玩弄す。又內面赤色、外面白色を呈するにより、赤き部分を灸の火に見立て、之れを倒に人體に附着せしめ、灸點するに擬する遊戲をなす。これヤイトバナの稱ある處とす。

秋の終りこの植物の漿果の成熟したるものを取り凍傷に果汁をそのまま塗布すれば、如何なる重き凍傷にても 1-2 回の塗布にて完全に治癒し得らるゝこと不可思議といふ程に效果あるものなり。著者は特記して同患者の福音とする次第なり。

1041. こばのへくそかづら…… アカネ科
Paederia tomentosa, *Maxim.* forma. microphylla, *Honda.*

〔形態〕前種の一品種にして、其葉は形小さく長さ 1.5-4.5糎(5-15分)許を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1042. ほそばのへくそかづら…… …… アカネ科
Paederia tomentosa, *Maxim.* var. angustifotia, *Nakai.*

〔形態〕前種ヤイトバナの一變種にして、葉は狹披針形・基脚截形をなし、長さ15糎(5寸)許、上面は無毛、下面脈上に細毛を布く。〔分布〕對馬。

23. イナモリサウ屬 PSEUDOPYXIS.

1043. **いなもりさう**…… アカネ科
Pseudopyxis depressa, *Miq.*

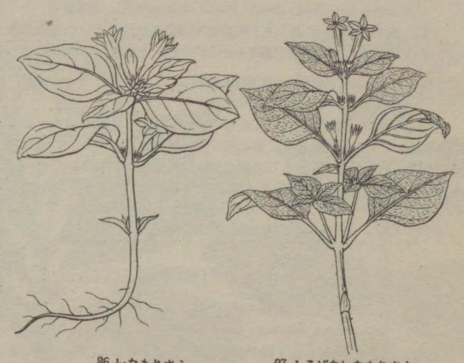
(異名) よつばぐさ・よつばはこべ 〔形態〕伊勢の稻莖山及朝熊山、其他三河・美濃・武藏等の深山險地に自生する多年生草本なり。春日苗を出し、2葉づつ對生し、4葉相向ふ。故にこの異名を有す。葉は卵形にして、基部稍心臟形を呈す。高さ 10-12糎(3-4寸)許に達し、葉間に數花を着く。花冠は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は卵形を呈す。5雄蕊、1雌蕊を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

1044. **ほしざきいなもりさう**…… アカネ科
Pseudopyxis depressa, *Miq.* var angustiloba, *Makino.*

〔形態〕前種の一變種に屬し、本種は花冠の裂片狹長にして、中央肥厚し、邊緣內方に卷縮する特徵を有す。〔分布〕本州中部。

1045. **ふいりいなもりさう**…… アカネ科
Pseudopyxis depressa, *Miq.* var. variegata, *Maxim.*

〔形態〕本種も亦イナモリサウの一變種に屬し、葉の中肋兩側に淡綠色の斑紋を有するものなり。〔分布〕同前。



86 いなもりさう　87 しろばないなもりさう

1046. **しろばないなもりさう**…… アカネ科
Pseudopyxis heterophylla, *Maxim.*

〔形態〕相模の箱根・伊豆の天城山・尾張の東谷山等の中山險地に自生する多年生草本なり。莖は直立し、高さ 20-25糎(7-8寸)に達し、稍毛茸を有す。葉は長柄を有し對生し、淺綠色を呈し、橢圓形にして先端尖り、3裂せる三角形の托葉を有す。花は聚繖花序をなして頂生し、數花攢簇す。花冠は漏斗狀をなし、先端5裂し、5雄蕊、1雌蕊を有し、柱頭は五岐す。萼中に1小子を藏し、熟すれば地上に落つ。種子は平滑なり。〔花色〕雪白色。〔花候〕夏。〔分布〕本邦中部。

24. ボチャウジ屬 PSYCHOTRIA.

1047. **ぼちゃうじ** (16圖版-139)…… アカネ科
Psychotria Reevessii, *Wall.* (*Grumilea Reevesii.*)

(異名) りうきうあをき 〔形態〕山野に自生する常綠灌木にして、全株無毛種に屬す。葉は革質をなし、長橢圓形・鋭尖頭をなし、基脚狹く、長さ12糎(4寸)許を有す。托葉は膜質をなし葉柄に合着す。花は圓錐狀聚繖花序をなして頂生、3出し、多花を密生す。萼は短く截形をなし、花冠は稍鐘形をなし、喉部は毛を有し、裂片は平開す。雄蕊は花喉に着生し、稍挺出す。子房は2室、核果は赤色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州・小笠原島・琉球・臺灣。

1048. **しらたまかづら** (16圖版-140)…… アカネ科
Psychotria serpens, *L.* (*Grumilea serpens.*)

(異名) いはづたひ・いしかんら・わらべなかせ・みさきしらたま

〔形態〕瀕海の土地に自生する常綠の匍匐性灌木にして全株無毛種に屬し、莖は氣根によりて上昇す。葉は柄を有し、卵形或は倒卵狀長橢圓形・鈍頭をなし、基脚狹る。花は3出する圓錐花序をなして頂生し、稍多花を着く。萼

は鈍齒緣をなし.花冠は外面稍白粉を裝ふ。果實は白熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕四國·九州·小笠原島·琉球·臺灣。

1049. おほしらたまかづら …… アカネ科
Psychotria boninensis, *Nakai.*

(異名) おほばいはづたひ 〔形態〕本種の葉は笹狀或は倒披針狀長橢圓形.稀に橢圓形をなし.長さ1糎(3分)餘を有し.下面の第2脈顯著なる特徴を有す。〔分布〕小笠原島。

25. ミサヲノキ屬 RANDIA.

1050. **みさをのき** (16圖版-141)…… アカネ科
Randia densiflora, *Benth.*

〔形態〕暖地の瀕海地に自生する大灌木なり。全株無毛種。葉は革質にして.柄を有し對生。葉身は橢圓形乃至披針形をなし.長さ10-20糎(3-7寸)三角形の托葉を有す。花は聚繖花序をなし多花を着け.小梗は頗る短く.苞は細小にして三角形をなし.宿存性を有す。萼は五齒緣をなし.花冠は12-18糎(4-6分).花筒は紡部より遙かに短く.裂片は外面無毛或は稍絹毛を布く。柱頭は纖細にして挺出す。果實は豌豆大の漿果なり。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕本州南部·四國·九州·臺灣。

1051. **ほそばみさをのき**…… アカネ科
Randia densiflora, *Benth.* forma. angustifolia, *Makino.*

〔形態〕前種の一品種に屬し.その葉披針形或は廣披針形にして.先端長銳尖をなし.基部は漸狹形.緣邊稍皺縮するものなり。〔分布〕本州南部。

1052. **しまみさをのき** (16圖版-142)…… アカネ科
Randia canthioides, *Champ.*

(異名) たいわんみさをのき·だしもやう 〔形態〕山地に自生する小灌木にして全株に毛を有せず。幹は高さ2-3米(7-8尺)に達す。葉は柄を有し對生し.革質長橢圓形にして.長さ7.5-10糎(2.5寸乃至3.4寸)あり。花は3乃至7箇より成る聚繖花序をなし.小梗は稍長く.萼は五齒緣をなし.花筒は紡部より稍長し。果實は漿果にして1糎(3分)許の球形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球·臺灣等。

26. ベニマツリ屬 RONDELETIA.

1053. **ベニマツリ** (16圖版-143)…… アカネ科
Rondeletia odorata, Jacq.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ灌木にして全株に軟毛を布く。葉は短柄によりて對生し.卵形にして銳頭をなし全邊なり。托葉は披針形をなす。花は房狀花序をなして頂生し.線形の苞を有す。萼は短き倒卵形をなし.先端5裂し.各裂片は線形をなし.宿存性なり。花冠は盆形をなし.筒部は狹長.紡部は5裂し.各裂片は圓形をなし.花喉に鮮黃色の副冠を有し.雄蕊は閉在す。花柱は綠狀をなし.花筒と同長.柱頭は棍棒狀をなし二岐す。〔花色〕赤色。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

27. アカネ屬 RUBIA.

1054. **あかね** 茜草·茅蒐·過山龍 (16圖版-144)…… アカネ科
Rubia cordifolia, *L.* var. lancifolia, *Regel.*

(異名) あかねかづら·べにかづら 〔形態〕山野に自生する蔓性の多年生草本なり。莖は方形をなし.他部と共に下向せる小刺を列生し.中空なり。葉は四葉宛輪生す。この葉は長柄を有し.卵狀心臟形をなし.3乃至7行脈を有す。花は小形にして.聚繖花序をなし.腋出或は頂生す。苞は對生.萼は缺如す。花冠は五裂し.各裂片は披針形をなし.先端尖り.內曲す。雄蕊4箇.雌蕊2箇を有し.果實は漿果にして2箇合生し.初めは綠色なれども.後黑色に成熟す。〔花色〕黃白色。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部·九州·臺灣·朝鮮·滿洲。

人生との關係 本植物の根を染料に供し.又藥用にも供す。染料としては本植物の根を粉末にし使用するものにして.暗赤色を呈す。其色素はアリザリン (Alizarin) と稱する結晶體にして.古來トルコ赤染用として盛に使用せられしものなれども.彼の人造アリザリンの製造されし以來.頓に其需要減退し.現今にては偶々藍建の醱酵劑として用ひらるゝことある位なり。我國にても太古より盛に之れを使用せられしことは歷史的に有名なれども.特に王朝時代の染物には最も盛に用ひられしものなり。又遠江茜根として遠江より出づる茜染の絹の名ありしことなど舊記に見ゆ。

朝鮮·滿洲地方にても到る處の山野に自生するものにして.彼の地にては次に揭げたるクルマアカネ·オホクルマアカネ等.何れも茜草の冠名の下に總括す。朝鮮にては苗葉を茹で菜として食す。根部は紅色染料に供し.又藥材としては月經不通に效ありとして應用す。

1055. **くるまばあかね** (16圖版-145)…… アカネ科
Rubia cordifolia, *L.* var. lancifolia, *Regel.*

〔形態〕前種と同樣山地に自生する多年生草本なり。概形前種に酷似すれども.本種の葉は8葉乃至4葉宛輪生し.葉身は長橢形乃至披針形をなし.先端尖り.凸端をなし.基脚は圓形乃至銳脚にして.5乃至3行脈を有する等.彼と異る特徵とす。〔分布〕本州中部及南部·九州·朝鮮·滿洲。

1056. **おほくるまあかね**…… アカネ科
Rubia cordifolia, *L.* var. pratensis, *Maxim.*

〔形態〕前種と略同樣なる多年生草本なり。本種は6葉乃至4葉を輪生し.葉身は心臟狀長橢圓形或は卵形を呈し.下面無毛なるものなり。其他は殆どアカネに同じ。〔分布〕對島。

1057. **ながばあかね**…… アカネ科
Rubia cordifolia, *L.* var. stenoyhylla, *Franch.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。概形殆どアカネに酷似するものなれども.本種の葉は長柄を有する他.彼より幅狹く.線狀披針形をなし.三行脈を有するを彼に異れる特徵とす。〔分布〕臺灣。

1058. **おほあかね**…… アカネ科
Rubia hexapoylla, *Makino*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。本種の莖は六角形をなし.稜角には他の部と共に下向する小刺を列生す。葉は膜質をなし.長柄を有し.6葉宛輪生す。この葉は7乃至9行脈を有し.上面縐造す。花は聚繖花序をなし頂生或は腋生す。この花序は苞及小苞を有し.花冠は先端五裂し.各裂片は三角形をなす。果實は2箇合生し.黑熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏.〔分布〕本州中部。

83 ほそばあかね　89 よつばあかね

1059. **ほそばあかね**…… アカネ科
Rubia lanceolata. *Hayata.*

〔形態〕前揭アカネに酷似したるものにして.概形彼と同樣なれども.本種はその葉狹披針形をなし.先端尖り.基脚心臟形或は圓形をなすものなり。餘本種の葉の緣邊には稀に刺毛を有す。〔分布〕臺灣。

1060. **よつばあかね**…… アカネ科
Rubia tatarica, *Fr. Schm.* var. grandis, *Fr. Schm.*

(異名) あかねむぐら 〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は方形をなし.稜角には下向する小刺を列生す。高さ60糎(2尺)許に達し.稍有柄の葉4葉を輪生す。この葉は披針狀長橢圓形をなし.先端尖り.基部銳く.單行脈を有し.緣邊及中肋には小刺を列生し.下面に稍毛を有す。聚繖花序は長梗によりて腋生す。花冠は4裂し.果實は漿果にして綠色を呈し無毛なり。〔花色〕帶黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部·朝鮮。

1061. **ムツバアカネ** (16圖版-146)…… アカネ科
Rubia tinctorum, L.

(異名) セイヨウアカネ 〔形態〕歸化植物に屬する多年生草本なり。莖は蔓性を呈し.方形にして.他の部と共に下向する小刺を生じ.高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は長橢圓形或は披針形をなし.單行脈を有し.通常6

138 やいとばなん　139 ほもやうじ　140 しらたまかづら
41 みさをのき　142 しまみさをのき　143 ベニマツリ
144 あかね　145 くるまあかね　145 ムツバアカネ

葉づゝ輪生す。花は聚繖花序をなし頂生し、花冠は先端5裂し、各裂片は卵狀披針形をなす。果實は無毛にして黒熟す。〔花色〕帶黄白色。〔花候〕夏・秋。〔原産地〕歐羅巴。

1062. **おほきぬたさう**(17圖版-147)…… アカネ科
Rubia chinensis, *Regel. et Maach.*

〔形態〕重に深山に自生する多年生草本なり。莖は稍蔓性し、葉は短柄を有し、4葉づゝ輪生す。花は穗に圓錐花序をなし頂生す。花冠は先端5裂し、雄蕊5箇を有す。果實は黒色に成熟し、無毛なり。〔花色〕白質。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

28. ハクテウゲ屬 SERISSA.

1063. **はくてうげ** 満天星・六月雪・白丁花…… アカネ科
Serissa foetida, *Comm. (S. Kaankamii, Hayata.)*

(異名) はくてうぼく・こうふうぼく・りんどうはくてうげ・ばんていし　〔形態〕我國の内地にては園地に栽培せらるゝ小灌木なり。莖高さ60-90糎(2-3尺)に達し、多くの小枝を分ち、枝は稍々平滑にして灰色を呈す。葉は乾落性にして對生し、殆ど無柄、稍革質をなし、其形イヌツゲの葉に似、長楕圓形・鋭尖頭をなし、全緣にして上面は深綠色・下面淡綠色なり。托葉は鱗片狀をなし、基部廣く、枝に密着し、上部は通常4箇の刺毛狀をなす。花は無梗にして特生又は輪生し、基部に2箇の小苞ありて鱗片狀をなし、下部に廣く、上部は分岐し、3箇又は4箇の刺毛狀をなす。萼は筒狀をなし、上部は4裂乃至6裂す。花冠は下部漏斗狀をなし、内部に細毛を生じ、上部は4裂乃至6裂し、各裂片は長楕圓形にして微に凸頂をなし、全く開展すれば外方へ反曲し、内面には微毛を生じ、上端の外方は往々紫色を帶ぶ。雄蕊は4箇乃至6箇ありて、花冠の筒部に着生し、且つ裂片を互生し、花絲は絲狀、葯は線形をなし、基部2裂す。雌蕊は1箇ありて短く、花筒の半ばに過ぎず。柱頭は2裂、稀に3裂し、各裂片は稍外方へ彎曲す。花柱は絲狀にして、子房は稍球形をなし、2胞、稀に3胞を有し、各胞に1箇の胚珠ありて直生す。〔花色〕白色なれども外面往々紫色を帶ぶ。〔花候〕春-秋。〔分布〕臺灣・支那・印度。

人生との關係　本植物は春秋の候、その枝を剪りりて地に挿せばよく生育す。庭園に植ゑて籬とし、楷を一樣に刈り調ふれば、枝よく繁茂し、愛すべき花を開き美觀を呈するものなり。變種に紫色花を有するものあり。又次に掲げたる品種ありて何れも觀賞に供せらるゝものなり。(17圖版-148)

根は收斂性の性質を含有するを以て、之れを細切煎出し、下痢止の藥とす。

1064. ふたへはくてうげ…… アカネ科
Serissa foetica, *Comm.* var. duplex, *Maki No.*

〔形態〕概形前種に酷似したるものなれども、本種は花瓣が二重瓣をなす一種とす。(栽培種)

1065. やへはくてうげ…… アカネ科
Seryissa foetida, *Comm.* var. pleniflora, *Makino.*

〔形態〕本種も亦一變種にして花冠の重瓣をなすものなり。(栽倍種)

1066. **タンテウボク**(17圖版-149)…… アカネ科
Serissa crassiramea, Nakai.

(異名) ダンテウゲ・ホウワウゲ　〔形態〕園地に栽培せらるゝ小灌木にして、高さ30-90糎(1-3尺)に達し、枝條は密生し、肥厚す。葉は卵形披針形をなし、長さ3-1。粍(1-3分)許、花は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は倒卵形にして先端尖り、内面に細毛を散生す。花絲は花筒に着生するも明かに隆起し、花柱は閉在す。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔原産地〕支那。

1067. **やへたんてうぎ**(17圖版-150)…… アカネ科
Seriseia crassiramea, *Nakai.* forma. plena,, *(Makino)*

〔形態〕本種は花冠の重瓣をなすものなり。前種の栽倍變種とす。

29. アカバナムグラ 屬 SHERARDIA.

1068. **アカバナムグラ**(17圖版-151)…… アカネ科
Sherardia arvensis, L.

(異名) ハナヤヘムグラ　〔形態〕園地に栽培し觀賞に供せらるゝ一年生草本なり。高さ15糎(5寸)許に生長す。葉は6葉宛輪生し、脚葉は倒卵形をなし、楷葉は線形或は披針形をなし、先端尖り、兩面就上に粗毛を有す。花は楷上頂端に簇生す。總苞は葉狀をなし8深裂し、萼は6裂し、宿存性なり。花冠は漏斗狀をなし、先端4裂し、雄蕊は4箇ありて、花筒に着生し、挺出す。子房は2室を有し、花柱は2岐す。果實は各半球形をなす。〔花色〕碧色或は淡紅色。〔花候〕7-8月。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　園地に栽培し觀賞に供す。

30. ニンドウモドキ屬 THYSANOSPERMUM.

1069. **にんどうもどき**…… アカネ科
Thysanospermum diffisum, *Camp.*

(異名) しまへうたんぼく・へうたんかづら・さるとかづら・へうたんぼく　〔形態〕山地に自生する匍匐性の灌木にして、嫩枝には粗毛を布く。葉は有柄にして對生し、卵形或は卵狀披針形をなし、先端尖り、下面には粗毛を散生す。この葉は托葉を有し披針形を呈す。花は花梗を有し單生にて腋生す。この花は細小なる2苞を有し、萼は5深裂し、各裂片は卵形を呈し、宿存す。花冠は盆形をなし、筒部には外面に絹毛を布き、裂片は内面に長き軟毛を生ず。雄蕊は花冠の筒部に着生し挺出す。花柱は末端紡錘狀をななし毛を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球・臺灣。

90 にんどうもどき

91 かぎかづら

31. カギカヅラ屬 UNCARIA.

1070. **かぎかづら**　(朝)鈎藤・鈎鈎藤…… アカネ科
Uncaria rhynchophylla, *Miq. (Ourouparia rhynchophylla, Matsum.)*

(異名) からすのかぎづる　〔形態〕暖地に自生する蔓性木質の草本にして、全株無毛。葉は柄を有し、革質にして、長楕圓形をなし、先端尖り、基脚圓形、下面に白粉を裝ふ。托葉は離生し、線形を呈し、脱落性を有す。花は葉腋上に着生し、無花の花梗を有し、彎曲して鉤毛をなす。頭花は1-3花を着く。花冠は漏斗狀をなし、雄蕊は花喉に着生す。子房は2室、花柱は頗る挺出す。蒴は廣楕圓形をなし毛を有す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・朝鮮(濟州嶋に限る)。

人生との關係　本植物の曲鈎を採取し、陰干にしたるものを茶劑として收斂劑に供す。朝鮮地方に於てもこの曲鈎を小兒の驚癎、産後の百病に煎服し、特效ありとして廣く使用せらる。

1071. たいわんかぎかづら…… アカネ科
Uncaria Kawakamii, *Hayata.*

(異名) はなだまのき　〔形態〕本種は前種に比し、その葉並に花梗に毛を有し、花及果實の大なる特徴を有するものとなり。〔分布〕臺灣。

32. トコン屬 URAGOGA.

1072. **トコン**　吐根(17圖版-152)…… アカネ科
Uragoga Ipecacuanha, Baillon.

〔形態〕專ら藥用に供する半灌木なり。莖は4稜をなし、短毛を帶び、直立性にして輪節を有す。本植物の根は匍匐し、多數の太き側根を出す。側根は多數輪狀の隆起を有す。葉は對生し、葉柄及托葉を有し、楕圓形・長卵形或は倒卵形をなし、全緣にして革質なり。花は小形にして多數總苞の上に集まり生ず。花冠は先端5裂す。花後乾果を結び、初め紅色を呈すれども、後に紫色を呈す。〔花色〕白色。〔原産地〕南米「ブラジル」殊に「マツトクロツソ」洲の南西に位する地方。(本邦には產出せず)

人生との關係　本植物の根を吐根と稱し藥用に供す。本品は兩端稍細く大抵分岐せず密接の環節を有し、屢々深き輪裂を有す。皮部は木心より厚くして剝離し易く、特異の臭氣と、不快なる苦味を有す。主成分は「エメチ

ン」(Emetin) なる「アルカロイド」とす。其他吐根散・揮發性鹽類等を含有す。

本品は催吐劑・又は解凝藥に應用す。日本藥局方に於ても亦本品を採用し,「ドーブル」散・吐根丁幾・吐根錠・吐根酒を製するに使用す。(神谷)

33. アカミミヅキ屬　WENDLANDIA.

1073. **あかみみずき**(17圖版-153)…… アカネ科
Wendlandia Heyneana, *Wall.*

(異名) あかんば・あかみゝず・あかぶらき・あかみつぎ　〔形態〕山野に自生する灌木にして,全株無毛或は細毛を布く種類とす。葉は紙質をなし有柄にして,對生し,長楕圓狀披針形をなし先端尖り,長さ12-15糎(4-5寸)を有し,托葉は三角形をなす。花は小形にして圓錐花序をなし頂生す。萼は細小にして齒裂し,花冠は盆形をなし,先端4-5裂す。雄蕊は5箇を有し,蒴は球形なり。〔花色〕黃白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球・臺灣。

1074. **けあかみみずき**…… アカネ科
Wendlandia paniculata, *DC.*

(異名) けあかみづき・けきなもどき　〔形態〕前種と同樣小木本にして葉は楕圓形或は楕圓狀披針形をなし,下面稍短毛を有す。托葉は腎臟形或は長楕圓形をなし,花は圓錐花序をなし擴大し,絨毛を布く。萼は齒裂し,各齒片は圓形を呈す。〔分布〕臺灣。

オホバコ群

おほばこ(車前)科
PLANTAGINACEÆ.

本科の植物は通常1年生,或は2年生草本なり。葉は通常極めて短く,葉は根生葉を出し叢生す。花は兩性稀に單性にして通常穗狀,或は頭狀に排列し,稀に單生す。花は薄膜狀の合瓣花冠にして先端4裂し,通常4箇の雄蕊を有し,花冠の裂片と互生す。雌蕊は2箇の結合せる心皮,又は一箇の心皮より成り。子房は上位にして,1-4室を有し,各室に1-數箇の半倒生卵子(胚珠)を含む。萼は4萼片より成り,下位にして宿存し,果實は蓋果,或は堅果にして,內に肉質の胚乳を有す。

92 おほばこ

本科の植物にして世界に產するものは,3屬・200餘種を有すれども,我國には單に一屬凡そ15種を有するに過ぎざるものとす。

本科所載植物索引目次

アメリカオホバコ……1073　シロバナオホバコ……1086　フサオホバコ……1079
イサハオホバコ……1078　スモトリ……1075　ヘラオホバコ……1090
イトコグサ……1075　タロオホバコ……1082　ホウグキハ……1075
エゾオホバコ……1083　ダキバオホバコ……1091　ホシバオホバコ……1092
オバコ……1075　チャボオホバコ……1077　マルコバ……1075
オホバコ……1075　ナガバオホバコ……1089　ミチバウキ……1075
オンバコ……1075　ハクサンオホバコ……1085　ヤリノマオホバコ……1087
カイルバ……1075　ハハキオホバコ……1080　ヤグラオホバコ……1081
サザエオホバコ……1076　ハマオホバコ……1084　ヤツマタオホバコ……1083

1. オホバコ屬　PLANTAGO.

1075. **おほばこ**　車前(17圖版-154)…… オホバコ科
Plantago major, *L.* var. asiatica, *Decne.*

(異名) おばこ・おんばこ・まるこば・かいるば・かいるば・すもとり・みちばうき・ほうづきば・いとこぐさ　〔形態〕山野・路傍・民家附近等到る處に自生する多年生草本なり。葉は長柄によりて根際に叢生し,卵形・廣楕圓形或は長楕圓形にして,頂端鈍頭をなし,基脚圓形をなす。この葉は數ね5脈を有し,長さ3-15糎(1-5寸)あり。花は叢葉の中央より,高さ15-30糎(5-10寸)の花莖を抽出し,細長なる穗狀花序をなす。この花は萼と同長にして三角形を呈する小苞を有し,萼は綠色にして先端四裂し,各裂片は卵形或は倒卵形をなす。花冠は膜質をなし,筒形にして5裂し,各裂片は卵形をなし,反捲す。雄蕊は4箇を有し,花冠外に挺出す。子房及花柱には毛茸を生ず。果實は蓋果にして,紡錘形をなし,先端尖り,宿存萼を伴ひ,內に5-6箇の種子を藏す。〔花色〕白花,時に微に黃色を帶ぶものあり。〔花候〕7-8月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係　嫩葉を採り食用に供す。本植物帶花期に,その全草を採集し乾燥したものを車前草,種子の稔熟したるものを,車前子と稱し藥用に供す。漢方には以上二種何れも利尿劑とす。車前子は鎭咳・止瀉の效ありとす。用法は3-5瓦を煎劑として服用す。

又民間藥としては胃病に煎服し,車前子は眼病に煎服して效ありとす。又百日咳にも特效を有すといふ。

朝鮮・滿洲等にても到る處の原野に普遍的に生育するものにして,彼の地の人も嫩葉を茹で菜とし,又は汁の實とし,或は肉と和し,油煮として食し,尙としては蓼粉・蕎麥粉等に混じ,餅を作りて食用に供す。

〔附記〕車前類には尙他に多くの品種を有す。以下之れを列記すべし。但し該記事以外は凡て本種と共通なるものとす。尙は本記事につきては其多くを植物總覽を參考せり。依て茲に附記す。

1076. **さざゑおほばこ**　螺螺車前 …… オホバコ科
Plantago major, *L.* var. asiatica, *Decne.* forma. contorta, *Makino.*

〔形態〕前種の一異品にして,6-9糎(2-3寸)許に生長する小形種なり。本種の葉は一種螺螺狀をなして叢生する特徵あり。花穗は葉外に抽出す。オホバコの栽培變種とす。

93 さざゑおほばこ

94 ちやぼおほばこ

1077. **ちゃぼおほばこ** …… オホバコ科
Plantago major, *L.* var. asiatica, *Decne.* forma. contracta, *Makino.*

〔形態〕本種は矮る小形の品種にして,全體の高さ僅々6-9糎(2-3寸)に過ぎざるものなり。葉はオホバコに比し,小,且つ圓形をなし,基脚は短き葉柄に流る。花穗も亦短小にして短き花梗を有し,大抵葉の高さと同長位にしか抽出せざるものなり。オホバコの一栽培品種とす。

1078. **いさはおほばこ** …… オホバコ科
Plantago major, *L.* var. asiatica, *Decne.* forma. alba-striata, *Makino.*

〔形態〕本種も亦オホバコの一品種に屬し,前種と同樣全體小形なるものにして,其葉に白色の斑紋を有するを特徵とす。栽培種。

1079. **ふさおほばこ** …… オホバコ科
Plantago major, *L.* var. asiatica. *Decne.* forma. Motoyamae, *Makino.*

〔形態〕本種は稍大形種に屬し,葉は長き葉柄を有し,葉身は5乃至6裂し各裂片は柄を有し,少しく摶縮し,基脚楔形をなし,更に分裂し,所謂房狀を呈するものにして,花穗は葉上に超出す。同じく栽培變種なり。

1080. **ははきおほばこ** …… オホバコ科
Plantago major, *L.* var. asiatica, *Decne.* forma. paniculata, *Makino.*

〔形態〕本種の花穗は分岐し,圓狀を呈するものなり。〔分布〕本州北部。

1081. **やぐらおほばこ**(17圖版-155)…… オホバコ科
Plantago major, *L.* var. asiatica, *Decne.* forma, rosea, *Makino.*

147 おほきぬたさう

148 はくてうげ

149 タンテウゲ

150 やへたんてうげ

151 アカバナムグラ

152 トコン

153 あかみみづき

154 おほばこ

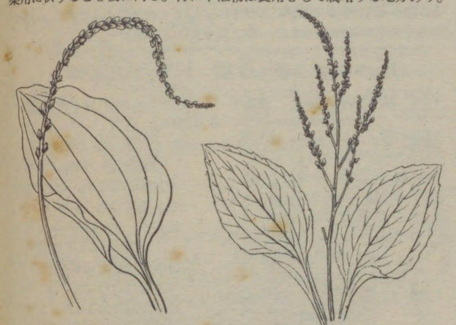
155 やぐらおほばこ

〔形態〕本種は葉に少しく缺刻あると,花穗中,一花毎に卵形を呈する小苞を伴ふを特徴とす。本邦内各地に産す。

1082. **たうおほばこ**　唐車前 …… オホバコ科
Plantago japonica, *Franch.* et *Sav.*

(異名) オランダおほばこ・てうせんおほばこ　〔形態〕瀕海の地に自生し,大體に於て尋常オホバコに相類似すれども,本種は本種類中最も大形なる品種に屬し,葉は長さ60糎(2尺)許に達するもの尠からず。花莖も隨つて長く,90-120糎(3-4尺)に達す。穗狀花序は稍長にして,長さ30糎(1尺)許,蓋果も亦大形にして鈍頭をなし,中央部に於て横裂す。〔花色〕白質。〔花候〕夏-秋。〔分布〕樺太・北海道・四國・琉球。

人生との關係　オホバコと同樣嫩葉を取りて食用に供し,又葉及子實を藥用に供すること彼に同じ。特に本植物は食用として栽培する地方あり。



95 たうおほばこ　96 やつまたおほばこ

1083. **やつまたおほばこ** …… オホバコ科
Plantago japonica, *Franch.* et *Sav.* forma. poslystachya, *Makino.*

〔形態〕前種の一變種にして概形前種に酷似すれども,本種は彼より全體に稍小形,且つ本種の花穗は前種の單一なると異り,上方分岐するを異る特徴とす。尙ほ本種には葉柄の基部紅紫色を呈するもの,或は葉面の皺縮せるものを見ることあり。〔原産地〕本邦。

1084. **はまおほばこ** …… オホバコ科
Plantago maritima, *L.*

〔形態〕海濱に近く自生するものにして,葉は肉質線形をなし,基脚は鞘を有す。本種の花莖は上向せず毛茸を有し,花序は圓形をなし,苞は稍圓形にして,その周緣に廣く膜狀の緣を有す。又花冠の裂片は卵形をなし,花色にも次の特徴を有し,蓋果は卵狀長橢圓形をなし二種子を含む。〔花色〕白色にして,中央に淡黃褐色の線條を有す。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

1085. **はくさんおほばこ** (18圖版-156) …… オホバコ科
Plantago Mohnikei, *Miq.*

〔形態〕加賀の白山・羽前の月山・越後の駒ケ嶽に自生多きものにして,本和名もそれ等より起りたるものなり。葉はオホバコの葉に比し,狹長にして,稍毛を有し,明瞭なる五脈を有す。花莖は高さ15-18糎(5-6寸)に達し,花序は疎に着生す。苞は萼片より超出し,萼片は三角狀卵形をなす。雌雄蕊は花冠より超出し,蓋果は橢圓形をなし,種子は只1箇を有す。

〔花色〕白。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部の諸高山。

1089. **しろばなおほばこ** …… オホバコ科
Plantago maritima, *L.*

〔形態〕山野に自生する品種なり。葉は翼を有する葉柄を有し,葉片は卵狀披針形をなし,5乃至7條の縱脈を有し,白毛を布く。花莖は細長く,長さ葉の數倍を有し,花序は圓柱形をなし,小花を密生す。花冠の裂片は披針形或は卵狀披針形をなし,頗る長き花絲を有し,蓋果は4箇の種子を藏す。

〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

1087. **やくしまおほばこ** …… オホバコ科
Plantago yakusimensis, *Masamune.*

〔形態〕本種はオホバコに比し,全體稍小形なり,本種の根莖は直生し,長さ9糎(3寸)許を有し,7乃至9箇の稍有柄の葉を簇生し,大きさは彼より小さく,短毛を密生することは彼と異る特徴とす。本種の花莖は稍細にし,長さ4.5-0.9糎(1.5-3寸)を有し,穗狀花序は多數の花を密生す。花冠は壺形をなし,先端4裂し,各裂片は三角狀長橢圓・鈍頭をなし,反捲す。雄蕊は4箇を有し,花筒に着生す。〔花色〕白。〔花候〕夏。〔分布〕九州(屋久島)。

1088. **えぞおほばこ** (18圖版-157) …… オホバコ科
Plantago kamtschatica, *Link.*

〔形態〕山野に自生し,全株に粗毛を密布する種類なり。葉は長橢圓形にして,基脚楔形をなし,疎齒牙緣を具へ,通常五縱脈を有す。花莖は單一にして葉より長く,穗狀花序は圓柱形をなし,苞は卵形・有脊にして萼より稍短く,萼の裂片は卵形を呈し,邊緣膜質をなす。蓋果は種子4箇を含む。

〔花色〕白質。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州・朝鮮。

1089. **ながはおほばこ** …… オホバコ科
Plantago sibirica, *Poir.*

〔形態〕概形オホバコに似たるものなれども,本種の葉は彼に比し,狹長にして寧ろ次種ヘラオホバコに似たるものなり。栽培種とす。

1090. **ヘラオホバコ** (18圖版-158) …… オホバコ科
Plantago lanceolata, L.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生,或は二年生草本にして,全株稍毛茸を有す。葉はオホバコに似て,披針形或は披針狀長橢圓形をなし,全緣にして基脚葉柄に流れ,筐形をなし,長さ大なるものは34糎(1尺)餘に達するものあり。花莖は高さ往々60糎(2尺)餘に達し,穗狀花序は短く圓柱狀をなす。蓋果は長橢圓形にて鈍頭をなし,2乃至4箇の種子を藏す。

〔花色〕白質。〔花候〕初夏。〔原産地〕歐羅巴。

1091. **ダキバオホバコ** …… オホバコ科
Plantago amplexicaulis, Cav.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ一年生草本にして,全株に短毛を布く。本種は地上莖を有し,單一なるか,或は分枝することあり。葉は柄を有し,莖を抱き,葉身は披針形をなし,3乃至5縱脈を有す。花莖は短き花莖の葉腋上に抽出し,葉より長く,穗狀花序は卵狀球形をなし,小花を密生す。この花の有する苞は卵狀圓形にして,膜質の緣邊をし,萼の裂片は卵狀圓形をなし,花の前面に在りては脊を有し,後面にありては全く膜質をなす。花冠の裂片は卵形をなし,先端尖る。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕南部歐羅巴。

1092. **ホソバオホバコ** …… オホバコ科
Plantago arenaria, Waldst.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ一年生草本なり。全株に短毛を布き,地上莖を有し,單生或は小枝を分つ。葉は線形をなし,柄を有せず。花莖は葉腋上に抽出すること前種の如く,而して葉より長く,穗狀花序は卵形をなし小花を密生す。苞は卵形乃至倒卵形をなし,萼の裂片は,花の前面に於ては斜卵形をなし,後面にありては披針形にして,微に先端尖り。花冠の裂片は卵狀披針形をなす。〔原産地〕歐羅巴。

1093. **アメリカオホバコ** …… オホバコ科
Plantago Patagonica, Jacq. var. *aristata, A. Gray.*

〔形態〕園地に栽培せらるゝ一年生草本なり。本種は無毛種に屬し,葉は線形或は狹披針形をなし,先端尖り,基脚狹く,有翼の葉柄に流れ,1乃至3縱脈を有す。花莖は高さ6-9糎(2-3寸)乃至34糎(1尺)許に達し,穗狀花序は圓柱形をなし,小花を密生す。本花の有する苞は線形をなし,花の2-3倍長く,萼の裂片は橢圓形にして,乾皮緣をなす。〔原産地〕北亞米利加。

*　*　*
*　*

筒　花　群

1. はへどくさう(蠅毒草)科
PHRYMACEÆ.

本科の植物は直立の草本にして.一屬一種を有するに過ぎず。本邦に自生品あれども.又亞細亞大陸及亞米利加にも産出す。葉は對生.有柄にして膜質をなし.花は穗狀花序をなして長く.頂生或は腋生す。花冠は圓筒狀にして二脣をなし.上脣は直立して短く2裂し.下脣は長くして稍開出し.廣く3裂す。雄蕊は4箇を有し.二强雄蕊をなす。葯は殆ど腎臓形をなし.二室にして葯隔幅廣し。子房は少しく斜の位置をなし.上位にして一室を有す。花柱は先端淺く3裂し.後方の裂片は短し。卵子(胚珠)は1箇を有し.直生にして室の底部に直立す。果實は瘦果をなし.蕚にて包まれ下向す。蕚の先端は鉤狀をなす。胚は長橢圓形をなし.子葉は旋回して扁平・或は摺曲することあり。幼根は短く.上位なり。胚乳を含まず。本科には前述の如く世界を通じ一屬二種あるのみなり。

1. ハヘドクサウ屬　PHRYMA.

1094. **はへどくさう**　蠅毒草 ……………… ハヘドクサウ科
Phryma leptostachya, *L.*

(異名) はへとりぐさ　〔形態〕林間・藪蔭等に自生する多年生草本にして.全株に細毛を布き.高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は有柄にして對生す。この葉は概形キノコヅチに似たれども.彼よりは稍幅廣く.先端尖り其質柔軟なり。花は小形にして梢頭枝端に頂生し.苞及小苞を具ふ。花冠は筒狀にして脣形をなし.上脣は直生し.先端稍凹み.短脣形をなし.下脣は闊大にして3裂す。雄蕊は4箇ありて二强をなし.花筒の上半部に着生し閉在す。子房は1室を有し.柱頭は2分す。果實は乾質にして宿存蕚に包藏せらる。本果實は他物に附着し易し。

97 はへどくさう

〔花色〕帶紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　本植物はその葉を飯に雜ぜ.練りつぶしたるものを蠅に與ふれば斃死するにより.この和名を有す。去れど本植物の越幾斯は紙に貼布するも蠅を殺す力なきものなり。

1095. ながははへどくさう ………………… ハヘドクサウ科
Phryma oblongifolia, *Koidz.*

〔形態〕本種は前種ハヘドクサウに酷似したるものなれども.其彼と異なる要點を擧ぐれば.本種は其莖に逆毛を有すること.葉は細長きこと.卽ち長橢圓形にして先端尖り.楔脚を有し.淺緣鈍鋸齒をなし.兩面に粗毛を布き.花序にも細毛を布く等にして其他は彼と同様なり。〔分布〕本州各部。

* * * * *

2. はまぢんちゃう(濱沈丁)科
MYOPORACAÆ.

本科の植物は喬木・灌木.或は半灌木にして.葉は通常互生し.多くは透明なる斑點を有し.托葉を缺く。花は兩性にして.整齊.或は不整齊。花冠は合瓣にして.先端5裂し.各裂片は整齊なるか.或は脣形なり。雄蕊は4箇或は5箇ありて.花冠に着生し.裂片と互生し。雌蕊は2箇.或は多數の結合せる心皮より成る。子房は上位にして2乃至10室を有し.各室に1乃至8箇の倒生卵子(胚珠)を含む。蕚は下位にして先端5裂す。果實は核果にして有胚乳或は無胚乳種子を含む。

本科は5屬凡90種の植物を含有すれども.多くは熱帶地方に産し.本邦には自生するもの.栽培するもの.一屬三種を有するに過ぎず。

1. ハマヂンチャウ屬　MYOPORUM.

1096. **はまぢんちゃう**　濱沈丁 ………… ハマヂンチヤウ科
Myoporum bontioides, *A. Gray.*

(異名) もくべんけい・はまりんちやう・はまべんけい・きんぎよしば

〔形態〕多く海濱に自生する常綠灌木なり。全株無毛種にして.高さ2-2.5米(7-8尺)に達す。葉は長柄を有し對生し.長橢圓形にして先端尖り.基部は銳脚或は楔脚をなし普通全緣なれども.稀に疎に低齒牙緣をなし.長さ9糎(3寸)許あり。花は梢上葉腋上に1-3箇宛簇生す。この花は葉より短き花梗によりて下垂し.蕚は質厚く.宿存性を有し.先端5裂し.各裂片は卵形或は三角狀卵形をなす。花冠は稍漏斗狀鐘形をなし.先端5裂し.各裂片は卵形乃至長橢圓形鈍頭をなす。雄蕊は四强にして花筒の中部に著生し.花冠より短く.子房は廣橢圓形をなし.6乃至8室を有し.花柱は挺出す。果實は核果にして球形をなし.凸端をなす。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

98 はまぢんちやう

人生との關係　庭園に移植し.觀賞に供することあり。

1097. こはまぢんちゃう ………………… ハマヂンチヤウ科
Myoporum boninense, *Koidz.*

〔形態〕本種は前種に比し.遙に小形なる常綠灌木にして.葉の長さ6糎(2寸)許.花の長さ6糎(2分)許に過ぎざるものなり。〔分布〕小笠原島。

1098. **コバノハマヂンチャウ**(18圖版-159)ハマヂンチヤウ科
Myoporum parvifolium, R. Br.

〔形態〕本邦にては專ら園養せらるゝ常綠の小灌木にして.高さ6-9糎(2-3尺)に達す。葉は互生し.葉身は狹き箆狀にして先端疎鋸齒緣をなし.長さ1.8-2糎(6-8分)許.肉質をなし肥厚す。花は葉腋上に着生し.花冠は先端5裂し.內面に軟毛を布く。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕濠洲。

* * * * *

3. きつねのまご(爵牀)科
ACANTHACEÆ.

本科の植物は通常草本或は灌木なれども.稀に喬木なることあり。葉は對生にして托葉無く.單一又は稀に分裂することあり。花は概ね不整齊.或は殆ど整齊なるものを有することあり・何れも雌雄兩全なり。蕚は4-5箇ありて.分離するか.或は合着し.下位にして永存性なり。蕚片又は蕚の裂片は覆瓦樣をなし.均一又は不均一なり。花冠は合瓣にして管狀部を具へ.上部は二脣をなすか.或は殆ど整齊なる5裂をなし.この裂片は蕾に在つては包旋樣をなす。雄蕊は4箇又は2箇を有し.4箇の場合は二强をなし.2箇の場合は對生し裂片と互生す。雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り.子房は上位にして二室をなし各室に2乃至多數の倒生或は半倒生卵子(胚珠)を含む。花柱は絲狀をなし.單一。柱頭は1箇又は2箇あり。果實は乾燥せる蒴にして.二室を具へ.胞背裂開をなし.2箇の裂片となりて.隔膜に種子を附着す。種子は硬く.卵圓形又は球形をなし.種皮は平滑なるか.糙澁或は刺を有し概ね白色の毛を生ず。胚乳は缺乏し.子葉は扁平にして通常心臓形をなす。

96 きつねのまご

本科の植物は普く地球の熱帶・暖帶諸地に分布し.世界に産する既知のもの.凡そ181屬.2050餘種の多きに達すれども.本邦には自生品・栽培品を合し13屬30餘種を産するに過ぎず。

本科所載植物名目次

アカンツス・スピノサ	ケブカキツネノマゴ…1115	ベニアミメグサ……1105
ス……1100	ケヤナギハグロ……1108	ホソバキツネノマゴ…1116
アリサンアキ……1125	サンゴバナ……1111	マンネンクワ……1111
イセハナビ……1119	シタイシヤウ……1109	ムラサキシタイシヤウ1110
ウスイロサンゴバナ…1112	ジヤウゴバナ……1101	ヤコビニア・パウシフ
ウスムラサキ……1121	シロアミメグサ……1104	ロラ……1113
ウリバローレルカヅラ1130	シンテンヤマアキ……1124	ヤナギハグロ……1107
ヲギノツメ……1105	スズムシサウ……1120	ヤハズカヅラ……1128
カグラサウ……1114	タイトウアキ……1126	ヤマアキ……1122
キダチキツネノマゴ…1118	タイワンヤマアキ……1123	ヤマアキモドキ……1123
キツネノヒマゴ……1117	タシロアキ……1127	ヤンバルハグロサウ…1103
キツネノマゴ……1114	ハアザミ……1099	リウキウアキ……1122
キンギヨボク……1129	ハグロサウ……1102	ルリバナカヅラ……1131
ゲツケイカヅラ……1131	フチトリヲシベ……1101	ローレルカヅラ……1131

1. ハアザミ屬　ACANTHUS.

1099. **ハアザミ** ………………………… キツネノマゴ科
Acanthus mollis, L.

〔形態〕本邦にては專ら園地に栽培せらるる多年生草本なり。高さ60-90糎(2-3尺)に達し.葉は披針形にして.羽狀に分裂すれども.往々心臓形の基部を有し.互生す。花は穗狀花序をなして頂生し.花冠は脣形をなし.上脣は淺く2裂し.下脣は大形にして3裂す。〔花色〕紫紅色或は淡紅紫色或は白色等種々あり。〔原産地〕南部歐羅巴。

100 ハアザミ

101 アカンツス・スピノサス

人生との關係　本邦にては主として觀賞用に栽培せらるれども.歐洲に於ては古來より圖案用植物として著名なり。

1100. **アカンツス・スピノサス** ………… キツネノマゴ科
Acanthus spinosus, L.

〔形態〕本種も亦前種と同様本邦に栽培せらるる多年生草本なり。高さ90糎(3尺)餘に達す。葉は披針形にして羽狀に分裂し.緣邊に針狀の鋸齒を有し.莖に互生す。花は前種と同様穗狀花序に排列することは彼と同様なれど.本種は彼より.花穗・花形共に大形なると.花色白色のみなるを特徵とす。〔原産地〕同上。

2. ジャウゴバナ屬　CROSSANDRA.

1101. **ジャウゴバナ**(18圖版-160) ………… キツネノマゴ科
Crossandra infundibuliformis, Nees.

(異名) フチトリオシベ　〔形態〕最近の外來に係る園藝植物にして灌木なり。莖は短軟毛を有し.原産地にては可なり大形なる灌木なりとのことなれども.栽培品としては60糎(2尺)を越ゆるものなしとのことなり。葉は倒卵狀披針形をなし.長さ10糎(3-5寸)許に達し.先端尖り.緣邊は多少波狀をなす。花は無柄にして穗狀に密生し.柔毛を布く。〔花色〕橙黃色。〔花候〕不定。〔原産地〕印度。

人生との關係　鉢植等とし珍種として栽培し觀賞に適す。本種は挿木によりて繁植せしむ。用土は腐植土を好むものなり。冬期寒さを嫌ふものなれば常に10度內外の溫を保つ樣注意する必要あり。

3. ハグロサウ屬　DICLIPTERA.

1102. **はぐろさう**　觀音草(18圖版-161) …… キツネノマゴ科
Dicliptera japonica, *Makino.*

(異名) めごしつ　〔形態〕藪蔭・樹林等に自生する多年生草本なり。全株に細毛を布き.莖は六稜をなし.稍膨れたる節を有し.高さ30-60糎(1-2尺)達す。葉は對生し.葉身は披針形にして深綠色を呈し.緣邊稍波狀をなし.長さ9-12糎(3-4寸).幅2-2.4糎(7-8分)を有す。花は葉腋及莖頂より花軸を出し.更に1-2回分岐し.各分枝の末端に大・小二葉の苞を有し.1-2花を着く。蕚は五裂し.各裂片は針形を呈し.緣邊に粗毛を生ず。花冠は長さ1.3糎(4分)許を有し.狹細なる花筒をなし.先端は上下二脣に分たれたる.大小の裂片とより成り.喉部に紅紫色の細點を有す。雄蕊2箇ありて.花筒に着生す。子房は卵形をなし.花柱は細長.柱頭は2分す。果實は棍棒狀をなせる蒴果にして.熟すれば裂開して種子を出す。〔花色〕白質にして淡紅暈を有し.紅紫色の細點を布く。〔花候〕夏。〔分布〕本邦全部.朝鮮・滿洲。

1103. やんばるはぐろさう　(支)金龍柄 … キツネノマゴ科
Dicliptera chinensis, *Nees.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。全株に細毛を布き.莖は斜上性をなし.高さ30糎(1尺)餘に達す。葉は柄を有し.對生。葉身は廣橢圓形或は廣橢圓狀長橢圓形をなし.先端尖り.基脚楔形をなし.稍波狀緣をなす。花は短梗により聚繖花序をなし.大小2箇の苞を有す。花冠は長さ1-1.3糎(3-4分)許あり。〔花色〕紫色或は白色。〔花候〕四季。〔分布〕琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

4. アミメグサ屬　FITTONIA.

1104. **シロアミメグサ**(18圖版-162) ……… キツネノマゴ科
Fittonia argyroneura, E. Coem (*F. Verschaffeltii, E. Coem. var. argyroneura, Nichols.*)

〔形態〕明治41年頃輸入せられたる觀葉植物にして.溫室性の小灌木なり。莖は匍匐性にして.葉柄と共に多くの毛茸を有す。葉は大形の卵形にして對生し.全面毛茸を生ずることなく.葉色は綠色にして.其主脈及支脈共に白色を呈し.恰も白網の浮出したるが如く頗る美觀を呈するものなり。〔原産地〕南米祕露。

1105. **ベニアミメグサ**(18圖版-163) ……… キツネノマゴ科
Fittonia Verschaffeltii, E. Coem.

〔形態〕前種と同様溫室內に培養せらるる小灌木にして.莖は匍匐性をなし.莖及葉柄とに毛茸を有すること又前種に同じ。本種の葉は其形狀及大きさは大體前種と同様なれども.其葉色は黃綠色を呈し.之れに鮮かなる赤色の網狀脈を有し.前種の葉も光澤を有すれども.本種は彼より一層美しく

光澤を有するものなり。花は着生することあれども、美しきものにあらざるなり。〔原産地〕前種同様。

人生との關係 前種と共に專ら温室内に培養し、其葉を觀賞するものなり。繁殖は株分け或は挿木により、培養土は腐敗なる肥土を選ぶべし。

5. ヲギノツメ屬 HYGROPHILA.

1106. **をぎのつめ** 水蓑衣(18圖版-164)…… キツネノマゴ科
Hygrophila lancea, *Miq.*

〔形態〕池邊・溝側等に自生する一年生草本なり。莖は方形をなし、嫩莖の結節には毛茸を密生し、高さ60糎(2尺)許に達す。葉は狹細なる長楕圓形をなし、先端尖り、鋭尖脚をなし、兩面細毛を布く。花は梢上に腋出或は輪生す。本花は針狀披針形をなせる小苞を有し、萼は5裂し、花冠は稍鐘形をなし、先端5裂し、明瞭なる唇形をなし、外面殊に上部に細毛を布き、内面は無毛なり。雄蕊は4箇を有し、雌蕊は花喉より挺出す。花柱は絲狀をなし、下部に細毛を布く。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・朝鮮。

1107. **やなぎはぐろ** (支) 杜根藤…… キツネノマゴ科
Hygrophila salicifolia, *Nees.*

〔形態〕原野に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬し、莖は直生し、高さ30-90糎(1-3尺)に達す。葉は披針形にして先端尖り、基脚狹く、長さ6糎(2寸)許を有す。花は披針形をなせる小苞を有し、萼は5深裂し、各裂片は線形をなす。花冠は長さ1.2-1.5糎(4-5分)あり、蒴も亦同長許を有し、萼より稍超出す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。(據植總)

1108. **けやなぎはぐろ** …… キツネノマゴ科
Hygrophila pogonocalyx, *Hayata.*

〔形態〕山野に自生する一年生草本なり。莖は結節を有し、粗毛を密生す。本種の葉は前種に比し多くの粗毛を密生し糙澁す。尙本種は多くの苞を有し、彼に比し多くの蠶毛を有する等、彼と區別する特徴とす。〔分布〕臺灣。

6. シタイシャウ屬 HYPOESTES.

1109. したいしやう …… キツネノマゴ科
Hypoests Cuningiana, *Benth.* et *Hook. f.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は稍六稜柱をなし、葉は卵狀橢圓形にして、先端尖り、基脚鈍形をなし、兩面に毛茸を布く。花梗は腋出し、頭花は二花を着生し、花冠の裂片は反捲す。〔分布〕琉球・臺灣。(據植總)

1110. むらさきしたいしやう …… キツネノマゴ科
Hypoestes purpurea, *R. Br.*

〔形態〕山野に自生する灌木なり。葉は卵狀披針形をなし、先端尖り、基脚鋭尖にして、全面粗澁す。花は密錐花序をなして腋生、又は頂生す。この花は葉狀の苞及倒圓錐形をなせる總苞を有す。萼は總苞より短く、花冠は筒狀にして唇形をなし、長さ2-2.5糎(7-8分)を有し、蒴は長楕形にして柄を有し、長さ1糎(3分)許あり。〔花色〕赤紫色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。(據植總)

7. サンゴバナ屬 JACOBINIA.

1111. **サンゴバナ**(18圖版-165)…… キツネノマゴ科
Jacobinia magnifica, Lindaw.

(異名) マンネンクワ 〔形態〕本邦にては專ら園地に栽培せらるる亞灌木にして全株に短毛を布き、高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は短柄を有し、對生し、葉身は披針形乃至橢圓形をなし、尖頭・鈍端をなし、基脚狹く、或は圓く、波狀緣を具ふ。花は穗狀花序を頂生す。この花は苞及小苞を有し、萼は5深裂し、各裂片は線形をなす。花冠は長さ6糎(2寸)許にして、筒狀の深唇形をなし、上唇は2裂し、下唇は3裂す。雄蕊は2箇ありて花筒の中央に着生し、蒴は長楕圓形をなす。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。
〔原産地〕南米「ブラジル」。
人生との關係 本邦に於ては專ら觀賞用として、庭園、温室等に栽培す。

1112. **ウスイロサンゴバナ**(18圖版-166)… キツネノマゴ科
Jacobini Pohliana, Benth. et Hook. f. var. *Velutina*, Hort.

〔形態〕温室或は「フレーム」内にて四季を通じ、普通に培養觀賞に供せらるる常緑の亞灌木なり。莖は通常30糎(1尺)許に達し、四角形をなし節を有す。葉は對生にして表裏共に毛茸を有し、帶緑白色の觀を呈す。花は最初梢頭に松毬狀の蕾を付け、この蕾は多數の苞に包まれ、その間より唇形花を抽出し、美しく愛らしきものなり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕四季。
〔原産地〕南米「ブラジル」。
人生との關係 莖勢强健なるものなれば温室、「フレーム」等にても低温度にてよく發育し、且つ四季を通じて開花するものなれば、近時盛に栽培し觀賞に供せらるる一種とす。繁殖は挿芽により、用土は特に選定する必要なく、一般的培養土にて差閊へなきものなり。

1113. **ヤコビニア・パウシフロラ**…… キツネノマゴ科
Jacobinia pauciflora, Benth. et Hook.

〔形態〕前種と同樣本邦には專ら栽培せらるる灌木なり。高さ30-90糎(1-2尺)に達し、長楕圓形の全緣葉を短き葉柄によりて對生す。花は穗狀花序をなして腋生す。萼は小形にして先端5裂し、各裂片は先端尖る。花冠は筒狀をなし、唇形に分裂し、上唇は分裂せざれども、下唇は3裂す。雄蕊は2箇ありて、花筒の中央に着生し、蒴は長楕圓形をなす。〔花色〕花冠の筒部は上部黄色、下部は紅色を呈し、美しきものなり。〔花候〕夏。
〔原産地〕南米「ブラジル」。(18圖版-167)
人生との關係 前種と同樣專ら觀賞用として栽植せらる。

3. キツネノマゴ屬 JUSTICIA.

1114. **きつねのまご** (支) 留牀・鼠尾紅…… キツネノマゴ科
Juctisia procumbens, *L.*

(異名) かぐらさう 〔形態〕田野乾原等に多く自生する一年生草本にして全株に粗毛を散生し、高さ30糎(1尺)餘に達し、平臥する特性あり。莖は方形にして、節部にて微しく膨脹す。葉は短柄を有し對生し、長楕圓形又は披針形にして鈍頭をなし、基脚狹く、全緣なり。葉腋上に小枝を對生し、各枝の頂きに長さ3糎(1寸)餘の穗をなし、小形の合瓣花を綴る。本花の萼は5深裂し、各裂片は線形をなし、毛緣を有す。花冠は脣形をなし、上脣は狹小、下脣は闊大にして3裂し、外面には毛茸を生じ、底部に横襞を有す。雄蕊は2箇ありて花喉に着生し、葯は淡緣色にして紫彙あり。雌蕊は單一にして、子房は圓長形をなし、一本の花柱を有す。蒴は扁壓にして、基部は短小、長さ約0.6糎(2分)許を有す。〔花色〕淡紫色或は白色にして、花冠の内面紫色を呈す。〔花候〕8月。〔分布〕本州各部・九州・臺灣・朝鮮・支那。
人生との關係 莖及葉の液汁は充血を治するに效ありといふ。朝鮮及滿洲地方に於ても、後揭キダチキツネノマゴと共に山野に遍生するものにして、彼地の住民はその根部を藥用に供す。その項參照すべし。本植物にも變種多し、以下列記すべし。(據植總)

1115. けぶかきつねのまご …… キツネノマゴ科
Jasticia procumbens, *L.* var. hirsuta, *Yamamoto.*

〔形態〕山野に自生し、莖は稍鼈狀に開生す。葉は小形にして、基脚圓形をなし、苞・萼共に粗毛を密生す。〔分布〕臺灣。

1116. ほそばきつねのまご …… キツネノマゴ科
Jasticia procumbens, *L.* var. linearifolia, *Yamamoto.*

〔形態〕本種はその葉線形をなす種類なり。〔分布〕臺灣。

1117. きつねのひまご …… キツネノマゴ科
Justicia procumbens, *L.* var. riukiuensis, *Yamamoto.*

(異名) しまきつねのまご・りうきうひまご・たいわんきつねのまご
〔形態〕本種の葉は卵狀長楕圓形をなし、基脚圓形を呈する特徴を有す。
〔分布〕琉球・臺灣。

1118. きだちきつねのまご (支・朝) 薬 … キツネノマゴ科
Justicia Gendarussa *L. f.*

(異名) げんだるさう・つがりぐさ 〔形態〕山野に自生する灌木なり。葉は短柄によりて互生し、葉身は披針形・全緣をなし、長さ10糎(3寸)餘あり。花は穗狀花序をなし頂生し、その形往々圓錐花狀を呈す。苞は綫形、花は簇生す。蒴は棍棒狀をなし、無毛にして、長さ1.3糎(4分)許あり。
〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣・朝鮮・支那。
人生との關係 朝鮮・滿洲の山野にも遍生的のものにして、彼地の住民はキツネノマゴ同樣、その根部を藥用に供す。本草綱目に「蓁艽。生山谷。其根土黄色。去濕熱」とあり。洗方にては痲痺質斯・熱病等に煎服して效あり。牛乳と和して用ふれば殊に良しといふ。

4. イセハナビ屬 STROBILANTHES.

1119. **イセハナビ**(19圖版-168)…… キツネノマゴ科
Strobilanthes japonicus, Miq.

156 はくさんおほばこ

157 いぞおほばこ

158 ヘラオホバコ

159 コバノハマヂンチヤワ

160 ジヤカウバナ

161 はぐろさう

162 シロアミメグサ 163 ベニアミメグサ

164 をぎのつめ

165 サンゴバナ

166 ウスイロサンゴバナ

167 ヤコビニアパウシフロラ

〔形態〕暖地には自生品を見る亞灌木なり。高さ 30 糎(1尺)許に達し叢生し,莖表淡紫色を呈す。この莖は結節稍膨大す。葉は短柄を有し,楕圓狀披針形をなし,先端尖り,波狀の鋸齒緣をなす。花は少數の穗狀花序をなし,小苞は苞片より稍短圓なり。花は長さ 1-3 糎(4分)許。萼の裂片は線形。花冠は脣形をなし,花喉に毛茸を有す。雄蕊 4 箇ありて,二强をなし,花絲は有毛,花柱は單一にして亦毛茸を有す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕不詳。

人生との關係　花形割合に大きく美觀を呈するものなれば,時に觀賞用として栽培せらるることあり。

1120. **すずむしさう**　紫雲萊(19圖版-169)・キツネノマゴ科
Strobilanthes oliganthus, *Miq.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして全株に短毛を有し,莖は方形をなし,高さ 30 糎(1尺)餘に達し,紫色を帶ぶ。葉は長柄を有し,膜質を呈し,葉身は卵形或は廣楕圓をなし,基脚楔形を呈し,鈍鋸齒緣をなす。花は少數の穗狀花序をなし頂生す。苞は卵形を呈する葉狀をなし,基脚に白毛を密布す。花冠は長さ 3 糎(1寸)許。萼は 5 深裂し,各裂片は線形を呈す。〔花色〕濃紫色或は淡紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部。九州・朝鮮・誦洲。

人生との關係　時に園地に栽培し觀賞に供することあり。

102 ウラムラサキ　　103 りうきうあゐ

1121. **ウラムラサキ**……キツネノマゴ科
Strobilanthes Dyerianus, Miq.

〔形態〕園地に栽培せらるる亞灌木にして莖は直生し,梢上小枝を分ち毛茸を帶ぶ。葉は無柄にて對生し,葉身は楕圓狀披針形にして,基部は心臟狀をなし,疎鋸齒緣具へ,裏面紫色を呈す。花は穗狀花序をなして枝端に頂生し,萼は不整齊にして先端 5 裂し,各裂片は線形を呈す,花冠は鐘形をなし,上部 5 裂し,各裂片は脣形をなし,廣圓なり。〔花色〕青紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

1122. **りうきうあゐ**　(支) 馬藍・大靑・靛・大藍…キツネノマゴ科
Strobilanthes flaccidifolius, *Nees.*

(異名) やまあゐ　〔形態〕暖地の山地に自生する灌木なれども,近時は藍靛製出の原料として各地に栽培せらる。全株無毛種に屬し,莖は高さ 50-90 糎(2-3尺)に達す。葉は柄を有し,卵狀或は稍圓狀披針形をなし,先端尖り・基脚狹く,緣邊疎鋸齒をなす。花は穗狀花序をなして密生し,圓錐狀をなす。苞は卵形をなし柄を有し,小苞は萼裂片に似たり。花冠は長さ 4.5 糎(1.5寸)許あり。萼の裂片は線形をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣・琉球。

人生との關係　製科の藍は染料植物として有名なるは人の知るところなるが,彼はその葉に害蟲を生じ易きと,旱魃の續續とする時は枯死或は萎縮し殆んど價値なきものとなる虞あれば,栽培者の困難する所にして,その栽培は漸次減退の有樣なれば,近時はその產出に不足を感じ,年々外國藍を輸入を見る狀態にあれど,リウキウアヰは以上の缺點なく,收穫も亦多大なものなれば,本植物の栽培は國家經濟上見逃すべからざる有用植物といふべきものなり。このヤマアヰ類は臺灣には種々の品種を產出す。以上同島產種につきその品名のみ記述すべし。以下植物總覽に據る。

1123. やまあゐもどき……キツネノマゴ科
Strobilanthes formosanus, *S. Moore.*

(異名) たいわんやまあゐ　〔形態〕本種は多年生草本にして,毛茸を有す。莖は分枝し,下部の節より根を下す。葉は短柄を有するか,或は無柄にして,披針狀或は倒卵形をなし,鋸齒狀齒牙緣をなし,粗毛を散生す。花梗は對生し,1-3 花を着く。本種は前種に比し全株に粗毛を有することを特徵とす。〔分布〕臺灣。

1124. しんてんやまあゐ…… キツネノマゴ科
Strobilanthes laciocalyx, *Hayata.*

〔形態〕本種は前種ヤマアヰモドキに比し,葉に毛茸なく,苞は披針形をなし,先端の銳尖なるを特徵とす。〔分布〕臺灣。

1125. ありさんあゐ…… キツネノマゴ科
Strobilanthes flexicaulis, *Hayata.*

〔形態〕山地に自生する草本にして,全株稍無毛,莖は稜條を有し,葉は卵形或は長楕圓狀卵形をなし,先端尖り,疎鋸齒緣をなす。花は無梗,小苞は 2 箇ありて線形をなし,萼裂片も亦線形を呈す。〔花色〕碧色,或は紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1126. たいとうあゐ…… キツネノマゴ科
Strobilanthes prionophyllus, *Hayata.*

〔形態〕本種亦草本にして,前種に比し葉緣の鋸齒頗る尖銳なる特徵を有す。〔分布〕臺灣。

1127. たしろあゐ…… キツネノマゴ科
Strobilanthes Tashiroi, *Hayata.*

〔形態〕本種も亦草本にして,ヤマアイモドキに酷似するものなれども,彼に比し,本種は全く苞を缺除し,萼の裂片は狹長なる線形をなし,葉は質薄く,且つ頗る小形なる特徵を有す。〔分布〕琉球。

10. ヤハズカツラ屬　THUNBERBIA.

1128. **ヤハズカヅラ**(19圖版-170)…… キツネノマゴ科
Thunbergi alata, Boj.

〔形態〕近時の寵愛に係り園地に栽培せらるる蔓草にして全株粗毛を布く。葉は翼を有する柄を有し,葉身は稍三角形,基部心臟形をなし,波狀鋸齒牙緣をなし,五縱脈を具ふ。花は長梗によりて腋出或は單生し,花冠は漏斗狀をなし,花筒は彎曲す。雄蕊は 4 箇ありて,2 强をなし,花筒の基部に着生す。子房は二室を有し,蒴は球形をなし粗毛を有す。〔花色〕紫色。〔原産地〕亞弗利加。

人生との關係　園地或は溫室中に栽培し觀賞に供す。

1129. キンギョボク …… キツネノマゴ科
Thunbergia erecta, Anders.

〔形態〕園地に栽培せらるる撒開性灌木なり。高さ 60-120 糎(2-4尺)に達し,葉は柄を有し,卵形或は稍菱形にして,全緣或は波狀齒牙緣をなし,清澤なり。花は腋生或は單生し,萼は 12-14 裂の短齒牙緣をなし,大形の苞に被はる。花冠は漏斗狀をなし,筒部は彎曲す。この花は徑 3-4.5 糎(1-1.5寸。裂片は 5 箇を有し,稍圓形凹頭をなす。〔花色〕內面濃黃色,紋部は紫色を呈す。〔原産地〕熱帶亞弗利加。

1130. **ウリバローレルカヅラ**(19圖版-171)・キツネノマゴ科
Thunbergia grandiflora, Roxb.

〔形態〕園地に培養せらるる蔓性木本なり。葉は柄を有し,葉身は廣卵形にして基脚心臟形をなし,齒牙緣をなすか,或は淺裂し,兩面粗澁す。花は腋生し,單生或は總狀をなし,花冠の筒部は鐘形をなし,紋部は圓形,上部は 5 裂し,徑 7.5 糎(2.5寸)を有す。〔原産地〕印度地方。

1131. ローレルカヅラ…… ゴマノハグサ科
Thunbergia laurifolia, Lindl.

(異名) ルリバナカヅラ・ゲツケイカヅラ　〔形態〕園地に栽培せらるる外來の藤本にして,全株無毛種なり。葉は長き葉柄を有し,葉身は卵狀長楕圓形或は長楕圓形にして,先端尖り,基脚圓形をなす。花は梢の上方に腋出或は頂生し,多數簇生するか,或は總狀花序をなす。花冠は斜狀をなせる漏斗狀をなし,花徑 7 糎(2-2.5寸)許あり。〔花色〕淡碧色にして花喉のみ白色或は黃色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕馬來。

*　　*　　*
*　　*

4. たぬきも(狸藻)科
LENTIBULARIACEÆ.

本科の植物は凡て草本にして,水中・濕地或は岩石上に生じ,往々根を缺如す。莖は細長にして,枝を有するか,或は甚だ短く,花莖は常に直立す。葉は細裂し,捕蟲用の小囊を有するか,或は全邊にして葉面に粘液及消化液を分泌し,これによりて小蟲を粘着せしめ,消化吸收する作用をなすもの等あり。花は不整齊にして兩性。萼は2乃至5裂し,下生なり。花冠は脣形をなし,上脣は通常直立し,全邊或は2裂す。下脣は上脣より大形にして開出し3裂す。雄蕊は通常2箇,稀に5箇あり。雌蕊は2箇の心皮の結合せるものにして1室の上位子房を有す。卵子(胚珠)は多數を有す。花柱は單一なるか,或はこれを缺き,柱頭は2分す。果實は蒴にして,種子は胚乳を有せず。

本科は5屬,凡そ250餘種の植物より成り,溫帶及熱帶に產すれども,本邦には2屬,12-3種を有す。

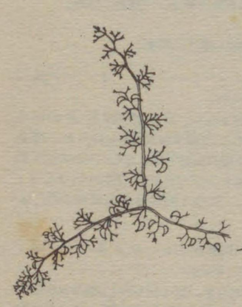
本科所載植物索引目次

アレナガムシトリスミレ……1140
カバシンサウ……1147
カラフトムシトリスミレ……1148
コタヌキモ……1133
シマミミカキグサ……1144
シロバナミミカキグサ1141
タイワンタヌキモ……1138
タヌキモ……1132
ノタヌキモ……1136
ヒメタヌキモ……1134
ヒメミミカキグサ……1143
フサタヌキモ……1135
ホザキミミカキグサ…1142
ミカハタヌキモ……1137
ミミカキグサ……1139
ムシトリスミレ……1145
ムラサキミミカキグサ1140

1. タヌキモ屬　UTRICULARIA.

1132. **たぬきも**　狸藻(19圖版-172)…… タヌキモ科
Utricularia japonica, *Makino.*

〔形態〕水中に浮游する多年生草本なり。莖は細長くして枝を出し,15-18糎(5-6寸)乃至30糎(1尺)餘の長さに達す。葉は2回或は3回羽狀に分裂し,各裂片は絲狀を呈し,先端尖る。所々に小蟲を捕獲する小囊を短柄によりて散生す。花莖は直立し,15-24糎(5-8寸)の長さに達し,2-13花を以つて總狀花序に着生し,水面に抽出す。この花は各々花梗を有し,苞腋に生じ,萼片は2箇を有し,花冠は脣形にして,上脣は直生し,廣卵形をなし,假面部より遙かに超出し,下脣は圓大にして半圓形をなし,假面部は半球形をなす。距は圓錐形をなし,下脣より稍短く,雄蕊は2箇あり。子房は上位にして1室を有す。果實は蒴なり。〔花色〕鮮黃色。〔花候〕7-8月。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州·朝鮮にも產すといふ。



104 ひめたぬきも

105 ふさたぬきも

1133. **こたぬきも**　小狸藻(19圖版-173)…… タヌキモ科
Utricularia intermedia, *Hayata.*

〔形態〕前種と同樣池澤·水田等に浮游する多年生草本なり。概形前種に酷似すれども,彼の葉は2-3回羽狀に分裂すれども,本種の葉は4-5回叉分岐し,各裂片は線狀毬形をなし,剛毛緣を有し,本種の捕蟲囊は特枝上に生ずること,花莖は彼に比し纖細にして,高さ15-18糎(5-6寸)に過ぎず,花の數も1-10箇位を着け,距は圓錐狀長稍圓形をなし,鈍頭を有する等彼と區別する特徵とす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道及本州各部。

1134. **ひめたぬきも**　姬狸藻 …… タヌキモ科
Utricularia minor, *L.*

〔形態〕本種も亦前種と同樣池澤·水田等の淡水中に浮游する多年生草本なり。本種は圖に示すが如く,特に其の葉の形態に於て特徵を有す。即ち本種の葉は短卵形をなし,叉分岐し,各裂片は剛毛狀を呈するものとす。捕蟲囊は廣橢圓をなし,尖りたる頭部を有す。花莖の高さは7.5-20糎(2.5-7寸)に達し,花は2-8箇を着生す。本種の花の假面部は稍平坦なるを特徵とす。上脣は卵形,下脣は倒卵形をなし,距は稍圓錐形,鈍頭をなし傾下す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

1135. **ふさたぬきも**　房狸藻(19圖版-173)…… タヌキモ科
Utricularia dimorphantha, *Makino.*

〔形態〕前種等と同樣水中に浮游する多年生草本なれども,頗る稀に見る品種なり。本種の葉は前種等と異り,多數に分裂し,各裂片は極めて細き毛管狀をなし,先端に細徵なる2刺を有す。本種は捕蟲囊を有せざるものあり,又これを有するも,その形小形なるものを僅かに有するに過ぎざるものとす。花は總狀花序をなし,3-9花を着生し,花莖の基脚には閉花を有す。〔花色〕深黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

以上記述せる他,タヌキモの名稱を有する種類多數あるも,多くは臺灣に產す。以下其の重なるものを列記す。本記事は主として植物綠覽を參照せり。玆に其出處を明にす。

1136. **のたぬきも**　野狸藻 …… タヌキモ科
Utricularia pilosa, *Makino.*

〔形態〕本種も亦水中に浮游する多年生草本なり。本種はタヌキモに比し全體小形なること,距は鈍頭をなし,下脣と稍同長なること,距及下脣下面に毛茸を有する等相違せる特徵とす。〔分布〕本州各部·四國。

1137. **みかはたぬきも**…… タヌキモ科
Utricularia Nagurai, *Makino.*

〔形態〕同じく水中浮游草本なり。葉は疎に叉分岐し,各裂片更に叉分岐す。捕蟲囊は每葉概ね1-4箇を着く。花莖は12糎(4寸)位,花色は鮮黃色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

1138. **たいわんたぬきも**…… タヌキモ科
Utricularia flexuosa, *Vahl.*

〔異名〕しまたぬきも·ほていみみかき。〔形態〕同じく水中浮游草本なり。葉の裂片は毛管狀をなし,花莖は糸狀をなし,高さ7.5糎(2.5寸)に達し,花黃色にして,6-7花を着生す。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1139. **みみかきぐさ**(19圖版-174)…… タヌキモ科
Uricuioria bifida, *L.*

〔形態〕水邊濕地に自生する一年生草本なり。花莖は直立し,高さ3糎(1寸)-15糎(5寸)許,平滑にして梢頭に總狀花序をなし,5-8花を着け,長さ約0.6糎(2分)許の小梗を有し點頭す。この花は長さ1糎(3分)許あり。葉は纖細,微小にして,其間に微小なる粒狀の捕蟲器を着生す。〔花色〕黃色にして,假面部は橙色を呈す。〔花候〕8-9月。〔分布〕本州各部·四國·九州·臺灣·朝鮮·滿洲。

1140. **むらさきみみかきぐさ**(19圖版-175)…… タヌキモ科
Utricularia affinis, *Wight.*

〔形態〕前種と同樣水濕地に自生する一年生の手滑草本なり。花莖は纖細にして,高さ4.5-15糎(1.5-5寸)に達し,3-6花を開く。〔花色〕紫。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道·本州·臺灣·支那等。

1141. **しろばなみみかきぐさ**…… タヌキモ科
Utricularia affinis, *Wight.* form albida, *Makino.*

〔形態〕前種の一異品にして花色白色を呈するものなり。

1142. **ほざきのみみかきぐさ**(19圖版-176)…… タヌキモ科
Utricularia racemosa, *Wall.*

〔形態〕前種等と同樣水濕地に自生する一年生小草本なり。花莖は直立し,細長にして單一,又は分枝し,高さ15-20糎(6-6.5寸),往々30糎(1尺)に達するものあり。花は紫色を呈し,無梗にして數花相醵れて附着せる穗狀花序をなす。花冠は長さ0.6-.07糎(2-2.5分)あり。距は下脣瓣より稍長きか,又は相等しく,蒴果は小形にして稍球形を呈し,捕蟲器はミミカキグサに同じ。〔分布〕本州中部及南部·九州·臺灣·朝鮮·滿洲等。

1143. **ひめみみかきぐさ**…… タヌキモ科
Utricularia nipponica, *Makino.*

〔形態〕前種等と同樣の一年生草本なり。花莖は高さ1-2糎(3-7分)に達し,花は短梗によりて,1-3花を頂生す。花冠は挺出し,上脣は直生,大形の

168 イセハナビ

169 すずむしさう

170 ヤハズカヅラ

171 ウリバロウレルカヅラ

172 たぬきも

173 コタヌキモ

174 みみかきぐさ

175 むらさきみみかきぐさ

176 ほざきのみみかきぐさ

圓形をなし反捲し.3淺裂す。距は大形なり。〔花色〕菫色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部。

1144. しまみみかきぐさ……久ヌキモ科
Utricularia biflora, *Hayata.*

(異名) ひめみみかき　〔形態〕本種はミミカキグサに比し.花は遙かに小形にして.概ね莖頂に1對を着生す。〔分布〕臺灣。

2. ムシトリスミレ屬 PINGUICULA.

1145. **むしとりすみれ** 蟲取菫(20圖版-177)……タヌキモ科
Pinguicula vulgaris, *L.*

〔形態〕本邦に於ては最初陸奥の南部に於て發見せられ.後信州戸隱山にも發見せられ.其後各地の高山に自生品を見るに至りたる多年生草なり。本植物の葉は長橢圓形或は卵形を呈し.表面に無數の腺毛を生じ.常に粘液を分泌し.全緣にして稍卷旋す。もし小蟲來り.この葉面に觸るれば忽ちこれに粘着し.同時に葉緣は著しく卷旋して蟲體を卷き包み.液汁を分泌して蟲體を溶解し.養分を吸收する作用をなす。花莖は1-5をなし.高さ9-12糎(3-4寸)に達し1花を頂生す。花冠は漏斗狀脣形をなし.內面に細毛を叢生す。雄蕊は2箇あり。子房は球形をなし.柱頭は2分す。果實は球形の蒴果にして2裂をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道·本州北部·中部等。

1146. **アシナガムシトリスミレ**(20圖版-178)…タヌキモ科
Pinguicula caudata, Schlech.

〔形態〕前種に酷似せる外來の食蟲植物にして.本邦にては專ら高溫多濕なる蘭科植物培養溫室內に栽培せらるゝものなり。葉は鮮黃綠色を呈し.瑞々しき美しさを有するのみならず.美しく愛らしき花を開き.葉花共に觀賞の價値に富む。この葉は長さ8糎(2.5寸)內外.幅2糎(.7分)許ありて.覆瓦樣に重疊し鉢を覆ふものなり。本花の花梗は長さ15糎(5寸)許.花は長き距を有し奇觀を呈するものなり。〔花色〕淡紅色。

〔原產地〕南米·墨西哥。

人生との關係 專ら愛玩用植物として珍重する一種とす。繁殖は實生及葉挿によるものにして.葉挿の場合は水苔によるを可とす。多濕を好むものなれば.水盤上に鉢を置くこと最も妙なり。

1147. **かうしんさう** 庚申草(20圖版-179)……タヌキモ科
Pinguicula ramosa, *Miyoshi.*

〔形態〕下野の庚申山に發見せられたものにしてこの名あり。前種に似たる小形の多年生草本なり。根は纖細にして5-6葉を根生す。葉は橢圓形全緣にして先端圓く.微に缺刻を有することあり。基部は狹長となり.恰も葉柄の如き觀あり。この葉は肉質にして上面に腺毛を生じ.粘液を分泌す。根出葉群の中央より1花莖を抽くこと6-9糎(2-3寸)に達し.稀には單一なることあれども.通常先端分岐し.2條又は3條となり.每枝端に1花を着生す。果實は圓形の蒴にして.中に微細なる種子多數を藏す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部。

1148. かばふとむしとりすみれ……タヌキモ科
Pinguicula villosa, *L.*

〔形態〕前種カウシンサウに酷似する花を着生すれども.本種の花梗は分岐せず.尙本種は花梗に細毛を密生する特徵あり。〔分布〕樺太。

* * * * *

11. いはたばこ(苦苣苔)科
GESNERACEÆ.

本科の植物は草本.或は半灌木にして.葉は托葉を有せず.通常對生.稀に互生或は輪生す。花は兩性にして不整齊.稀に整齊なり。萼片5箇を有す。花冠は合瓣にして.管狀部は長短一ならず。概ね5瓣にして.雷は覆瓦樣をなす。雄蕊に2强にして花管の內面に着生し.其中2箇のみ繁殖性にして.稀に5箇みな繁殖性なるものあり。葯は2室を具ふ。花柱は線形をなし.子房は1室若しくは不完全なる2室をなす。側膜胎座にして卵子(胚珠)多數ありて倒生す。果實は蒴又は漿果にして.裂開し.或は閉鎖す。種子は多數あり.微細.平滑にして紡錘形.或は卵形をなす。胚乳は少量を有すか.或はこれを有せず.胚は直生す。

本科に屬する植物にして世界に產するもの.凡そ86屬·1100餘種を有し.多くは亞細亞の東南部.「ポリネシア」及熱帶「アメリカ」に分布す。本邦には自生品·園養品を合し大凡12屬.20餘種を有するに過ぎず。

本科所載植物名目次

アフリカスミレ……1166　シシンラン……1155　ヒメギリサウ……1162
イハギリサウ……1153　シロバナイハギリサウ1154　ビロウドギリ……1158
イハタバコ……1150　シロバナイハタバコ…1150　フイリイハタバコ……1152
ウシノクタ……1163　ストレアトカーアス・　ベニギリ……1157
オホイハギリサウ……1161　ポリアンサス……1165　ヤマビワサウ……1157
オホウシノシタ……1164　タイワンシシラン…1156　ラモンデイア・ミコニ 1169
ケイハタバコ……1151　ナチサウ……1155　……
コーレリア・ボゴデン　ハナギリサウ……1159　……
レス……1168　ハヒベニギリ……1160　……

1. イハタバコ屬 CONANDRON.

1149. **いはたばこ** (支) 苦苣苔……イハタバコ科
Conandron ramondioides, *Sieb.* et *Zucc.* var. typica, *Nakai.*

(異名) いはな·いはちさ(信州)·やまちしや(伊勢)·みづたばこ·あたごさう·まつがねさう·たきじしや　〔形態〕山地及深山溪側等の岩壁に

106 いはたばこ

多く自生.下垂する多年生草本なり。根莖は短く褐色にして.塊狀をなし.被ふに絨毛を以てす。葉は皆根生にして.數葉簇生して垂る。葉形は煙草の葉に似たるを以て「イハタバコ」の名あり。葉は卵形或は長橢圓にして.銳頭或は銳尖頭をなし.不整の銳齒牙緣を具へ.兩面無毛.長さ6-24糎(2-8寸).幅3-10糎(1-3.5寸)許を有し.葉面皺縮し.上面は淺綠色にして光澤あり.下面は淡綠色にして羽狀脈隆起す。葉の長さ3-21糎(1-7寸)許あり。葉間に1-5箇の花枝を抽出すれど.何れも葉よりは短く.軟毛を有す。その頂に小枝を分ち繖房狀樣の聚繖花序をなし.10數花を傾下して着生す。この花は花梗を有し.無毛.或は微毛を有す。萼は5深裂し.各裂片は線狀披針形をなす。花冠は長さ萼の2倍ありて.短漏斗形をなし.先端5裂し.各裂片は卵形.銳頭にして外方に反捲す。雄蕊は5箇ありて花冠の裂片と互生し.その基部に着生し.花絲は彎曲し.葯は長橢圓形にして妾褐色を帶び.集合して筒形をなすこと「ナスビ」に雄蕊に似たり。花柱は葯の集合せる中央より突出し.子房は圓錐形にして.不完全に4室をなす。果實は蒴にして種子は微細.その形は線狀長橢圓形をなし.少しく彎曲し.胚乳を有せず。

〔花色〕花冠は紫色或は淡紫色を呈し.筒狀部は內面白色にして裂片と交互せる橙色の斑點5箇を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州各地·四國·九州·臺灣等。

人生との關係 葉を採摘して生にて揉み、酢味噌に和して食用に供す。味頗る美なり。又これを移植し、盆栽・鉢植等とすれば雅致あるものなり。

1150. しろばないはたばこ…… イハタバコ科
Conandron ramondioides, *Sieb.* et *Zucc.* var. leucanthum, *Nakai.*

〔形態〕前種イハタバコの一變種に屬すべきものにして、本種は其葉著しく皺縮し、兩面共その脈上に毛茸を密生す。花序には開出も腺毛を布き、花梗は白色なれども、上部は紫色にして、萼も亦紫色を呈し、花冠は白色なり。栽培變種の一とす。

1151. けいはたばこ…… イハタバコ科
Conandron ramondioides, *Sieb.* et *Zucc.* var. variegatum, *Nakai.*

〔形態〕本種は葉の下面葉脈上にのみ毛を有し、花序には前種と同樣開出腺毛を布く。萼は淡綠色或は白色を呈し、花冠は菫紫色を呈するものなり。〔分布〕本州中部の高山岩石上に自生す。

人生との關係 高山植物として採集移植し雅致あるものなり。

1152. ふいりいはたばこ…… イハタバコ科
Conandron ramondioides, *Sieb.* et *Zucc.* var. pilosum, *Nakai.* forma variegatum, *Nakai.*

〔形態〕前種の一栽培品種にして、葉に黃色及白色等の斑紋を有するものなり。專ら盆栽・鉢植等とし、觀賞に供するものなり。

2. イハギリサウ屬 OREOCHARIS.

1153. **いはぎりさう** 岩切草（20圖版-180）… イハタバコ科
Oreocharis primuloides, *Benth.* et *Hook.*

〔形態〕本邦南部の濕潤なる岩石上に自生する多年生草本なり。全株に軟毛を布く。根莖は短くして直立し、地上莖を有せず。葉は長柄を有し、全部根生し、心臟形にして鈍頭をなし、基脚は圓形或は心臟形を呈し、邊緣は重鈍齒牙狀をなす。この葉は上面淡綠色、下面は更に淡色にして、長さ4.5-10糎（1.5-5寸）、幅1.5-10糎（.5-3.5寸）許を有す。花莖は長さ6-9糎（2-3寸）許を有し、葉間に抽出し、先端に繖形狀をなし、3-10花を着生す。この花は稍下垂し、短梗と小苞とを具ふ。萼は5深裂し、各裂片は銳頭をなす。花冠は不整齊にして稍漏斗狀をなし、上部5裂し、各裂片は圓形をなす。花形は稍櫻草の花に似たれども、花冠の裂片は卵形鈍頭にして缺陷なく、筒部は斜歪にして、少しく上方に彎曲す。雄蕊は4箇ありて花冠に着生し、2强をなし、葯は暗紫色を呈し、淡黃白色の花粉を出す。子房は圓錐形をなし、先端尖り、柱頭2裂す。花後長さ2.5糎（8-9分）許の蒴を結び、微小なる種子を多數に含有す。〔花色〕淡紫色にして、濃紫色の點條を有す。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州。

1154. しろばないはぎりさう…… イハタバコ科
Oreocharis primuloides, *Benth.* et *Hook.* var. albiflora, *Makino.*

〔形態〕前種の一變種にて、花色の純白なるものなり。專ら觀賞用として栽培せらる。

3. シシンラン屬 LYSIONOTUS.

1155. **ししんらん**（20圖版-181）…… イハタバコ科
Lysionotus pauciflora, *Maxim.*

（異名）ならさう 〔形態〕暖地に產し、樹上に着生する常綠の矮性灌木なり。根莖は纖長にして横行し、所々に12-30糎（.4-1尺）許の短莖を抽出し、且その上部に多數の葉を簇生し、稍輪層狀をなし、概ね1-5層をなす。葉は革質にして厚く、光澤あり。葉形には大小ありて大さ一ならず。葉身は楔狀長橢圓形又は倒披針形にして、微鋭頭又は鈍頭をなし、先端より中部にかけて、其緣邊に疎大なる鋸齒3-4箇を有し、葉柄あれども、頗る短小なり。花は莖頭の葉間に着生し、花枝毎に1花稀に2花を着け、莖毎に其上部に1乃至5-6花を有し、各其基部の傍に2枚の苞を有す。花冠は筒形をなし、上端5裂し、長さ3糎（1寸）許を有す。花後3-6糎（1-2寸）許の細長なる蒴を結ぶ。〔花色〕內面白色、外面淡紅色を帶ぶ。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・琉球・臺灣・支那。

1156. たいわんししんらん…… イハタバコ科
Lysionotus warleyensis, *Willm.*

〔形態〕前種に比し、莖は更に高く、花梗は長さ3糎（1寸）餘を有し、花冠は長さ4.5糎（1.5寸）許を有する大形のものなり。〔分布〕臺灣。

4. ヤマビハサウ屬 ISANTHERA.

1157. やまびはさう…… イハタバコ科
Isanthera viscolor, *Maxim.*

〔形態〕暖地に自生する亞灌木なり。全株に褐色の綿毛を布き、高さ60-90糎（2-3尺）に達す。葉は有柄、長橢圓形にして先端尖り、鋭尖脚をなし、細鋸齒緣を具ふ。花は聚繖花序をなして腋生し、花梗は葉柄より長く、萼は小形にして、5深裂し、各裂片は線狀皮形をなし、宿存す。花冠は短鐘狀形をなす。雄蕊は4箇ありて花筒の基脚に着生す。果實は蒴果にして卵形を呈し、先端尖る。〔花色〕雪白色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・臺灣・支那。

5. ビロウドギリ屬 SMITHIANTHA.

1158. **ビロウドギリ**（20圖版-182）…… イハタバコ科
Smithiantha cinnabarina, O. Kuntze.

〔形態〕本邦には主として栽培觀賞に供せらるる多年生草本なり。全株に腺質を呈する軟毛を密布し、葉は高さ60糎（2尺）餘に達す。葉は柄を有し、卵形或は長橢圓形にして、先端に狹く鈍頭をなし、基脚は心臟形、緣邊は波狀様鈍齒牙緣を具へ、全面に紫色の斑點を布く。花は總狀花序をなし點頭す。本花の有する苞は革質をなし、壓形にして內曲す。萼は先端5裂し、各裂片は披針形をなし、宿存す。花冠は鐘形をなし、基脚偏側膨大し、筒部は稍脊形をなす。上部は5裂し、外面には腺毛を密布し、內面は無毛なり。雄蕊は花冠の基脚に着生し、閉在す。花柱は花冠の上脣と同長なり。〔花色〕鮮赤色なれども、下側は黃色を呈し、內面は黃色にして、赤色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔原産地〕臺西等。

人生との關係 普通は夏日開花するものなれども、温室にて培養すれば春秋に花を見らるゝ觀賞植物なり。

6. ハナギリサウ屬 ACHIMENES.

1159. **ハナギリサウ**（20圖版-183）…… イハタバコ科
Achimenes longiflora, DC.

〔形態〕本邦にては園地に栽培する多年生草本なり。全株に紫白色の毛茸を布く。莖は高さ30-60糎（1-2尺）に達し、地下に鱗片を有する莖部を有す。葉は短柄によりて對生若くは輪生し、葉身は卵形乃至長橢圓形をなし、先端尖り、緣邊鋸齒をなす。この葉は往々下面に紅色を呈するものあり。花は短き花梗により葉腋上に單生す。萼は5深裂し、各裂片は披針形をなす。花冠は盆形をなし、筒部は長大にして彎曲し、長さ3糎（1寸）許、紘部は平開し、上部5裂し、雄蕊は花筒の基脚に着生し、閉在す。〔花色〕淡赤紫色、紘部は鮮紫碧色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕南米「グワテマラ」。

1160. **ハヒベニギリ**（20圖版-184）…… イハタバコ科
Achimenes cupreata, Hook.

〔形態〕近時の外來に係る多年生の觀賞用草本なり。莖は直立することなく、常に匍匐枝を出し、其先端に幼植物を着生することは恰も苺の匍枝の如きものなり。全體に毛茸を密生し、葉は短き葉柄を有し、葉身は卵狀橢圓形をなし、長さ10糎（3.5寸）、幅7糎（2.3寸）許ありて、全面銅色を呈すれども、主脈及支脈の一部鮮綠色を呈し美麗なるは本植物の一特徵と見るべきものなり。この葉は裏面紅色を帶ぶ。花は概形前種に似て小さく、花色鮮紅色を呈す。〔花候〕普通夏なれども温室內にては四季開花せしむることを得。〔原産地〕中米「ニカラガ」。

人生との關係 主として温室內に培養四季花及葉を觀賞するものなり。本種は日蔭の多濕なるを好み、耐寒力に弱きものなれば、冬季最低温度にても15度以上を保つ樣注意を要するものなり。培養土としては腐葉土を用ふれば充分なり。

7. オホイハギリサウ屬 GIOXINIA.

1161. **オホイハギリサウ**（20圖版-185）…… イハタバコ科
Gloxinia speciosa, B. Beg.

〔形態〕本邦にては普通「グロキシニア」と呼び温室中に栽培し、觀賞に供する多年生草本なり。本種は春季芽を出し、冬季には地上部枯死し、地下莖は通常短縮し球形を呈するものなり。莖は頗る短く、全株軟質の短毛を布く。葉は長柄を有し、廣橢圓、圓頭をなし、基脚楔形、緣邊粗齒牙狀をなす。この葉は長さ12糎（4寸）許あり。花は長梗により葉腋上に單生し、萼は倒圓錐形をなし、先端5裂し、各裂片は廣披針形をなす。花冠は鐘形をなし、上端5裂し、各裂片は不同なり。雄蕊は花冠の基部につき、閉在す。〔花色〕通常紫色なれども、或は菫色、淡紫色のもの等あり。〔花候〕栽培法により一

179 かうしんさう

178 アシナカムシトリスミレ

177 むしとりすみれ

180 いはぎりさう

181 ししんらん

182 ビロウドギリ

183 ハナギリサウ

184 ハヒベニギリ

185 オホイハギリサウ

定せず。〔原産地〕南亞米利加。

人生との關係　主として觀賞用として栽培せらるる重要なる園藝草花なり。この「クロキシニア」屬には種々の園藝品種を有し、外國には20餘種を算するとのことなれども、本邦にては現在栽培せらるるものは殆んどこの一種に限られ居るものゝ如し。以下少しく本植物の栽培法につき記述すべし。

「オホイハタバコ」(グロキシニア)の栽培法

順序として少しく本種の繁殖法を記述せんに、その方法には次の5方法あり。

(1) **種子による法**　開花後40-50日經過し、種子の成熟したるを季とし、取り蒔を行ふものとす。採種後時日を經過したる種子は發芽力を減ずる關係もあり、又春咲のものは梅雨期に當り腐敗する缺點を有するをもつて、秋咲のものより取り蒔したる方結果良好なりとす。播種後10日位にして芽生し始むるにより、直後日光にあて2週間位を經「ピンセット」にて3糎(1寸)位の距離に移植し、更に成長したらば6糎(2寸)鉢に移し、順次鉢を大きくするものとす。

(2) **莖插法**　この方法は莖を小さく切りたるものを插木し、繁殖せしむる方法にして、この方法は先づ温室内に、鉢又は淺き箱を取り、之れに川砂の細かきものを篩ひ除きたるものを入れ、秋に至り、最も莖葉の發育佳良なるものを選び、節の下方にて6-9糎(2-3寸)の長さに切り、圖に示したる如く砂の中に挿込むなり。その後は乾燥に失せざる樣、硝子板にてこれを覆ひ、日光の直射せざる樣注意すれば、3週間後には大低活着するものなり。若し之れを温室内にて行ひ、平均温度23度位を保たしむればその結果は一層良好なるものとす。

107 莖插法を行ひたる圖

(3) **葉插法**　この方法も前の莖插し法と同樣の要領にて行ふべきものなり。卽ち秋季成熟したる中等大の葉を切り取り、中央の太き脈卽ち中肋を中心として長さ6糎(2寸)、先端の幅3糎(1寸)許の扇形に切り、全長の½程砂中に挿入するものとす。この寸法によれば、1枚の葉にて約3-4箇の插し葉を得らるゝ割合なり。これより以後は前の方法と同樣に取扱へば、4-5週間を經過すば活着し、最初根部となる部分に小球を生じ、次に芽を出し初むるものなり。

108 葉插法.

(4) **分芽による方法**　以上の3方法により作り出されたる苗を、肥沃なる地に植込めば、やがては多くの芽を生ずるに至るものなれば、その芽が3糎(1寸)位になりたる時、その内1箇の芽を殘し、他は全部之れを掻き採り、直ちに親玉同樣に取扱へば、時期は稍遲れ、數は少數なれども、普通の如く花を咲き出づるものなり。

(5) **分球による法**　多くの芽を有する親球を取り、これを4-5箇に切り、各1切毎に必ず芽を有する樣注意し、切り口には灰を塗り、その儘植込むものとす。

以上莖插・葉插は何れも活着したるものは、其基部に小球を生ずるものなれば、その小球を掻き取り、6糎(2寸)鉢に、始ど球の隱るゝ程度に土を覆ひ、播種の時と同樣に取扱ふものとす。葉插の場合、地上にある插したる葉は腐敗し初むるものなれども、地中には立派に小球の出來初むるものなれば、少しも關心せず、やがて小球を得らるゝものと心得差閊なきものとす。

温室栽培法

先づ10糎(3分)許の素燒鉢を準備し、之れに排水よき肥土を入れ、種球の根が肥土に觸れの樣砂を入れ、大低2月頃植込みを終り、7月頃開花せしむる樣にす。植込みは球の隱るゝ程度とし、1球宛植込み、18度位の温室内に入れ、本來の性質として多量の水分を要求するものなれば、給水に注意を拂ふ必要あれども、去りとて餘りに過潤に過ぐるは結果良好ならざるものなれば、潅水にも注意するを必要なる條件とす。4月以後は日中の强き光線な避ける樣にし、かくてその根がおだ充分に張り切らざる中に、鉢より靜かに抜き取り、土を崩さゞる樣、16-13糎(5-6寸)鉢に植換へ開花せしむるなり。

肥料は追肥として植込後10日に1回油粕・鰊粕等の腐汁を稀めて淡くしたるものを根元に施與し、花の終り、漸次葉の色の褪せ初めたる時は潅水を控へ、枯れ終りたる時は全く之を中止し、冬の中は其儘、或は球を掘り出し、砂藏の土を入れたる木箱内に入れ、最低40度以下に降らざる樣、保護を加へ貯藏するものとす。

以上は温室内にて行ふ方法なれども、若し温床内に栽培せんとするには、4月頃植込み、充分に注意して培養すれば良結果を得らるゝことあれども、中々其加減の困難なるものとす。

---

8. ウシノシタ屬　STREPTOCARPUS.

1162. **ヒメギリサウ**(21圖版-186)…… イハタバコ科
Streptocarpus Rexii, Lindl.

〔形態〕鉢植として栽培せらるる觀賞用多年生草本なり。葉は凡て根生し、長橢圓形をなし、鈍鋸齒緣を具へ、兩面皺質にして、毛茸を生ず。この葉は長さ10糎(3寸)内外を有す。葉の中間より高さ10-30糎(3-1尺)許の花莖を抽出し、中部以上に2苞を着け、その先端に通常1花なれども、稀に2花を開く。萼は5裂し、各裂片は狹長橢圓形をなし、毛茸を有す。花冠は長さ4.5糎(1.5寸)許を有し、筒部は細き漏斗形をなし、上部は5裂し、各裂片は平開し、稍不同なり。花後細長なる莢を結び、熟すれば螺旋狀を呈する特性あり。〔花色〕紫碧色或は紅紫色。〔花候〕栽培法により不同。

〔原産地〕南部亞米利加。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培す。栽培法は前種を參考すべし。

1163. **ウシノシタ**(21圖版-187)…… イハタバコ科
Streptocarpus Wendlandii, Hort.

〔形態〕前種と同樣專ら鉢栽培に供せらるる多年生草本なり。莖は甚る短く、葉は廣卵狀橢圓形、鈍頭をなし、基脚は圓形、波樣鈍鋸齒緣を具ふ。この葉は1莖1葉を着生し、上面淡綠色、下面暗赤色を呈し、兩面に白毛を布き、基脚には小形葉を簇生す。この葉の基部に花莖數條を出し、花は點頭し、圓錐狀樣總狀花序をなす。苞は短卵形、萼は小形にして先端分裂し、各裂片は線形をなす。花冠は漏斗狀斜形をなし、長さ3.6糎(1.2寸)許、雄蕊は2箇を有し、花筒の上部に着生す。花絲は短形にして彎曲し、上部には腺毛を有す。葯隔は鬱大す。假雄蕊3箇を有す。子房は線形にして短毛を被り、花柱は短形にして屈曲し、柱頭は球形をなす。蒴は細長にして扭捩し、長さ7.5糎(2.5寸)許を有す。〔花色〕紫碧色と白色と相交錯す。〔花候〕夏。栽培法により春。〔原産地〕南亞弗利加。

1164. **オホウシノシタ**…… イハタバコ科
Streptocarpus grandis. N. E. Br.

〔形態〕前種ウシノシタに比し、本種は葉の下面が、上面と同じく淡綠色を呈するものなり。〔原産地〕南亞弗利加。

1165. **ストレプトカープス・ポリアンサス**……イハタバコ科
Streptocarpus polyanthus, Hook.

〔形態〕前種等と同樣1莖に大形の葉1葉を着生する多年生草本なり。概形は前種等より大形にして、花冠も5深裂し、各裂片は倒卵形をなし、大形にして美麗なるものあり、果實も亦彼より長く、同じく扭捩す。〔花色〕碧色或は紫色。〔原産地〕南亞弗利加。(21圖版-188)

---

9. アフリカスミレ屬　SAINTPAULIA.

1166. **アフリカスミレ**(21圖版-189)…… イハタバコ科
Saintpaulia ionantha, Wendl.

〔形態〕園藝草花として栽培せらるゝ多年生草本なり。全株白毛を有く。葉は何れも葉柄を有し根生し、卵狀或は長橢圓形披針形にして、緣邊微牙狀をなし、長さ4.5糎(1.5寸)許を有す。葉間に長さ3-12糎(1-4寸)の花莖を出し、聚繖花序をなし、1-6花を着生す。本花は點頭す。萼は小形にして5深裂し、各裂片は綠形。花冠は廣鐘狀脣形をなし、筒部は短く、裂片は橢圓形をなし不同なり。完全雄蕊2箇を有し、子房は有毛、蒴は狹長橢圓形にして2殼より成る。〔花色〕菫色。〔花候〕夏。栽培法により春。

〔原産地〕東部亞弗利加熱帶地方。

人生との關係　本邦にては主として温室内に栽培し、觀賞に供す。

---

10. イソロマ屬　ISOLOMA.

1167. **ベニギリ**　(牧野博士命名)(21圖版-190)　イハタバコ科
Isoloma amabile, Mott.

〔形態〕主として温室内に培養せらるる外來の觀賞用多年生草本なり。莖は高さ30-50糎(1-1.7尺)許に達し、地下に根莖を有す。葉莖共に毛茸を有す。葉は對生にして葉色鮮綠色を呈し、天鵞絨の如く頗る美しきものなり。花は其形桐の花に似て稍小さく、花色朱紅色を呈し、花喉に帶紫色の斑點を有し、常に葉腋上に着生し、下垂する性を有す。〔原産地〕南米「コロンビヤ」。

人生との關係　温室内に栽培し觀賞に供するものなり。繁殖は實生、插芽、及根莖により、用土は腐葉土に川砂を混じたる排水良き作土を好む。夏季日光の直射を避け、温度は25-26度位を保つ樣注意を要す。

10. コーレリア屬 KOHLERIA.

1168. **コーレリア・ボゴテンシス**…… イハタバコ科
Kohleria bogotensis, Fritsch.

〔形態〕主として鉢植とし、温室内に栽培せらるる多年生草本なり。全株に白色の毛茸を密生し、莖は高さ 30-60 糎(1-2 尺)に達す。葉は心臓形にして、邊縁に疎鋸齒を有し、全面に斑點を有す。花は梢上葉腋上に長き花梗によりて單生し、萼は先端 5 裂し、各裂片は廣卵形をなし、反捲す。花冠は大形にして、稍偏側の膨大なる筒狀部を有し、先端は 5 裂し、各裂片は圓形を呈し、稍不同なり。〔花色〕本花は上脣は紅色を呈し、下脣は黄色にして、紫色の斑點を有し、頗る美麗なり。〔花候〕栽培法により不同。〔原産地〕南米「コロンビア」地方。(21 圖版-191)

人生との關係 温室内に栽培し觀賞に供するものなれど、夏日開花せしむるものは露地にても栽培し得らるるものなり。

12. ラモンディア屬 RAMONDIA.

1169. **ラモンディア・ミコニ** (21 圖版-192)… イハタバコ科
Ramondia Myconi, F. Schltz.

〔形態〕專ら温室内に栽培せらるる多年生草本なり。全株に毛茸を密布す。葉は短柄を有し、葉身は卵形にして先端尖り、緣邊に疎鋸齒を有し、毛緣をなす。この葉は凡て根生する。花はこの叢葉間に數本の花莖を抽出し、先端 2-3 分岐し、點頭す。萼は先端 5 深裂し、先端尖る。花冠も亦 5 深裂し、各裂片は殆ど三角形を呈す。雄蕊は一見「ナスビ」の花のそれの如くして、葯は黄色を呈す。〔花色〕紫紅色或は白色。〔花候〕栽培方法により不同。〔原産地〕歐羅巴。

* * *

12. はまうつぼ(列當)科
OROBANCHACEÆ.

本科の植物は、多少肉質をなせる草本にして、他植物の根に寄生し、葉綠素を有せず。葉は極めて小形なるか、或は鱗片狀をなし、互生す。花は兩性。花冠は不整齊にして穗狀又は總狀花序に排列するか、或は單生す。萼は下位、2-5 裂するか、或は離生す。花冠は先端 5 裂して、稍唇形をなし、上脣は 2 裂、或は分裂せず、下脣は 3 裂す。雄蕊は 4 箇ありて 2 强にして、花冠に着生し、裂片に互生す。雌蕊は 2 箇或は稀に 3 箇の結合せる心皮よりなり、子房は上位。1 室にして 4 或は 6 箇の側膜胎座を有し、多數の倒生卵子を含む。花柱は單一にして 2 或は 4 裂。果實は蒴にして多數の有胚乳種子を含む。

本科には凡そ 12 屬、130 種の植物を有し、通常温帶に產し、本邦には自生品として 6 屬、凡そ 12 種を產す。

1. ナンバンギセル屬 AEGINETIA.

1170. **なんばんぎせる** 野菰 (21 圖版-193)… ハマウツボ科
Aeginetia indica, *L.*

(異名) おもひぐさ・きせるさう 〔形態〕山野、殊にススキ・カヤ等の根際に寄生する一年生草本なり。全株無毛にして、淡紅紫色を呈す。莖は短縮し、數片の鱗葉を着く。花莖は直生し、單一、或は分枝し、高さ 15 糎(4.5 寸)に達し、鞘狀の苞を着生す。花は頂生或は單立し、萼は大形にして苞狀をなし、先端尖り、1 側に開放す。花冠は頭狀脣形をなし、基脚は直生し、上部は地平に膨大、紘部は 5 裂し、各裂片は圓形をなす。雄蕊は 4 箇。花柱は花冠と同長。果實は蒴にして卵形をなし、先端尖る。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕秋。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

1171. おほなんばんぎせる…… ハマウツボ科
Aeginetia japonica, *Sieb. et Zucc.*

(異名) やまなんばんきせる 〔形態〕同種と同樣ヒカゲスゲの根に寄生する一年生草本なり。本種も亦毛茸を有することなく、概形は頗るよく彼に似たるものなり。其彼と異なる特徴は本種の有する萼の先端鈍頭をなすことが、彼の先端の尖れると異り、淡紫色を呈するにあり。〔花色〕紫色。〔花候〕7-8 月。〔分布〕本州各部・四國。

1172. びめなんばんぎせる…… ハマウツボ科
Aeginetia Sekimotoana, *Makino.*

〔形態〕本種はクロヒナスゲ(其項參照)の根に密生する一年生草本なり。根莖は短く黄色にして、苞は黄紫色にして、花莖は前種等より短く、下部稍小上部肥大し、黄色に紫條を有する特徴あり。萼は上部濃紫色、下部淡黄紫色を呈す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部。

2. オニク屬 BOSCHNIAKIA.

1173. **おにく** (21 圖版-194) …… ハマウツボ科
Boschniakia glabra, *C. A. Mey.*

(異名) きむらたけ・をかさだけ・かさだけ・にくじゆ 〔形態〕諸高山の陰地に生じ、ミヤマハンノキ(其項參照)の根に寄生する、寄生多年生草本なり。全株無毛、莖の下端小塊をなし、暗褐色を呈し、徑約 3 糎(1 寸)許を有し、地上に抽出し直立すること 15-18 糎(5-6 寸)、大なるものは 30 糎(1 尺)許に達するものなり。この莖は肉質にして黄褐色を呈し、分枝することなし。葉も亦黄褐色を呈し、鱗狀にして卵形をなし、互生。密生す。花は無梗にして、莖の上部に數十箇を簇生し穗狀花序をなす。花冠は楕圓形の小嚢をなし、脣形にして上下の兩脣に分裂す。雄蕊は 4 箇ありて 2 强にして、花冠の內面に着生す。花柱は 1 箇にして彎曲す。子房は肥大し、側立胎座をなし、卵子(胚珠)は極めて微細なり。〔花色〕黄紫色。〔花候〕7-8 月。〔分布〕樺太・北海道・本州北部中部の諸高山・朝鮮。

人生との關係 古來本植物の全體を乾燥し藥用に供し、强壯劑として珍重するものとす。富士山地方にては「オニクサマ」と稱し、不老不死の靈藥として尊重す。漢方醫方に肉蓯蓉と稱するものあり。この漢名を本品に充當する習慣あれども、この漢名に相當するものは支那に產し、和名ホンオニクと稱するものなり。

1174. しまおにく…… ハマウツボ科
Boschniakia Kawakamii, *Hayata.*

〔形態〕前種と同樣寄生草本にして、高さ亦前種と同樣なり。葉は廣三角形の鱗片狀をなし、覆瓦樣に排列す。花序は圓柱形をなす。萼は不齊にして 3-5 裂し、後片は稍長く、廣卵狀長楕圓形をなし、側片は稍長楕圓形をなし、前 2 片を合着し、何れも細齒牙緣或は腺毛緣をなす。〔分布〕臺灣。

3. ホンオニク屬 CISTANCHE.

1175. ホンオニク…… ハマウツボ科
Cistanche salsa, Benth. et Hook.

〔形態〕支那河西省地方に產出する多年生の寄生植物にして、大なるものは長さ 30 糎(1 尺)許に達す。莖は覆瓦狀に排列せる鱗片にて被はるること、本邦產に異らず。

人生との關係 支那にては古來、全草を陰乾にし藥用に供す。主として强精藥とす、又腎經血分の要劑に供すとあり。本邦に於ても藥舖に散見するものは、專ら支那本土に產する、卽ち本品ならん。

4. ハマウツボ屬 OROBANCHE.

1176. **はまうつぼ** 列當 (21 圖版-195)…… ハマウツボ科
Orobanche caerulescens, *Steph.*

〔形態〕海邊の砂地或は向陽の山間等に自生し、多くはカハラヨモギの根に寄生する多年生草本なり。莖は高さ 15-30 糎(.5-1 尺)に達し、全株に白色の軟毛を有す。この莖は淡紅色を呈し、下半に退化したる鱗片狀の葉を互生し、上半には密に花を綴りて、穗狀花序をなす。萼は下位にして 4 淺裂又は 5 淺裂をなし、花冠は圓壔形をなし、上部に於て開き、2 脣形にして、5 淺裂をなす。雄蕊は 4 箇ありて 2 强にして、花冠の筒部に附着し、裂片と互生す。子房は上位にして 1 室を有し、中に多數の倒生卵子(胚珠)を藏す。花柱は單一にして、柱頭は盤狀をなす。果實は蒴にして胞背裂開し、中に種子を有す。〔花色〕碧紫色。〔花候〕5 月。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣・支那。

1177. よもぎうつぼ…… ハマウツボ科
Orobanche japonensis, *Makino.*

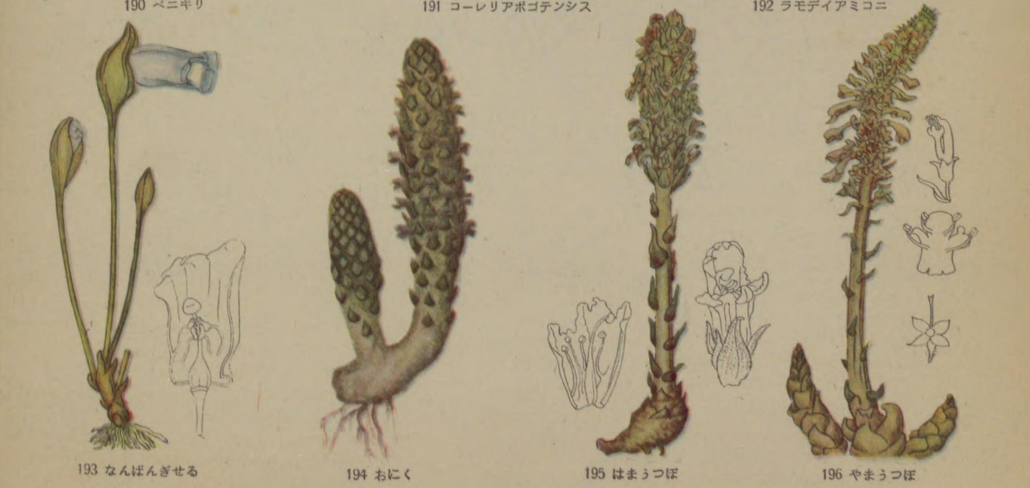
〔形態〕山地に自生し、他植物の根に寄生する多年生草本なり。概形前種に酷似すれども、本種の根莖は彼より膨大にして、鱗片は疎生、花軸は多角にして毛茸を散生し、花穗は多花を着け各花 1 苞を有し、花穗の長さ 15-18 糎(5-6 寸)に達す。本種はヨモギの根部に寄生す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕6 月。〔分布〕本州中部。

1178. をかうつぼ…… ハマウツボ科
Orobanche nipponica, *Makino.*

〔形態〕前種と同樣、山地に自生する多年生草本なり。本種は前種に酷似すれども、花は稍疎に着生し、疎穗狀をなし、多くチトヨヨモギの根に寄生するものなり。〔花色〕紫葷色。〔花候〕6 月。〔分布〕本州各部。

186 ヒメギリサウ　187 ウシノシタ　188 ストレプトカープスポリアンサス　189 アフリカスミレ

190 ベニギリ　191 コーレリアボゴテンシス　192 ラモデイアミコニ



193 なんばんぎせる　194 おにく　195 はまうつぼ　196 やまうつぼ

5. ヤマウツボ屬 LATHRAEA.

1179. **やまうつぼ**（21圖版-196）…… ハマウツボ科
Lathraea japonica, *Miq.*

〔形態〕山地樹下等に生じ、他植物の根に寄生する多年生草本なり。莖は高さ15-30糎（5-6寸）乃至（1尺）許に達し、上部には鱗片葉を疎生し、脚部には層重す。この莖はハマウツボに比し全體稍細にして、黄白色を呈す。花は短梗を有し、總狀花序をなして頂生し、苞は梗と同長、花冠は長筒狀脣形をなし、上脣は旗圓、2耳裂をなし、下脣は至つて短く3裂す。〔花色〕黄白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部（武州高尾山に多し）及南部・九州。

1180. **げんじうつぼ**…… ハマウツボ科
Lathraea L. Nakaharai *Makino.*

〔形態〕前種と同樣なる寄生多年生草本にして、概形又彼に似たれども本種の莖基に有する鱗片は彼より大きく、且肥厚せる特徴を有す。本種の總狀花序は偏側生を有し、多花を密生す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部。

6. キヨスミウツボ屬 PHACELLANTHUS.

1181. きよすみうつぼ…… ハマウツボ科
Phacellanthus tubiflorus, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕山地に於ける他植物に寄生する多年生草本なり。莖は肉質をなし、單生し、高さ7.5糎（25分）許に達し、葉は鱗片狀に退化し、長橢圓形、鈍頭をなし、疎なる覆瓦樣に排列す。花は總狀花序をなして頂生す。花冠は狹き圓筒形をなし、苞片は2箇ありて側生す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州中部及北部。

1182. しまうつぼ…… ハマウツボ科
Phacellanthus boninsimae, *Maxim.*

（異名）をがさはらおにく　〔形態〕同じく他植物に寄生する多年生草本なり、莖は高さ15-18糎（5-6寸）に達し、全株疎に短毛を布く。この莖は基部塊狀に擴大す。花穗は長さ3糎（1寸）餘となり、長さ1.8-2糎（6.7分）の苞を有し、萼は2裂し、各裂片は側生し、卵狀長橢圓形、先端2齒緣をなす。花冠は脣形をなし、雄蕊は4箇ありて抽出し、柱頭は2岐す。〔花色〕白色。〔分布〕小笠原島。

* * *

13. つのごま（角胡麻）科 MARTYNIACEÆ.

本科の植物は凡て草本にして、葉は互生或は對生す。花は合瓣花にして、先端5裂し、稍腎形をなし、萼は合片にして先端5裂し、下位なり。雄蕊は4箇、稀に2箇、2强にして花冠に着生し、裂片と互生す。雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り、子房は上位にして1室を有し、2箇の側膜胎座を有し、少數或は多數の倒生卵子（胚珠）を含む。花柱は單一にして、柱頭2分し、花盤は雌蕊の下に位し、殆んど平等に發育す。果實は角狀の突起を具へたる蒴にして、4室を有し、種子は薄き胚乳を藏す。

本科は凡そ3屬、9種の植物を有し、重に亞米利加に產出す。本邦には栽培種として1屬、2種を有するに過ぎず。

1. ツノゴマ屬 PROBOSCIDEA.

1183. **ツノゴマ** 角胡麻（22圖版-197）…… ツノゴマ科
Proboscidea Jussieni, Steud.

（異名）タビビトナカセ　〔形態〕本邦にては專ら園地に栽植せらるる一年生草本なり。莖は高さ60-90糎（2-3尺）に達し、全株に腺質の軟毛を有す。葉は長柄を有し、葉身は圓狀の腎臟形、或は廣卵狀心臟形にして、全緣或は波狀緣をなし、互生す。花は長梗を有し、疎なる總狀花序をなして着生す。この花の有する小苞は長橢圓狀卵形をなす。萼は廣鐘形をなし、不齊に5裂し、各裂片は鈍頭なり。花冠は桐の花に酷似し、長さ4.5糎（1.5分）許。雄蕊は4箇。果實は長橢圓形をなし、內果皮は上方に突出し、舟形をなし、內方に彎曲す。〔花色〕淡紫色或は淡黄色にして淡紫色のものには紫斑淡黄色のものには黄斑を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係 觀賞用として温室に栽培するものあり。果實も亦裝飾用に供せらるることあり。

7 ごま（胡麻）科 PEDALIACEÆ.

本科の植物は、その種子に油分を含有するを以て有用なるものなり。通常草本なれども、稀に灌木なり。葉は全緣、或は羽狀に分裂し、互生、或は對生す。花は兩性。花冠は不整齊にして先端5裂し、稍腎形を呈す。萼は下位、或は上位。合片にして先端5裂す。雄蕊は4箇或は2箇を有し、2强にして、裂片に互生す。雌蕊は2-4箇の結合せる心皮より成り、子房は上位、或は下位にして2-4室を有し、各室に1乃至多數の倒生卵子（胚珠）を含む。花柱は單一、柱頭は2乃至4裂す。果實は蒴或は閉果にして、種子は薄き胚乳を含有す。

109 ごま

本科は凡そ14屬、47種の植物より成れども、多くは熱帶地方に產し、本邦には僅々2屬、2種を有するに過ぎず。

1. ゴマ屬 SESAMUM.

1184. **ゴマ** 胡麻 …… ゴマ科
Sesamum indicum, L.

（異名）ウゴマ　〔形態〕畑地に栽培せらるる一年生草本なり。全株短毛を疎生し、莖は方形をなし、高さ1米（3.4尺）に達す。葉は長柄を有し互生し、整形をなせる托葉を具ふ。葉身は長橢圓形或は卵形をなし、疎なる鈍鋸齒を有するか、或は全緣なれども、下部に生ずるものは往々3裂し、柄脚に2腺及刺毛狀の托葉を有す。花は短梗を有し、梢上葉腋に着生す。花冠は長さ3糎（1寸）許の筒形をなし、短毛を布き、基脚稍膨起し、上方に擴大し、先端5裂す。雄蕊は4箇ありて2强なり。果實は蒴にして長橢圓形柱狀にして短尖頭を有す。〔花色〕白色にして淡紫暈を有す。〔花候〕8-9月。〔原產地〕東印度。

人生との關係 本植物にはその種子に黑色のものと、白黄色のものとを生ずる2種あり。何れもその種子より油を搾取し、食用・工業用として、頗る需用多きものなり。而して食用としては多く黑色種を稱味すれども、搾油用としては白黄色のものを重用す。

胡麻油は、黑胡麻或は白茶色胡麻を炒りたる後に〆木にかけ、その油分を搾取したるものなり。又一種白絞と稱する油あり。この油は胡麻を炒らず、天日に乾燥したるものを直ちに締木にかけ油分を搾取したるものなり。本品は一名「ホシコ」の名あり。

胡麻油は多く食料品製造に供す。卽ち油揚・天麩羅・其他種々の揚げ物に使用す。白絞は多く婦人頭髮に其儘使用し、或は香油製造の原料に供せらるるものなり。其他胡麻油は醫藥用としても重用せらる。

2. ヒシモドキ屬 TRAPELLA.

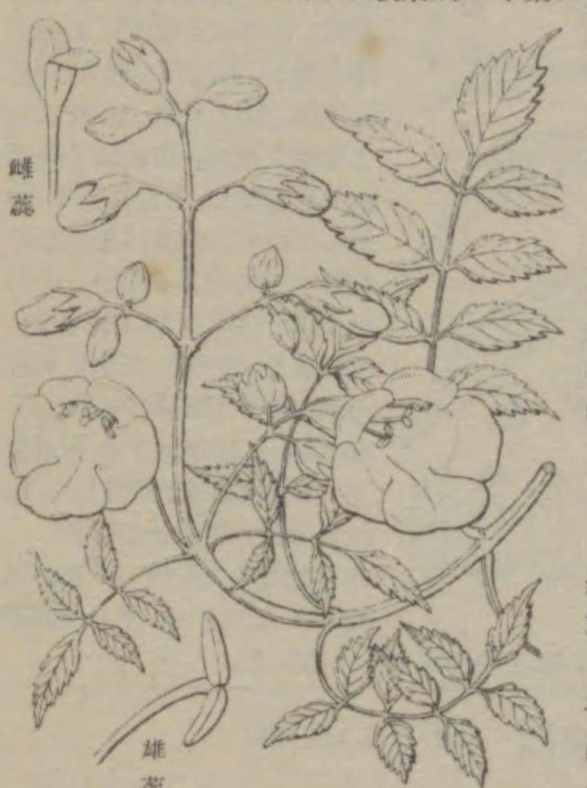
1185. **ひしもどき**（22圖版-198）…… ゴマ科
Trapella sinensis, *Oliv.* (Trapa antennifer, *Lev.*)

（異名）むしづる　〔形態〕淡水中に自生する多年生草本なり。莖は細長く、水中に延長し、疎に小枝を分つ。葉は長柄を有し、膜質をなし、脾葉は披針形或は線狀披針形、緣邊疎齒牙狀をなせども、精葉は三稜狀或は腎臟形にして、鈍齒牙緣をなし、何れも對生す。花は莖の上方葉腋上に單生す。萼は小形にして上半位より5中裂し、各裂片は先端尖り、宿存性なり。花冠は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は圓形をなし、覆瓦狀に排列す。雄蕊は4箇ありて2强にして花筒に着生す。子房は圓柱形、半上位にして、其周圍は萼の筒狀部に着生し、上部に小突起を有す。柱頭は不整齊に2分裂す。果實は圓柱形をなし、其頂端は不同なる5條の冠翼を着く。〔花色〕綠白色、或は淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州。

* * *
* *

8　のうせんかづら(紫葳)科
BIGNONIACEÆ.

本科の植物は喬木.灌木.或は稀に多年生草本.又は一年生草本なり。葉は對生.稀に輪生し.1-3回羽狀複葉.稀に單葉にして.托葉を有せず。時に卷鬚を有するものあり。花は兩性にして.圓錐花序又は總狀花序をなし.頂生或は稀に腋生す。萼は下位.稀に稍上位.淺く.或は深き裂片に分れ.或ひは脣形をなすことあり。花冠は不整齊にして.筒狀或は鐘形をなし.4-5裂し.裂片は5箇にして不同或は稍不同。幼時は2脣をなす。雄蕊は5箇にして.2强雄蕊をなし.1本は不完全.花冠の裂片と互生し.花筒の下部に附着す。花絲は絲狀をなし.基部に毛茸.或は乳狀突起を具ふることあり。葯は2室にして縱裂し.平行なるか或は開出す。子房は2室.稀に1室を有し.中軸に沿ひて合着せる心皮より成る。卵子(胚珠)は多數にして倒生或は懸垂す。花柱は長く.柱頭は2分す。果實は蒴果にして.胞軸裂開或は胞背裂開をなす。種子は無柄・扁平にして概ね翅を有す。子葉は葉狀をなすか.稀に褶曲す。



110 のうぜんかづら

本科には凡100屬.500種を含み.多くは熱帶に産し.兩半球溫帶には僅少なり。本邦には自生品・栽培品を合し.6屬.約12種を産す。

1. ノウゼンカヅラ屬　CAMPSIS.

1186. **ノウゼンカヅラ** 淩霄花・紫葳(漢)…ノウゼンカヅラ科
Campsis grandiflora, K. Schum. (*Tecoma gandiflora*, Lois.)

(異名) ノウゼン・ノセウ・マカヤキ　〔形態〕 莖は小なる氣根を出し.これによりて他物に纏繞上昇する落葉の藤本なり。葉は對生し.奇數羽狀複葉をなし.小葉は3-5對よりなり.各小葉は卵形にして.先端尖り.粗鋸齒緣をなす。花は大形にして圓錐花序をなし.頂生す。花梗は十字形をなし.花は點頭す。萼は小形にして.5中裂し.各裂片は披針形.鋭頭なり。花冠は廣漏斗狀をなし.上端5裂し.多少脣形をなす。この花は長さ6-7.5糎(2-2.5寸)あり。雄蕊は4箇を有し2强にして.花筒の基脚に着生す。假雄蕊1箇を有す。子房は紡錘形にして稜をなす。柱頭は團扇形をなし.果實は長形にして革質をなす。〔花色〕 外面橙黃色を呈し.內面朱黃色を呈す。
〔花候〕 7-8月。〔原產地〕 支那。

人生との關係　支那にては本植物の花を通經(妊婦には禁忌)又利尿の效ありとして.古來煎用す。我國にても使用するものあり。本植物は往古支那より移植し.觀賞用として諸所に栽植せらるるものにして.往々自生の如き觀を呈するものあれども.これ栽培品より起生せるものなるべし。有毒植物の一とす。

2. キササゲ屬　CATALPA.

1187. **キササゲ** 梓(漢)・雷電木…………ノウゼンカヅラ科
Cotalpa ovata, G. Don. (*C. Kaempferi*, Sieb. *et* Zucc)

(異名) キモミヂ(古歌)・キサヽギ・カハラササゲ(美濃)・カミナリササゲ(越後)・ライデンギリ(京都)・ハブテコブラ・カブテコブラ・カハラヒサギ(筑前)・カハラギリ(常陸)・カハラガシハ(伊勢)・カハラクサギナ(石見)・ユフダチノキ(信濃)・タツノキ(紀伊)・ゴシンカウ(肥前)・センダンギリ(陸中)・シヤウゲンボク(筑後)・ダラスケノキ　〔形態〕 往古支那より渡來せしものなれど.全く本邦に歸化し.時には自生品を見る落葉喬木なり。幹は直立し.高さ6.5米(20尺內外).周圍6糎(2尺)許に及ぶ。樹皮は灰白色を呈し.縱に割目ありて.平滑ならず。枝及葉は對生す。春日新芽を生ずる時は.紫黑色・莖も赤紫黑色を呈すれども.成長すれば綠色を呈するに至る。葉は長柄を有し.廣卵形にして.基脚は圓形或は心臟形をなし.鋭尖頭にして3尖又は5尖をなし.長さ15-30糎(4-5寸)乃至(1尺)を有す。花は枝梢上に複繖形花序をなし.多數攢簇す。花序は長さ30糎(1尺)許に達す。萼は小形にして先端2裂し.各裂片は圓形をなす。花冠は鐘狀にして斜心形を呈し.上端5裂し.各裂片は圓形をなし.緣邊皺縮す。本花の上脣は短くして反捲し.下脣は平開す。雄蕊は4箇ありて.花筒の下側に着生し.2箇は假雄蕊にして稍小形なり。花柱は1箇.柱頭は稍2岐す。果實は蒴にして.頗る細長く.長さ30糎(1尺)許.徑1糎(3分)許ありて.多く相集り.下垂する様十六豇豆の莢に似たり。故に本和名を有す。秋日葉落ち.果實のみ樹に殘り.春日.果皮裂開し種子を出す。この種子は恰もテイカカツラ(絡石)に似たる絮を有し.風によりて飛散し.地に落ちて自生し易し。
〔花色〕 淡黃色を呈し.內面に紫色の斑紋あり.且一種の香氣を有す。
〔花候〕 7月。〔原產地〕 支那。(22圖版-199)

人生との關係　庭園に栽植し風致樹とし觀賞に供す。材は輕軟にして割れ易けれども.木履を作るに用ふ。古書にいはゆる梓弓は此樹にて作りたる弓なり。嫩き果實をササゲの莢の如く食用に供す。

民間にては本植物の果實全部を細切し.これを煎服すれば利尿の效ありとし.殊に腎臟病を治癒する妙藥なりとして盛に使用せらる。その他腹痛・風邪・膿血除去にも適すとあり。又その煎汁を足部に外用すれば.水蟲を殺すに妙效ありといふ。

1188. アメリカキササゲ…………………ノウゼンカヅラ科
Catalpa bignonioides, Walt.

〔形態〕 園地に栽培觀賞に供せらるる喬木なり。葉は長柄を有し.心臟狀卵形を呈し.先端は長鋭尖頭をなし.下面に軟毛を布く。花は圓錐花序をなし.多花を着け.花色は白色にして少しく菫色を帶び.花喉に紫色及黃色の點紋を有するものなり。其他は略前種に同じ。〔原產地〕 北亞米利加。

1189. **ハナキササゲ**……………………ノウゼンカヅラ科
Catalpa speciosa, Warder.

〔形態〕 前種と同様外來の喬木なり。幹は高さ30米(100尺)餘に達するものあり。葉は心臟狀卵形をなし.先端は長鋭尖頭をなし.長さ18-30糎(6-1尺)許を有す。花は圓錐花序をなし少數を着く。この花は徑約20糎(7寸)許.內面に不明の斑紋を有す。莢は厚味を有し.長さ15-20糎(5-7寸)を有す。〔花候〕 6月。〔原產地〕 北亞米利加。

3. フクベノキ屬　CRESCENTIA.

1190. フクベノキ………………………ノウゼンカヅラ科
Crescentia Cujele, L.

〔形態〕 外來の一種にして.全株無毛種に屬する喬木なり。葉は廣披針形をなし.基脚狹く.長さ9-15糎(3-5寸)許あり。花は大形にして.梢上葉腋上に單生し.懸垂す。花冠は筒狀をなし.中部緊縊し.その形瓢果に似たるものなるを以て.本和名を有す。上部は膨大し.內に5雄蕊を藏す。果實は球形をなし.長さ45糎(1.5尺)許あり。〔花色〕 黃色にして.赤紫色の線條を有す。〔花候〕 夏。

人生との關係　專ら庭園に栽植し觀賞に供する植物なり。

4. ツリガネカヅラ屬　DOXANTHA.

1191. **ツリガネカヅラ** (22圖版-200)……ノウゼンカヅラ科
Doxantha Capreolata, Miers.

〔形態〕 本種も亦外來の常綠莖性木本なり。葉は2片の複葉をなし.先端には葉の變性たる卷鬚を有す。小葉は硬質にして柄を有し.卵形或は長楕圓形.基脚心臟形をなす。この葉は.その葉腋間に往々托葉に類する附屬葉1對を有することあり。花は聚繖花序をなして腋出し.長さ4.5糎(1.5寸)許を有し.萼は膜質にして.倒圓錐狀鐘形をなし.5齒緣を有す。花冠は鐘狀の漏斗形をなし.舷部は稍脣形を呈し.上端5裂.各裂片は覆瓦樣に排列す。雄蕊は4箇ありて閉在し.蒴は扁線形をなし.長さ15糎(5寸)許あり。
〔花色〕 橙黃色。〔花候〕 夏。〔原產地〕 北亞米利加。

人生との關係　我國にては專ら觀賞用として栽培す。

5. チヤウチンバナノウゼンカツラ屬
ECCREMOC RPUS.

1192. **チヤウチンバナノウゼンカツラ**…ノウゼンカヅラ科
Eccremocarpus scaber, Ruiz *et* Pav. (22圖版-201)

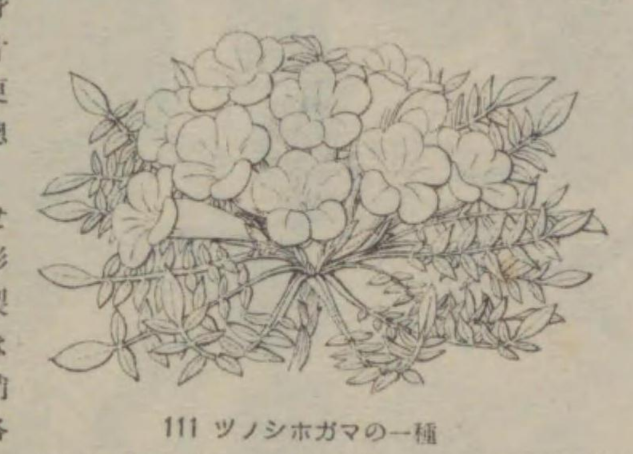
〔形態〕 外來の多年生莖性草本なり。莖は長さ3米(10尺)餘に達し.葉は2回羽狀複葉をなし.先端に卷鬚を有す。小葉は心臟形をなし.全緣なるか.或は大鋸齒緣をなすことあり。花は總狀花序をなして着生し.苞は小形.萼は先端5裂し.各裂片は先端尖る。花冠は長筒形をなし.その狀提灯の形に似たるをもつて.この和名あり。この花冠は先端狹く.5裂す。
〔花色〕 赤色或は橙黃色。〔花候〕 夏。〔原產地〕 南米智利。

人生との關係　專ら庭園或は鉢植として觀賞に供するものなり。

6. ツノシホガマ屬　INCARVILLEA.

1193. **ツノシホガマ**………………………ノウゼンカツラ科
Incarvillea variabilis, Batalin.

〔形態〕 外來の多年生草本なり。莖は瘠長にして高さ30-45糎(1-1.5尺)に達し.葉は有柄。葉身は羽狀に全裂し.各裂片は卵狀披針形をなし.更に羽狀に中裂す。花は總狀花序をなして頂生し.基脚に葉狀を呈し深裂せる苞を有す。萼は五角形をなし.先端5裂し.各裂片は剛毛を具ふ。花冠は漏斗狀をなし.筒部は稍彎曲し.上端は5裂し.各裂片は圓形をなし平開す。雄蕊は閉在し.葯胞は擴開す。子房は線狀長楕形。蒴は狹紡錘形をなし.先端鋭尖なり。〔花色〕 淡紅紫色。〔花候〕 夏。
〔原產地〕 支那。


111 ツノシホガマの一種

7. ソケイノウゼン屬　PANDOREA.

1194. **リケイノウゼン** (22圖版-202)……ノウゼンカヅラ科
Pandorea jasminoides, K. Sch.

(異名) ダイソケイ　〔形態〕 本種は外來の莖性木本なり。葉は卵形乃至披針形にして鋭頭或は鈍頭をなす.全邊緣の小葉5-7葉より成る羽狀複葉にして.對生す。花は圓錐花序をなして頂生し.萼は鐘形にして5齒緣をなし.花冠は漏斗狀斜鐘形をなし.先端5裂し.各裂片は圓形にして波緣をなし.喉內に軟毛を有す。雄蕊は閉在し.葯胞は擴開す。子房は線形.花柱も亦閉在し.先端2岐す。果實は長楕圓形を呈す。〔花色〕 乳白色にして.喉の內面通常紫紅色を帶ぶ。〔花候〕 夏。〔原產地〕 濠洲。

人生との關係　前種等と同様本邦にては.專ら觀賞用として栽培す。

8. クヮエンボク屬　SPATHODEA.

1195. クヮエンボク…………………………ノウゼンカヅラ科
Spathodea campanulata, Beauv.

〔形態〕 外來の喬木なり。高さ20米(70尺)餘に達す。葉は大形の羽狀複葉をなし.長さ30-45糎(1-1.5尺)許ありて.9-19の小葉より成る。この小葉は短柄を有し.卵狀披針形にして.先端急激に尖り.全緣をなし.基脚に2-3の肉質腺點を有し.初めは下面に毛茸を有するか.或は全く無毛なり。花は總狀或は圓錐花序をなし.多花を攢簇す。萼は革質にして.舟形をなし.先端反捲す。花冠は長さ9糎(3寸)許を有し.先端5裂し.各裂片は卵形をなし.波緣を有す。葯は毛を有せず.長さ18糎(6寸)許あり。〔花色〕 濃紅色。〔花候〕 夏。〔原產地〕 熱帶亞弗利加。

人生との關係　時に庭園に栽植し觀賞に供するを見ることあり。

9. センダンキササゲ屬　STERESPERMUM.

1196. せんだんきささげ……………………ノウゼンカヅラ科
Stereospermum sinicum, *Honce.*

(異名) かたみのかつら　〔形態〕 臺灣の山野には自生品を見る落葉の中喬木なり。葉は革質をなせる楕圓形或は圓形をなせる小葉より成る。2回羽狀複葉にして.この小葉は柄を有す。花は圓錐花序をなして頂生し.萼は卵形.花冠は筒形をなし.1側膨大し.先端は5裂す.この裂片は楕圓形をなし.捲縮齒牙緣をなす。果實は圓筒形をなせる蒴にして.2殼より成る。
〔花色〕 黃白色。〔花候〕 夏。〔分布〕 臺灣。

10. ヒメノウゼンカヅラ屬　TECOMA.

1197. **ヒメノウゼンカヅラ**…………………ノウゼンカヅラ科
Tecoma capensis, Juss. (22圖版-203)

〔形態〕 外來の常綠灌木なり。葉は7-9の小葉より成る羽狀複葉にして.各小葉は廣楕圓形乃至卵形をなし.先端尖り.緣邊鋸齒をなす。花は總狀花序をなして頂生し.花梗を有す。萼は鐘形にして5齒緣をなす。花冠は漏斗狀をなし.稍彎曲し.雄蕊は花冠外に挺出す。蒴は線形にして壓扁し.長さ30-45糎(1-1.5寸)許を有す。〔花色〕 橙赤色乃至緋紅色。〔花候〕 夏。
〔原產地〕 南部亞弗利加。

人生との關係　庭園に栽植し觀賞に供する木本なり。

＊　＊　＊

9. ごまのはぐさ(玄參)科
SCROPHULARIACEÆ.

本科の植物は草本・亞灌木・灌木又は喬木にして.概ね毛茸又は腺毛を有す。葉は對生或は互生又は輪生し.托葉を有せず。花は兩性にして.花序は種々あり。萼は下位にして概ね宿存し.4淺裂又は5淺裂す。雄蕊は概ね4箇ありて.2强なるか.或は殆んど均一にして.花冠の內面に着生し.花冠の裂片と互生し.稀には2箇又は第5の不完全なる雄蕊を有することあり。葯は單胞又は2胞をなし.相分離するか.或は連合することあり。花盤は環狀にして腺質或は盃形をなせども.時としては不明瞭なることあり。雌蕊は單一にしてその柱頭は全緣をなすか.或は2裂す。子房は上位にして2室.稀に單室にして.室毎に多數.或は稀に2箇の卵子(胚珠)を藏し.倒生又は半倒生をなし.中軸胎座をなして着生す。果實は概ね蒴にして.胞間裂開又は胞背裂開をなせども.稀には漿果なることあり。種子は概ね多數にして.細小なり。種皮は一種ならずして網紋を有するか.或は細孔又は線條を有するか.或は平滑なり。側面の腹面に臍を具ふ。胚乳は肉質をなし.胚は小形にして直生するか.又は稍屈曲す。子葉は幼根よりも稍廣闊なるに過ぎず。

112 ごまのはぐさ

本科の植物は.其分布甚だ廣く.世界を通じ.凡そ205屬.2600種を有し.多くは溫帶に生ずれども.又熱帶・寒帶の諸地方にも產するものあり。

我國には古來栽培せらるるものも多く.各地に自生するもの併せて.大凡35屬.150餘種を有するものなり。

本科所載植物名目次

アイザハシホガマ……1286
アカヌマサウ……1232
アカヤヂワウ……1308
アゼタウガラシ……1246
アゼナ……1247
アブノメ……1213
アフリカウンラン……1275
アメリカミゾホホヅキ1272
イシガキクハガタ……1347
イシカハシホガマ……1297
イセママコナ……1262
イヅコゴメグサ……1223
イヌノフグリ……1331
イヌフグリ……1331
イハブクロ……1302
ウリクサ……1321
ウルツブサウ……1235
ウルツブサウ……1296
ウンラン……1240
ウンランカヅラ……1244
ウンランモドキ……1276
エゾコゴメグサ……1225
エゾシホガマ……1284
エゾノクガイサウ……1329
エゾノカハヂシヤ……1338
エゾノヨツバシホガマ1294
エゾヒナノウスツボ…1316
エゾミヤマクハガタ…1345
エゾルリトラノヲ……1354
オタエゾコゴメグサ…1226
ヲドリサウ……1280
オニシホガマ……1298
サハタウガラシ……1231
サホヒメ……1308
ザルジニア・セラギノイデス……1364
シコクママコナ……1261
シソクサ……1236
シソバウリクサ……1322
シナギリ……1278
シホガマギク……1280
シホガマサウ……1280
シマコゴメグサ……1216
ジヤカウサウモドキ…1208
ジヤカウミゾホホヅキ1372
ジヤカゴサウ……1253
シロバナサギゴケ……1252
シコバナタカネシホガマ……1289
シロバナハンクワイアザミ……1301
シロバナママコナ……1259
シロヤヂワウ……1310
スズカケサウ……1201
スズメノタウガラシ…1234
スズメノハコベ……1268
セイタカサギゴケ……1257
セイヤウウンラン……1243
セリバシホガマ……1285
センリゴマ……1311
ダイセンクハガタ……1341
タイワンキクモ……1238
タイワンギリ……1279
タイワンコゴメグサ…1216
ハナチヤウジ……1312
ハナヨモギ……1280
ハネバキンチヤクサウ1206
ハマクハガタ……1347
ハマトラノヲ……1357
ハマレンゲ……1235
ハンクワイアザミ……1300
ハンクワイシホガマ…1300
バンダイクハガタ……1343
ヒキヨモギ……1318
ヒゲママコナ……1263
ヒトハグサ……1277
ヒトハバナ……1277
ヒナノウスツボ……1314
ヒメウンラン……1241
ヒメカハヂシヤ……1337
ヒメキンチヤクサウ…1205
ヒメクハガタ……1348
ヒメコゴメグサ……1228
ヒメツリガネヤナギ…1306
ヒメトラノヲ……1355
ヒヨクサウ……1359
ヒレミゾホホヅキ……1273
ビロウドモウズキクワ1327
ヒロハゴマクサ……1267
フシグロミゾホホヅキ1273
フタイロコリンシア…1209
ヘウタングサ……1931
ベニツリガネヤナギ…1305
ヘビノハナ……1290
ホザキウンラン……1243
ホソバウンラン……1243

オホアブノメ……1260
オホイヌフグリ……1333
オホカハヂシヤ……1336
オホハタケクハガタ…1333
オホバナヂキタリス…1211
オホバミゾホホヅキ…1270
オホヒキヨモギ……1319
オホヒナノウスツボ…1315
カガリビサウ……1274
カハヂシヤ……1335
カラクサカヅラ……1244
カラフトシホガマ……1283
カラフトヒヨクサウ…1260
キクバクハガタ……1342
キクバトラノヲ……1362
キクモ……1237
キタミサウ……1239
キバナウリクサ……1323
キバナヂキタリス……1212
キ　リ……1277
キリカヅラ……1248
キリノキ……1277
キンギヨサウ……1199
キンチヤクサウ……1203
クカイサウ……1328
クガイサウ……1328
クチナシグサ……1274
クワガタサウ……1339
クルマサウ……1328
クルマサンシチ……1328
クルマバシホガマ……1293
グンバイヅル……1351
コキリカヅラ……1250
コクハガタサウ……1340
ココノヘギリ……1278
コゴメグサ……1215
コシホガマ……1292
コシホガマ……1308
コバノクハガタ……1349
コバノクハガタ……1350
コバノコゴメグサ……1227
ゴマクサ……1207
ゴマノハグサ……1313
コメバコゴメグサ……1219
サギゴケ……1251
サツキヒナノウスツボ1317
タカネシホガマ……1288
タカネママコナ……1266
タチイヌフグリ……1332
タチコゴメグサ……1220
タマザキシホガマ……1299
タルマイサウ……1302
ヂキタリス……1210
チシマシホガマ……1295
チリメンバノキンチヤ
　クサウ……1204
ヂワウ……1308
ツクシクガイサウ……1330
ツクシシホガマ……1290
ツシマママコナ……1264
ツタカヅラ……1244
ツリガネヤナギ……1303
ツルウリクサ……1324
ツルキンギヨウ……1200
ツルクハガタ……1350
ツルサギゴケ……1254
テウセントラノヲ……1358
テングクハガタ……1346
テンニンカラクサ……1331
トウテイラン……1358
トキハハゼ……1256
トサカグサ……1280
トサカバナ……1280
トサノコゴメクサ……1221
トツサカ……1280
トモエシホガマ……1281
トラノヲ……1328
トラノヲスズカケ……1202
トラノヲノキ……1363
トレニヤ……1325
ニシキミゾホホヅキ…1271
ニハタバコ……1326
ニホヒホホヅキ……1272
ネコジリヲ……1328
ネムロシホガマ……1291
ノコギリサウ……1280
ハタケクハガタ……1331
ハチヂヤウコゴメグサ1217
バチバチグサ……1213
ハナウリクサ……1325
ハナギリ……1277
ハナグルマ……1300
ホソバコゴメグサ……1218
ホソバヒメトラノヲ…1356
ホソバベニゴテフ……1198
ホソバママコナ……1265
ホロギク……1214
マツラコゴメグサ……1222
ママコナ……1258
マルバクハガタ……1351
マルバコゴメグサ……1224
マルバサギゴケ……1255
マルバサハタウガラシ1233
マルバノウンラン……1244
ミカドギリ……1278
ミゾホホヅキ……1269
ミツバイヌノフグリ…1334
ミヤマクハガタ……1344
ミヤマコゴメグサ……1229
ミヤマシホガマ……1291
ミヤマシホガマ……1292
ミヤマシホガマギク…1292
ミヤマヒメトラノヲ…1342
ミヤマママコナ……1260
ムカヘバシホガマ……1282
ムシクサ……1361
ムラサキウンラン……1245
ムラサキキリカヅラ…1249
ムラサキミゾホホヅキ1325
メキシコヂキタリス…1320
モウズキクワ……1326
モンバモウズキ……1327
ヤナギチヤウジ……1307
ヤナギハウンラン……1242
ヤハズミゾホホヅキ…1273
ヤマクハガタ……1350
ヤマツツミ……1328
ヤマトラノヲ……1355
ヤマヒナノウスツボ…1314
ヤマルリトラノヲ……1352
ユキワリシホガマ……1287
ヨツバシホガマ……1293
リンダウツリガネヤナ
　ギ……1304
リンダウモドキ……1304
ルリトラノヲ……1353

1. アロンソア屬　ALONSOA.

1198. **ホソバノベニゴテフ**(22 圖版-204)…… ゴマノハグサ科
Alonsoa linearis, Walp.

〔形態〕近時の外來種に屬する一年生草本なり。莖は細長くして直立性を有し.多くの小枝を分つ。葉は線狀をなし先端尖り.互生す。花は莖の上方更に小枝を分ち.總狀花序をなして疎に着生す。〔花色〕朱紅色。
〔花候〕夏。〔原產地〕白耳義。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培する草花なり。秋播のものは溫床内に越冬せしめ.數回の移植を行ひたる後.鉢植とし.又は花壇の裝飾用に供するものなり。

2. キンギョウサウ屬　ANTIRRHINUM.

1199. **キンギョサウ**　金魚草（22 圖版-205）・ゴマノハグサ科
Antirrhinum majus, L.

〔形態〕園地に培養せらるる外來の多年生草本なり。高さ 60 糎(2 尺)内外に達し.梢部には腺毛を布く。葉は短柄を有し.長橢圓形或は線狀長橢圓形をなし.基脚狹く.對生なり。花は總狀花序をなして着生し.苞は卵形をなし.先端尖り.蕚は 5 深裂し.各裂片は形稍不同にして.廣橢圓形.鈍頭をなし.腺毛を密布す。花冠は基部膨大.喉部閉鎖し.舷部は脣形を呈し.上脣は 2 裂.各裂片は斜形をなし.鈍頭.邊緣擴大す。下脣の先端は.上脣 2 裂片の中間に達す。その樣游泳せる金魚の形に似たりと稱し.本和名を有す。雄蕊は 4 箇ありて.2 强にして.葯胞は擴開す.顎は上側隆起し.下側の基部は 1 部膨大し腺毛を有す。〔花色〕淡紫色。白色。其他淡紅・黃及之れ等の絞り等種々ありて美麗なり。〔花候〕夏。〔原產地〕地中海沿岸。

人生との關係　普遍的に各地に於て栽培觀賞に供せらるる園藝草花にして.その性强健なるものなれば.或は庭園に.或は鉢植に.その栽培法頗る容易なるものなり。

1200. **ツルキンギョサウ**(22 圖版-206)…… ゴマノハグサ科
Antirrhinum maurandioides. A. Gray.

〔形態〕本種も亦外來の園藝植物にして.攀緣性の多年性草本なり。本種は全株に毛茸を有することなく.葉は長き葉柄を有し.三角狀戟形或は箭形.稀に心臟狀戟形にして多角をなし.花は梢上の葉腋に着生し.長梗を有し.蕚は 5 裂し.各裂片は披針形を呈するものなり。〔花色〕菫色或は紫色。
〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　前種と同樣園地に栽培し.觀賞に供するものなり。

3. スズカケサウ屬　BOTRYOPLEURON.

1201. **すずかけさう**…………… ゴマノハグサ科
Botryopleuron villosulum, *Makino.*

（異名）ちようけんかつら・ちようけんさう　〔形態〕極めて稀に栽培せらるる多年生草本なり。莖は高さ 2-2.5 米(6-7 尺)に達し.全株に開出短毛を有す。葉は膜質をなし.短柄を有す。葉身は卵形乃至橢圓形にして.長銳尖頭を有し.基脚楔形をなし.粗鋸齒緣を具ふ。花は總狀花序なれども球形をなし.短梗を有す。蕚は 5 深裂し.各裂片は鑿狀線形をなし.背面に毛茸を有す。花冠は蕚長の 2 倍.筒部は彎曲し.舷部は 4 裂し.各裂片は略同長なり。雄蕊は 2 箇ありて.著しく花冠外に挺出す。葯胞は頂端合着す。果は 4 殼より成る。〔花色〕鮮菫色。〔花候〕夏。(栽培種)

113 すずかけのき

114 とらのをすずかけ

1202. **とらのをすずかけ**…………… ゴマノハグサ科
Botrypleuron axillare, *Hemsl.*

〔形態〕暖國に自生する伏臥性の多年生草本なり。莖は瘠細にして稜を有し.長さ 30-90 糎(1-3 尺)に達し.多少蔓狀をなし.末端地に着けば.其處より根を生し.新株を成すこと.前種スズカケサウと同樣なり。
其他の形態は殆んど前種に酷似すれども.彼に比し本種の特徵は莖葉及蕚等何れも毛茸を有せざること.花序も彼は球形をなせども.本種は圓柱狀長橢圓形をなす等重なるものなり。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。
〔分布〕四國・九州。

4. キンチャクサウ屬　CORCEOLARIA.

1203. **キンチャクサウ**(23 圖版-207)…… ゴマノハグサ科
Corceolaria corymbosa, Ruiz. *et* Pav.

〔形態〕園地或は鉢栽培として觀賞に供せらるる外來の多年生草本なり。莖葉共に毛茸を密生し.莖は 4 稜をなし.高さ 30 糎(1 尺)許に達す。葉は卵狀心臟形にして.緣邊鈍鋸齒を有し.下面帶白色を呈す。花は房狀花序をなし着生し.花冠は脣形をなし.上脣は小形にして斜上し.下脣は闊大にして傾下する樣.小兒の腰にする.巾着の形に酷似せるにより.この和名を有するものなり。〔花色〕鮮黃色を呈し内面に赤紫色の斑條を有す。〔花候〕夏。
〔原產地〕南米智利。

人生との關係　溫室或は溫床等に培養し.その奇形をなせる花を觀賞するものにして.各地に於て栽培せらる。繁殖は種子により.用土は普通使用する輕き肥土を用ふれば充分なり。

1204. **ヒメキンチャクサウ**(23 圖版-208)…… ゴマノハグサ科
Calceolaria rugosa, Rniz. *et* Pav. var. *hybrida*, Hart.

〔形態〕近時の外來に係り.普通ルゴサ・ハイブリダと稱し.鉢仕立として栽培せらるる一年生草本にして.全株に絨毛を布く。本種には高性と矮性とありて.何れもよく分岐せるものなり。葉は披針形にして先端尖り.概形は前揭キンチヤクサウに酷似すれども.本種のものは長さ 6 糎(2 寸)内外.幅 3 糎(1 寸)内外にして.緣邊に粗鋸齒を有し對生す。花は莖の上部に叢生し.繖形花序をなす。この花は前種キンチヤクサウより小形にして花徑 1 糎(3 分)内外に過ぎず。〔花色〕眞紅・淡紅・橙黃・覆輪・絞等種々あり。
〔花候〕夏。〔原產地〕南米智利。

人生との關係　フレーム内或は低溫度の室内に育苗し.鉢仕立として觀

197 ツノゴマ

198 ひしもどき

199 キササゲ

200 ツリガネカヅラ

201 チヤウチンバナノウゼンカヅラ

202 ソケイノウゼン

203 ヒメノウゼンカヅラ

204 ホソバベニゴテフ

205 キンギヨサウ

206 ツルキンギヨサ

花せしめ觀賞するものにして,繁殖は種子及挿芽により,種子は通常8-9月頃播種するを良好とす。用土は腐葉土の如き膨軟なるものを選び,周到なる取扱をなせば結花は頗る良好なり。

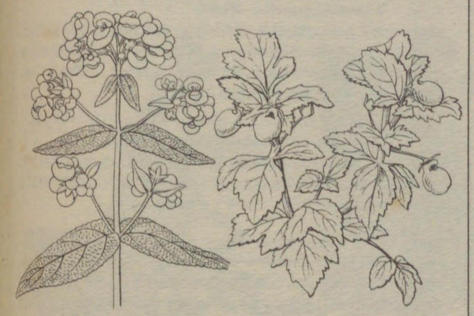
1205. **チリメンバノキンチャクサウ** …… ゴマノハグサ科
Calceolaria rugosa, Rniz *et* Pav.

〔形態〕前種等と同様園地等に栽培せらるる多年生草本なり。莖葉共に毛茸を密生し,莖高30-60糎(1-2尺)に達す。葉は披針形をなし,先端尖り,基部狹搾して莖を抱く。この葉は全面に皺襞を有し,恰も櫻草の葉に似たり。本種の花は花形,其他前種に似たれども,彼よりは小形にして纖房狀に排列す。〔花色〕黃色にして,紫紅色の斑點を有す。〔花候〕夏。
〔原産地〕南米智利。

人生との關係　前種と同樣各地にて栽培し觀賞に供する草花にして,繁殖は實生及挿木によるを可とす。多年生草本なれども夏季に弱きものなれば,日光の直射する冷室に培養し,暖地なれば戶外にて越年す。栽培は容易なるものなり。

1206. **アツバキンチャクサウ** …… ゴマノハグサ科
Calceolaria pinnata, L.

〔形態〕前種等と同樣觀賞用として栽培せらるる外來の多年生草本なり。莖は高さ1米(3尺)內外に達し,全株に疎毛を布く。本種の葉は前二種と異り一回奇數羽狀複葉をなすか,或は羽狀に深裂し,邊緣に細齒牙鋸齒を有



115 チリメンバノキンチヤクサウ　　116 アツバキンチヤクサウ

するものにして,前種等と同樣對生す。花は前種等と同樣巾着狀をなせる奇形花なれども,稍小形にして,斑點を有せざるものなり。〔花色〕黃色。
〔花候〕夏。〔原産地〕南米智利。

人生との關係　前種等と同樣溫室或は溫床等にて培養し,觀賞に供する園藝草本なり。繁殖は實生によるものにして,普通秋播とし,冬季溫室內にて栽培すれば3月頃より開花し始む。又春播にすれば7月より開花せしむることを得。用土は腐植質多き膨軟の土質を好み盛に生育す。

5. ゴマグサ屬　CENTRANTHERA.

1207. **ごまくさ**(23圖版-209) …… ゴマノハグサ科
Centranthera Brunoniana, *Wall.*

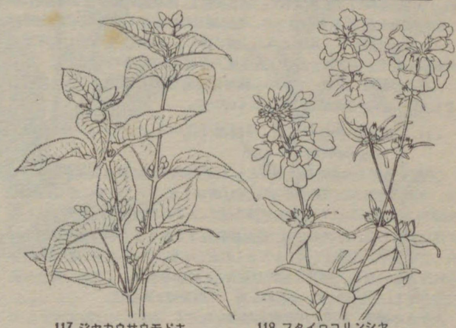
〔形態〕原野に自生する一年生草本なり。全株に剛毛を密布し,莖は高さ45糎(1.5尺)許に達す。葉は硬質,無柄にして對生す。葉身は披針形乃至線狀披針形にして,鈍頭,全緣をなす。花は苞を有し,穗狀花序をなして頂生す。この花は1日にして凋萎す。萼は筒狀の花狀をなし,5稜を有し,綠色にして紫黑色彙を有す。花冠は頭部長くして彎曲し,筒部は腎形をなし,先端は5裂す。雄蕊4筒ありて2强にして閉在す。葯は1胞のみ完全し,橫在す。蒴は胞間裂をなし,殼片は分裂することなく,宿存萼に包まる。
〔花色〕黃色にして紫斑を有す。〔花候〕8-9月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣·朝鮮。

6. ジャカウサウモドキ屬　CHELONE.

1208. **ジャカウサウモドキ** …… ゴマノハグサ科
Chelone Lyonii, Pursh. *(C. major*, Sims.)

〔形態〕花戶は單にチエロネ或はリオンと略稱するものにして,近時の外來に係り,主として切花用として培養せらる。莖は方形をなし80糎(2.5-6尺)餘に達す。葉は廣披針形にして緣邊鋸齒をなし,一見粗剛に見ゆれども毛茸なく光澤を有す。この葉は長さ8糎(2.5寸),幅3糎(1寸)許あり。花は脊形狀をなし,大きさ約3糎(1寸)許を有し,梢頭に着生す。〔花色〕紫紅色。〔花候〕6-10月。〔原産地〕北米カロリナ山地方。

人生との關係　上述の如く切花用として栽培し,又觀賞用としても栽植せらるるものにして,多年生草本なれば繁殖は株分による。寒氣に耐ふるものなれば,如何なる土質にもよく成育すれども,濕地に自生するものなれば乾燥する土地は避くる樣にすべし。



117 ジヤカウサウモドキ　　118 フタイロコリンシヤ

7. コリンシア屬　COLLINSIA.

1209. **ふたいろコリンシア** …… ゴマノハグサ科
Collinsia bicolor, Benth.

〔形態〕近時の外來品種にして,播種の時季により,一年生或は二年生草本なり。莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し,葉は廣披針形,或は長橢圓形にして先端尖り,疎鋸齒緣をなし,無柄にして對生す。花は枝梢の上方に總狀花序をなして,多花を密生し美觀を呈す。蒴は先端5裂し,各裂片は卵形をなし,先端尖り,毛茸を有す。花冠は割合に大形にして脊形をなす。
〔花色〕上脣は白色或は淡青紫色を呈し,下脣は紅紫色にして美しきものなり。〔花候〕不定。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　專ら觀賞用に供するため培養する植物にして,溫室內に栽培すれば,隨時に花を見らるるものなり。

8. ヂキタリス屬　DIGITARIS.

1210. **ヂギタリス**　實基答里斯(23圖版-210) ゴマノハグサ科
Digitaris purpurea, L.

(異名) キツネノテブクロ　〔形態〕廣く庭園に栽培して花を觀賞するものなれども,元來大毒を有し,同時に有名なる藥用植物なり。通常二年生草本なれども,又多年生草本をなすことあり。全株に腺狀の細軟毛を密生し,白色を帶ぶ。莖は剛健にして直立し,高さ75糎(2.5尺)許に達す。葉は莖の基部と,下部に着生するものは,卵形又は卵狀披針形にして,長さ15-25糎(5-8寸)許を有し,銳頭にして,基部に向ひて漸く狹く,鋸齒緣をなし,長柄を有す。又莖の上部に着する葉も,これと同形なれども,無柄なり。花は長さ30-60糎(1-2尺)許の總狀花序をなし,何れも1側に向ひて開花す。小梗は短く,苞は葉狀をなす。蒴は5裂し,各裂片は長橢圓狀披針形をなし,上部にある1片は他の4裂片よりも狹細にして,先端尖る。花冠は長さ3-6糎(1-2寸)許を有し,漏斗狀脊形をなし,內に雄蕊4箇を有し,2强にして,花冠の基脚に着生し,莿胞は頂端に於て連合す。柱頭は2岐す。蒴は卵圓形にして蒴片より長く,種子は外面蜂窠狀をなす。

人生との關係　本植物の葉を「ヂギタリス」葉と稱し,最も重要なる心臟病の適藥とせられ日本藥局方に收錄せらる。
「ヂギタリス」葉は即ち本植物の葉を採集し乾燥したるものにして,藥舖は販賣せらるるものは,長卵形をなし,長さ30糎(1尺),幅約10糎(3.5寸)許にして,下葉のものは有柄,上葉のものは之を缺く。上面は暗綠色,下面は淡綠色を呈し,兩面共に皺縮し,毛茸を有す。本品は不快の苦味を有するものなり。大阪·東京府下より產出す。
「ヂギタリス」葉は强心藥として粉劑,丁幾又は其製劑を用ふ。新藥として販賣せらるるものに「パンギタール」Pangital(三共株式會社發賣)。「ヂギタミン」Digitamin(鹽野義商店發賣)。「ヂギプラツーム」Digipuratum(獨逸 Knorr)等の種類あり。
〔附記〕本屬(Digitaris)の植物は多く歐羅巴·亞弗利加の北部及亞細亞

の西部に播布し、既知のもの凡そ22種あり。卽ち本種も其一に屬するものなり。尙其內本邦に移植栽培せらるるもの2-3を記述說明すべし。

1211. **オホバナヂギタリス**(23圖版-211)…… ゴマノハグサ科
Digitalis ambigua, Marr.

〔形態〕園地に栽培せらるる多年生草本なり。莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し,全株に毛茸を密布す。葉は互生し,卵狀披針形をなし,緣邊に齒牙狀の鋸齒を有し,凡て無柄なり。花は總狀花序をなし着生し,花形は前種より遙かに大形なり。其他は殆んど彼に同じ。〔花色〕帶黃色にして褐色の條脈を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕西部亞細亞。

人生との關係　本邦にては專ら園地に培養し,觀賞に供さるるものなれども,前種と同樣有毒植物に屬するものなり。

1212. **キバナヂギタリス**(23圖版-212)…… ゴマノハグサ科
Digitalis lutea, L.

〔形態〕前種と同樣外來の一種にして,全株無毛種に屬する多年生草本なり。本種は莖葉共に淡綠色を呈し,莖は高さ1米(3尺)內外に達し,葉は長橢圓形,或は披針形にして,細齒牙緣を有し,上方にあるものは無柄なれども下部にあるものは長柄を有す。花は總狀花序をなし多くの筒狀脣形花を偏側して着生す。花冠は「ヂギタリス」に比し小形にして,花冠の裂片は彼より稍深きものなり。萼片は披針形をなし,銳頭を有す。〔花色〕黃色乃至白色を呈し,毛を有せず。〔花候〕夏,〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　前種と同樣有毒植物なれども,本邦にては觀賞用として各地に栽培せらる。以上3種のヂギタリス類は何れも洋風の花園に栽培すれば美觀を呈するものなり。繁殖は種子によるを普通とす。種子によりたるものは2年目に開花し,其後數年間は開花を繼續す。

9. アブノメ屬　DOPATRIUM.

1213. **あぶのめ**(23圖版-213)…… ゴマノハグサ科
Dopatrium junceum, *Ham.*

(異名) ばちばちぐさ　〔形態〕各地の水田等に自生する一年生草本にして,全株無毛なり。莖は高さ15-20糎(5-6寸)に達し,根際より數莖に分れ,分枝することなく,葉は肉質小形にして,披針形乃至鱗形をなす。花は葉腋上に單生し,萼は短形にして,先端5裂し,各裂片は長橢圓形鈍頭をなす。花冠は萼より挺出し,筒部は狹長にして細く,肢部は脣形をなし,扁平,上脣は小形にして先端凹み,下脣は大形にして3裂す。雄蕊は2箇を有し,葯胞は並行すれども,隔離し,假雌蕊2箇を有す。蒴は球形をなし,宿存萼を伴ふ。本種は莖の下部及側枝上に閉鎖花を生ず。尙本植物は莖葉共に多液にして,莖を按ずれば音を出す。これバチバチグサの名ある所以なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·臺灣。

10. ホロギク屬　ELLISIOPHYLLUM.

1214. **ほろぎく**　蜆菊(23圖版-214)…… ゴマノハグサ科
Ellisiophyllum pinnatum, *Makino.*

(異名) きくがらくさ　〔形態〕山地に自生する匍匐性の多年性草本なり。全株に細毛を散生し,莖は地上を橫走し,所々に根を出す。葉は膜質をなし,長柄を有し,葉身は羽狀に深裂し,各裂片は卵形をなし,粗齒牙緣をなす。花は長梗によりて葉腋上に單生す。萼は鐘形をなし,先端5裂し,各裂片は長橢圓形をなす。花冠は漏斗狀をなし,先端同じく5深裂し,各裂片は橢圓形をなし,何れも同形なり。雄蕊は4箇を有し,之れ亦何れも同大にして,花喉に著生す。子房は2室を有し,柱頭は2岐す。蒴は球形をなし2室を有す。〔花色〕白色にして內面稍黃色を帶ぶ。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·臺灣。

11. コゴメグサ屬　EUPHRASIA.

1215. **こごめぐさ**(23圖版-215)…… ゴマノハグサ科
Euphrasia Iinumai, *Takeda.*

〔形態〕山地に自生する半寄生の一年生草本なり。莖は高さ18-20糎(6-7寸)に達し,2-3分枝す。葉は小形の卵形或は圓形にして,各側3齒牙狀緣をなし對生す。花は莖の上方葉腋に着生し,萼片は銳頭を有し,花冠の筒部より短く,邊緣並に內面に腺毛を有し,花冠は先端5裂し,脣形を呈し,長さ0.8糎(2.5分)許を有す。〔花色〕紅紫色を帶ぶる白質。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

(附記) 本屬には其品種頗る多く,或は山地に或は高山,寒地等に生ずるもの尠からざれども,其中主なるものにつき,其特徵を記述し,識別研究の資に供する事とし,一々圖版を揭げず,概形は本圖を參考すべし。尙本屬の植物は大部分一年生草本なれば一年生のものに就ての以下說明にはこれを省略す。

1216. たいわんこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia borneensis, *Stapf.*

(異名) しまこごめ　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして,全株に細毛を布く。莖は匍長にして高さ6-15糎(2寸乃至5-6寸)に達す。葉は革質にして毛を有し,葉身は卵形をなし,緣邊に鋸齒を有し,長さ4.5糎(1.5分)許あり。花は短梗を有し,長穗狀花序をなす。本花の萼は鐘形にして先端4裂し,各裂片は披針形をなす。花冠は漏斗狀の脣形をなし,長さ1.2糎(4分)許。上脣は其形小さく,先端2裂し,下脣は大形にして3裂し,各裂片は長橢圓形凹頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1217. はちぢゃうこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia hachijoensis, *Nakai.*

〔形態〕海濱に近く自生し,全株に細毛を布く。莖は分枝性を有し,葉は橢圓形をなし,各側3銳齒緣をなす。花冠は脣形をなし背部の長さ0.7糎(2.5分)許。萼は先端4裂し,各裂片は狹長にして先端尖り,芒端をなす。〔花色〕白。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島。

1218. ほそばこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia japonica, *Wettst.*

〔形態〕山地に自生し,莖は匍長,短毛を布き,高さ25糎(8-9寸)に達し,分岐す。葉は倒卵形,或は倒披針形をなし,鈍頭を有ず。花は總狀花序をなして頂生し,花冠は筒狀脣形をなし,萼よりは遙かに挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部。

1219. こめばこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia Leveilleana, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生し,高さは前種と稍相同じく,葉は卵形,銳尖頭をなし,2-3の齒牙緣を有し,長さ0.6糎(2分)許を有す。萼の裂片は花冠の筒部と同長。苞は無毛なるものなり。〔分布〕本州中部。

1220. たちこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia Maximowiczii, *Wettst.*

〔形態〕同じく山地に自生し,高さ18-30糎(0.6-1.0尺)許に達し,中部以上に分枝し,枝條は直生,平開す。葉は兩側に4-6箇の銳齒緣をなし,芒端を有す。萼は長さ0.4糎(1.5分)。花冠は長さ0.7糎(2.5分)許を有するものなり。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·九州。

1221. とさのこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia Makinoi, *Takeda.*

〔形態〕山地に自生し,莖は中部以上分枝すれども,前種と異り,本種の枝條は斜上性を有す。葉は卵形,銳尖頭にして,長さ0.6糎(2分)許を兩側に3-4の齒緣を有す。花冠は長さ0.6糎(2分)許にして,苞は剛毛端を有す。〔分布〕四國。

1222. まつらこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia pubigera, *Koidz.*

〔形態〕山地に自生し,莖は直立し,高さ6-12糎(2-4寸)許の小品なり。本種は全株に白毛を布き,中部以上に分枝し,枝條は斜上,直生す。葉は卵形を呈し,兩側に2-3稀に4の齒緣を有す。苞は葉と同形にして刺毛緣を有し,花冠は外面全部,內面中部以上に絨毛を布き,5裂せる各裂片は密に毛緣をなす。卽ち本種は前種に比し,花冠の外面に細毛を有すること,苞形は卵狀楔形をなすこと等を異る要點とするものなり。〔分布〕本州中部。

1223. いづこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia idzuense, *Takeda.*

〔形態〕山地殊に伊豆の諸山中に自生するものにして,莖は上方に於て多くの小枝を分ち,高さ18-20糎(6-7寸)に達す。葉は卵形なれども,本種はその緣邊粗に鈍齒牙緣をなす。花は頂生し,穗狀花序をなし,萼は鐘形にして先端4裂し,各裂片は披針形鈍尖頭をなし,花冠は漏斗狀脣形をなすものなり。〔分布〕本州中部。

1224. まるばこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia nummularia, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生し,高さ6-20糎(2-7寸)許の小品なり。本種の葉はその名の如く,圓形にして,基脚楔形をなし,長さ1.3糎(4分)許を有し,兩緣に2-3の鈍齒牙狀鋸齒を有す。萼は倒圓錐にして,先端4裂し,各裂片は鈍頭をなし,花冠筒部の1/3長をなす。〔分布〕本州中部。

207 キンチヤクサウ

203 ヒメキンチヤクサウ

209 ごまくさ

210 デギタリス

211 オホバナヂギタリス

212 キバナヂギタリス

213 あぶのめ

214 ほろぎく

215 こごめぐさ

1225. えぞこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia mollis, *Wettst.*

〔形態〕寒地に自生し,全株に白色の毛茸を密布す。葉は卵形を呈し,各側に齒緣を有するものなり。〔分布〕北海道。

1226. おくえぞこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia tatarica, *Fisch.*

〔形態〕寒地に自生し,莖は基部に於て分枝し,枝條は直生す。本種の葉は廣卵形を呈し,各側に3-5銳齒緣をなす。花冠は背面長さ1.2糎(3.5分)許。蒴は倒卵狀長橢圓形をなし,先端尖り,微に凸端をなす。〔分布〕樺太。

1227. こばのこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia Leveilleana, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生し,高さ2-15糎(0.7-5寸)に達し,全株に毛茸を布き,葉及萼には腺毛を有す。本種の葉は倒卵形をなし,各側に2-3の鈍齒緣を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1228. ひめこごめぐさ…… ゴマノハグサ科
Euphrasia yabeana, *Nakai.*

(異名) ひなこごめぐさ　〔形態〕山地に自生し,高さ3-7.5糎(1-2.5寸)許の小品なり。本種の葉は扁形を呈し,基脚楔形をなし,長さ僅々0.5糎(1-2分)許にして,兩緣2-3の鈍齒緣をなし,萼は倒圓錐形をなし,先端4裂し,各裂片は鈍頭をなし,反捲するを特徴とす。〔分布〕本州中部。

1229. みやまこごめぐさ (24圖版-216)…… ゴマノハグサ科
Euphrasia insignis, *Wettst.*

〔形態〕高山に自生し,莖は高さ9-18糎(3-6寸)に達す。本種の莖は卵狀楔形をなし,兩緣に銳頭を有する2-3の齒牙緣を有し,萼は4深裂し,各裂片は狹長にして,先端尖り,花冠は背部1糎(3分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕本州中部及北部,九州。

12. オホアブノメ屬 GRATIOLA.

1230. オホアブノメ…… ゴマノハグサ科
Gratiola japonica, *Miq.*

(異名) みづさはたうがらし　〔形態〕沼澤等の濕潤なる土地に自生する強頸肉質の一年生草本なり。葉は倒披針形,鈍頭をなし,基脚狹く,全緣にして,稍莖を抱く。花は葉腋上に單生し,線狀披針形をなせる小苞2箇ありて,何れも萼片より稍長く,萼は鐘形をなし,5深裂し,各裂片は披針狀長橢圓形鈍頭をなす。花冠は萼の長さの2倍ありて,筒狀脣形をなし,上脣は廣截形にして,2脈質をなす。下脣は狹截形をなし,單脈質をなす。雄蕊2箇を有し,花絲は短く,假雄蕊は絲狀,頂端は球形をなす。蒴は半球形をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部,九州,朝鮮。

1231. さはたうがらし(24圖版-217)…… ゴマノハグサ科
Gratiola violacea, *Maxim.*

〔形態〕前種と同樣各地沼澤の水濕地等に自生する一年生草本なり。莖は高さ15-18糎(5-6寸)に達す。葉は無柄にして對生し,線狀披針形,銳尖頭をなし,3行脈を有す。花は梢上方の葉腋上に單生し,小梗は概ね葉の倍長を有し,萼は5深裂し,各裂片は線狀披針形をなす。花冠は萼より超出し,上脣は2裂し,下脣は上脣の倍大きく,3裂し,各裂片は何れも圓頭をなす。蒴は廣橢圓形なり。〔花色〕菫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部,九州,朝鮮。

1232. あかぬまさう(24圖版-218)…… ゴマノハグサ科
Gratiola violacea, *Maxim.* var. saginoides, *Franch. et Sav.*

〔形態〕前種の一變種に屬し,產地・形態等殆んど彼と相等しきものなれども,本種は莖の基脚に多くの小枝を分ち,葉は繖形をなすを,彼と區別する特徵とす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部。

1233. まるばさはたうがらし(24圖版-219)…… ゴマノハグサ科
Gratiola adenocaula, *Maxim.*

〔形態〕前種等と同樣水濕地に自生する一年生草本にして,全株無毛種なり。莖は上昇性を有し,葉は廣卵形にして對生す。花は梢上葉腋に單生し,小梗は萼の3倍長く,萼片は線狀披針形をなす。花冠は萼の倍長く,上脣は截形をなし,下脣は3裂す。蒴は卵形をなす。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部,四國。

13. スズメノタウガラシ屬 ILYSANTHES.

1234. すずめのたうがらし(24圖版-220)… ゴマノハグサ科
Ilysanthes veronicifolia, *Urb.* var. verbnaefolia, *Makino.*

〔形態〕原野・田畦等の濕地に自生する一年生草本なり。莖は高さ6-9糎(2-3寸)乃至30糎(1尺)許に達し,葉は狹長橢圓形にして疎鋸齒緣を有し下生葉は短柄を有すれども,上生葉は無柄にして,基脚稍莖を抱く。花は總狀花序をなして頂生し,小苞を有し,萼は5深裂し,各裂片は線形,銳尖頭をなす。花冠は萼の長さの2倍大にして筒狀脣形をなし,筒部は上方膨大し,上脣は短形にして直上し,先端2裂し,下脣は廣闊にして3裂す。雄蕊は2箇ありて花筒に着生し,閉在し,假雄蕊2箇ありて花筒の下部に着生す。花柱は絲狀をなし,柱頭は2分す。蒴は線形をなし,宿存萼を伴ふ。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部,四國,九州,小笠原島,臺灣,朝鮮。

14. ウルップサウ屬 LAGOTIS.

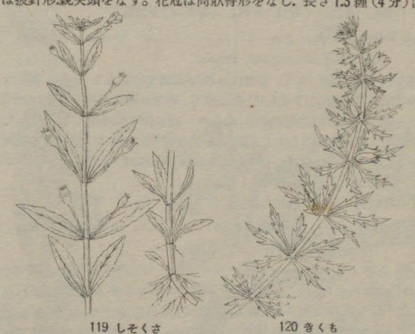
1235. うるつぷさう 得撫草(24圖版-221) ゴマノハグサ科
Lagotis glauca, *Gaertn.*

(異名) はまれんげ　〔形態〕千島の得撫島の名に因み命名せられたるものなれども,その他の地方,即ち信濃の白馬嶽及八ヶ嶽等の如き北地及高山に自生する多年生草本なり。地下に橫行せる根莖を有し,これより數多の太き圓柱形にして肉質をなせる纖維根を生じ,これより平滑無毛の花莖を出し,高さ15-30糎(0.5-1尺)許に達し,肉質にして太く,その上部に數葉の無柄葉を着生し,先端に密生して穗狀をなす。通常葉も亦肉質にして,長柄を有し凡て根生す。葉身は稍長橢圓狀卵形,又は倒卵形をなし,鋸齒緣,又は鈍鋸齒緣をなし,基脚に向ひて次第に狹くなりて葉柄に流る。花穗は長さ6-15糎(2-5寸)許にして,多數の花を密に攢簇し,圓筒形の穗狀をなす。花冠は筒狀脣形をなし,筒部は彎曲し,雄蕊2箇を有し,花喉に着生す。子房は2室を有し,核果は小形にして又2室を有す。〔花色〕碧紫色。〔花候〕8月。〔分布〕千島・本州北部及中部。

15. シソクサ屬 LIMNOPHILA.

1236. しそくさ 紫蘇草…… ゴマノハグサ科
Limnophila gratissima, *Blume.*

〔形態〕山地に近き田間濕地等に自生する一年生草本にして全株無毛種なり。莖は高さ30-50糎(1-2尺)に達し,葉と共に一種の香氣を有す。葉は對生,或は3片宛輪生し,葉身は線狀長橢圓形にして,稍銳頭を有し,細鋸齒緣をなす。花は總狀花序をなして,頂生或は腋生し,萼は先端5裂し,各裂片は披針形,銳尖頭をなす。花冠は筒狀脣形をなし,長さ1.3糎(4分)許を有し,雄蕊は4箇ありて,2强にして,閉在す。蒴は長橢圓形,銳頭をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部,九州,臺灣。



119 しそくさ　120 きくも

1237. きくも…… ゴマノハグサ科
Limnophila sessiliflora, *Blume.* (Ambulia sessiliflora, *Baill.*)

〔形態〕水田,その他淺き淨水中に自生する多年生草本にして,全株有毛種なり。莖は長さ30-60糎(1-2尺)に達し,葉は單葉なるか,或は2回羽狀に中裂するか,或は全裂せる小葉3-6片を輪生す。花は葉腋上に單生し,小苞は細小なるか,或は缺如し,萼は毬毛を有し,先端5裂し,各裂片は披針形をなす。花冠は長さ1.5糎(4分)を有し,筒狀脣形をなし,上脣は短く,先端2裂

し.下唇は3深裂す。雄蕋は4箇ありて.2强にして閉在す。花柱は頂端傾斜し.柱頭は短く2分す。蒴は球形をなし.徑0.4糎(1.3分)許を有す。
〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部·四國·九州·臺灣·朝鮮。

1238. たいわんきくも…………………… ゴマノハグサ科
Limnopaila stipitata, *Hayata.* (Ambulia stipitata, *Hayata.*)

〔形態〕前種產地.形態等同じくするものにして.臺灣にのみ產出す。本種は前種に比するに.蒴は柄を有し.種子は稍圓形を呈するものなり。
〔分布〕臺灣。

16. キタミサウ屬 LIMOSELLA.

1239. **きたみさう** (24圖版-222)…………… ゴマノハグサ科
Limosella aquatica, *L.*

〔形態〕寒地 殊に千島·北海道等の水濕地に自生多き多年生匍匐草本なり。葉は長柄を有し.何れも根生し.狹箆形をなし.全綠なり。花は細小にして葉腋上に單生し.花梗は葉より短く.蕚は鐘形をなし.5齒緣を有す。花冠は輻狀鐘形をなし.先端5裂し.各裂片は至つて短小.且つ不同なり。本花は4雄蕋を有し.子房は2室.花柱は短形なり。蒴は2殼より成る。尙本種は根部より匍匐莖を出し.その先端に根を下し.繁殖す。〔花色〕帶赤色。
〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道·九州。

17. ウンラン屬 LINARIA.

1240. **うんらん** (24圖版-223)……………… ゴマノハグサ科
Linaria japonica, *Miq.*

〔形態〕海岸砂地に自生する多年生草本なり。全株無毛にして.白粉を裝ふ。莖は高さ30糎(1尺)許に達し.葉は無柄にして3片宛輪生す。脚葉は稍箆狀長橢圓形.鈍頭をなせども.莖上葉は披針形にして基脚狹く.何れも全緣なり。花は總狀花序をなして頂生し.密生す。小梗は蕚より長く.蕚は先端5裂し.各裂片は披針形をなす。花冠は假面狀をなし.上唇は先端2裂して直生し.下唇は3裂し.假面部には短毛を布く。本花冠は眞直の長き距を有し.下向す。雄蕋は4箇ありて2强にして.花絲は絲狀をなす。蒴は球形にして2室を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕8月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州各地。

1241. ヒメウンラン…………………… ゴマノハグサ科
Linaria amethystea, Hoffmg. *et* Link.

〔形態〕外來の品種にして園地に培養せらるゝ一年生草本なり。莖は基脚に多くの小枝を分ち.散開す。葉は長橢圓形乃至線形にして輪生す。花は線狀花序をなして頂生し.腺毛を密布す。小梗は蕚と稍長さを同じくし.蕚裂片は長橢圓狀線形をなし.距は頗る細長く.花冠より遙かに長き特徵を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕8月。〔原產地〕歐羅巴。

1242. ヤナギバウンラン…………………… ゴマノハグサ科
Linaria maroccana, Hook.

〔形態〕外來の品種にして.本邦には園地に培養せらるる一年生草本なり。莖は高さ30-45糎(1-1.5尺)許に達し.梢部に腺毛を布く。葉は線狀披針形乃至線形をなし.先端稍尖り.輪生す。花は總狀花序をなして頂生し.多花を密生す。苞は線形をなし.花冠は小梗と同長の距を有し.先端尖り.傾下す。〔花色〕鮮菫色或は紅色なれども.假面部は白色を呈し.中央に黃斑を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕「モロッコ」。
人生との關係　園地に栽培し觀賞に供す。

1243. **ホソバウンラン**…………………… ゴマノハグサ科
Linaria vulgaris, Mill.

(異名) ホザキウンラン·セイヤウウンラン　〔形態〕外來の品種なれども.時には野外に自生し.殆んど歸化植物の狀態をなすものなり。同じく多年生草本にして.莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し.直立性にして.表面に白粉を裝ふ。葉は線形にして.先端尖り.鋭脚をなす。花は穗狀樣總狀花序をなして頂生し.花冠は距を有し傾下す。〔花色〕黃色にして.假面部は橙黃色を呈し.鬚毛を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。

1244. **マルバノウンラン**…………………… ゴマノハグサ科
Linaria cymbalaria, Mill.

(異名) ウンランカヅラ·ツタカヅラ·カラクサカヅラ　〔形態〕園地に培養せらるる多年生草本なり。莖は蔓性をなし絲狀を呈し.多くの小枝を分ち撒開す。葉は長柄を有し.葉身は心臟狀腎形をなし.5-7淺裂し.各裂片は鈍頭.或は鋭頭をなす。花は葉腋上に單生し.小梗は葉と同長.或は更に長く.蕚裂片は線狀披針形をなし.先端尖る。蒴は球形をなす。〔花色〕淡紫色にして喉部黃色を呈す。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。
人生との關係　鉢仕立とし.或は懸崖仕立として觀賞に供す。繁殖は實生と.匍枝の取り木等により.栽培頗る容易なるものなり。

121 ホソバウンラン

122 マルバウンラン

1245. **ムラサキウンラン** (24圖版-224)…… ゴマノハグサ科
Linaria bipartia, Willd.

(異名) ヒメキンギョサウ　〔形態〕園地に栽培せらるる外來の一年生草本なり。莖は高さ30糎(1尺)許に達し.多くの小枝を分つ。葉は線形.或は狹披針形鈍頭をなし.全緣なり。この葉は根際及莖の下部に散生し.又は輪生す。花は長總狀花序をなし.花冠は假面狀をなし.距は彎曲し.花冠と同長なり。〔花色〕菫紫色。其他黃白色.濃紫色等を呈するものあり。
〔花候〕夏。〔原產地〕亞弗利加北部及葡萄牙。
人生との關係　全體に纖細なる愛らしき草本にして.其花の金魚草の花を小さくしたるが如きものなれば.この一名こそ實に似つかわしき和名とす。繁殖は種子により.秋播のものなり。

18. アゼタウガラシ屬 LINDERNIA.

1246. **あぜたうがらし** (24圖版-225)……… ゴマノハグサ科
Lindernia angustifolia, *Wettst.*

〔形態〕畦畔等の如き濕地に自生多き一年生草本なり。莖は分枝性を有し.撒開し.高さ15-30糎(5-10寸)許に達す。葉は長橢圓狀線形にして.全緣或は疎齒牙緣をなす。花は梢上方葉腋に單生し.小梗は葉と同長なるか.或は超出し.蕚は5深裂し.各裂片は線狀披針形をなし.蒴は線狀長橢圓形.鋭尖頭をなし.蕚の倍長を有す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏-秋。
〔分布〕本州各地·九州·小笠原島。

1247. **あぜな**　母草(支)…………………… ゴマノハグサ科
Lindernia pyxidaria, *All.* (25圖版-226)

〔形態〕園圃の間等に自生する一年生草本なり。莖は方形をなし直生にして.高さ10-15糎(4-5寸)に達し.無毛種なり。葉は對生し.無柄なり。葉身は卵形又は橢圓形にして鈍頭をなし.全緣なるか.或は不明瞭なる鈍鋸齒緣を有し.葉脈は3條若しくは5條を有す。花は梢上葉腋に纖細なる花梗によりて單生し.蕚は鐘形にして先端5裂し.各裂片は披針形又は線形をなす。花冠は筒狀脣形をなし.上脣は凹頭を有し.下脣は闊大にして3裂す。雄蕋は4箇を有し.2强にして.雌蕋は1箇を有す。蒴は球形をなし.胞間裂開す。〔花色〕白色にして微に紅暈を帶ぶ。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各地·臺灣。

19. キリカヅラ屬 MAURANDIA.

1248. **キリカヅラ**…………………… ゴマノハグサ科
Maurandia erubescens, A. Gray. (25圖版-227

〔形態〕庭園等に栽植し.觀賞に供せらるる多年生の蔓草にして.全株に短毛を布く。葉は稍三角狀の心臟形をなし.緣邊に齒牙狀の鋸齒を有し.長き葉柄によりて互生す。花は葉腋に單生し.小梗は葉柄と長さを同じくし.苞はこれを缺き.蕚は葉質にして宿存性を有し.先端5深裂し.各裂片は卵狀長橢圓形鋭頭をなし.毛茸を有す。花冠は筒狀脣形をなし.長さ7.5糎(2.5寸).先端5裂し.外面に短毛を有す。雄蕋は4箇ありて.2强にして.花絲は上部肥厚し.蒴は球形をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕墨西哥。
人生との關係　鉢植又は庭園に栽植觀賞するものなれども.次の品種と共に寒氣に觸れざる樣注意を要するものなり。

216 みやまこごめぐさ　217 さはたうがらし　218 あかぬまさう　219 まるばさはたうがらし
220 すずめのたうがらし　221 うるつぶさう　222 きたみさう
223 うんらん　224 ムラサキウンラン　225 あぜたうがらし

1249. **ムラサキキリカヅラ**…… ゴマノハグサ科
Maurandia Barclayana, Lindl. (25圖版-228)

(異名) ツタバキリカヅラ・ケナシキリカヅラ 〔形態〕前種と同様園地に栽培せらるる上昇性の多年生草本なり。葉は稍戟狀をなし、銳尖頭を有し、長き葉柄によりて互生す。花は長梗によりて腋生す。蒴は腺毛を密布し、先端5裂し、各裂片は披針狀線形をなす。花冠は長さ7.5糎(2.5寸)許ありて、假面狀をなし、上脣は2淺裂し、下脣は3裂片し、各裂片は卵圓狀を呈す。〔花色〕暗紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

1250. コキリカヅラ…… ゴマノハグサ科
Maurandia scandens, A. Gray.

〔形態〕本種は前揭キリカヅラに比し全株に毛茸少く、花色は濃紫色を呈し、蒴の裂片は披針狀長橢圓形をなし、花冠は彼より稍小形にして、膨出すること少きものなり。同じく彼と同様園地に栽培し、觀賞に供せらるるものなり。〔原産地〕墨西哥。

20. サギゴケ屬 MAZUS.

1251. **さぎごけ** 通泉草 (25圖版-229)…… ゴマノハグサ科
Mazus Miquelii, *Makino*. (M. stronifer, *Mak.*)

(異名) はぜな・はぜばな 〔形態〕畦畔・堤塘等の邊に蔓延する多年生草本なり。高さ9-12糎(3-4寸)に達し、花後匍枝を曳く。葉は倒披針形をなし、疎鋸齒緣を有す。花は少數をもつて總狀花序をなす。蒴は5裂し、各裂片は披針形、銳頭をなし、花冠は脣形を呈し、下脣片は闊大にして、內方に黃彩を有し、雄蕊は2强にして、柱頭は先端2裂す。この2裂せる柱頭の先端に物を觸るれば、直ちに運動を起し、閉合する特性を有す。果實は蒴をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各地・四國・九州・臺灣・朝鮮・滿洲。

1252. **しろばなさぎごけ**…… ゴマノハグサ科
Mazus Miquelii, *Makino*. forma albiflora, *Makino*.

(異名) さぎすけ・さぎしば 〔形態〕前種の一品種に屬する多年生草本なり。多く庭園・畑地等に自生し、葉色は彼に比し、淡綠色を呈し、全體に彼よりは小形なり。花後匍枝を出し繁殖し地面を覆ふに至る。蓋しサキシバの名、これに起因するならんか。〔花色〕純白色にして、花冠の喉部に黃斑を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部・臺灣等。

1253. じゃかごさう …… ゴマノハグサ科
Mazus Miquelii, *Makino*. var. contracta, *Makino*.

〔形態〕サギゴケの一栽培變種に屬するものにして、本種はその葉の卷縮、密接せるを特徵とす。(栽培種)

1254. **つるさぎごけ**…… ゴマノハグサ科
Mazus rugosus, *Lour*. var. stronifer, *Maxim*.

〔形態〕前種等と同樣庭園・畑地等の稍水濕地を好みて自生する多年生草本なり。莖は地に臥し、各節に根を生し、蔓延す。葉は短柄を以つて對生し、葉身は倒卵形にして緣邊に疎鋸齒を有す。花は概形前種に似たれども、彼よりは稍小形なるものとす。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各地。

1255. **まるばさぎごけ**…… ゴマノハグサ科
Mazus rotundus, *Furumi*.

〔形態〕前種等と同樣田野の稍水濕地に自地する多年生草本なり。莖は斜上或は直生し、單一なるか、或は基脚に於て分枝す。高さ9-15糎(3-5寸)許に達し、下部に生ずる葉は翼を有する長柄を有し、卵形、長橢圓形或は圓形にして粗齒牙緣をなし、基脚に深缺刻を有すれども、上部に生ずる葉は圓形にして、短き葉柄を有す。花は總狀花序をなし、腋生或は頂生し、疎に着生す。蒴は廣鐘形をなし、5深裂し、各裂片は卵形、銳頭をなす。花冠は1.5糎(5分)許の大さき有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

1256. **ときははぜ**…… ゴマノハグサ科
Mazus japonicus, *O. Kuntze*.

(異名) なつはぜ 〔形態〕原野・路傍等に自生多き多年生草本なり。概形サギゴケに酷似せるものなれども、本種の莖は直生し、稍小枝を分ち、彼の如く匍枝を出すことなく、且つ全體稍小形なり。高さ6-18糎(2-6寸)許に達す。葉は倒卵形、或は楔形長橢圓形、粗鋸齒緣を有し、葉柄には翼を有す。花は總狀花序をなして頂生し、苞は細小、蒴は鐘形をなし、長さ0.7糎(2.5分)許を有し、先端5裂し、各裂片は卵形或は披針形をなす。この蒴は花後擴大す。花冠は蒴の倍大きく、筒狀にして脣形を呈し、上脣は形、細小にして鑿形をなし、先端凹み、下脣は大形にして稍圓形を呈し、先端3裂す。雄蕊は4箇ありて2强にして、葯胞は隔離す。柱頭は鈍頭をなし、2起す。蒴は卵形にして、宿存萼より短きものなり。〔花色〕外面淡紫色を呈し、假面部に褐赤色の斑點を有す。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣・朝鮮。

1257. **せいたかさぎごけ**…… ゴマノハグサ科
Mazus japonicus, *O. Kuntze*. var. tenuiracemus, *Nakai*.

〔形態〕濕潤の山野に自生する多年生草本なり。莖は高さ25-30糎(0.8-1.0尺)に達し、著は大形にして叢生し、鋸齒深く、花も亦大形なる品種なり。〔分布〕臺灣。

123 しろばなさぎごけ 124 つるさぎごけ 125 ときははぜ

21. ママコナ屬 MELAMPYRUM.

1258. **ままこな**・(25圖版-230)…… ゴマノハグサ科
Melampyrum japonicum, *Nakai*. var. genuinum, *Nakai*.

〔形態〕山地に自生する一年生草本なり。高さ15-18糎(5-6寸)乃至60糎(2尺)許に達し、枝條は直生し、濃紫色を呈し、短毛を布く。葉は短柄を有し、對生し、葉身は卵狀披針形或は披針形、銳尖頭或は銳頭をなし、全緣なれども、稍葉には尖頭の鋸齒又は深缺刻を有す。花は偏側生穗狀花序をなして頂生或は腋生す。苞は卵狀披針形をなし、鬚毛樣尖齒牙緣をなし、綠色或は紅色を呈す。蒴は鐘形をなし、先端4裂し、毛茸を密布す。この毛茸は3-4或は以上の細胞より成る。裂片は筒部と稍長さを同じくし、鑿形をなし、刺端をなす。花冠は上方に漸く擴大せる筒狀と、脣形の鉢部とより成る。上脣は兜形をなし、下脣より短く、邊緣には毛茸を密布し、下脣は3裂す。雄蕊は4箇ありて2强にして、葯は帶紫綠色を呈し、白色の花粉を吐く。子房は縱扁にして先端尖り、花柱は苞だ長く、子扁の下側に蜜腺を有す。
〔花色〕紫紅色或は白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各地・四國・九州・朝鮮。

1259. しろばなままこな…… ゴマノハグサ科
Melampyrum japonicum, *Nakai*. var. leucantum, *Nakai*.

〔形態〕前種に酷似せる一年生草本なれども、本種の莖は綠色を呈し、花色綠白色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

1260. **みやままこな**…… ゴマノハグサ科
Melampyrum laxum, *Miq*. (25圖版-231)

〔形態〕各地の高山に自生する一年生草本なり。全株纖弱し、莖は高さ30-45糎(1-1.5尺)に達し、枝條は直立し、葉は長柄を有し、卵狀或は卵狀披針形をなす。花は穗狀花序をなし、枝頭枝端に頂生す。苞は柄を有し、卵形にして全緣、或は基脚齒牙緣をなす。蒴は4裂し、各裂片は3角形、銳頭をなすか、或は橢圓形鈍頭をなし、花冠は筒狀脣形をなし、花筒は長さ0.6-1糎(2-3分)許を有し、花兜は下脣と同長なり。〔花色〕淡紫色。
〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

1261. しこくままこな…… ゴマノハグサ科
Melampyrum laxum, *Miq*. forma australe, *Nakai*.

〔形態〕前種の一品種に屬し、概形彼に酷似すれども、本種の苞は彼より小さく、長柄を有し、屢々反捲し、蒴の裂片は大形にして銳頭をなす。
〔分布〕本州南部・四國・九州。

1262. いせままこな…… ゴマノハグサ科
Melampyrum laxum, *Miq*. var. longitubum, *Nakai*.

〔形態〕本種は前種ミヤママコナの一變種に屬す。概形は彼に酷似すれども、本種の花は濃紅色を呈し、蒴の裂片は銳頭をなし、花冠筒は長さ1.5-1.8糎(4.5-6.0分)餘を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1263. ひげままこな…… ゴマノハグサ科
Melampyrum roseum, *Maxim.* var. ciliare, *Nakai.*

〔形態〕本種も前種等と殆ど同様なるものなれども、本種の萼片は花筒と同じ長さを有するものなり。〔分布〕本州中部。

1264. づしままこな…… ゴマノハグサ科
Melampyrum roseum, *Maxim.* var. typicum, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕本種の枝條は直生し、葉は卷狀披針形をなし、花は總狀花序に排列し、苞は鬚毛緣を有し、萼は稍無毛。萼片は花筒の⅓-½許の長さを有するものなり。〔分布〕九州（對馬）。

1265. ほそばままこな…… ゴマノハグサ科
Melampyrum setaceum, *Nakai.*

〔形態〕山野の稍水濕地に自生する一年生草本なり。莖は直生し、分枝性を有す。高さ 30-45 糎（1-1.5 尺）に達し、粗毛を密生す。葉は短柄を有し、線形乃至線狀披針形をなし、對生す。この葉は長さ 3-6 糎（1-2 寸）許ありて、無毛なるか、或は毛茸を散生す。本種は披針狀線形或は披針形をなし、剛毛の齒緣を有する花葉を有し、その色綠色或は紅色を呈す。花は扁側生の穗狀花序をなして密生す。萼は無毛にして、花狀を呈し、先端 4 裂し、各裂片は鏃形をなし、上方裂片は下方の裂片より長し。花冠は筒狀をなし、長さ 0.7-1 糎（2.5-3.5 分）を有し、花兜は脊部と同長なるか或は短く、邊緣に鬚毛を密生し、下脣は 3 裂し、各裂片は卵形或は長橢圓形をなす。〔花色〕濃紅色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

1266. たかねままこな…… ゴマノハグサ科
Melampyrum arcuatum, *Nakai.*

〔異名〕きぼなままこな・ひめままこな　〔形態〕山野濕潤の地に自生する一年生草本にして、全株に細毛を布くか、或は無毛なるものなり。莖は高さ 10-15 糎（3-5 寸）に達し、枝條は細長にして彎曲斜上する性を有す。葉は披針形・銳尖頭をなし、基脚亦銳尖なり。花は無梗にして稍上葉腋に單生し、萼片は長橢圓形、或は圓形をなし、鈍頭を有す。花冠は筒狀をなし、萼よりは遙かに長く、下脣は 3 裂す。〔花色〕白色或は黃白色にして、下脣の內面に黃色長橢圓の 2 斑紋を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

22. ヒロハゴマクサ屬　MICRAGERIA.

1267. ひろはごまくさ…… ゴマノハグサ科
Micrageria formosana, *Hayata.*

〔形態〕山野に自生する一年生草本なり。全株に短毛を布き、莖は高さ 30 糎（1 尺）許に達す。葉は無柄にして對生し、葉身は長橢圓形にして銳頭或は鈍頭、基脚楔形をなし、下半部齒牙緣をなす。花は穗狀花序をなし枝端に頂生し、苞は披針形をなし、齒牙緣を有し、萼の倍あり。小苞は 2 箇ありて線形をなし萼と長さを同じくし、萼は鐘狀半圓形をなし、先端 5 裂し、各裂片は三角形をなし、先端尖る。花冠は筒形をなし、先端 5 裂す。雄蕊は 4 箇を有し、2 强にして、長き方の雄蕊はその花絲に鬚毛を有す。蒴は扁球形をなし、頂端微に凹み、胞背裂開をなし、殼片は更に 2 裂す。〔花候〕夏-秋。〔分布〕臺灣。

23. スズメノハコベ屬　MICROCARPAEA.

1268. すずめのはこべ…… ゴマノハグサ科
Microcarpaea muscosa, *R. Br.*

〔異名〕こけつめぐさ　〔形態〕原野の水濕地に自生する匍匐性の一年生小草本にして、全株無毛種なり。莖は長さ 6-12 糎（2-4 寸）許に達し、葉は長橢圓形或は披針狀線形をなし、全緣にして對生す。花は細小、無梗にして對生葉の 1 側に腋出す。萼は筒形をなし、5 齒緣を有し、花冠は筒形にして 5 裂し、內 2 裂片は後方に於て稍合着す。雄蕊は 2 箇ありて花筒に著生し、花冠と稍長さを同じくし、葯胞は癒着して 1 室をなす。蒴は萼の倍長く、胞背裂開し、殼片は分裂せざるものなり。〔分布〕本州中部、南部、四國、臺灣。

24. ミゾホホヅキ屬　MIMULUS.

1269. みぞほゝづき…… ゴマノハグサ科
Mimulus nepalensis, *Benth.* var. japonica, *Miq.*
(M. inflatus, *Nakai*)

〔形態〕多く山麓の濕地等に自生する多年生草本にして、全株無毛種なり。莖は伏臥性をなし、高さ 30 糎（1 尺）許に達す。葉は柄を有し對生し、橢圓形にして粗鋸齒緣をなす。花は梢上方葉腋上に單生す。花梗は葉片と稍長さを同じくし、萼は卵形をなし膨大し、先端は截頭にして 5 齒緣をなし、裂片は短形、銳頭なり。花冠は稍萼片外に挺出する花筒を有し、先端 5 深裂し、各裂片は卵形を呈す。蕾は閉在し、卵狀披針形をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕6 月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

126 すずめのはこべ

127 みぞほほづき

1270. **おほばみそほほづき**…… ゴマノハグサ科
Mimulus sessilifolius, *Maxim.* (25 圖版-232)

〔形態〕深山樹陰の濕地等に自生する多年生草本にして、全株無毛種なり。前種に酷似せるものなれども、稍大形にして、莖は直立し、軟弱性を有し葉も亦前種よりは大形にして柄を有せず。葉身は廣橢圓形乃至圓形をなし不齊の齒牙緣を有す。花は梢上方葉腋上に單生し、花梗は葉片より短く、萼は筒形にして稜を有し、先端 5 裂し、各裂片は三角形、銳尖頭をなす。花冠は筒狀にして先端 5 裂し、脣形をなし、假面部開口す。本花冠の筒部は萼の倍長を有し、雄蕊は 4 箇ありて 2 强にして、花筒の基部に着生す。葯胞は獨開し、單に頂點に於て結合す。柱頭は 2 岐し、蒴は閉在し、卵狀披針形をなし、胞背裂開す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州中部及北部。

1271. **ニシキミゾホホヅキ**…… ゴマノハグサ科
Mimulus luteus, L. (25 圖版-233)

（異名）フイリキバナノミゾホホヅキ　〔形態〕園地に培養せらるる多年生草本にして全株無毛種なり。莖は高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し、葉は卵形、或は稍心臟形をなし、齒牙緣を有す。この葉は下部にあるものは長柄を有し、稍頭大羽狀に分裂すれども、上部にあるものは、無柄にして基脚莖を抱く。花は稍上方葉腋上に單生し、花梗は葉片より長く、萼は長さ 1.3 糎（4 分）許にして、稍偏側膨大し、稜を有す。花冠は長さ 2.5-4.5 糎（0.8-1.5 寸）許を有し、先端 5 裂し、稍脣形を呈し、各裂片は大形の圓形をなし、美麗なり。〔花色〕濃黃色を呈し、內面に概ね帶褐紫紅色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔原産地〕南北亞米利加。

人生との關係　園地に栽培し觀賞に供するものなり。殊に本種は水濕地を好みて繁殖するものなれば、栽培の際は注意を要す。

1272. **ジャカウミゾホホヅキ**…… ゴマノハグサ科
Mimulus moschatus, Dougl. (25 圖版-234)

（異名）ニホヒホホヅキ・アメリカミゾホホヅキ　〔形態〕本種も亦前種と同樣外來品種にして、本邦には專ら園藝植物として栽培する多年生草本なり。本種は前種と異り、伏臥性をなし、全株に粘毛を密布し、一種の芳香を放つ。莖は長さ 30-90 糎（1-3 尺）に達し、葉は短柄を有し、對生し、葉身は長橢圓狀卵形をなし、疎齒牙緣を有す。花は梢上葉腋上に單生し、花梗は葉片より長きか、或は短く、萼は長橢圓形にして先端 5 裂し、各裂片は披針形、銳尖頭をなせども、大小不同なり。花冠は長さ 1.5 糎（5 分）許を有し、先端 5 裂し、各裂片は圓形にして、稍腎形を呈すること前種に同じ。〔花色〕淡黃色を呈し、褐色の斑點を散在す。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　前種と同樣庭園或は鉢栽培として觀賞に供するものなり。本種も亦稍水濕地を好むものなり。

1273. **ヤハズミゾホホヅキ**…… ゴマノハグサ科
Mimulus alatus, Ait.

（異名）ヒレミゾホホヅキ・フシグロミゾホホヅキ　〔形態〕前 2 種と同樣園地に培養せらるる外來の多年生草本なり。概形前 2 種に酷似するものなれども、本種はその莖に稍翼狀の稜を有し、葉は有柄にして對生し、卵狀

226 あぜな

227 キリカヅラ

228 ムラサキキリカヅラ

229 さぎごけ

230 ままこな

231 みやままこな

232 おほばみぞほほづき

233 ニシキミゾホホヅキ

234 ジャカウミゾホホヅキ

或は長橢圓形.鋭頭をなし.鋸牙狀の鋸齒緣を有す。花は前種と全然花色を異にし.本種は菫色を呈す。花梗は葉片より短く.莓片は短闊にして鋭頭を有するものなり。〔花色〕菫色。〔花候〕7-8月。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係 前種等と同樣園地に培養し.觀賞に供するものなり。同じく濕地を好むものなれば.培養の際は注意すべきものとす。

5. クチナシグサ屬 MONOCHASMA.

1274. **くちなしぐさ**…… ゴマノハグサ科
Monochasma Sheareri, *Maxim.* (26 圖版-235)

(異名) かがりびさう 〔形態〕山地に近き原野に自生する半寄生の多年生草本なり。莖は簇生し.斜上性を有し.高さ 30-60 糎 (1-2 尺) に達す。葉は線形.或は披針形をなし對生す。花は細梗を有し.梢上方の葉腋上に單生し.1對の小苞を有し.萼を筒形をなし.9本の縱條を具へ.先端4裂し.各裂片は線狀にして.葉質を呈す。花は筒狀脣形をなし.上脣は2裂.下脣は3裂し各裂片は鈍頭をなす。雄蕊は4箇ありて2强にして.花筒に着生し.閉在す。葯胞は同形にして橫在す。雌蕊は1花柱を有し.柱頭は球形をなす。蒴は橢圓形をなし.宿存萼を伴ふ。〔花色〕淡紫色。〔花候〕晩春。

〔分布〕本州中部及南部.四國.九州。

6. アフリカウンラン屬 NEMECIA.

1275. **アフリカウンラン**…… ゴマノハグサ科
Nemecia floribunda, Lehm. (26 圖版-236)

〔形態〕園地に栽培せらるる外來の一年生草本なり。全株無毛種にして.莖は高さ 15-30 糎 (5-1.0 尺) に達す。根生葉は柄を有し.卵形にして齒牙緣をなし.上生葉は無柄にして.披針形をなす。花は總狀花序をなし.多花を着生す。萼は5深裂し.花冠は筒狀脣形をなし.上脣は短形にして4裂し.各裂片は長橢圓形をなし.下脣は稍長形をなし.2裂し.花喉は閉塞し.距は稍眞直にして鈍頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕南阿弗利加。

人生との關係 專ら園地に栽培し觀賞に供するものなり。繁殖は種子により.普通春播とし.冬季はフレーム内に保護するを要す。用土は砂混りの腐植土を使用すれば充分なり。

1276. **ウンランモドキ** (牧野博士命名)…… ゴマノハグサ科
Nemecia strumosa, Benth. (26 圖版-237)

〔形態〕一般にはネメシアと呼び.春の花壇植.或は鉢花として栽培せらるる外來の多年生草本なり。莖は方莖をなし直立し.高さ 20-30 糎 (0.7-1.0尺) 許に達し.多くの小枝を分ち叢生する特徵を有す。園藝種としては高性種と矮性種との2種あり。葉は根生葉と上生葉とを有し.根生葉は長橢圓狀篦形をなし.上生葉は倒披針形をなし.何れも緣邊鋸齒をなす。花は梢上葉腋より花梗を抽き總狀花序をなす。萼は先端5裂し.花冠短筒狀脣形をなし.上脣は小さく凹頭をなし.下脣は大形にして3裂す。〔花色〕白.黃.橙黃.紅.朱紅.帶紫紅色等種々あり何れも美麗なり。〔花候〕春。

〔原産地〕南阿弗利加。

人生との關係 觀賞用として栽培すること前種に同じ。尙栽培法も前種に準じ差支へなきものなり。

7. キリ屬 PAULOWNIA.

1277. **きり** 桐.白桐.泡桐 …… ゴマノハグサ科
Paulownia tomentosa, *Steud.* (26 圖版-238)

(異名) きりのき.はなぎり.ひとはぐさ.ひとはぐは 〔形態〕支那には自生品と稱すれども.本邦にては諸國に培養せらるる落葉喬木なり。幹は高さ 10 米 (3 丈) 餘.周圍 1 米 (3 尺) 餘に達す。樹皮は薄くして.帶綠紫黑色を呈す。幼條には毛茸を密布す。葉は對生にして.長き葉柄を具へ.廣卵形にして尖端尖り.基脚心臟形をなし.全緣又は3裂をなす。この葉は長さ 20-45 糎 (0.7-1.5 尺).幅 9-21 糎 (3-7 寸) 許を有し.下面に綿毛を布く。花は春日葉に先立ち.枝端に複總狀花序をなし多數着生す。本花は長さ3糎 (1寸) 餘.花冠の上部は5裂し.各裂片は稍不整齊にして開展し.微毛を有す。萼は5裂し.各裂片は厚くして絨毛を密生す。花梗も亦絨毛を帶ぶ。花後3糎 (1寸) 許の蒴を結び.10月頃に至り成熟して2裂し.內に小形にして扁薄なる種子多數を藏す。この種子は翅を有して輕く.風のまにまに飛散す。〔花色〕紫色又は白色。〔花候〕3-4月。〔原産地〕支那.朝鮮。

人生との關係 本植物の材は吾人の生活資料として殆んど缺くべからざる程重要なるものなり。元來本植物の材は輕靱にして.心材は帶黃淡赭黑色を呈し.邊材は甚だ狹く.稍白色をなし.心材との區別明瞭ならず。又中心に髓孔を有し.材質は輕くして軟かなるも彎曲せず。又割り難きものなり。其老樹の木理緻密なるものを縞桐と稱し.價格高きものなり。本材は琴.瑟等の樂器を初め.箪笥.書箱.机案.長持等の家具及木履等を作り.又建築の裝飾材に用ふ。又桐炭は研磨用に供し.或は火藥の合劑とする等用途頗る廣きものなり。

(附記) 本屬の植物にはこの桐樹の外.尙下記2種を産す。

1278. **ここのへぎり**…… ゴマノハグサ科
Paulownia Fortunei, *Hemsl.*

(異名) みかどぎり.しなぎり 〔形態〕臺灣に自生する喬木にして.前種キリに比し.本種の萼は其裂片間の彎部廣闊にして.頭は前種の2裂すると異り.本種の萼は胞軸狀胞背裂開をなし.4部となるを特徵とす。

〔花色〕淡菫色或は淡紫色にして.黃暈を帶び.內面には紫色の細點を布く。〔花候〕3月。〔分布〕臺灣。

1279. **たいわんぎり**…… ゴマノハグサ科
Paulownia Kawakamii, *T. Ito.*

〔形態〕本種は前種キリに比し.その葉の下面稍無毛にして.花筒は稍短く.3-4.5 糎 (1-1.5 寸) 許を有するものなり。〔花色〕純白を呈し.內面に紫點を布く。〔花候〕4月。〔分布〕臺灣。

8. シホガマギク屬 PEDICULARIS.

1280. **しほがまぎく** 鹽竈菊 …… ゴマノハグサ科
Pedicularis resupinata, *L.* (26 圖版-239)

(異名) しほがまさう.のこぎりさう.をとりさう (近江).はなよもぎ.とさかばな.とさかぐさ.とつさか (信州木曾) 〔形態〕諸國の山地向陽の溪側等に自生する多年生草本なり。春日地下より苗を出す。莖は圓くして長く.高さ 60-90 糎 (2-3 尺) に達すれども.上方に至れば方形をなすを普通とす。葉は通常互生なれども.亦對生することあり。この葉は葉柄を有し.質厚くして剛く.單一にして卵形又は披針形をなし.鋭頂又は鈍頭.基部は截形或は鋭形又は稍心臟形にして.邊緣に鈍頭の重鋸齒を具へ.細毛を布く。花は總狀花序をなすか或は殆ど無柄なり。葉身は長橢圓狀披針形或は披針形にして.鋭頂又は鈍頭をなし.基脚は截形或は稍心臟形をなし.粗に鈍鋸齒緣を具ふ。花は梢上葉腋毎に着生し.總狀花序をなす。萼は小形にして.先端2裂し.花冠は大形にして.長さ 1.2-1.5 糎 (4-5 分) 許。帽は細く.喙は屈曲し.先端より少しく雌蕊を突出す。下脣は廣闊にして圓く.3淺裂をなし.各裂片は半圓形を呈す。花絲には毛を有す。蒴は卵形又は卵狀長橢圓形にして斜をなし.先端尖り.萼より長きこと3倍許あり。〔花色〕白色にして少しく淡黃綠色を帶ぶ。〔花候〕8月。〔分布〕本州中部及北部。

1281. **ともゑしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis resupinata, *L.* var. caespitosa, *Koids.*

〔形態〕山地に自生し.莖は密生する特性を有す。高さ約 20 糎 (7 寸) 內外に達し.葉は往々對生す。本種の花穗は極めて短きものなり。〔分布〕本州中部。

1282. **むかへばしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis resupinata, *L.* var. oppositifolia, *Miq.*

〔形態〕各地の山地に自生する小品にして.莖は直生し.小枝を分ち.葉は稍對生するものなり。〔分布〕本州各地.四國.九州。

1283. **からふとしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis lapponica, *L.*

(異名) きばなひめしほがま 〔形態〕高さ 10-20 糎 (3-7 寸) 許の小草本にして.微毛を有し.葉は互生なれども.下部に生ずるものは對生す。枝梢の頂端に着生し.重疊鱗次す。この花は1花毎に1葉を有し.これに被覆せらる。花冠の管狀部は伸長し.下脣は闊大し.帽は突出して先端尖り.嘴狀をなし.下方へ彎曲す。雄蕊は4箇ありて2强にして.葯は橫在し.2箇づつ接近す。柱頭は球形をなす。蒴は小さき扁莢をなし.長さ1糎 (3分) 許。其1側は圓形にして斜形をなし.他の1側は眞直にして平滑なり。內に多くの細種子を藏す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕樺太.千島.北海道.本州.四國.九州.朝鮮.滿洲.支那本部。

〔附記〕本屬の植物は凡て多年生草本なれば.以下記述の各種につきてはこれを省略することとせり。

1284. **えぞしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis yezoensis, *Maxim.*

(異名) きばなのしほがま.しろばなしほがま 〔形態〕諸高山向陽の地に自生する多年生草本なり。莖は直立.或は弓形をなし.高さ 30-60 糎 (1-2 尺) に達し.稜を有す。葉は互生又は稍對生し.短柄を有する葉身は線狀

披針形,或は披針形にして缺刻狀羽狀に淺裂し,各裂片は長橢圓形をなし,缺刻狀鋸齒緣を具ふ。花は莖頭に短き穗狀花序をなし5-6花を着生す。花冠は唇形をなし,上唇は短痴に終り,下唇は3淺裂す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

1285. **せりばしほがま**·(26圖版-240)…… ゴマノハグサ科
Pedicularis Keiskei, *Franch.* et *Sav.*

(異名) おほばしほがま・みやましほがま　〔形態〕各地の諸高山に自生し,全株稍無毛種に屬す。本種は根莖より匍枝を出し,橫行し,莖は直立して,高さ30-45糎(1-1.5尺)に達し,稜を有す。葉は膜質をなし,羽狀に分裂し,葉柄を有す。各裂片は卵形又は卵狀披針形,銳頂基部は楔形をなし,邊緣には羽狀缺刻と齒牙を具ふ。この葉は時に葉柄を有せざるものあり。花は莖頂葉腋毎に2花相對して着生し,疎なる總狀花序をなす。各花に短梗を有し,萼は花梗よりは稍長く,長橢圓狀をなし,先端2裂す。花冠筒狀部は直立し,細長にして圓筒形をなし,帽は長くして尖り,彎曲して鉤狀の嘴形をなす。下脣は廣闊にして圓く,先端は小さき3淺裂をなし,各裂片は圓形をなす。花絲には長毛を有し,葯は卵狀披針形をなす。〔花色〕綠白色。〔花候〕8月。〔分布〕本州中部及北部。

1286. **あいざはしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis lanata, *Willd.*

(異名) わたしほがま　〔形態〕寒地に自生し,全株に軟毛を密布す。莖は單一にして,性强勁,高さ9-20糎(3-7寸)に達す。本種の根葉は櫛齒狀羽狀に深裂し,各裂片は小形の長橢圓形をなし,細齒牙緣を有し,莖生葉は羽狀に中裂す。花は長穗狀花序をなし,苞は稍櫛葉に似,萼は先端5裂し,各裂片は披針形をなす。花冠は1.8-2.0糎(6-7分)許あり,帽は長橢圓狀線形をなし,下脣と長さを同じくす。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔分布〕千島。

1287. **ゆきわりしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis amoena, *Adams*, (26圖版-241)

〔形態〕山地に自生する矮性種にして,莖は直立し,上部に毛茸を有す。葉は羽狀分裂をなし,各裂片は披針狀線形を呈し,細鋸齒狀の缺刻を具ふ。萼の裂片は披針形又は線形にして,筒狀部と同長,花冠の筒狀部は細長なれども,帽は嘴狀をなさざるものなり。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·本州中部。

1288. **たかねしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedsclaris verticillata, *L.* (26圖版-242)

〔形態〕本種も亦前種同樣矮性種にして莖は直立し,高さ4.5-20糎(1.5-7寸)に達し,下部は平滑なれども,上部には長毛を有す。葉は3-4稀に5葉相集りて輪生し,葉身は單出,或は再出の羽狀分裂をなし,各裂片は小形にして,卵形又は長橢圓形をなす。花は數花相合して着生し,頭狀の總狀花序をなす。本花は短梗を具へ,3-4花又は數花集りて輪生す。萼は3-5齒を有し,各齒は全緣なるか,或は細鋸齒を有す。花冠の帽は短くして斜頭をなし,稍屈曲し,下脣と殆ど同長なり。蒴は開展し,無柄にして卵狀披針形をなし,斜狀にして銳尖頭をなし,平滑なり。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·本州中部及北部·朝鮮·滿洲·支那。

1289. **しろばなたかねしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis veticillata, *L.* forma. albiflora, *Makino.*

〔形態〕前種の一品種に屬し,形態殆ど彼と同樣なれども,本種は全く白色花を有するものなり。〔分布〕千島。

1290. **つくししほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis refracta, *Maxim.*

(異名) へびのはな　〔形態〕高山に自生し,全株に絨毛を布く。莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し,根生葉は羽狀深裂をなし,長き葉柄を具へ,莖の生葉は羽狀淺裂をなし,各裂片は卵形をなし,鈍頭,或は缺刻狀の鋸齒ありて鈍頂をなす。花は長き總狀花序をなして着生し,莖頂に攢簇す。萼は鐘形にして膨張し,先端に5齒をなし,各齒は三角形をなし全緣なり。花冠の筒部は萼より長きこと2倍以上。帽は短くして筒狀をなせども嘴をなさず。下方の脣瓣は帽より稍長くして闊く,且3裂をなし,中央の裂片は圓形にして兩側のものより遙に突出す。雄蕊は花冠の筒狀部の基脚に着生し,長毛を有す。蒴は斜狀の卵形をなし,銳尖頂をなし,萼片より長きこと2倍半あり。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。支那にも産すといふ。

1291. **ねむろしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis venusta, *Schang.* var. Schmidtii, *Nakai.*

(異名) みやましほがま　〔形態〕山地に自生し,莖は直立し,高さ45糎(1.5尺)許に達す。根生葉は長柄を有し,披針形にして羽狀分裂をなし,各裂片は披針形にして更に羽狀に深裂す。莖生葉は互生し,その數少く,羽狀の細鋸齒を有す。花は總狀花序をなし,多花を攢簇す。萼は鐘狀圓筒形をなし,5齒を有し,齒は銳頂をなす。花冠の長さ2.5糎(7-8分),帽は內方へ屈曲し,短嘴を有す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道。

1292. **みやましほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis apodochila, *Maxim.*

(異名) こましほがま・みやましほがまぎく　〔形態〕諸高山草本帶に自生するものにして,全株に毛茸を布く。莖は高さ12-15糎(4-5寸)に達す。根生葉は長さ0.6-1糎(2.5-3分)許を有し,再出羽狀複葉をなし,長橢圓形又は披針狀長橢圓形にして,銳頭をなし,葉柄に長き白毛を有す。莖生葉は莖頭にありて稍小形,稍無柄なり。花は莖頭に短縮せる總狀花序をなし,5-7花を攢簇す。萼は腹面に於て分裂し,不齊の羽狀分裂をなし,各裂片は披針形にして微凸狀の鋸齒あり。花冠は筒狀をなし,帽は嘴を有せず,上端肥厚し,少しく內方に屈曲す。下脣は3裂し,各裂片は圓形にして,中央の1片は兩側の2片よりも稍小さく,且少しく突出す。花絲の基部には粘着性の長毛を有す。〔花色〕紅紫色を呈し,美麗なものなれば觀賞として栽培する價値あり。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及北部。

128 みやましほがま　129 よつばしほがま

1293. **よつばしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis japonica, *Miq.*

(異名) くるまばしほがま　〔形態〕高山草本帶に自生し,莖は叢生し,直立すること高さ9-45糎(0.3-1.5尺)許に達し,圓形にして平滑なり。葉は柄を有し,4葉づつ輪生し,2層乃至3-4層をなす。葉身は披針形,銳頂をなし,銳鋸齒緣をなす。花は3-4花集まりて1-2層乃至6-7層をなす。花冠は長さ1.5-1.8糎(5-6分),萼は5裂し,各裂片は細き披針形をなす。帽は細くして屈曲し,細長なる嘴となりて下向す。下脣は廣闊にして3裂し,各裂片は圓形をなす。蒴は廣卵形にして直立し,上端は斜上をなして彎曲し,先端は微凸形をなし,又は短き嘴形をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕8月。〔分布〕千島·本州北部及中部。

1294. **えぞのよつばしほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis japonica, *Miq.* var. Maximowiczii, *Nakai.*

〔形態〕前種ヨツバシホガマの一變種に屬し,概形頗るよく前種に酷似するものなれども,本種の有する嘴は彼に比し短かきものにして僅にその半ばに過ぎざるものなり。〔花色〕紅色なるも亦彼と異る。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道。

1295. **ちしましほがま**…… ゴマノハグサ科
Pedicularis euphrasioides, *Sieph.* (26圖版-243)

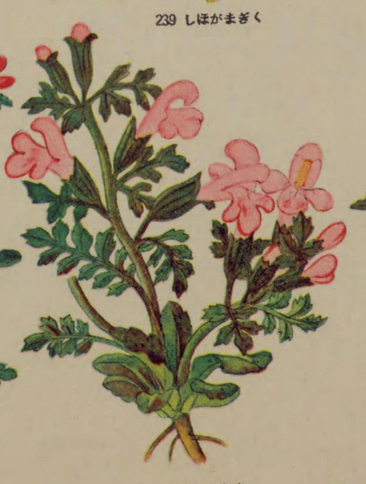
(異名) ごごめぐさしほがま　〔形態〕本種は山地に自生する一年生又は二年生草本にして全株に短毛を布く。莖は直立し,高さ15-40糎(0.5-1.4尺)許に達し,小枝を分ち,枝は上昇す。下部に生ずる葉は柄を有し,披針形又は長橢圓狀披針形をなし,羽狀に淺裂し,各裂片は長橢圓形,鈍頭をなし,鈍鋸齒狀の齒牙緣を具ふ。莖生葉は無柄にして小さく,線形又は線狀長橢圓形をなし,鈍鋸齒緣を具ふ。花は莖頂の葉腋毎に1花を着生し,頂生の短き總狀花序をなす。萼は前部に於て淺裂し,又後部には2-3齒を有し,各齒は全緣をなし,花冠の筒狀部より短く,長さ1.3糎(4分)許を有し,帽は筒狀部と殆ど同長にして,其上部は截形をなせる短き嘴となり,嘴端の下側に微細なる2箇の齒を有す。蒴は萼よりも短きものなり。〔花色〕黃色なれども帽は紫色を帶ぶ。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島。

235 くちなしぐさ

236 アフリカウンラン

237 ウンランモドキ

238 き　り



239 しほがまぎく

240 せりばしほがま

241 ゆきわりしほがま

242 たかねしほがま

243 ちしましほがま

1296. うるっぷしほがま　得撫鹽竜 …… ゴマノハグサ科
Pedicularis versicolor, *Wahl.* var. yezoana, *Nakai.*

〔形態〕全株に毛茸を散生し、根莖肥厚すれども横走せず。莖は小枝を分つことなし。葉は2回羽狀に分裂し、各羽片は反捲し、邊緣重疊す。萼は齒を有し、各齒は鋸齒緣をなし、花冠の上脣は下脣と同長なるものなり。〔花色〕紫紅色。〔花候〕夏。〔分布〕千島。

1297. いしかはしほがま …… ゴマノハグサ科
Pedicularis vil'osa, *Ledeb.* var. glabrata, *Maxim.*

〔形態〕寒地に自生し、莖は單生し、分枝せず。葉は披針形をなし、羽狀に全裂し、各裂片は線形をなし、この裂片は更に羽狀に全裂或は深裂し、缺刻狀鋸齒緣をなす。花は短形の穗狀花序をなして密生す。本花冠の上脣は鑓形をなし、喙を有せざるものなり。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

130 おにしほがま　131 はんくわいあざみ

1298. おにしほがま …… ゴマノハグサ科
Pedicularis nipponica, *Makino.*

〔形態〕高山草本帶に自生し、全體に大形種に屬し、莖は高さ1米(3尺)餘に達し、其質剛強なり。根生葉は柄を有し、莖生葉は無柄なり。葉身は何れも長橢圓形、銳尖頭をなし、2回羽狀に中裂し、各羽片は披針形をなす。花は疎に分岐せる稍枝上に着生し、葉上に挺出し、花軸は毛を有し、多數の苞を有す。萼は鐘形を有し、毛緣を具ふ。花冠は脊形をなし、萼の半より長きものなり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

1299. たまざきしほがま …… ゴマノハグサ科
Pedicularis capitata, *Adans.*

〔異名〕ちやぼしほがま　〔形態〕北地の原野に自生する矮生種なり。全株平滑、又は細毛を布く。莖は纖細にして長さ3-12糎(1-4寸)許に達し、全く葉を有せざるか、或は1葉を着生す。この葉は細梗を具へ、羽狀分裂をなし、各裂片は卵形、又は長橢圓形にして缺刻を有す。花は長さ2.4-3.8糎(0.8-1.3寸)許を有し、數花攢簇して頭狀をなし、相密集す。本花は基部に葉狀をなせる小苞を有し、萼は鐘形にして5裂し、各裂片は葉狀をなし、邊緣は齒牙又は缺刻を有す。花冠の帽は長大にして、內方に彎曲し、鈍頂にして下脣より長きこと2倍なり。花絲は平滑。蒴は長橢圓形にして萼よりも稍長く、上端の外側に於て尖る。〔花色〕帶黃綠色。〔花候〕夏。〔布分〕千島。

1300. はんくゎいあざみ …… ゴマノハグサ科
Pedicularis gloriosa, *Bisset* et *S. Moore.*

〔異名〕はんくわいしほがま・はなぐるま　〔形態〕山中陰地に自生し、莖・葉共に紅紫色を帶ぶ。莖は直立し、高さ60-90糎(2-3尺)に達す。根生葉は長柄を有し、葉身は羽狀に分裂し、各裂片は亦羽狀に分裂す。莖生葉は稍無柄にして小形なり。花莖は上方に於て分枝し、枝頭毎に總狀花序をなし、長さ2.4-3糎(0.8-1.0寸)の小花を攢簇す。花冠の帽は喙を有せず、下脣は開展す。〔花色〕帶紫淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及北部。

1301. しろばなはくくわいあざみ …… ゴマノハグサ科
Pedicularis gloriosa, *Bisset* et *S. Moore.* forma. albiflora, *Takeda.*

〔形態〕前種の一變種にして花色、白色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

29. イハブクロ屬 PENTSTEMON.

1302. **いはぶくろ** …… ゴマノハグサ科
Pentstemon frutescens, *Lam.* (27圖版-244)

〔異名〕たるまいさう　〔形態〕各地高山の草本帶に自生する矮小なる多年生草本にして、全株に絨毛を布く。莖は高さ僅々15-18糎(5-6寸)に過ぎず、下部は稍木質を呈す。葉は對生し、橢圓形にして鈍鋸齒緣をなし、稍厚味を有す。花は稍房狀をなせる總狀花序をなし、3-9花を着生し、蒴裂片は披針形をなし、花冠は筒狀鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は短闊にして稍形を同じくし、完全雄蕊の基部及假雄蕊花絲等には鬚毛を有す。〔花色〕白色或は帶紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州北部・朝鮮。

1303. **ツリガネヤナギ** …… ゴマノハグサ科
Pentstemon campanulatus, Willd. (27圖版-245)

〔形態〕園地に培養せらるる外來の多年生草本なり。全株に白粉を裝ひ、莖は高さ60糎(2尺)餘に達す。葉は披針形、銳尖頭をなし、基脚擴大し、銳鋸齒緣を有し、無柄して對生し、基脚莖を抱く。この葉は稍上方に至れば稍卵形を呈するものなり。花は圓錐花序をなして、少數花を偏側して着生す。花冠は鐘狀腎形にして、基脚狹搾し、紘部は5裂し、各裂片は圓頭をなす。花喉には毛を有す。雄蕊は4箇ありて2强をなし、閉在し、假雄蕊は頂端棍棒狀をなし、毛茸を有す。蒴は卵形にして先端尖り、胞間裂開をなす。

〔花色〕紅紫色或は淡紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕北米墨西哥。

1304. **リンダウツリガネヤナギ** …… ゴマノハグサ科
Pentstemon gentianoides, Poir. (27圖版-246)

〔異名〕リンダウモドキ　〔形態〕近時の外來種にして、同じく園地に培養せらるる多年生草本なり。莖は高さ1-1.2米(3-4尺)に達し、稍枝を分つ。葉は無柄にして對生し、葉身は披針形、或は披針狀長橢圓形をなし、全邊にして、莖葉共に平滑なり。花は總狀花序をなして點頭す。花冠は筒狀鐘形をなし、稍彎曲し、長さ4.5糎(1.5寸)許を有す。本花の紘部は稍腎形をなし、各裂片は銳頭をなす。〔花色〕紫紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕北米墨西哥。

人生との關係　花色愛らしく美麗なれば、庭園或は鉢等に栽培し觀賞に供す。本種は寒氣を忌むものなれば、冬季は溫室又は溫床中にて栽培するを可とす。繁殖は株分けによる。

132 ベニツリガネヤナギ　133 ヒメツリガネヤナギ

1305. **ベニツリガネヤナギ** …… ゴマノハグサ科
Pentstemon gloxioides, Poir.

〔形態〕本種も亦近時の外來品種にして、本邦には專ら觀賞用として栽培せらるる多年生草本なり。莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し、葉は披針形にして先端尖り、基脚狹搾して短柄をなし、深綠色を呈す。花は稍上葉腋上に細長なる花梗を抽出し、更に小梗を出し、小形の筒狀花を多數着生す。

〔花色〕淡紅色を常とすれども、園藝變種頗る多し。〔花候〕7-8月。

〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　前種と同樣庭園に栽培、或は鉢仕立として觀賞に供するものなれども、一齊に開花せしむること は相當に苦心を要するものなり。繁殖は株分けにより、用土は砂混りの腐葉土等適當なるものとす。

1306. **ヒメツリガネヤナギ** …… ゴマノハグサ科
Pentstemon cobaea, Willd.

〔形態〕前種と同樣外來の品種にして、概形前揭ツリガネヤナギに酷似したる多年生草本なり。莖は高さ60糎(2尺)內外に達し、全株に軟毛を有

す。葉は披針形.全縁にして先端尖り.基脚は莖を抱き對生す。本種の莖はその節部.即ち葉の着生する部分紫黒色を呈するものなり。花は莖の上方葉腋に小梗を出し.筒狀の花冠を有する.小形花を多數着生し.總狀花序をなす。〔花色〕白色なれども.花筒の頂部及基部には淡紫色を帶び愛らしきものなり。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　前種と同樣觀賞に供するものにして.繁殖は株分けによるを普通とし.時季は秋を宜しとす。但し多數に仕立てんとする場合は實生によるも差支へなきものとす。

1307. **ヤナギチャウジ** …… ゴマノハグサ科
Pntstemon barbatus, Nutt. (27圖版-247)

〔形態〕本種も亦外來の品種にして園地に培養せらるる多年生草本なり。莖は高さ60-180糎(2-6尺)に達し.莖葉共に平滑なり。下部に生ずる葉は長橢圓形或は卵形をなし.莖生葉は線狀披針形をなす。花は疎に總狀花序或は圓錐花序に排列す。花冠は筒狀脣形をなし.上脣は凹陷し.稍2脣をなし.下脣は3裂し.各裂片は長橢圓形をなし.反捲し.通常花喉に鬚毛を生ず。〔花色〕淡紅色乃至紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕北米墨西哥。

人生との關係　前種等と同樣觀賞に供せらるるものにして.繁殖は主として株分けに依るものなれども.又種子にても容易なるものとす。株分けは春を適期とす。

30. コシホガマ屬　PHTHEIROSPERMUM.

1308. **こしほがま** 小鹽竈 (27圖版-248)… ゴマノハグサ科
Phtheiropermum japonicum, *Kanitz.*

〔形態〕山中向陽の地に自生する一年生草本なり。莖は高さ30糎(1尺)內外に達し.全株に粘毛を布き.其狀次のシホガマサウ屬に似たり。この莖は長さ3糎(1寸)許ありて.葉柄を有し.葉身は卵形或は橢圓形にして羽狀に分裂し.各裂片は長橢圓形をなし.缺刻狀鋸齒緣をなし.膜質にして毛茸を有す。花は短梗によりて葉腋に生じ.苞を有せず。萼は漏斗狀をなし.長さ0.6-1糎(2-3分)許を有し.先端5裂し.各裂片は葉質にして缺刻を有す。花冠は多少脣狀をなし.長さ2.0-2.5糎(7-8分)許。上脣は直立し.下脣は稍長く3裂す。雄蕊は4箇ありて2强をなし.上脣の下部に着き.葯胞は平滑.花柱は頂端匙狀に廣がり.先端2裂し.柱頭を戴く。蒴は卵形にして嘴狀突起を有し.胞間裂開をなす。〔花色〕白色にして淡紅暈を帶ぶ。

〔花候〕秋。〔分布〕北海道·本州各地·四國·九州·臺灣·滿洲。

31. チワウ屬　REHMANNIA.

1309. **アカヤチワウ** 地黄 (27圖版-249)… ゴマノハグサ科
Rehmannia glutinosa, Libosch. var. purpurea, *Makino.*

(異名) サホヒメ·チワウ　〔形態〕我國には漢種を傳へ培養する多年生草本なり。全株に短毛を布く。莖は高さ30糎(1尺)許に達す。根生葉は地上に開張して叢生し.何れも長橢圓形にして.鈍頭をなし.不齊の鋸齒緣をなし.質厚くして皺を有し.表面淺綠色.下面帶紫色を呈す。春日.叢葉の中心より花莖を抽出すること.20-30糎(0.7-1.0尺)許に達し.小葉を互生し.初夏に至り莖梢に小枝を分ち.4-6花を簇生し.總狀花序をなす。萼は鐘形をなし.5齒緣を有し.裂片は稍不同にして.三角形をなす。この萼は淡綠色にして.紫彩を有し.腺質の長毛を有す。花冠は鐘狀斜脣形をなし.先端5裂す。雄蕊4箇ありて2强をなし.閉在す。葯胞は隔在し.柱頭は2岐し.蒴は橢圓形をなし.胞間裂開す。花後果實を結べども熟するに至らずして.花莖枯死す。地下に皺襞を有する根莖を有し.黄色にして肥厚し.分岐す。

〔花色〕外面暗紫色を呈し.毛茸を帶び.內面黄色を呈し.紫色の斑紋を有す。〔花候〕初夏。〔原産地〕支那。

人生との關係　前述の如く支那本土の原産にして.古は朝鮮にてもこれを藥圃に栽培したることありしが如し。地黄又は地髓といふは.その根部の藥名にして.生の儘陰乾にしたるものを生地黄と名付け.一旦蒸しに掛けて後陰乾したるものを熟地黄と稱す。尙地黄酒とて.糯米に混して一種の藥酒を釀すことあり。本酒は滋養强壯劑として飲用せらる。

元來「サホヒメ」には赤矢と白矢との二品の別あり。卽ち本種は赤矢に屬し.根莖肥大し.皺襞を有すれども密ならず.藥用としては次に揭げたる白矢を上等品とさるものなれども.彼よりは繁殖し易きが故に.多く各地に培養せらるるものなり。

1310. **シロヤチワウ** (27圖版-250)…… ゴマノハグサ科
Rehmannia glutinosa, *Libosch.* var. Lutea, *Makino.*

〔形態〕本種も亦支那原産の矮性なる多年生草本にして概形前種に酷似するものなれども.本種には全株に白毛の毛茸を密布し.長橢圓形をなし.鈍鋸齒緣を有する葉を根生す。花は梢上葉腋に着生し.花色は前種の暗紫色なると異り.淡黄白色を呈し.花喉に淡紫彩を有す。根莖は細くして.皮薄く.肉厚くして.皮の皺襞緻密なるものなり。藥用植物としては前種より遙に優等なる品種として.古來重用せらるるものなり。

1311. **センリゴマ** 胡面莽·生地 …… ゴマノハグサ科
Rehmannia glutinosa, Libosch. *var. Makinoi,* Matsum.

(異名)　ハナヂワウ　〔形態〕支那にては此種を地黄と稱し.藥用となすといふ。莖葉共に甚だよく前種に似たるものなれども.彼よりは大形なる多年生草本なり。本種は多調まず.繁茂し易し。根生葉は短柄を有し.鋸頭又は鈍頭をなし.邊緣に鋸齒を有し.深綠色を呈し.深き毛茸を有す。花莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し.圓柱狀にして直立し.毛茸を布く。この莖は紫紅色を呈す。又葉の下面及莖に紫紅色を帶ぶるものあり。花は下部にあるものは花梗を有すれども.上部のものは.これを缺く。萼の裂片は鋸頭をなし.花冠は3糎(1寸)許の筒狀をなし.先端5裂し.恰も桐樹の花冠に似たり。本種も亦黄色の根莖を有す。〔花色〕外部は淡紅帶紫色を呈し.內部は黄色にして紫色の細點を滿布す。〔花候〕4月。〔原産地〕支那。

人生との關係　本種の根莖は「サホヒメ」の根莖に似たるものなれども藥用となすに足らざるものにして.專らその花を觀賞するために栽培せらるるものなり。(27圖版-251)

32. ハナチャウジ屬　RUSSELIA.

1312. **ハナチャウジ** …… ゴマノハグサ科
Russeli junce, Zucc.

〔形態〕一般にルセリアと稱し園地に培養せらるる小灌木にして.全株無毛種なり。莖は多くの小枝を分ち.枝條は末端下垂する性を有す。葉は細小にして.披針狀卵形.或は線形.或は鱗形をなす。花莖は伸長し.總狀花序をなし.疎に着生す。萼は先端5裂し.各裂片は短形にして.先端尖り.花冠は筒狀脣形をなし.長さ2-5糎(8-9分)許を有す。この花冠は先端5裂し.各裂片は平開す。雄蕊は4箇ありて2强をなし.閉在す。葯胞は橫開し.葯は稍球をなし.胞間裂開をなす。〔花色〕濃紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

134 ハナチャウジ

人生との關係　温室性の植物にし主に吊鉢仕立てとし.最近にては切花としても愛養せる。本種は普通の莖は闇の如く葉を有せざるものなれども.新莖には4葉の輪生を認め得ら得らるゝ位なり。

33. ゴマノハグサ屬　SCROPHULARIA.

1313. **ごまのはぐさ** 玄參·野脂麻 …… ゴマノハグサ科
Scrophularia Oldhami, *Oliv.* (27圖版-252)

〔形態〕原野に自生する多年生草本なり。莖は方莖にして直立し.稍翼を存し.枝を有せず。高さ1.5-2米(5-6尺)に達す。葉は柄を有し.卵狀披針形或は卵形にして.先端尖り.基脚は圓形.或は稍截形をなす。この葉は對生するを常とすれども.上方に於ては往々互生することあり。花は多花を着け.長き密錐花序をなす。苞は線形をなし.萼の裂片は卵形或は卵圓形をなし.花冠筒部の半を有す。花冠は壺狀の假面狀をなし.明瞭なる筒部を有すれども.囊狀の突起.或は距を有せず。雄蕊は4箇なれども.尙不完全なる小形の假雄蕊1箇を有す。果實は卵形の蒴なり。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏。〔分布〕九州中部及南部·九州·朝鮮·滿洲。

人生との關係　朝鮮·滿洲にても到る處の原野に遍生するものにして.彼地にては.本植物の根部を藥用に供す。卽ち腎經の名藥と稱せらる。又疝痛.婦人病等にも效ありとして服用す。

漢方醫藥としては古來本植物の根を.瘰癧.其他咽喉の諸症に服用せしめ又生根を搗碎し塗布す。或は鼻孔中に瘡を生じたるとき.その粉末を塗布せしむることあり。

244 いはぶくろ

245 ツリガネヤナギ

246 リンダウツリガネヤナギ

247 ヤナギチヤウジ

248 こしほがま

249 アカヤチワウ

250 シロヤチワウ

251 センリゴマ

252 ゴマノハグサ

1314. **ひなのうすつぼ** 山玄參 (28圖版-253) ゴマノハグサ科
Scrophulalia duphicato-serrata, *Makino.*

(異名) やまひなのうつぼ　〔形態〕 山地に自生する多年生草本なり。莖は方形をなし,直立し,高さ 1-1.5 米 (4-5 尺) に達す。葉は薄質にして,長卵形或は卵形をなし,微に凸尖の重鋸歯緣を具へ,稍長き葉柄によりて對生す。この葉は上面深綠色,下面淡綠色を呈す。花は稍上及葉腋上に小枝を出し,更に分枝してその上に着く。この花は多數聚繖して,複聚繖花序に排列し,花序は著しく開出す。萼は鐘狀をなし,先端5裂し,各裂片は圓形をなし,花冠筒形をなし,稍圓き筒狀部を有し,各裂片は圓形を有す。雄蕊は4箇ありて2强をなし,他に1箇の假雄蕊を有す。花絲は扁くして,花冠筒部の下側に着き,葯も亦扁くして圓扇狀をなす。子房は橢圓形にして鈍稜を有し,1本の花柱を出し,脣瓣に沿ふて前方に彎曲す。果實は蒴にして廣卵形,銳頭をなし,胞間裂開をなす。〔花色〕紫黑色又は深紫色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係　前種と同樣藥用に供す。其藥效・用法等凡て前種と同樣なれば玆にはこれを省略す。

1315. **おほひなのうすつぼ**…… ゴマノハグサ科
Scrophularia nodosa, *L.*

〔形態〕 山林・原野等に自生する多年生草本なり。根は集合塊根をなし,莖は方形にして,高さ 90-120 糎 (3-4 尺) に達し,紫色を帶ぶ。葉は有柄にして,長橢圓形を呈し,緣邊に疎鋸齒を具へ,對生す。花は圓錐花序をなして頂生し,萼は短形にして先端5裂し,各裂片三角形をなし,花冠は鐘狀にして脣形をなす。〔花色〕花冠の內面暗紫色・外面淡黃綠色を呈す。〔花候〕7-8月。〔分布〕北海道・本州・九州。

1316. えぞひなのうすつぼ…… ゴマノハグサ科
Scrophularia Grayana, *Maxim.*

135 おほひなのうすつぼ　136 さつきひなのうすつぼ・

〔形態〕北地の山野に自生する多年生草本なり。全株殆ど毛を有せず,葉は卵形にして,先端銳尖頭,基脚稍心臟形をなし,邊緣に鈍齒牙緣を具ふ。尙此葉は有翼の柄を有する等前種と異るところとす。花は聚繖花序をなし,有梗にして多花を疎生す。萼の裂片は圓形なり。〔花色〕外面淡綠色,內面紫黑色。〔花候〕夏。〔分布〕千島;北海道。

1317. **さつきひなのうすつぼ**…… ゴマノハグサ科
Scrophularia musachiensis, *Bonati.*

〔形態〕 山地に自生する多年生草本なり。概形は前種等と略同樣なるものなれども,本種の葉は對生し,葉身は卵狀長橢圓形にして鈍頭をなし,邊緣は不齊の齒牙緣をなす。花は聚繖花序をなし,長梗によりて腋出し,通常3花を着く。萼の裂片は狹披針形を呈するものなり。〔花色〕外面淡黃綠色,內面紫黑色。〔花候〕5月。〔分布〕本州中部。

34. オホヒキヨモギ屬 SIPHONOSTEGIA.

1318. **ひきよもぎ** 鬼油麻 (28圖版-254)……ゴマノハグサ科
Siphonostegia chinensis, *Benth.*

〔形態〕山野向陽の地に自生する半寄生多年生草本なり。莖は方形,剛硬にして高さ 60-90 糎 (2-3 尺) に達し,短毛を有す。葉は長卵形にして,羽狀に分裂し,各裂片は線形,或は披針形・銳頭をなし,全緣或は齒牙緣,若くは缺刻緣をなし,對生す。花は短き花梗によりて頂生し,總狀花序をなす。小苞は2箇を有し,萼は筒狀部長く,上部は7淺裂をなし,其中5裂片は大きく,2裂片は小形なり。花冠も亦筒狀をなし,上脣は帽狀をなし,先端2裂し,下脣は3淺裂す。雄蕊は4箇ありて,花冠の筒部に着生し,長短不同なり。子房は麥粒狀にして1花柱を具へ,果實は蒴をなし,種子は微細にして淡褐色を呈す。〔花色〕上下兩脣共黃色にして,上脣の先端のみ褐色を帶ぶ。〔花候〕6-7月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣・朝鮮。

1319. **おほひきよもぎ** (28圖版-255)…… ゴマノハグサ科
Siphonostegia japonica, *Furumi.*

〔形態〕本種は前種に比すれば,彼の葉は分裂すれども,本種は分裂せず,缺刻緣或は缺刻狀齒牙緣をなし,萼は膜質を呈し,肋線軟弱にして絨毛を布くこと等彼と異る所とす。〔分布〕本州中部及南部。

35. メキシコヂギタリス屬 TETRANEMA.

1320. **メキシコヂギタリス** (28圖版-256)… ゴマノハグサ科
Tetranema mexicanum, Benth.

〔形態〕 園地に培養せらるゝ外來の多年生草本なり。本種の莖は頗る短く,葉は何れも根生す。この葉は倒卵形,或は長橢圓形をなし,基脚狹まり疎齒牙緣をなし,無毛なり。根生葉間より花梗を抽出し,恰も花莖の觀を呈す。この花梗は葉長より長く伸長し,その先端に聚繖花序をなして,數箇づゝの脣形花を着生す。この花は短梗を有し,點頭す。萼は5深裂し,花冠は傾斜し,後脣は短くして2裂し,前脣は3裂す。雄蕊4箇。蒴は壓扁狀を呈す。〔花色〕紫黃色或は白色にして帶紫色の斑紋を有し美麗なり。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

人生との關係　觀賞用として鉢栽培し,溫室又は花園に培養す。本種は「ヂギタリス」の名稱を有すれども,前揭「ヂギタリス」類とは屬を異にするものなり。繁殖は實生に依る。この實生苗は其年內に開花するものなり。

36. ウリクサ屬 TORENIA.

1321. **うりくさ** (28圖版-257)…… ゴマノハグサ科
Torenia crustacea, *Cham* et *Schlecht.*

〔形態〕 庭園・田野等に自生多き一年生草本なり。枝條は撒開伏臥性をなし,高さ 6-9 糎 (2-3寸) に達す。葉は短柄を有し,卵形にして,基脚稍心臟形をなし,疎鋸齒緣を具ふ。花は葉腋上に單生,或は總狀花序をなして着生す。萼は膜質にして筒形をなし,5齒緣を有す。花冠は萼の倍長く 筒狀脣形をなし,上脣は全緣,下脣は3裂し,雄蕊は4箇ありて2强をなし,葯は2箇宛接着し,1花絲に着く。蒴は廣卵形 或は長橢圓形をなし,宿存萼より短きものなり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・九州・小笠原島。

1322. しそばうりくさ…… ゴマノハグサ科
Torenia setulosa, *Maxim.*

〔形態〕田野に自生する一・二年生草本なり。全株に細毛を散生し,莖は上昇性を有し,多くの小枝を分つ。葉は短柄を有し,卵形・鈍頭をなし,上半部に粗鋸齒緣を有す。花は葉より長き小梗によりて腋出し,萼は5深裂し,5稜或は狹翼を有し,各裂片は楔狀の線形をなし,花冠は萼の一倍半長く,蒴は長橢圓形・銳頭・基脚は銳脚をなし,萼より稍短きものなり。
〔分布〕本州中部及南部。

1323. きばなうりくさ…… ゴマノハグサ科
Torenia flava, *Ham.*

〔形態〕 前種に酷似せる一年生草本なり。本種の莖も亦伏臥性を有し,葉は卵形或は長橢圓狀卵形・鈍頭にして,全緣,或は粗鋸齒緣をなす。花は小梗によりて腋出し,この小梗は萼より短きものなり。〔花色〕花冠の上部は赤紫色を呈し,下部は黃色,蚊部は鮮黃色をなし,紫點を有し,頗る美花なり。〔分布〕臺灣。

1324. つるうりくさ…… ゴマノハグサ科
Torenia concolor, *Lindl.*

〔形態〕 山野に自生する一年生草本なり。莖は基部に於て分枝し,撒開性を有す。葉は柄を有し,卵形或は卵狀心臟形にして銳頭をなし,粗鋸齒緣を具ふ。花は葉より長き小梗によりて腋生す。萼は筒狀にして稍腎形をなし,多角或は狹き翼を有し,兩面同色なり。筒部は挺出し,裂片は大形なるものなり。〔花色〕菫色。〔花候〕周年。〔分布〕臺灣。

1325. **ムラサキミゾホホヅキ** (28圖版-258)* ゴマノハグサ科
Torenia Fournieri, Linden.

(異名) ハナウリクサ・トレニヤ　〔形態〕外來の一園藝草本にして,一

年生草本なり。全株に軟毛を散生し、莖は方形をなし、高さ 30 糎(1尺)に達し、多數分枝す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形或は卵狀心臟形・鋭頭をなし、粗齒牙狀鋸齒緣を具ふ。　花は梢上葉腋に單生、或は總狀花序をなして着生し、苞は細小にして鑿形をなし、萼は廣橢圓形を呈し、5 箇の廣翼及毛緣を有す。　花冠の筒部は長さ 2.5 糎(8-9 分)許を有し、岐部は脣形をなし、長さ 3.6 糎(1-2 寸)許、上脣は紫色を呈し、稍 2 裂し、下脣は 3 裂す。〔花色〕上脣は紫色を呈し、下脣は鮮紫色なれども、中央裂片の基部に黄色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔原産地〕支那交趾。

人生との關係　特に大切にして培養すべき程の草花ならざれども、一度庭園中の稍濕地等に播種すれば、容易に芽生へ成育、盛に開花し、年々これを繼續する愛らしきものなり。

37. ニハタバコ屬 VERBASCUM.

1326. **モウズキクワ**……ゴマノハグサ科
Verbascum Blattaria, L.

(異名) ニハタバコ　〔形態〕外來の品種にして、本邦にては專ら園藝せらるる一・二年生草本なり。莖は梢部にのみ腺毛を布き、葉は長橢圓形乃

137 モウズキクワ　　138 ビロウドモウズキクワ

至倒卵狀長橢圓形をなし、鈍頭乃至鋭頭をなし、狹脚乃至心臟脚をなし、邊緣は波狀樣羽裂乃至齒牙緣をなす。　花は總狀花序をなして頂生し、疎に着生す。小梗は花の 2-3 倍長く、苞は腺質をなし、先端 5 裂し、各裂片は廣圓なり。雄蕊は 5 箇を有し、花冠の基脚に着生し、花絲には紫色の綿樣毛を有す。　蒴は半球形をなし、2 殼を有し、宿存萼より長きものなり。〔花色〕黄色。〔原産地〕歐羅巴。

1327. **ビロウドモウズキクワ**……ゴマノハグサ科
Verbascum Thapsus, L.

(異名) モンパモウズキ　(形態) 前種と同樣、外來の品種にして、同じく園藝せらるる二年生草本なり。前種と共に莖は高さ 20-60 糎(2-6 尺)に達すれども、本種は前種と異り、全株に綿樣毛を密布するものなり。根生葉は柄を有し、長橢圓形にして鈍頭をなし、基脚狹きもの なれども、莖生葉は無柄にして長橢圓狀披針形をなし、鋭頭を有し、何れも鈍齒牙緣をなす。花は前種より形小さく、穗狀總狀花序に排列す。萼の裂片は披針形をなし、花冠の岐部は凹陷し、花筒の 3-4 倍大を有し、上部にある 3 雄蕊の花絲に白毛を生ずるものなり。〔花色〕黄色。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　前種と共に園地に培養し觀賞に供する草本にして、繁殖は種子により、秋の彼岸頃に播種し、越冬せしめ翌年春季開花せしむ。用土は腐葉土と壤土との混化せしものを用ふれば充分なり。

38. クカイサウ屬 VERONICA.

1328. **くかいさう**　威靈仙・九蓋草・九楷草　ゴマノハグサ科
Veronica virginica, *L.* var japonica, *Nakai.*

(異名) くがいさう・とらのを(越前・信濃)　ねこじりを(信濃)　やまつつみ(佐渡)　くるまさう・くるまさんしち(花戸)　〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。春日舊根より叢生し、稍平滑なるか、葉にのみ毛茸を有し、莖は單一にして高さ 60-90 糎(2-3 尺)に達す。葉は短柄を有し、ヶ節部に 3-4 葉、又は 5-6 葉、稀に 8 葉を輪生し層をなす。肥大なるものは 12-3 層、瘠小なるものも 8-9 層あり。故に九楷草の名を有す。この葉は長橢圓狀披針形、稀に楕圓形をなし、先端尖り、基脚楔形を呈し、細鋸齒緣を具へ、長さ 9-15 糎(3-5 寸)許あり。花は莖頂に穗樣の總狀花序をなして着生し、穗の長さ 18-20 糎(6-7 寸)に達す。萼は 5 深裂し、各裂片は披針形をなし、花筒は筒狀にして脣形をなし、5 齒緣を具ふ。雄蕊は長く、2 箇を有し、花冠に着生す。葯は茶褐色を呈し、黄色の花粉を吐く。雌蕊は 1 箇、花柱は長く、花絲と共に花冠外に挺出す。花後卵形或は長橢圓形の蒴を結び、胞間裂開をなし、宿存萼より超出す。一種近江の伊吹山に産するものは、矮生にして、葉短く、6-7 葉又は 2-3 葉を輪生、又は互生す。〔花色〕淡紫碧色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮・滿洲。
(28 圖版-259)

人生との關係　庭園或は鉢等に栽培し觀賞に供するものにして、栽培法は頗る容易なるものなり。晩春花壇にその根株を植付くれば、自ら發芽生長し、年々開花す。肥料としては魚の洗汁位を與ふれば充分なり。

朝鮮にては、春季嫩苗を茹でて菜となし食用に供す。　又生藥として、その莖葉を煎服し、脚氣・癆痲質斯等に效ありとして重用す。又鬚根は痛風の要藥なりとし盛に使用せらる。平北・咸南のいはゆる隣界地方に於ては、「せんにんさう」(Clematis paniculata, Thunb.)「かうらいせんにんさう」(Clematis mandshurica, Rupr.)「いちりんざきせんにんさう」(Clematis brachyura, Maxim.) 等、毛莨科「せんにんさう」屬の植物の根をも威靈仙と稱し、これに代用す。卽ち威靈仙なる漢名は靈驗に對する讃辭に過ぎざるものなれば、必らずしも獨り九楷草の藥名には限らざるものなり。

1329. **えぞのくがいさう**……ゴマノハグサ科
Veronica virginica, *L.* var. sibirica, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。本種は莖に毛茸を有することなく、葉は長橢圓形にして、短き鋭尖頭をなし、兩面共に毛茸を生ず。花序は單生し、花軸は毛を有し、各花は無梗なるか、或は稍無梗なり。〔花色〕碧色或は白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州中部。

1330. **つくしくがいさう**……ゴマノハグサ科
Veronica virginica, *L.* var. Zuccarinii, *Koidz.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。莖は毛茸を有し、葉は 3-5 或は 7 葉を輪生し、葉身は短橢圓形、或は倒卵狀橢圓形にして、短き鋭尖頭をなし、兩面に短き毛茸を密布す。花序は單一、花は稍無梗なり。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

1331. **いぬのふぐり** 婆婆納 (28 圖版-260)…ゴマノハグサ科
Veronica agrestis, *L.*

(異名) いぬふぐり・へうたんぐさ・てんにんからくさ・はたけくはがた　〔形態〕田野・路傍等に自生する一年生小草本なり。莖は地に塌し、多くの小枝を分ちて叢生し、長さ 10-20 糎(3-4-7-8 寸)に達し、全株に短毛を有す。初生葉は對生し、梢上に至れば互生す。この葉は何れも柄を有し、卵形にして、3-5 の粗鋸齒緣をなす。花は葉と稍同長の小梗により、葉腋上に單生す。萼は 4 裂し、各裂片は卵形又は長橢圓形をなし、花冠より長きことあり。花冠は短き筒狀をなし、大小 4 裂し、各裂片は卵狀圓形をなし、1 雄蕊、1 雌蕊を有す。花後扁圓にして、縦に一道を有し、圓形のもの 2 箇相並び、中に 4-10 箇の種子を藏す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣・朝鮮。

1332. **タチイヌフグリ**(28 圖版-261)……ゴマノハグサ科
Veronica arvensis, L.

〔形態〕本種は外來のものなれども、歸化植物に屬し、各地の原野・路傍等に自生する一年生の伏臥性草本なり。　全株に短毛を布き、葉は稍無柄にして對生し、葉身は卵形にして鈍鋸齒緣をなす。　花は總狀花序をなして頂生し、稍穗狀をなす。本花の有する小梗は苞及萼より遙かに短く、苞は線狀披針形或は披針形をなす。花冠は前種と同形をなせど稍小形なり。〔花色〕淡碧色。〔花候〕初夏。〔原産地〕歐羅巴。

1333. **オホイヌフグリ**(28 圖版-262)……ゴマノハグサ科
Veronica persica, Poir.

(異名) オホハタケクハガタ　〔形態〕前種と同樣歸化植物にして、各地の原野に自生する一年生伏臥性草本なり。　本種は全體に前種よりは大形なるものにして、莖は長さ 15-25 糎(5-9寸)に達し、全株に毛茸を散生す。葉は短柄を有し、葉身は薄紙質にして、卵形をなし、鈍鋸齒緣をなす。この葉は基部に生ずるものは對生し、梢部にありては互生す。花は葉の 2-3 倍大なる花梗を有し、葉腋上に單生す。萼は 4 深裂し、各裂片は披針形、鋭頭をなし、下側の 2 片は大形なり。花冠は短筒狀をなし、4 深裂し、各裂片は圓形をなし、下側の 1 片は稍小形なり。雌蕊は 2 箇。果實は蒴にして、倒三角形をなし、頭部深く凹陷し、宿存萼に被はる。〔花色〕碧色。〔花候〕春-初夏。〔原産地〕歐羅巴。

253 ひなのうすつぼ

254 ひきよもぎ

255 おほひきよもぎ

256 メキシコヂギタリス

257 うりくさ

258 ムラサキミゾホホヅキ

259 クカイサウ

260 イヌノフグリ

261 タチイヌノフグリ

262 オホイヌフグリ

1334. ミツバイヌノフグリ……　ゴマノハグサ科
Veronica triphyllos, L.

〔形態〕本種又外來の歸化植物にして,各地の原野・路傍等に自生する伏臥性一年生草本なり。全株に腺毛を散生し,莖は單一或は撒開生なり。最下部に生ずる葉は卵形,全緣なれども,中葉は掌狀或は3-5深裂し,各裂片は長橢圓形竈形をなす。花は總狀花序をなし疎生し,梢頭枝端に頂生す。本花の有する小梗は苞或は苞と同長なるか,或は稍長く,苞片は長橢圓形をなし,花冠より長く,花後生ずる蒴は苞と同長なるものなり。〔花色〕碧色。〔花候〕春-夏。〔原産地〕歐羅巴。

1335. **かはぢしゃ** 水苦 (朝) 河白菜 ……　ゴマノハグサ科.
Veronica Anagallia, *L.*　(29圖版-263)

〔形態〕水田・沼澤の如き水濕地を好みて自生する。二年生或は多年生草本なり。莖葉共に液質をなし無毛なり。莖は鈍方形をなし,高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は葉柄を有せず,互生。葉身は長橢圓狀披針形乃至卵形にして先端尖り,基脚は莖を抱き,齒牙狀の鋸齒緣をなす。花は疎に總狀花序をなし,葉腋上に抽出し,小梗は花と稍同長,苞は線狀披針形をなし,小梗より短く,花冠は5深裂し,各裂片は圓形をなす。蒴も亦5深裂し,各裂片は橢圓形をなし,先端尖る。果實は莢をなし,稍凹頭をなす。〔花色〕白色にして且これに淡紅紫色の條條を有す。〔花候〕6-8月。〔分布〕本州各地・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係　朝滿到る處の田澤等水濕の地にも生育するものにして,彼の地の人は嫩葉を採り食用に供するものなり。

1336. おほかはぢしゃ ……　ゴマノハグサ科
Veronica Anagallis, *L.* var. *Savatieri*, *Makino.*

〔形態〕前種と同樣好みて濕潤の地に自生する多年生草本なり。莖葉共に液質にして,毛茸を有せざること前種に同じ。本種の莖は前種よりは長く,高さ1米(3尺)內外に達す。葉は前種と同樣無柄なれども,本種は薄膜質をなし,形は卵狀披針形或は狹三角形をなし,先端尖り,基脚は鈍形或は心臟形をなし,稍莖を抱くものなれども,厘々耳形をなし,下垂することあり。緣邊は不齊の細齒牙狀をなす。花は總狀花序をなし,多花を着生し,葉腋上に直生す。苞は線狀披針形或は披針形をなし,小梗より短きものなれども,下部に生ずるものは稍長し。花冠は5深裂し,上部の裂片は最も大きく,菱形卵圓形をなし,頂端鈍角を呈し,左右の2裂片は扁圓形をなし,先端圓く,下部の1裂片は最も小形の卵形にして,鈍頭をなす。雄蕊は2個ありて,花冠と高さを同じくし,子房は圓形をなし,花柱は絲狀なり。蒴は側扁せる卵狀圓形をなす。〔花色〕全體に淡菫色を呈し,上端の大形裂片は7菫線を有し,左右の2裂片は稍菫線,下部の1裂片は他の3裂片より色淡く,殆ど白色に近く,線條も不明瞭なり。〔花候〕6-8月。〔分布〕本州中部。

1337. ひめかはぢしゃ …… ゴマノハグサ科
Veronica yedoensis, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕前二種に比し小形なる一年生草本なり。莖は稍部に腺毛を散生し,下部に生ずる葉は柄を有し,形は卵形を呈すれども,上部に生ずるものは披針形,無柄にして,基脚莖を抱き,何れも齒牙緣を有す。花は前種と同樣總狀花序をなせども,疎花を着け,小梗は苞と同長或は稍長し,苞は5裂し,各裂片は長橢圓形鈍頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕6-8月。〔分布〕本州中部。

1338. **えぞのかはぢしゃ** (29圖版-264)…… ゴマノハグサ科
Veronica Beccabunga, *L.* var. americana, *Glehn.*

〔形態〕山野に自生する一年生草本にして,全株無毛種に屬す。莖は初め伏臥し,後直立す。葉は概ね柄を有し,卵形或は長橢圓形,鈍頭をなし,基脚は稍心臟形をなす。花は細梗によりて開展し,蒴は膨出す。卽ち本種はカハヂシャに比し,葉は柄を有し,小梗は細長なるものなり。〔花色〕淡碧色。〔花候〕6-8月。〔分布〕樺太・千島・北海道。

1339. **くはがたさう** (29圖版-265)…… ゴマノハグサ科
Veronica cana, Wall.

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。全株に毛茸を散生し,莖は斜上性を有し,高さ20-25糎(7-8寸)に達す。葉は卵形乃至橢圓形にして,鈍頭をなし,基脚心臟形,邊緣鈍鋸齒を具へ,對生なり。花は總狀花序をなして,疎に着生し,小梗は苞より稍長く,苞は線形をなし,苞より短く,苞片は線狀長橢圓形をなす。蒴は廣三角形をなし,凹頭を有す。〔花色〕白色なれども紅暈を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・朝鮮・滿洲。

1340. **こくはがたさう** (29圖版-266)…… ゴマノハグサ科
Veronica cana, *Wall.* var. *Takedana*, *Makino.*

〔形態〕前種と同樣山地に自生する多年生草本なり。概形殆ど前種と同樣なれども,全體小形にして,總狀花序は短く,苞片は果實より短きことを特徵とす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕6-7月。〔分布〕四國。

1341. だいせんくはがた…… ゴマノハグサ科
Veronica daisenens's, *Makino.*

〔形態〕山地殊に加賀の大山に發見せられたるにより本和名を有する多年生草本なり。全株に短毛を散生し,莖は高さ20-25糎(7-8寸)に達し,多くの小枝を分つ性あり。葉は膜質を呈し,長き葉柄によりて對生し,三角狀卵形乃至卵狀披針形にして,深波狀に羽裂し,各裂片は卵形をなし,缺刻狀鋸齒緣を具へ,基脚稍5行脈を有す。花は總狀花序をなし,この花序は葉よりは遙かに超出し,小梗は花より長く,苞片は線狀披針形をなし,果實と稍同

139 きくばはくか

140 みやまくはがた

長なるものなり。〔花色〕淡菫色。〔花候〕6-8月。〔分布〕本州中部。

1342. **きくばくはがた**…… ゴマノハグサ科
Veronica Schmidtiana, *Regel.* var. typica, *Makino.*

(異名) みやまひめとらのを　〔形態〕高山帶に自生する多年生草本なり。莖は基脚より分枝し,高さ12-15糎(4-5寸)に達し,葉は有柄にして對生す。葉身は卵形乃至卵狀披針形にして,基脚楔形をなし,波狀の羽裂或は中裂乃至深裂し,各裂片は卵形を呈し,缺刻狀齒牙緣を有す。その概形菊の葉に似たる觀あり。花は總狀花序をなし,多花を着生す。苞は深裂し,各裂片は筮狀長橢圓形をなし,花冠は深裂し,各裂片は廣橢圓形をなす。雄蕊は2箇ありて花冠よりは稍長く超出し,雌蕊は1花柱を有し線形をなす。果實は蒴にして,先端凹頭をなす。〔花色〕菫色にして,上部の裂片には濃菫色の線條を有す。〔花候〕6-7月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各地。

1343. **ばんだいくはがた**…… ゴマノハグサ科
Veronica Schmidtiana, *Regel.* var. bandaiana, *Makino.*

〔形態〕山地殊に岩代國磐代山に發見せられたるにより本名を有する多年生草本なり。本種の莖は直生し,總狀花序は前種よりは長く延長し,葉は羽狀に淺裂するを特徵とす。〔花色〕菫色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部。

1344. **みやまくはがた**…… ゴマノハグサ科
Veronica senanensis, *Maxim.*

(異名) みやまとらのを　〔形態〕高山に自生する多年生草本なり。莖は高さ30糎(1尺)許に達し,葉は長柄により對生し,葉身は卵形をなし,缺刻粗鋸齒牙緣を具へ,長さ30糎(1寸),徑1.8-2.0糎(6-7分)を有す。花は長さ10糎(4寸)許を有する總狀花序をなす。果實は橢圓形をなし,二耳を垂下し,宿存萼より稍長きものなり。〔花色〕白色に紅暈を帶び,紅色の線條を交ゆ。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

1345. **えぞみやまくはがた**…… ゴマノハグサ科
Veronica Stelleri, *Pall.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして,全株に粗毛を有し,莖は單一にして斜上性なり。葉は柄を有せず對生し,卵形にして,緣邊には細鋸齒を有するか,或は全緣をなす。花は總狀花序をなし,初め房狀をなせども終に延長して,疎生狀をなす。花は少數を着生し,苞は葉狀をなし,小梗は萼より2-3倍長く,蒴は萼より稍超出す。〔花色〕淡紫碧色。〔花候〕7-8月。〔分布〕

樺太・千島・北海道・本州中部及北部。

1346. **てんぐくはがた**（29圖版-267）…… ゴマノハグサ科
Veronica serpyllifolia, *L.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして全株に短き毛茸を有す。莖は斜上性を有し、稍上に小枝を分岐す。葉は卵形或は長楕圓形をなし、鈍齒牙緣を具へ、長さ0.6-1.3糎（2-4分）を有し、下葉は短柄を有すれども、上葉は柄を有せず。花は總狀花序をなし、少數の花を疎生す。小梗は花長と同じく、苞は線狀披針形をなし、小梗より稍長く、蒴片は倒披針形或は倒卵形をなし、蒴より稍長きものなり。〔花色〕白色にして淡紫暈を帶び、濃紫色の線條を有す。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

1347. **はまくはがた**…… ゴマノハグサ科
Veronica murorum, *Maxim.*

（異名）いしがきくはがた　〔形態〕多く海濱に近き原野に自生する一年生草本にして、全株に短毛を布き、莖は基脚より分岐し、葉は柄を有し對生す。葉身は廣卵形乃至三角狀卵形をなし、鈍頭或は鋭頭をなし、鈍齒牙狀鋸齒緣を具ふ。花は少數花を以て總狀花序に排列し、葉より短く、苞は線形をなし、蒴と同長、小梗は蒴裂片の半ば許の長さを有し、蒴の裂片は線狀披針形をなし先端尖り、花冠及果實は蒴より短きものなり。〔花色〕深碧色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

1348. **ひめくはがた**（29圖版-268）…… ゴマノハグサ科
Veronica nipponica, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、全株に細毛を有し、莖は單生し、高さ6-9糎（2-3寸）、乃至15糎（5寸）許に達す。葉は卵形をなし、鈍鋸齒緣を具へ、長さ1.5糎（5分）許を有する小形なり。花は短き總狀花序に排列し、苞及蒴は共に線狀披針形をなし、花冠の裂片は蒴の裂片より稍長く、超出す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕8月。〔分布〕千島・本州北部及中部。

1349. こばのくはがた…… ゴマノハグサ科
Veronica oligosperma, *Hayata.*

〔形態〕高山に自生する匍匐性草本にして、全株開出性の毛茸を布く。葉は短き葉柄を有し、卵形或は稍圓形をなし、細鋸齒緣をなす。花は總狀花序をなし、腋出し、長梗及小梗は蒴と稍長さを同じくし、苞は筮形をなし、小梗より稍長く、蒴片は線狀披針形をなし、蒴は長さ蒴の2倍あるものとす。〔花色〕紫色。〔花候〕8月。〔分布〕臺灣。

1350. つるくはがた…… ゴマノハグサ科
Veronica japonica, *Makino.*

（異名）やまくはがた　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。本種は前揭クハガタサウに酷似せるものなれども、彼に比するに、莖は伏臥斜性をなし、葉は短廣卵形をなし、長さ1-2.5糎（3-8分）、徑0.6-1.5糎（2-5分）許にして、毛茸を有し、總狀花序は疎に花を着け、葉の長さより長きを特徴とす。〔分布〕本州中部。

1351. **まるばくはがた**（29圖版-269）…… ゴマノハグサ科
Veronica Onoei, *Franch. et Sav.*

（異名）ぐんばいづる　〔形態〕信州淺間山、その他の諸高山に自生する多年生の匍匐性草本にして全株に開出性の毛茸を布く。葉は短柄よりて、對生し、葉身は卵形或は稍圓形にして、先端尖り、細鈍鋸齒緣を具ふ。花は總狀花序をなして腋出し、長梗及小梗は共に苞と稍長さを同じくし、苞は筮形をなし、小梗より稍長く、蒴片は線狀披針形、蒴は蒴片の長さの倍大を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕8月。〔分布〕本州中部。

1352. **やまるりとらのを**（29圖版-270）…… ゴマノハグサ科
Veronica longifolia, *L.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして全株無毛なるか、或は稍細毛を布く。莖は高さ75糎（2.5尺）許に達し、葉は短柄を有し、披針形或は長楕圓狀鋭尖形にして鋭鋸齒緣を具へ、對生或は3-4葉を輪生す。花は總狀花序をなし、多數密生し、細長の穗狀形をなす。小梗は概ね蒴より短く、苞は線形をなし、小梗と稍同長、花冠は筒狀をなし先端4裂し、各裂片は先端尖り、蒴の裂片は線狀をなし、鋭頭を有し、果實より短く、果實は蒴をなす。〔花色〕碧色。〔花候〕8月。〔分布〕北海道・本州各地。

人生との關係　時に庭園に採植し觀賞に供するものあり。

1353. **るりとらのを**　兎兒尾苗…… ゴマノハグサ科
Veronich longifolia, *L.* var subsessiiis, *Miq.*

〔形態〕林野に自生する多年生草本なり。概形前種に酷似するものにして、莖は高さ30-60糎（1-2尺）に達し、彼より稍小さく、葉は彼に似たれども本種は無柄にして、毛茸を有するもの少く、花冠の裂片は彼より廣圓なるものなり。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・本州中部及北部。

1354. えぞるりとらのを…… ゴマノハグサ科
Verouica longifolia, *L.* var Grayi, *Fr. Schm.*

〔形態〕ヤマルリトラノヲの一變種にして、概形彼に似たれども、本種は全株に多くの毛茸を有し、葉も亦彼に比し、2倍半乃至3倍長く、特に鋭尖頭をなし、基脚廣心臟形を呈するものなり。花色・花期等又彼に同じ。（栽培種）

1355. **ひめとらのを**…… ゴマノハグサ科
Veronica spuria, *L.*

（異名）やまとらのを　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。全株に短毛を布き、莖は高さ69-90糎（2-3尺）に達す。葉は短柄によりて對生、或は3-4葉宛輪生す。葉身は長楕圓狀披針形をなし、先端尖り、基脚狹く、粗鋸齒緣を具ふ。花は總狀花序をなして密生すること、ルリトラノヲの如く、小梗は蒴より短く、苞は線狀披針形をなし、小梗と同長なるか、或は短へ、蒴片は披針形をなし、雌蕊は2箇ありて、花絲は花冠より長く、花冠外に挺出し、花柱は雄蕊よりは更に長し。蒴は蒴より稍超出す。〔花色〕淡紫碧色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣・朝鮮・滿洲。

141 るりとらのを　142 ひめとらのを

1356. ほそばひめとらのを…… ゴマノハグサ科
Veronica spuria, *L.* var angustifolia, *Makino.*

〔形態〕前種の一變種に屬し、同じく山地に自生する多年生草本なり。概形彼に似たるものなれども、本種の葉は狹披針形乃至線形をなすを異るところとす。〔花色〕淡紫碧色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣・朝鮮・滿洲。

1357. はまとらのを…… ゴマノハグサ科
Veronica Sieboldiana, *Maxim*, var integrifolia, *Maxim.*

〔形態〕海濱に近く自生する多年生草本なり。全株稍無毛種に屬し、葉は柄を有せず、對生し、葉身は長楕圓形・鋭頭をなし、基脚狹く、上半部は不明の齒牙狀緣をなす。花は總狀花序をなして密生す。この花には小梗と共に短毛を布き、小梗は花と長さを同じくし、蒴片は卵形乃至長楕圓形をなし、毛緣を有す。蒴は蒴の倍長なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕邦内各地。

1358. **とうていらん**（29圖版-271）…… ゴマノハグサ科
Veronica incana, *L.*

（異名）てうせんとらのを。　〔形態〕海邊に自生する多年生草本なり。概形は頗るよくヒメトラノヲに類似せるものなれども、本種は全株に灰白色の毛茸を密布するを異るところとす。葉は柄を有し、對生し、長楕圓形或は披針形をなし、基脚狹く、下生葉は鈍頭をなし、鈍齒牙緣を具ふれども、上生葉は鈍頭をなし、鋸齒緣或は全緣なり。花は總狀花序をなし、概ね單生す。本花の有する小梗は蒴片より短く、蒴は毛茸を有し、蒴片より短きものなり。〔花色〕淡紫碧色。〔花候〕夏。〔分布〕本州（丹後）。

1359. **ひよくさう**（29圖版-272）…… ゴマノハグサ科
Veronica laxa, *Benth.*

〔形態〕山麓の陽地等に自生する多年生草本にして全株に軟毛を有し、莖は高さ30糎（1尺）餘に達す。葉は稍無柄にして對生し、葉身は卵形或は卵狀長楕圓形をなし、鈍鋸齒緣を具ふ。花は穗長なる總狀花序をなして腋生し、梗に着生す。小梗は蒴と稍長さを同じくし、苞は線狀披針形をなし、小梗より長く、蒴片は線狀披針形をなし、果實より超出す。〔花色〕淡紅紫色。

PL. 29.

263 かはぢしや　264 ねぞのかはぢしや　265 くはがたさう　266 こくはがたさう

267 てんぐくはがた　268 ひめくはがた　269 まるばくはがた　270 やまるりとらのを

271 とうていらん　272 ひよくさう　273 むしくさ　274 きくばとらのを

〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國。

1360. からふとひよくさう…… ゴマノハグサ科
Veronica chamaedrys, *L.*

〔形態〕窓地に自生する多年生草本にして全株に短毛を有し、莖は斜上性をなし、高さ 30–45 糎（1–1.5 尺）に達す。葉は稍無柄にして對生し、葉身は卵形或は稍心臟形をなし、缺刻狀鋸齒緣を具ふ。花は總狀花序をなして腋出し、10–15 花を着生す。小梗は萼と稍長さを同じくし、萼片は線形を呈し、果實より超出す。果實は蒴なり。〔花色〕淡碧色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

1361. むしくさ（29 圖版–273）…… ゴマノハグサ科
Veronica peregrina, *L.*

〔形態〕田圃に自生多き一年生草本にして全株無毛種に屬し、莖は高さ 10–15 糎（3–5 寸）に達し、分枝性を有す。葉は倒披針形・鈍頭をなし、基脚狹く、疎に鋸齒緣をなすか、或は全緣をなす。この葉の上葉は無柄にして、下葉は短柄を有し、何れも對生す。花は疎穗狀花序をなし、萼片は線形にして、稍鈍頭をなし、蒴は萼の半ばより長きものなり。〔花色〕碧色或は稍白色。〔花候〕3–4 月。〔分布〕本州中部及南部・九州・朝鮮。

1362. きくばとらのを（29 圖版–274）…… ゴマノハグサ科
Veronica grandis, *Fisch.*

〔形態〕園地に培養せらるる多年生草本なり。本種の莖は短毛を有し、葉は葉柄によりて對生し、葉身は長橢圓形をなし、基脚心臟形或は圓き楔形をなし、邊緣は粗に缺刻狀齒牙緣をなすか、或は羽狀をなし、各羽片は卵狀長橢圓形を呈す。花は細長なる總狀花序をなして着生し、小梗は萼片より稍長きものなり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕6–7 月。〔分布〕朝鮮・滿洲。

143 トラノヲノキ

144 ザルジニア・セラギノイデス

1363. トラノヲノキ…… ゴマノハグサ科
Veronica speciosa, R. Cann.

〔形態〕外來の品種に屬する灌木狀をなす常綠の草本にして、莖は高さ 1–1.5 米（4–5 尺）に達し、莖葉共に平滑なり。葉は稍無柄にして對生し、葉身は倒卵形或は倒卵狀長橢圓形圓頭をなし全緣なり。花は總狀花序をなして腋出し、多數の美花を密生す。この花は徑 0.8 糎（2.5 分）許を有し、蒴は萼の倍長なり。〔花色〕紫紅色或は青紫色。〔花候〕栽培法により不同。〔原産地〕新西蘭。

人生との關係 本邦にては專ら觀賞用として温室又は庭園に栽培す。

39. ザルジニア屬 ZALWZIANSKIA.

1364. ザルジニア セラギノイデス…… ゴマノハグサ科
Zalniansia selaginoides, Walp.

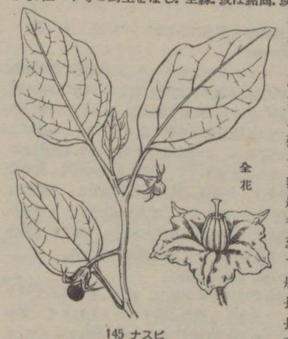
〔形態〕原産地地方には自生品を見ることある一年生草本なり。莖は高さ僅々 10 糎（3–4 寸）許に達し、初めは稍匍匐すれども後直立し、葉は長卵圓形にして、稍鋭形をなし、先端に 2–3 の鈍鋸齒緣を有し、互生す。花は枝梢の頂端に短穗狀花序をなして着生し、花冠は不整齊に 5 深裂し、各裂片は先端凹頭をなす。〔花色〕初め白色或は淡紫色を呈すれども、後に青紫色に變ずるものなり。〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

人生との關係 本邦にては專ら園地に培養し觀賞に供するものなり。又温室或は温床に栽培することあり。

*　　*　　*

10. な　す（茄）科 SOLANACEÆ.

本科の植物は草本、灌木、或は攀緣性灌木又は小喬木なり。葉は互生なれども、往々不等の對生をなし、全緣、或は鋸齒、或は淺裂し、又は缺刻を有し、托葉を有せず。花は雌雄兩全にして、整齊、又は略整齊をなし、揃簇して頂生又は腋生の聚繖花序をなすか、或は單生することあり。萼片は下位にして、5 至乃3–7 裂し、宿存性にして、往々肥大することあり。花冠は合瓣にして、輻狀、鐘狀、漏斗狀、高盆狀、又は管狀をなし、普通その上端は 5 裂す。雄蕊は花冠の裂片と同數にして、これを互生し、且その筒狀部に着生し、いづれも同長、且完全をなすか、或は 2 長、2 短をなす 4 箇と、他に發育不完全のもの 1 箇とを合せ、5 箇を有するものあり。葯は 2 胞をなし、卵形或は長橢圓形にして、その頂端に細孔を有するか、或は縱線によりて裂開す。花盤は有するものと、有せざるものとあり。子房は完全にして上位をなし、2 室又は不完全に 1 室又は 4 室をなし、稀には 3–5 室をなす。卵子（胚珠）は 1 乃至多數ありて、倒生又は半倒生なり。花柱は通常單一にして細長く、柱頭は頂生にして全緣なるか、或は 2 裂す。果實は漿果又は蒴にして、概ね 2 室をなし、內に多數の種子を藏す。種子は壓扁せられ、盤狀又は稍腎臟形をなし、種皮は時に粗糙なることあり。胚は眞直、螺旋狀、又は彎曲し、胚乳の中に埋存す。


145 ナスビ

本科の植物は凡そ 82 屬、1700 種を有し、その中本邦に產するものは、自生品及栽培品を合し、大凡 21 屬、80 種を含有す。

本科の植物中には有用なるもの頗多く、或は食用となり、或は藥用となり又觀賞に供するものあり。

本科所載植物索引目次

アキス……1389
アツホホヅキ……1410
アカイモ……1430
アカカザ……1412
アカナス……1429
アカバナテウセンアサガホ……1392
アツブル……1430
アツブルイモ……1430
アマダマシ……1406
アマモドキ……1406
アメリカテウセンアサガホ……1394
アメリカホホヅキ……1415
イガナスビ……1389
イガホホヅキ……1408
イヌホホヅキ……1433
ウシホホヅキ……1433
ウヅタウガラシ……1379
エドイモ……1430
エノミタウガラシ……1383
オホナス……1389
オニルクサ……1422
オホセンナリ……1400
オホタバコ……1402
オホバナマウリンクワ……1370
オメキグサ……1422
オランダイモ……1430
カウライゴセリ……1372
カガチ……1412
カシハバテウセンアサガホ……1395
カウシウイモ……1430
キアサガホ……1389
キダチタウガラシ……1385
キチガヒナスビ……1389
キチヤグ……1385
キバサウ……1389
キミノヒヨドリジョウゴ……1425
キンカイモ……1430
キンギンナスビ……1408
クコ……1398
イデイモ……1430
クロタウガラシ……1379
クロホホヅキ……1433
ゲクソコロシ……1389
ケテウセンアサガホ……1393
サガリヤツブサ……1375
サキアトアカナス……1419
サルメンバナ……1420
サンゴジュナスビ……1420
シシタウガラシ……1377
シマタウガラシ……1385
シマホホヅキ……1419
ジヤガイモ……1430
ジヤガタライモ……1430
シュクコンバコ……1405
ショクヨウホホヅキ……1416
シロバナヤウシュテウセンアサガホ……1391
ストレアトカープス ジエームソニー……1423
セイヤウテウセンアサガホ……1390
セイヤウマンダラゲ……1390
ゼンカウジイモ……1430
センナリホホヅキ……1417
ソラミタウガラシ……1372
タウアサガホ……1389
タウガキ……1420
タウガラシ……1372
タウナスビ……1389
タカヲホホヅキ……1411
タカノツメ……1382
タカノツメ……1372
タバコ……1401
タマゴナスビ……1424
タンバホホヅキ……1413
ヂジヤウマモリ……1375
チヤメラサウ……1389
ツクバネアサガホ……1407
ツクバネウチヒ……1407
テウセンアサガホ……1389
テウセンイモ……1430
テウセンタバコ……1389
テフテフグサ……1421
テンジクナスビ……1359
テンジヤウマモリ……1374
テンヂクマモリ……1373
トマト……1429
ナガバタバコ……1403
ナガミノタウガラシ……1393
ナ　ス……1423
ナスビ……1423
ナンバンアサガホ……1389
ヌカヅキ……1412
ネバリルリマガリバナ……1368
ハナヲリヒモ……1381
ハレリドコロ……1422
ハダカホホヅキ……1440
ハツシヨウイモ……1430
ハマクコ……1399
バラモンサウ……1389
ハリナシテウセンアサガホ……1396
ハリナスビ……1389
ハリナスビ……1427
バンソケイ……1360
バンマヲリ……1369
ヒメセンナリホホヅキ……1418
ヒメタウガラシ……1384
ヒヨス……1397
ヒヨドリジヨウゴ……1434
ヒラナス……1425
ブダウホホヅキ……1419
フヂタウガラシ……1372
フユサンゴ……1426
ペチユニア……1407
ベニバナチチヤウジ……1357
ベラドンナ……1395
ホシタウガラシ……1383
ホソバノホロシ……1436
ホホヅキ……1412
ホロシツヅラコ……1434
マガリバナ……1367
マルバタバコ……1404
マルバノヒヨドリジョウゴ……1425
ウゴ……1437
マルバノホロシ……1437
マルバハダカホホヅキ……1441
ムラサキタウガラシ……1379
ムラサキテウセンアサガホ……1390
ムレゴテフ……1421
メジロホホヅキ……1438
ヤウシュテウセンアサガホ……1390
ヤウラクホホヅキ……1414
ヤクソウクリ……1388
ヤツブサ……1374
ヤブホホヅキ……1433
ヤマナスビ……1389
ヤマホホヅキ……1429

ケホホヅキ……1419　ニチニチアサガホ……1407　ヤマホホヅキ……1440
ゴシヨイモ……1430　ニックヮタウガラシ…1380　ヤマホロシ……1436
コタウガラシ……1376　ニホヒバンマツリ……1371　ルリマガリバナ……1366

1. ベラドンナ屬　ATROPA.

1365. **ベラドンナ**　別刺救那（30圖版-275）……ナ　ス　科
Atropa belladonna, L.

（異名）オホハシリドコロ・セイヤウハシリドコロ　〔形態〕藥用植物として諸國に栽培せらるゝ多年生草本なり。莖は直立し、下部には枝を生せざれども、上部にては肉叉狀に分枝し、軟毛を疎生し、高さ2米（6尺）內外に達するものあり。葉は互生し、卵形にして葉先銳尖頭をなし、全緣にして基部は鈍形をなし、短き葉柄を具ふ。この葉は表面平滑、裏面は葉脈上に毛茸を有す。又托葉狀をなせる小さき葉ありて、大葉の基部に着く。夏日葉腋及枝の傍に各1花づゝを着生す。花冠は鐘狀にして5淺裂し、各裂片は短形にして幅廣く、長さ24粍（8分）許を有す。雄蕊は蕊だ短く、下部は花冠の基部に附着す。果實は漿果にして星狀の萼片上に位し、熟すれば黑色を呈し光澤を有す。〔花色〕帶綠褐色にして、上緣紫褐色を呈す。

〔花候〕夏。〔原産地〕歐洲南部及中央亞細亞。

人生との關係　本植物の葉を帶花の季に採集し、乾燥したるものをベラドンナ葉と稱し藥用に供す。又其根をも藥用に供することあれども、日本葉局方には葉のみを揭げらる。本品は20粍（7-8分）許の朔圓形にして、上面帶綠褐色、下面帶灰綠色を呈し毛茸を有せず。主成分はアトロピン（Atropin）及ヒヨスチアミン（Hyoscyamin）にして、全量の0·2-0·6％に達し、又少量のベラドニン（Belladonnin）を含有す。本品は鎭痙及鎭痛藥として1日1-2回0·05瓦を用ひ、又喘息煙草の原料に供せらる。（神谷）

2. ルリマガリバナ屬　BROWALLIA.

1366. **ルリマガリバナ**（30圖版-276）……ナ　ス　科
Browallia demissa, *L.*（B. americana, *L.*）

〔形態〕園地に培養せらるゝ外來の一年生草本なり。莖は高さ30-60粍（1-2尺）許に達し、全株無毛種に屬す。葉は有柄にして互生し、廣卵形銳尖頭をなし、基脚斜形を呈す。花は不整齊なる花冠を有し、葉腋上に單生或は總狀花序をなして着生す。萼は筒狀鐘形をなし、毛茸をなし、先端5裂し、各裂片は披針形をなす。雄蕊は筒ありて、2强をなし、雌は膜質にして2裂する穀より成る。〔花色〕紫碧色。〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

人生との關係　切花及花壇用として栽培觀賞に供するものにして、花色は餘りに美しきものにはあらざれども、又捨て難き風情を有するものなり。變種に白色花を有するものあり。繁殖は實生により、一般に秋播とし、冬季は「フレーム」內に育成す。下記2種は何れも本種と同樣に取扱ふものなり。

1367. **マガリナデシコ**……ナ　ス　科
Browallia grandiflora, R. Grah.

〔形態〕前種に酷似せる一年生草本なり。同じく全株無毛種に屬し、葉は卵形をなし、下部に生ずるものは柄を有し、莖生葉は柄を有せず。花は疎總狀花序をなし着生す。本種の萼は前種の如く毛茸を有せず。本種の花冠の有する紘部は前種よりは稍大形なるものなり。〔花色〕白色或は淡碧色。

〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

1368. **ネバリルリマガリバナ**……ナ　ス　科
Browallia viscosa, H. B. et K.

〔形態〕本種は前2種に反し、全株に粘毛を有す。葉は短柄を有し、花は腋出或は單生し、總狀花序をなす。小梗は萼より短く、萼裂片は長橢圓形をなし花筒より短きものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

3. バンマツリ屬　BRUNFELSIA.

1369. **バンマツリ**（30圖版-277）……ナ　ス　科
Brunfelsia Hopeana, Benth.

（異名）バンソケイ　〔形態〕園地に栽植せらるゝ外來の常綠小灌木なり。葉は短柄を有し、稍革質をなし、葉身は長橢圓形或は倒卵形にして、銳尖頭をなすか、或は鈍頭をなす。花は枝上枝端に頂生し、萼は鐘形をなし、先端5齒緣をなし、花冠は漏斗狀にして、筒狀は狹長、紘部は稍擴大し鏃狀をなす。この花冠は先端5裂す。雄蕊は4筒を有し、2强をなし花筒に着生す。雌は革質をなす。〔花色〕花冠の緣部は青紫色、紘部は紫色、喉部は黃色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕伯耳義。

146 オホバナマウリンクワ　147 ニホヒバンマツリ

1370. **オホバナマウリンクヮ**……ナ　ス　科
Brunfelsia calycina, Benth.

〔形態〕本邦には專ら觀賞として栽培せらるゝ常綠の小灌木なり。莖は多くの枝を分ち、葉は廣披針形にして互生し、莖の上方に至りて數葉を簇生す。花は枝梢の葉腋上に單生し、花冠は大形の高盆狀にして、筒部は平開し、上方は5分裂す。雄蕊は5箇ありて花筒の基部に着生す。〔花色〕帶紫色。

〔花候〕初夏。〔原産地〕熱帶亞米利加。

人生との關係　園地或は鉢に栽培し、觀賞に供するものなれども、頗る寒氣を恐るゝものなれば、冬季は溫室に入れて保護するの必要あり。

1371. **ニホヒバンマツリ**……ナ　ス　科
Blunfelsia latifolia, Benth.

〔形態〕前種バンマツリに酷似せる灌木なれども、本種は葉の裏面に多くの毛茸を有し、その形狀は長橢圓形を呈すれども、本種は橢圓形をなし、且枝條を橫出する等彼と異るところとす。花は頂出、或は腋出し、數花を着生し、花徑3糎（1寸）許を有し、最初は堇花色を呈すれども1日を經れば白色に變じ、高き香氣を發するに至る。これ本和名を附したる所謂なり。

〔原産地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培するものにして、繁殖は挿木によるものとす。

4. タウガラシ屬　CAPSICUM.

1372. **タウガラシ**　番椒·唐椒·唐辛（30圖版-278）ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *acuminatum*, Fingerh.

（異名）ソラミタウガラシ·フデタウガラシ·タカノツメ·カウライゴセリ　〔形態〕畑地に栽培する一年生草本にして全株無毛種に屬す。莖は高さ45-75糎（1·5-2·5尺）許に達し、多くの小枝を分ち、又多くの葉を着生す。この葉は卵形銳尖頭をなし、基脚狹く、全緣にして、長き葉柄によりて對生す。花は細梗によりし單生或は双生す。この細梗は上端漸く膨大す。萼は廣鐘形5齒緣をなし、花冠は徑13-18粍（4-6分）を有し、幅形をなし、先端5裂し、各裂片は長橢圓形をなす。雄蕊は5箇ありて花冠の基脚に着生す。果實は漿果をなし、基脚は宿存萼によりて包まれ、果形は細長にして長く、熟すれば赤色或は黃色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶地方。

人生との關係　果實を辛味料とし、葉は煮食する他、古來藥用に供するは人の知るところなり。殊に朝鮮人、支那人の最も嗜好するものにして、朝鮮人のこれを嗜好することは、遙に支那人に過ぎたり。大抵の食物にはこれを加味せざることなく、就中漬物の中には眞赤になる程これを投入す。唐辛粉は、朝鮮人はこれを苦草末と呼び、支那人は辣椒麵と呼ぶ。又苦草醬と稱し、大麥と米又は黍を水に浸したるものを臼にて搗き、これを蒸して冷却せしめたる後、苦草末と鹽とを混じ粥狀となし、1-2ケ月を經過せしめたるもの、いはゆる唐辛子味噌を作り、これを調味料となし、或はそのまゝ食用に供するものあり。

藥用としての蕃椒は、日本藥局方の指定によれば苛辣性健胃劑とし、又皮膚を引赤し、局處の血液の循環を促す目的をもて、軟膏に和し、凍傷リウマチス等に塗擦藥とす。又蕃椒丁幾及複方クロロフォルムモルヒネ丁幾を作るに使用すとあり。

民間にては凍傷に蕃椒實を刻み、水にて煎出し局部に塗布す。

蕃椒の栽培及加工法　土質は何れにてもよく生長をとぐるものなれど唯發芽及生育期に高溫を要するものなるを承知すべし。2月中旬より3月上旬に茄子の苗床、或は同樣の設備をなせる苗床に播種し、本葉1-2枚いでたる時假植を行ひ、5月上旬頃より畦幅45糎（1·5尺）より60糎（2尺）、株間24糎（8寸）乃至30糎（1尺）位の間隔により本圃に定植す。肥料は蕃茄と略々同樣に取扱ひ、尙ほ乾燥を防止せしむる爲め根際に敷藁を行ふを可とす。普通7月より9月頃にかけ採收するものなれとも、蔬菜用としては果付のまゝ採收することあり。

調理及加工法　果實は香味料となし、葉は煮て食する外、古來蔬菜用に供せらるゝはよく人の知るところなり。以下調理法2-3を揭ぐ。

（イ）**七味タウガラシ**　チンピ（蜜柑の皮）、胡麻、罌粟子、麻の實、胡椒、椒（サンセウ）等6種に配合し七味蕃椒と稱し諸種の食物の加味料に供すなり。

（ロ）**タウガラシの日光漬**　赤熟せしものと紫蘇の葉を共に細く刻みたるものを紫蘇の葉に卷き込み少しく食鹽を撒布し壓石を置き20日許にて水を去り日光に晒し後壺に貯藏す。

（ハ）**タウガラシの紫蘇漬**　熟せる蕃椒の兩端を切り種子を捨て鹽漬となし更に完全にして水氣なき紫蘇の葉10枚位づゝ葉と葉の間に少しの食鹽を加へ積み重ね梅酢に漬け置き其の漬かりたる頃前の蕃椒を1つづゝ卷き包みて壺に入れ密封し貯ふるなり。

（ニ）**タウガラシの田樂**　青蕃椒の兩端を切り紫蘇の葉の上に砂糖を交せ適宜に味を付けたる味噌をのべたるものにて卷き串にさし胡麻油をつけ炙り作るなり。

（ホ）**タウガラシの醃漬**　蕃椒の兩端を切りて種子を去り適宜に輪切となし鹽漬にす。適當の時機に壺に入れ麴を味醂にて解きたるものに漬け置けば極めて美味なり。

〔形態〕同じく畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。本種はその葉大形にして往々革質を呈し、深き溝を有する葉柄を有す。花梗は長さ約24粍（8分）許を有し、花冠は徑20-30粍（7-1·0寸）許あり。漿果は大形の橢圓形にして鈍頭をなし、底部凹み、3-4深裂し、溝を有するか、或は皺縮し、その狀奇形を呈し、初めは綠色を呈すれども、後に紅熟す。〔花色〕白色。

〔花候〕夏。（栽培種）

1378. **ナガミノタウガラシ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. *longum*, Sendt.

〔形態〕同じく畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。本種の葉も亦大形にして長さ屢ば10糎（3寸）內外に達するものあり。花冠は徑20-30粍（7-1·0寸）許を有し、萼は通常杯形或は漏斗形をなし、稀には果脚を包む。漿果は細長にして時には30糎（1尺）以上に及ぶものあり。この果は其長さ時に4·5糎（1·5寸）に達するものあり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1379. **ムラサキタウガラシ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *longum*, Sendt. forma. *bicolor*, Makino.

（異名）クロタウガラシ·ウヅタウガラシ　〔形態〕同じく畑地に栽培せらるゝ一年生草本にして、前種の一栽培品種とす。本種の花冠は稍紫色を帶び、果實は長橢圓狀線形をなし、初めは稍黑色を呈すれども、成熟すれば澄赤色を呈するものなり。〔花候〕夏。（栽培種）

1380. **ニックヮタウガラシ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var *longum*, Sendt. forma. *incrassatum*, (*Fing.*) (*C. longum* var. *incrassatum*, *Fing.*)

148 テンジクマモリ　149 シシタウガラシ　150 ムラサキタウガラシ　151 タカノツメ

〔形態〕同じく畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。本種の葉も亦大形にして長さ屢ば10糎（3寸）內外に達するものあり。花冠は徑20-30粍（7-1·0寸）許を有し、萼は通常杯形或は漏斗形をなし、稀には果脚を包む。漿果は細長にして時には30糎（1尺）以上に及ぶものあり。この果は其長さ時に4·5糎（1·5寸）に達するものあり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1373. **テンヂクマモリ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *fasciculatum*, Irish.

〔形態〕前種と同樣畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。本種の特徵はその葉が枝端に簇生し、果實は直生し、同じく枝端に簇生するものなり。本種の果實は75粍（2·5寸）許を有し、宿存萼は果脚を包む。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1374. **テンジャウマモリ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *faciculatum*, Irish. forma. *erecta*, Makino.

（異名）テンヂクマモリ·ヤツブサ　〔形態〕前種の一栽培品種に屬するものにして、樣形彼に酷似し、果實は直生なれども、餘りに簇生せざるものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1375. **デジャウマモリ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *fasciculatum*, Irush. forma. *pendulum*, Makino.

（異名）サガリマツブサ　〔形態〕本種も亦テンジクマモリの一栽培品種に屬し、果實の點頭するものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1376. **コタウガラシ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *abbreviatum*, Fingerh.

〔形態〕前種等と同樣畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。本種の葉は廣卵形をなし、花梗は疎長にして眞直なるか、或は彎曲し、果實と同長なるか、或は更に長く、漿果は圓錐形、卵形、或は橢圓形をなし、皺縮し、宿存萼は果脚を包まざるものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1377. **シシタウガラシ**　獅子蕃椒……ナ　ス　科
Capsicum annnnm, L. var. *grossum*, Sendt.

〔形態〕本種の果實は細長にして下垂し、赤熟するものなり。〔花色〕夏·秋。（栽培種）

1381. **ハオリノヒモ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *longum*, Sendt. forma. *ceratoides*, (*Fing.*) (*C. longum* var. *ceratoides*, *Fing.*)

〔形態〕本種の果實は前種のものに比し遙かに細長なるものなり。（栽培種）

1382. **タカノツメ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *parvo-acuminatum*, Makino.

〔形態〕最も辛味强く、好んで各地に栽培せらるゝ品種とす。莖は多くの小枝を分ち、果實は小形にして直生し、圓柱狀線形を呈し、長さ30糎（1寸）許に達し、赤熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1383. **ホシタウガラシ**……ナ　ス　科
Capsicum annuum, L. var. *cerasiforme*, Irish.

（異名）エノミタウガラシ　〔形態〕畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。本種の葉は卵形或は長橢圓狀銳尖頭をなし、花冠は徑20-30粍（0·7-1·2寸）許を有し、漿果は球形をなし、先端尖り、果面平滑を普通とすれども、稀には皺縮或は溝を有するものあり。宿存萼は果脚に座す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1384. **ヒメタウガラシ**……ナ　ス　科
Capsicum minimum, Roxb.

〔形態〕莖は高さ60糎（2尺）許に達し、枝條は叢生し、葉は廣卵形或は披針形をなし、先端及基脚銳尖形にして、邊緣に毛尖狀の細鋸齒を有す。花梗は双生し、小梗は2-3花を簇生す。萼片は堅形をなし、漿果は眞直にして長さ30粍（1·2分）許を有し、赤色に成熟す。宿存萼は稍圓柱形、截頭なり。

〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽培種）

1385. **キダチタウガラシ** ……ナス科
Capsicum frutescens, L.

（異名）シマタウガラシ　〔形態〕畑地に栽培せらるゝ亞灌木にして，高さ 70 糎（2-5-6 寸）に達す。莖は疎に分枝し，葉は廣卵形にして，先端尖る。花は單生或は双生し，花梗は稍長にして通常果實より長く，漿果は卵形，鈍頭なるか，或は長橢圓形，鋭尖頭をなし，赤熟し，毬は杯形にして，果脚を包む。〔花色〕白色或は綠白色を呈し，屢ば花喉に緋色の斑點を有することあり。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶地方。

5. キチャウジ屬　CESTRUM.

1386. **キチャウジ**（30 圖版-279）……ナス科
Cestrum aurantiacum, Lindl.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ外來の灌木なり。全株無毛種に屬す。葉は柄を有し，廣橢圓形乃至卵形をなし，先端尖り，波狀緣をなす。花は穗狀花序をなして疎に着生す。本花は無梗にして，萼は鉢形をなし先端 5 裂し，各裂片は鑿形をなす。花冠は盆形をなし，花筒は長さ 18 粍（6 分）許を有し，花喉は稍擴大し，先端 5 裂し，各裂片は卵形をなす。雄蕊は 5 箇ありて花筒に着生す。果實は漿果なり。〔花色〕橙色。〔花候〕夏。〔分布〕南亞米利加。

1387. **ベニバナキチャウジ**（30 圖版-280）……ナス科
Cestrum elegans, L.

〔形態〕園地に培養せらるゝ半藤本性の灌木にして，枝梢には細毛を有す葉は卵形又は披針形をなし，先端尖り，全緣にして下面に毛茸を生じ，短柄によりて互生す。花は枝端に集合して着生し，斜に下向す。花冠は上部放大せる筒狀をなし，先端 5 裂し，花筒中に 5 雄蕊を藏す。

人生との關係　本植物は通常温室に栽培せられ，花は永く繙續して次より次を開花するものなり。

1388. **ヤクゥウクゥ**……ナス科
Cestrum nocturum, L.

（異名）ヤクワゥボク　〔形態〕園地に栽植せらるゝ灌木なり。枝條は稍長にして膨木狀をなす。葉は質薄く，卵形或は橢圓形をなし，先端は長き鋭尖をなす。花は梢上葉腋上に着生し，夜間に開花し芳香を放つ。花冠は先端 5 裂し，各裂片は卵形にして鈍頭をなす。果實は漿果にして廣長橢圓形をなす。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

6. テウセンアサガホ屬　DATURA.

1389. **テウセンアサガホ** 曼陀羅華 ……ナス科
Datura alba, Nees.　（30 圖版-281）

（異名）きちがひなすび（上總・硯）・ナンバンアサガホ・タウアサガホ・タウナスビ（伊豫）・ハリナスビ・ヤマナスビ・テンヂクナスビ・イガナスビ（周防）・キアサガホ（下總）・オニナス（上總）・キバサウ（豐前）・ダクッコロシ（讃岐）・テウセンタバコ（遠江）・チャメラサウ（東京）・バラモンサウ・アキス（備後）　〔形態〕臺灣，琉球等には自生するものなれども，本州にも時として野生品を見る一年生草本なり。莖は高さ 1 米（3 尺）内外に達し，淡綠色を呈す。葉は柄を有し，卵形にして波狀緣をなし，鋭尖頭を有す。花は短梗を有し，頂生或は側出す。萼は長筒形をなし，長さ 45 粍（1-5 寸）許にして，先端 5 裂し，花冠は漏斗狀をなし，長さ約 12 糎（4 寸）許，紘部は徑 9 糎（3 寸）許に達し，先端 5 裂し，各裂片は鋭尖頭をなし，雄蕊は閉在す。蒴は徑 24 粍（8 分）球形をなし，短刺を疎生し，内に多數の種子を藏す。この種子は白色にして稍扁平なり。〔花色〕純白色。〔花候〕夏秋。〔原産地〕支那南部・印度。

人生との關係　本植物の種子には酷烈なる麻醉性の毒素を含有し，誤りてこれを食すれば發狂悶乱をなす。故にキチガヒナスビの名あり。醫家はこれを用ひて，鎮痙，止痛，催睡の藥とす。葉及花にも亦毒分を有す。又種子を俗に唐胡麻又西洋胡麻と稱し，誤りて蔬菜に調和食用し，中毒症を起し狂乱することあり。（神谷）

1390. **ヤウシュテウセンアサガホ**……ナス科
Datura Tatula, L.　（30 圖版-282）

（異名）セイヤウテウセンアサガホ・セイヤウマンダラゲ・ムラサキテウセンアサガホ　〔形態〕各地に歸化自生する一年生草本なり。樞形前種テウセンアサガホに類似するも，本種の莖は紫色を帶び，葉は卵形にして，波狀の齒牙緣を具へ，蒴果は卵形にして長き刺毛を密生し，種子は黒色を呈する等彼と區別すること容易なり。〔花色〕前種は純白色なれども本種は淡紫色なり。〔花候〕夏。〔分布〕熱帶亞米利加。

人生との關係　前種と同樣種子に猛毒素を含有するものなれども亦藥用に供せらる即前種と共に其葉を花季に採集乾燥したるものを曼陀羅華葉と稱す。本品は卵圓形にして長さ 20 糎（7 寸）に達し，邊緣に鐔鋸齒を有し，先端尖り，基脚楔をなす。葉面は毛茸なく，葉柄は長さ 2 糎（7 分）内外とす。福島縣下を主産地とす。

1391. **シロバナヤウシュテウセンアサガホ** ……ナス科
Datura Stramonium, L.

〔形態〕前種ヤウシュテウセンアサガホに比するに，花は白色を呈し，萼の下部に有する刺は，他の部に生ずるものよりは短きを特徴とす。
〔原産地〕熱帶地方。

1392. **アカバナテウセンアサガホ**……ナス科
Datura sanguinea, Ruiz et Pav.　（30 圖版-283）

〔形態〕前種と同樣庭園に培養せらるゝものにして，本種は前種等と異り灌木なり。莖は高さ 60 糎（2 尺）乃至 4 米（13 尺）許にも達し，葉は長柄を有し 5-7 葉位宛簇生し，葉身は卵狀披針形をなし先端尖り，長さ 18 糎（6 寸）内外を有し，兩面に毛茸を生ず。花は花梗によりて頂生し，萼は卵形にして 5 稜を有し，膨大す。〔花色〕橙黄色。〔花候〕夏。〔原産地〕南米秘露。

1393. **ケテウセンアサガホ**（30 圖版-284）……ナス科
Datura Metel, L.

〔形態〕本邦に於ては園地に培養せらるゝ一年生草本なり。莖葉共に細毛を密生し，莖は高さ 1 米（3-4 尺）に達し，全面に紫色を帶ぶ。葉は不齊の卵形をなし，全緣なるか，或は波狀の齒牙緣をなす。花は短梗によりて腋出し，萼の筒部稍膨大し，先端 5 裂し，各裂片は不齊の鑿形をなす。花冠は萼の倍或はより以上長く，10 齒牙緣をなす。蒴は球形をなし隆起滿布す。この隆起は軟質の短刺に終る。果實は點頭し，宿存萼の一部を伴ふ。
〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔原産地〕熱帶亞米利加。

1394. **アメリカテウセンアサガホ**……ナス科
Datura meeteloides, DC.

〔形態〕同じく園地に栽培せらるゝ多年生草本なり。本種は全株に白粉を被ひ，短毛を密布するを特徴とす。枝梢は稍長にして 2 岐す。葉は卵形をなし，葉柄は基脚肥大し，蒴は液質をなし，刺は短形にして同長なり。
〔花色〕白色にして少しく紫色を帶ぶ。〔花候〕春-夏。〔原産地〕北亞米利加。

1395. **カシハバテウセンアサガホ**……ナス科
Datura quercifolia, H. B. et K.

〔形態〕本種はヤウシュテウセンアサガホに酷似するものにして，彼と異る要點は蒴の有する刺が不同且つ扁平なるを特徴とす。〔原産地〕墨西哥。

1396. **ハリナシテウセンアサガホ**……ナス科
Datura inermis, Jaq.

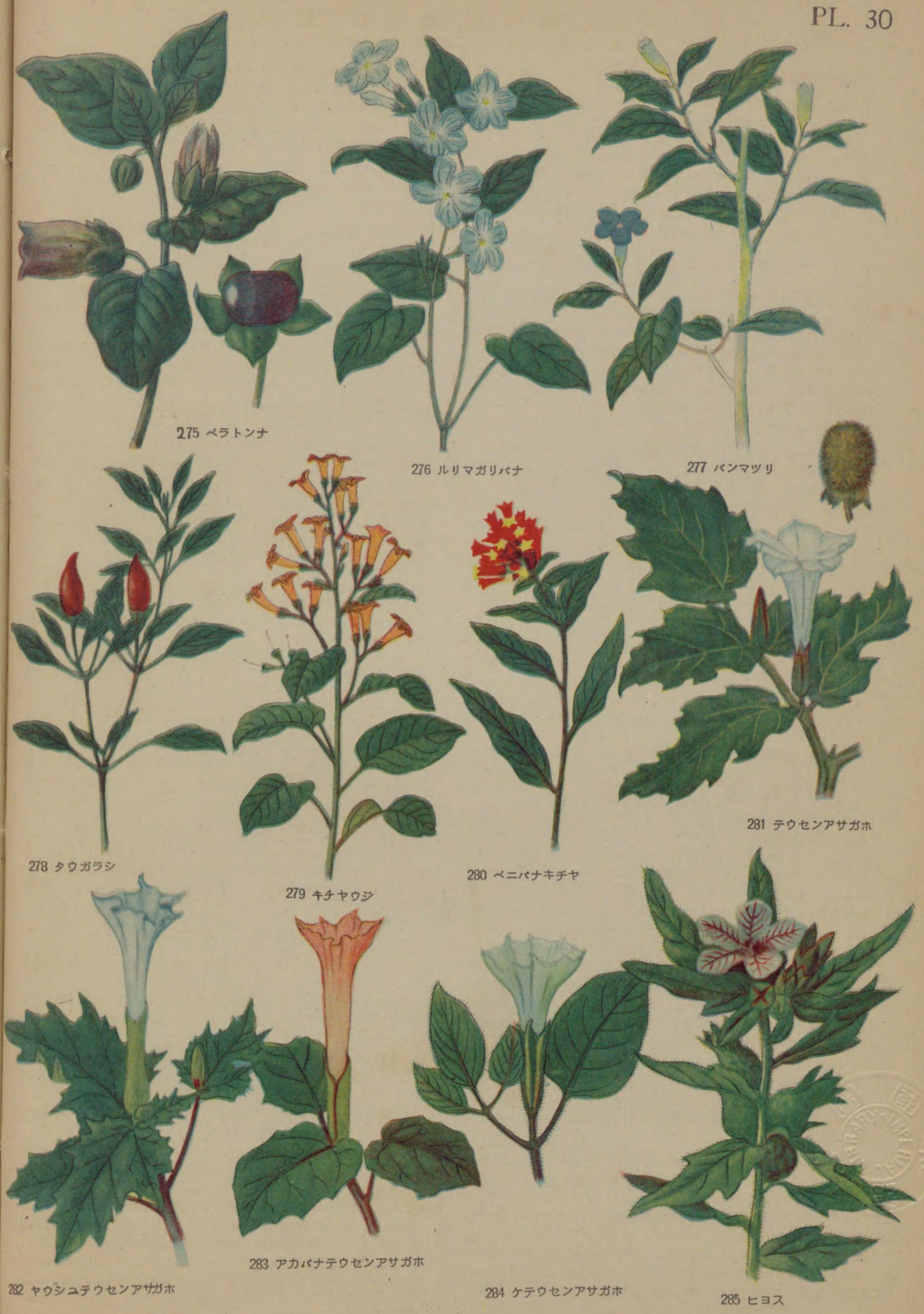
（異名）トゲナシマンダラゲ・トゲナシテウセンアサガホ　〔形態〕本種は全株に無毛なるか，稍短毛を有し，花は白色，蒴は刺毛を有せざるものなれば，容易に他と區別し得べし。〔原産地〕亞弗利加。

7. ヒヨス屬　HYOSCYAMUS.

1397. **ヒヨス** 非沃斯（30 圖版-285）……ナス科
Hyoscyamus niger, L.

〔形態〕藥用植物として本邦各地に栽植せらるゝ二年生草本なり。全株に軟毛を布き，莖は直立し，高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は卵形或は長橢圓形にして，下部に生ずるものは大形にして葉柄を有し，莖生葉は無柄にして長さ 15-20 糎（5-7 寸）許の卵形にして缺刻深く，且つ鋭鋸齒を有す。夏日莖の上端に 2 花宛着生す。萼は 5 裂し，花冠は直徑 20-30 糎（0-8-1 尺）許を有し，漏斗狀を呈し，先端 5 淺裂し，各裂片は廣く，略々同大，同形なり。雄蕊は 5 筒を有し，花筒の基部に着生し，子房は 1 室，果實は圓形の蒴果にして成熟すれば，その上部横方に裂開し，中に多數の微細なる種子を藏す。種子は腎臟形をなし，外面に細點を有す。〔花色〕基脚紫色，紘部淺綠色を呈し，紫脈を有す。〔花候〕7-8 月。〔原産地〕歐羅巴・亞弗利加の北部・西比利亞・印度。

人生との關係　本植物の葉を採集乾燥したるものを「ヒヨス葉」（Folium Hyoscyami）と稱し藥用に供す。本葉は長橢圓形にして羽狀に中裂し，長さ 15-25 糎（5-8 寸），幅 10-15 糎（3-5 寸）に至り，全面に毛茸及腺毛を被る。生葉としては大阪府三島郡に産す。本品は日本藥局方にも指定せられたるものにして，局方にてはヒヨス越幾斯を製し鎮咳及鎮痛藥に應用せらる。
本品の主成分は「ヒヨスチアミン」（Hyoscyamin）にして少量の「アトロピ



275 ベラトンナ
276 ルリマガリバナ
277 バンマツリ
278 タウガラシ
279 キチャウジ
280 ベニバナキチヤ
281 テウセンアサガホ
282 ヤウシュテウセンアサガホ
283 アカバナテウセンアサガホ
284 ケテウセンアサガホ
285 ヒヨス

ン」(Atropin) を含有す。又著量の硝石 KNO_3 を含有す。

種子は總「アルカロイド」約0·4％を含有し、主として「ヒヨスチミアン」より成る。又脂肪油約25％を含有し、主として「パルミチン」「ステアリン」等なり。

曼陀羅華は日本藥局方によれば喘息煙草を製するに使用せられ、種子は「ヒヨスチミアン」若くは「アトロピン」の製造原料に適するものとす。(神谷)

8. クコ屬 LYCIUM.

1398. **くこ** 枸杞 (31圖版-286)……ナス科
Lycium chinensis, *Mill.*

〔形態〕山野に自生する落葉灌木なり。幹は柔軟にして直立せず、常に纖長なる蔓様をなし、長大なるものは巨幹をなし、高さ3米(10尺)餘に達するものあり。この幹は針を有す。葉は互生或は3葉を叢生することあり。この葉は柔軟にして、淺綠色を呈し、卵形又は長橢圓形、銳尖頭をなし、基部は漸く狹し、花冠は先端5裂し、筒狀部は裂片より短く、內に5雄蕊、1雌蕊を藏し、何れも花冠外に挺出す。子房は2室をなし、果實は秋末成熟し、その形タウガラシの如く、紅色を呈し、下垂す。〔花色〕紫色或は淡紫色。〔花綻〕夏。〔分布〕本州各地・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・支那。

人生との關係 本植物は人家に植ゑて籬とし、果實及根を藥劑に供する他、嫩葉を菜とし食用に供す。又葉を飯に雜ぜて炊き枸杞飯と稱し食す。或はこの葉を陰干にし貯藏食用に供す。

枸杞の根を取り、その根皮を剝離し乾燥せるものを地骨皮と稱し、漢醫法にては之れを重用す。本品は管狀又は半管狀をなし、長さ約5糎(1·5寸)、太さ約1糎(3分)許。外面は汚黃色又は黃褐色を呈すれども、內面は淡褐色を呈し、質は粗鬆にして輕鬆なり。破折面は平坦ならず。本品は緩和の香氣を有し、味は微に甘く、後苦きものなり。

漢方によれば地骨皮及枸杞葉は共に解熱の効ありとし、枸杞子は枸杞酒を製し、强壯劑とし、虛弱者に用ひらる。枸杞酒は枸杞子の生のもの5升を搗碎し、絹袋に入れ、之れを酒2斗を入れたる瓶の中に2週間位密封し、冷浸せしめ製するものなり。

1399 ハマクコ ……ナス科
Lycium griseolum, Koidz.

〔形態〕暖地の海岸砂地等に自生する落葉の灌木なり。莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し、葉は肉質にして簇生し、筐形、圓頭乃至鈍頭をなし、基脚狹し。花は點頭し、簇葉中に單生す。本花は小梗を有し、萼は鐘形にして4齒緣をなし、齒片は鈍頭をなす。花冠は先端4裂し、各裂片は圓頭なり。〔花色〕白色。〔花綻〕夏。〔分布〕小笠原島。

9. オホセンナリ屬 NICANDRA.

1400. **おほせんなり** (31圖版-287)……ナス科
Nicandra physaloides, *Gaertn.*

〔形態〕園地に培養せらるゝ外來の一、二年生草本にして、全株無毛種に屬す。莖は高さ1·5-1·8米(5-6尺)に達し、多くの小枝を分つ。葉は有柄、葉身は卵形にして不齊の深波狀緣、或は粗齒牙緣をなすか、或は分裂す。花は葉腋上に單立し、萼は5裂し、各裂片は心臟形箭脚をなし、花冠は鐘形にして、長さ24粍(8分)許を有し、先端5裂し、各裂片は圓頭をなす。本花の雄蕊は5箇ありて、花筒に着生し閉在す。果實は球形の漿果にして黃熟し、花後增大せる膜質の宿存萼により包被せらる。この宿存萼は網脈を有す。〔花色〕碧色。〔花綻〕夏-秋。〔原産地〕南米祕露なれども、歸化植物に屬するものなり。

10. タバコ屬 NICOTIANA.

1401. **タバコ** 煙草 ……ナス科
Nicotiana Tabacum, L. (31圖版-288)

〔形態〕各地に栽培せらるゝ外來の一年生草本なり。全株に粘毛を密布し、莖は高さ1-2米(4-7尺)に達す。葉は有柄、橢圓形にして、波狀緣をなし、銳尖頭をなす。花は圓錐花序をなして頂生し、苞は披針形をなし、萼は筒狀鐘形にして、先端5裂し、各裂片は不同なれども、披針形、銳頭をなす。花冠は漏斗形をなし、萼よりは2-3倍長く、外面に毛茸を有す。この花冠も亦先端5裂し、各裂片は銳尖頭をなし、紋部は平開す。雄蕊は5箇ありて花筒の基脚に着生し、その中4箇は同長なれども、他の1箇は短きものなり。果實は蒴にして、2室より成り卵形を呈し、稍宿存萼より超出す。〔花色〕淡紅紫色。〔花綻〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

人生との關係 本植物の葉を乾燥し、これを細切して喫烟の料に供す。又煎汁或は之より粗製硫酸「ニコチン」を製し、農用殺蟲劑に供す。莖は多量の加里鹽を含有するにより燒きて肥料とす。

煙草の乾燥葉中に含有する成分中、總「アルカロイド」含量は約4％にして、其主成分は「ニコチン」(Nicotin)、「ニコチアミン」(Nicotiamin)、「ニコチイン」(Nicotein) 及「ニコテリン」(Nicotelin) の4種とす。又林檎酸、枸櫞酸、琥珀酸其他の有機酸をも含有するものなり。(神谷)

1402. **オホタバコ** ……ナス科
Nicotinia tomentosa, Ruiz. et Pav.

〔形態〕本種は多年生草本に屬し、前種同樣全株に粘毛を布く。莖は多くの小枝を分ち、又多數の葉を着生す。莖は高さ3-6米(1-2丈)に達す。葉は卵狀長橢圓形をなし、長さ30糎(1尺)許にして、葉柄には翼を有す。花は圓錐花序をなして頂生し、萼は廣圓筒形をなし、先端5裂し、各裂片は狹小にして筒部より短し。花冠は外面に短毛を有し、筒部は稍萼片より超出し、先端は5裂し、各裂片は卵形にして、平開し、雄蕊は花冠外に挺出す。

〔花色〕淡綠色なれども、筒部は外面黃色、內面に紅彩を有す。〔花候〕夏。〔原産地〕南米祕露。

152 ナカバナタバコ　153 マルバタバコ

1403. **ナガバナタバコ** ……ナス科
Nicotinia longiflora, Cav.

(異名) ハナタバコ・ホウライアマ　〔形態〕本邦には專ら栽培せらるる一年生草本なり。全株に腺毛を密布し、莖は直立性をなし、高さ60-90糎(2-3尺)に達し、多くの小枝を分つ。根生葉は大形の筐形をなし波狀緣なれども、莖生葉は長橢圓狀披針形をなし先端銳尖、基脚莖を抱く。花は總狀花序をなして頂生し、疎に着生す。萼は筒狀壺形をなし不齊の5齒緣を有し、各齒緣は線狀披針形をなす。花冠は盆形にして、萼の約7倍許長く、內に5雄蕊、1雌蕊を藏す。〔花色〕筒部は綠色或は淡菫色を呈し、裂片部は外面黃菫色、內面白色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕南米智利。

1404. **マルバタバコ** ……ナス科
Nicotiana rustica, L.

〔形態〕普通一年生なれども、往々二、三年生草本となるものにして、全株に腺毛を密布す。莖は高さ1米(3尺)內外に達す。葉は柄を有し、葉身は大形にして肥厚し、卵形或は長橢圓形、鈍頭基脚心臟形をなし、全緣なり。花は總狀花序をなして頂生し、長さ25粍(8分)許、萼の裂片は廣卵形、花冠は盆形をなし萼の2-3倍長く、裂片は短形、圓頭をなす。〔花色〕暗黃色或は帶綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

1405. **シュクコンタバコ** ……ナス科
Nicotiana alata, Link. et Otto.

〔形態〕專ら栽植せらるゝ多年生草本なり。莖は稍長にして高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は無柄にして、筐形乃至卵狀橢圓形をなす。花は總狀花序をなして頂生し、萼は筒形にして粗毛を有し、花冠には絨毛を布く。花冠の筒部は稍長にして萼の4-5倍長く、紋部は下部淡黃色を呈し、內面白色を呈す。雄蕊は閉在す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕伯耳義。

11. アマモドキ屬 NIEREMBERGIA.

1406. **アマモドキ** ……ナス科
Nierembergia gracilis, Hook. (31圖版-289)

(異名) アマダマシ　〔形態〕專ら觀賞用として栽培せらるゝ多年生の小草本なり。莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し、多數の小枝を分ち、全株に

短毛を有し.基脚は稍灌木狀を呈するものなり。葉は線形.或は箆形をなし互生す。莖葉の狀態甚だよく亞麻に酷似せるにより.本異名を有す。花は梢上葉腋上に花梗を抽出し.淺く5裂せる花冠を有する合瓣花を着生す。

〔花色〕白色にして紫彩を有し.紫脈を具ふ。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞米利加。

人生との關係 其形態可憐なるものなれば.花園に培養し.切花或は鉢植としても愛玩せらるゝものなり。

---

12. ツクバネアサガホ屬 PETUNIA.

1407. **ツクバネアサガホ** ……………………ナ ス 科
Petunia violacea, Lindl. (31 圖版-290)

(異名) ニチニチアサガホ・ツクバネニチニチ・ペチュニヤ (Petunia)

〔形態〕園地に栽培せらるゝ外來の一年生草本にして全株に腺毛を布く。葉は對生.或は互生し.楕圓形.或は卵形銳尖頭をなし.全緣なり。この葉は無柄なるか.或は短柄を有す。花は梢上方葉腋上に單生す。蕚は5深裂し.各裂片は線形にして葉狀を呈し.花後擴大す。花冠は盆形をなし偏側膨大し.各裂片は卵狀鈍頭をなす。雄蕊は5箇ありて花筒に著生し.子房は上位にして2室を有す。果實は蒴をなし.卵形を呈す。〔花色〕紫色・淡紅色・白色或はこれ等の絞り等種々あり。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞米利加。

人生との關係 園藝植物として各地に於て盛に培養せらるゝ草花なり。殊に近時園藝作業の發達に隨ひ.その栽培變種種々ありて美觀を呈するもの尠からず。

---

13. イガホホヅキ屬 PHYSALIASTRUM.

1408. **いがほほづき** (31 圖版-291) ………ナ ス 科
Physaliastrum echinatum, *Makino.* (*Chamaesarcha japonica, Makkno.*)

〔形態〕山地の樹陰等に自生する多年生草本なり。全株に粗毛を有し.莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は酸漿の如く2葉宛着生し.廣卵形.短銳尖頭をなし.基脚狹く.翼を有する柄に流る。花は花梗により點頭し.葉腋上に2-3箇宛簇生す。蕚は鐘形をなし先端5裂し.長軟毛を有す。この蕚は花後擴大し.果實と長さを同じくし.毛茸は基脚刺毛に變ず。花冠は扁鐘形にして稍五角形をなし.外面に細毛を布く。この花冠は先端5裂し.各裂片は三角形.銳頭をなす。雄蕊は5箇ありて花冠に著生し.漿果は球形にして白色に成熟し.その頂端を除きて宿存蕚に包まるゝものなり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕6-9月。〔分布〕北海道・本州各地・九州。

154 やまほほづき

155 あをほほづき

1409. **やまほほづき** ……………………ナ ス 科
Physaliastrum chamaesarachoides, *Makino.* (*Physalis chamaesarachoides, Makino.*)

〔形態〕山地に自生する一年生草本にして.全株に細毛を有し.莖は高さ往々60糎(2尺)許に達す。葉は長柄を有し.膜質を呈し.卵形或は卵狀楕圓形.銳頭.基脚は銳或は鈍脚をなし.波狀樣粗齒牙緣を具ふ。花は花梗によりて點頭し.葉腋上に概ね2-3花を簇生す。蕚は廣鐘形.5齒緣をなし.花後膨大して廣楕圓形をなす。花冠は鐘狀輻形にして.5中裂し.各裂片は卵狀銳頭をなす。漿果は徑1糎(3分)餘の球形をなし.全く宿存蕚に包被せらる。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

1410. **あをほほづき** ……………………ナ ス 科
Physaliastrum Savatieri, *Makino.* (*Chamaescha Savatieri, Makino.*)

〔形態〕山地の樹陰等に自生する多年生草本にして.全株に短毛を散生し.莖は高さ45糎(1·5尺)許に達す。葉は散生或は不等大の他の者と2葉一ヶ所に着生す。この葉は短柄を有し.軟質にして.卵形或は披針狀楕圓形.長銳尖頭.基脚は不齊の銳尖脚をなし.全緣なり。花は有梗にして點頭し.葉腋上に着生す。本花の蕚は粗毛を有し.花後變じて硬隆起となり.花冠は廣鐘形をなし.先端5淺裂し.內外共に短毛を密布す。漿果は楕圓形をなし.帶綠色に成熟し.宿存蕚は果實より長きものなり。〔花色〕綠色。〔花候〕7月。〔分布〕本州中部及南部・四國。

1411. たかをほほづき ……………………ナ ス 科
Physaliastrum Kumurai, *Makino.*

〔形態〕本種は頗るよく前種に酷似せるものなれども.彼の果實は楕圓形なれども.本種は球形をなすを彼と異るところとす。〔分布〕本邦中部。

---

14. ホホヅキ屬 PHYSALIS.

1412. **ほほづき** 酸漿 ……………………ナ ス 科
Physalis Alkekengi, *L.* (31 圖版-292)

(異名) かがち・あかがち・ぬかづき 〔形態〕各地の山地に自生する多年生草本にして.莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し.全株無毛種なり。葉は長柄を有し.一ヶ所に2葉宛着生す。葉身は卵狀楕圓形にして短銳尖頭をなし.不整の粗齒牙緣を具ふ。花は有梗にして點頭し.葉腋附近に著生す。蕚は鐘狀にして5淺裂し.花冠は輻狀にして亦5淺裂し.各裂片は廣濶にして短く.且つ尖頭頂をなす。雄蕊は5箇ありて花筒の外に出で.葯は淡黃綠色を呈す。子房は球形にして.1箇の花柱を有し.柱頭は小球をなす。果實は漿果にして熟すれば赤色を呈す。この果實は嚢狀に膨大生長せる帶赤色の蕚によりて被はる。〔花色〕白色にして少しく綠色を帶び.花喉に帶黃綠色の細點を有す。〔花候〕6-7月。〔分布〕北海道・本州・四國・朝鮮・支那。

人生との關係 觀賞用として栽培し.果實は女兒の玩弄物に供せらるゝ他.古來藥用として使用せらる。即ち本植物の根を採集し.乾燥したるものを酸漿根と稱し.藥種舖に販賣せらる。又果實中には枸櫞酸及微量の「アルカロイド」を含有す。この根の乾燥したるものは鎭咳.利尿藥として煎用し.果實は(Bacca Alkekengi)と稱し.佛國藥局に於て藥用に供せらる。

朝鮮及滿洲等に於ても花圃に栽植し.苗葉莖根共に乾晒したるものを煎用し.濕を利し.熱を除き.肺を淸ふし.嗽を治し.痰を治すと稱し.重用す。果實は難產にこれを呑めば立どころに產し.尤も小兒に益し.疳瘦.熱結を治すといふ。蓋し全草は利尿.瀉下の作用を有し痛風藥又は墮剤とし.古來特効藥として傳へらるゝものなり。

1413. **たんばほほづき** (31 圖版-293) ………ナ ス 科
Physalis Alkekengi, *L.* var. Francheti, *Makino.*

〔形態〕本種は前種の一栽培變種にして.其特徵は果實彼より大きく.果實を被覆せる宿存蕚は扁卵形を呈し.彼の稍長味を有すると差異あるところとす。〔花色〕前種に同。〔花候〕6-7月。(栽培種)

人生との關係 果實大形にして美麗なれば.殊に女兒等の好みて玩弄するところとす。其他の藥用方法.藥功等凡て彼に同じ。

1414. **やうらくほほづき** 瓔絡酸漿(31 圖版-294) ナ ス 科
Physalis Alkekengi, *L.* var. monstrifera, *Maktno.*

〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生草本なり。本種も亦前種ホホヅキの一栽培變種にして概形彼に酷似するものなれども.本種の宿存蕚は彼の如く嚢狀をなさず.殆ど分裂して數片をなすものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。(栽培種)

人生との關係 花後赤色を呈し.蕚の裂片は終には細脈のみを有し奇形を呈し美しきものなれば.觀賞用に供し趣味あるものなり。

1415. アメリカホホヅキ ……………………ナ ス 科
Physalis aequata, Jacq.

〔形態〕園地に栽植せらるゝ外來の一年生草本にして.莖は高さ45-60糎(1·5-2尺)に達し.全株に細毛を布く。葉は有柄にして互生し.葉身は卵形或は長楕圓形にして波狀齒牙緣をなす。花は短梗によりて側出し.蕚は?狀鐘形にして.5淺裂し.各裂片は三角形.銳頭をなす。果實は漿果をなし黃熟し.宿存蕚は卵狀球形をなし.長さ2·5糎(8分)許あり。〔花色〕黃色にして花冠の底部黑菫色を呈す。〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

1416. ショクヨウホホヅキ ……………………ナ ス 科
Physalii chenopodifolia, Lam.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生草本なり。本種の莖は直立し.葉は稍心臟形をなし.齒牙狀の有稜緣をなし.葉柄は莖に沿著する特徵を有す。〔花色〕白色。〔花候〕6-7月。(栽培種)

人生との關係 本種の果實は鹽漬として食し.或は成熟せしめたるものを生食す。

156 せんなりほほづき

157 ブダウホホヅキ

1417. **せんなりほほづき** 苦蘵・蘵 …………ナ ス 科
Physalis angulata, *L.*

〔形態〕園圃に栽培せらるゝ外來の一年生草本にして.莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し.多くの小枝を分つ。葉は長柄を有し.卵狀圓形乃至楕圓形にして先端尖り.基脚圓く.邊緣不明の齒牙緣をなす。花は小形有毛にして葉腋上に單生す。蕚は長さ3粍(1分)許.先端5裂し.各裂片は三角形.銳頭をなす。花冠は鐘形にして5齒緣をなし.果實は漿果にして形小さく球形をなし.蕚は花後成長し.10條の稜角ある卵形嚢狀をなし.果實を包むこと酸漿と同樣なれども.本種は成熟するも赤色を呈することなく綠色を呈するものなり。〔花色〕濃綠黃色なれども屢ば紫色の斑點5箇を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕暖帶地方・朝鮮・支那にも產す。

人生との關係 現時は原野.路傍等に自生するを見ることあり。酸漿と同樣果實は小兒等の好んで愛玩するものなり。

1418. ヒメセンナリホホヅキ ……………………ナ ス 科
Physalis minima, L.

〔形態〕前種と同樣園圃に培養し觀賞に供する外來の一年生草本にして.本種は前種と異り全株に短毛を布くものなり。葉は有柄にして.波狀樣多角緣或は淺裂す。蕚は5裂し.各裂片は披針形をなす。漿果は13粍(4分)許.宿存蕚は球形をなし.徑13-24粍(4-8分)許を有す。〔花色〕白色。〔花候〕7月。〔原產地〕熱帶地方。

1419. **ブダウホホヅキ** ……………………ナ ス 科
Physalis perubiana, L.

(異名) シマホホヅキ・ケホホヅキ 〔形態〕園地に培養せらるゝ外來の多年生草本にして.莖高さ30-90糎(1-3尺)に達し.全株に短毛を密布す。本種の葉は質軟く.有柄にして互生し.葉身は心臟狀卵形にして先端尖り.基脚圓く.全緣或は不齊の齒牙緣をなす。花は葉腋上に單生し.花冠は扁鐘形をなし.果實は漿果にして黃熟し.蕚は花後生長して卵狀圓錐形の嚢體をなし果實を包む。長さ24-40粍(0·8-1·4寸)許を有す。〔花色〕淡黃色にして.外面の基脚に紫色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕南米秘露。

---

15. サルメンバナ屬 SALPIGLOSSIS

1420. **サルメンバナ** (31 圖版-295) ………ナ ス 科
Salpiglossis sinuata, Ruiz. et Pav.

〔形態〕近時の外來に係る一年生草本なり。莖は稍直立し.多くの小枝を分ち.高さ30-60糎(1-2尺)に達し.粘毛を有す。下部に生ずる葉は長楕圓形をなし.羽狀に分裂するか.或は波狀の鋸齒緣をなせども.莖生葉は披針形全緣なり。花は不整齊なる漏斗狀花冠を有し.徑6糎(2寸)許を有し.先端5裂す。〔花色〕暗紫色・碧紫色・紅色・黃色等種々。〔原產地〕南米智理。

人生との關係 專ら庭園に.或は鉢植として栽培し觀賞に供す。

---

16. ムレコデフ屬 SCHIZANTHUS.

1421. **ムレゴテフ** (31 圖版-296) …………ナ ス 科
Schizanthus pinnatus, Ruiz. et Pav.

(異名) テフテフグサ 〔形態〕本種も亦近時の外來に屬する一年生草本なり。全株に腺毛を布き.莖は高さ60糎(2尺)內外に達す。葉は互生にして.羽狀に分裂し.各裂片は更に羽狀に中裂し.各裂片は細齒牙緣をなす。花は莖の上方に圓錐花序をなして疎に多數を着生す。花冠は唇形をなし.上唇は5深裂して平開し.最上片は倒卵形をなし.基部に斑點を有す。他の裂片は不整齊の缺刻緣をなし.下唇は3中裂し.側片は鎌形.截頭をなし.下片は溝を有し.深き凹頭をなす。假雄蕊2箇ありて上唇に著生し.完全雄蕊も亦2箇ありて下唇に着生す。果實は蒴をなす。〔花色〕通常下唇は青紫色.上唇淡紅色を呈し.基脚に黃色の斑紋を有す。〔原產地〕南米秘露。

人生との關係 多くは溫室に栽培し觀賞に供せらるゝものなり。又切り花としても盛に觀賞せらるゝものなり。

---

17. ハシリドコロ屬 SCOPOLIA.

1422. **はしりどころ** 莨菪 ……………………ナ ス 科
Scopolia japonica, *Maxim.* (31 圖版-297)

(異名) をめきぐさ・おにみるくさ 〔形態〕山間の陰地に自生する多年生草本なり。全株無毛株に屬し.地下に根莖を有し結節狀を爲し.莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し.疎に分枝をなし.基部に鱗片を疎生す。葉は軟弱にして互生し.葉身は楕圓形或は長楕圓形.銳尖頭をなし基脚狹く.不齊の齒牙緣を具へ.有翼の葉柄に流る。花は細梗により點頭し.葉腋上に着生す。蕚は鐘形をなし不齊の齒牙緣を具へ.花後擴大して果實を包む。花冠は筒狀鐘形にして.先端5裂し.雄蕊は花筒の基部に著生し閉在す。蒴は球形をなし蓋によりて裂開す。〔花色〕帶紫黃褐色。〔花候〕5月。〔分布〕本州中部及南部・四國。

人生との關係 劇毒を有する植物にして.誤つてこれを食すれば發狂奔走.人事不省等の症狀を發す。又醫藥用にも供せらる。

即ち本植物の根莖を採集し乾燥したるものを莨菪根(Rhizoma Scopoliae)と稱し藥舖に販賣せらる。本品は結節狀をなし.不齊に彎曲し.長さ約15糎(5寸).太さ約3糎(1寸)に至り.外面は灰褐色にして皺縮し.結節の上部には概ね凹める莖痕を有し.背面には短大なる根を分岐.或は其根痕あり。横斷面は顆粒狀にして粉白色を呈し.臭氣なく味苦し。本品は生藥として最も多く長野縣に產出し.其他群馬.埼玉縣にも產出す。

本品は日本藥局方に指定せられたるものにして.即ち局方によれば專ら莨菪越幾斯を製造し.又硫酸「アトロピン」製造の原料に供す。莨菪越幾斯は鎭痙.鎭痛藥に供し.又喘息.神經痛.胃痛等に內用す。1回の用量0·01瓦なり。又莨菪越幾斯は硬膏.軟膏.座藥(局方)等として神經痛.痔疾等に外用せらる。(神谷)

---

18 ナス屬 SOLANUM.

1423. **ナスビ** 茄 ……………………ナ ス 科
Solanum Melongena, L. (31 圖版-298)

〔形態〕通稱ナスと稱し.畑地に栽培せられ本邦重要なる菜果の一なり。莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し.全株に星毛を密布す。葉は長柄を有し.卵狀楕圓形.銳頭或は鈍頭をなし.概ね歪脚を有す。この葉は往々下面に刺毛を有するものあり。花は少數花により總狀花序を側生す。蕚は鐘形をなし5深裂し.各裂片は披針形をなし.往々刺毛を有す。花冠は輻形をなし.上部は7-8裂し.各裂片は披針形をなす。雄蕊は聚葯をなし.花冠の基脚に著生す。果實は大形の漿果をなし.宿存蕚を伴ふ。本果實には楕圓形或は長楕圓形を呈するもの.又長形をなすものあり。果色は普通紫黑色なれども.又紅紫色.紫色.白色.綠白色等を呈するものあり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏・秋。〔原產地〕熱帶。

茄子の栽培品種と栽培法及加工法

茄子は本邦に於ける重要なる果菜なれば栽培變種頗る多く殆ど列擧に遑なき程なり。重なるもの次の如し。

1. **早生蔓千成** 東京の東部に隣接せる土地に栽培せらるゝ種類にして.頗る早熟且つ豐產なるものなり。本種は莖細く分枝性に富み.横に擴る特徵を有す。果形は小形にして卵形をなし.紫黑色を呈し皮薄く.果肉柔軟なるを以て漬物用として最も良好なるものなり。尙本種は促成栽培用とし適當なる一種とす。埼玉縣に產するものに眞黑茄と稱するものあるも.之は本種の一變種と見るべきものにして中生種に屬す。

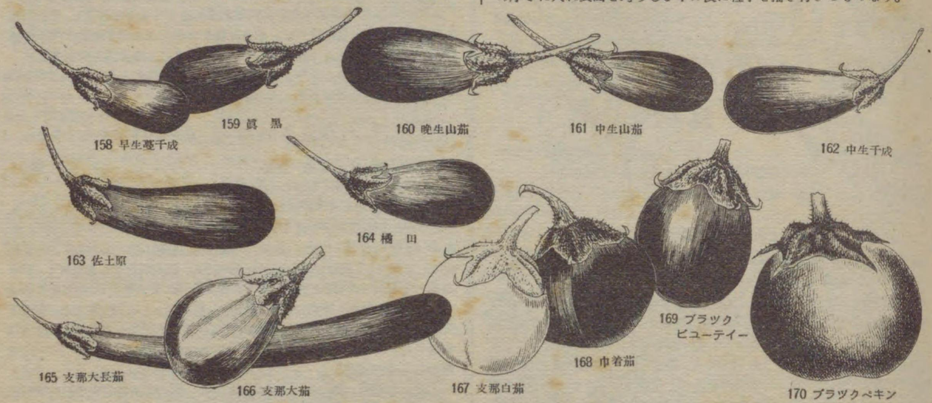
2. **中生山茄子** 本種は東京市西部の隣接地に多く栽培せらるゝ種類にして.草勢頗る強く.分枝性稍々懸く直立する傾向あり。果形中位にして.紫黑色を呈し光澤あ

りて成熟稍々遲きも豐產なるものなり。煮食.漬物兩用に適す。

3. 晩生山茄子　東京附近の各地に極めて多く栽培せらるゝものなり。形は前種より稍々大きく卵球形をなし.果皮紫黑色に成熟す。漬物用.煮食用何れにも適し.而も收量多量なる優良なれば現在將來共栽培上有利なる品種なり。

4. 中生千成　石川縣地方に產するものにして早生種に屬し.果形は短卵球形をなし.中等大にして果皮黑赤紫色を呈し.更に他種と異り本種の蒂は內部も赤赤紫色を呈する特徵あり。豐產なるものにして漬物用に供せらる。

5. 橋田　愛知縣の原產にして中生種に屬し.草葉共に形態大きく.果形は長橢圓體をなし中等大なり。蒂は小形にして缺刻の深き特徵を具へ.果皮は黑色を呈し.肉柔く種子聽きものなれば市場等に於ては頗る歡迎せらるゝ種類なり。單性强く豐產種にして多く煮茄子とし喜ばる。名古屋地方の中促成種は多くはこの種類なり。



6. 佐土原　本種は宮崎縣地方に產出する早生種の一にして.果形長く中形をなし果皮黑色に成熟す。主として漬物用に供せらるるものにして收量中位なり。

7. 博多茄子　福岡縣地方の原產にして.晩生種に屬し.果形長大.且つ大形なり。濃赤紫色に成熟し.漬物用.煮食用に適し.而も收量多き優良種なり。

8. 支那大長茄子　本種は支那の原產種にして中生種に屬し.近年は本邦各地に栽培せらる。本種は矮性なるも其の葉大形にして他種と異なり著に缺刻を有す。極めて豐產種にして果形細長く 30 糎(1 尺)餘に生育するものなり。果肉柔かなれば多く漬物用として賞味せらる。

9. 濱圓大丸　本種も亦支那の原產種にして相當古來より本邦にも輸入栽培せられしものなり。果形は圓く大形にして黑紫色に成熟す。本果は煮食に適し.又鳴燒となし風味上等のものなるも遺憾なるは栽培稍困難にして收量中位たることなり。

10. 巾着茄子　大阪及び攝本縣地方に多く栽培せらるるものにして晩生種なり。果形は扁球形にして縱に皺襞を有し恰も巾着形をなし.肉質はよく緊まれるも種子多きを缺點とす。通常煮.或は燒きて食用に供す。

11. 支那白茄子　支那の原產にして晩生種に屬し.草性强く葉葉共に綠色を呈し.果形は球に近き橢圓體.或は前種に類似せる巾着形にして.果皮は綠白色なり。本果は肉柔く種子聽きが故に煮食.或は汁の實等にし極めて柔く風味よろしきものなるが世人の多くは之を知らず從つて栽培者の聽きは遺憾なり。

12. ブラツク・ペキン (Black Peking)　晩生種に屬し.果形頗る巨大にして直徑 15-18 糎(5-6 寸)許に達するものあり。果皮及蒂は黑紫色を呈す。煮茄子と稱するものは恐らくこの種のことなるべし。

13. ブラツク・ビューテイー (Black Beauty)　本種は米國產のものにして晩生種に屬し.果形は前種の如く大形にして短卵形をなし.果皮黑紫色に成熟するも.蒂の部は綠色を呈するものなり。

14. 晩生丸茄子　東京附近の原產にして中生種に屬し.果形圓く中等大をなし.果皮黑紫色に成熟す。多く煮茄子となして賞味せらるゝものにして.而も收量多き優良種なり。殊に本種は海岸に近き土地に栽培すれば好結果を得らるゝものなり。

15. 高木茄子　佐賀縣地方に原產のものにして中生種に屬する優良種なり。果形長く中等大にして.果皮黑紫色に成熟す。主に漬物用として使用せられ收量多き種類なり。

16. 大芹川　本種は京都地方の原產にして晩生種に屬し.果形丸く大形をなし果皮紫黑色に成熟す。主として煮食或は鳴燒となし風味良好.而も收量多なる優良種なり

栽培法　元來本植物は冷凉を嫌ひ高溫と快晴を好むものなれども.旱魃の氣候に際しては果實の生長を阻害し品質を害し收量を減ずるものなり。土質は殆ど何れにても生育不可能なることなきも.常に多少の溫氣を有する砂質壤土を最も可とす。若し砂土の如き乾燥朱の土地に栽培すれば早熟の利あるも樹齡短縮し.果皮硬くなる缺點あるものなれば.前述の如き土地には堆肥を入れ.灌漑の設備をなし濕氣を與ふべし。之に反し濕氣過多なる土地に於ては莖葉のみ繁茂し.結實遲れ病害にかゝり易きが故に排水の便を計ることに注意せざるべからず。

茄子の繁殖は種子によれるものなれば.先づ種子を苗床に播種し苗を仕立てゝ移植栽培せらるゝものなり。以下順次項を追ひて記述すべし。

(イ) 苗床の作り方　苗床は北風を防ぎ南面せる最も溫き處を選び設置するを可とす。2 月下旬に幅 1.2 米(4尺)長さ適宜の土地を 24-27 糎(8-9 寸)許を堀り.その周圍に高さ 21 糎(7 寸)位の藁圍ひを作り.その內に腐葉土.廐肥.馬糞等の混合せるものを堅く踏み込みたる後.人糞尿を注ぎ.其の上に腐壤土 7 分と砂 3 分の割合に混合し.よく篩ひたるもの約 12 糎(4 寸)位の厚さに入れ表面を均らし 3-4 日後に種子を播き付けるものなり。

(ロ) 播種　普通栽培は 2 月中.下旬頃播種し.5 月末に定植し 7 月より收穫するものなるも.早熟栽培を行ひて 5 月頃採收し.多額の利益を擧ぐるは 2 月上旬既に播種せざるべからず。速成栽培法に就きては項を改め記述することゝし.普通栽培法は黃赤色の新しき種子を選び.前項苗床の床面を再び均し之に撒播となすか.或は條播となし 0.9-1.2 糎(3-4 分)の厚さに腐壤土.砂.灰等を混合したるものを覆ひ.藁を被せ如露にて灌水し障子を覆ひ置き.其の後夜間或は降雨の日は蔗を覆ひ晴天の日は之を除外し.1 日 1 回微溫湯を注ぎ與ふれば.約 1 週間にして發芽し初むるものなれば直ちに藁を除き.溫暖なる日には障子を開きて空氣の流通を計り.灌水に注意し.過水による徒長.腐敗等を豫防し.常に苗の根元に注意を拂ひ.萬一根元縊れ細くなりたるものあれば夫れ等は不良の苗なるが故に間引き捨つる樣にし.尙苗の生長するにつけ常に 3 糎(1 寸)內外の距離を與ふる樣間引くべし。

(ハ) 假植　本葉二枚になりたれば.新しき床へ根を痛めざるやう竹篦を用ひて淺く植付くべし。この假植床は前の苗床同樣にて植付け.同時に灌水し活着する迄日覆をなし置くべし。日覆は床の緣へ竹を渡し.其上に藁蔗を覆ふべし。活着後は晴天を選び午前 9 時頃より午後 2 時頃迄日覆を除き.適宜に灌水し.萬一發育不良なれば極めて薄き人糞尿を根元に與ふべし。苗が漸次生長し本葉 4 枚になりたれば.第 2 回の假植をなす。此の際苗に澤山に土を付けて堀り取り.新床に淺く植込むなり。新床は植込みを減じ田土を少々多くなし 12 糎(4 寸)許の厚さに入れ.其の後は灌水量も減少し.つとめて障子を開放し日光にあて.苗を强健になす樣注意すべし。

(ニ) 定植　本葉 5-6 枚になりたる頃定植す。定植は霜に心配なき 4 月中.下旬に行ふものとす。定植用の苗は葉色余まり濃色ならず.細根多く.根元縊れず太からぬを選び.晴天の夕方苗床に灌水し.根土を落さざるやう移植鍬にて堀り取り.耕耘施肥せし本畠に淺く植込み.根元に土寄せをなし.輕く手にて壓し.株の周圍に薄き人尿をかけ置くべし。風害の恐ある處には細竹を立て支ふる樣にすべし。元來茄子は連作を忌むものなれば一度作りたる處には 3-4 年は作らざやう注意すべし。

(ホ) 管理　移植してより 2 週間後に第 1 回の補肥を與へ.同時に淺く中耕し.更に 2 週間後第 2 回の補肥を行ひ中耕す。萬一畑地が蔓延なる時は蔓を刈り直ちに刈株を起し.第 3 回の補肥を行ひ.左右へ充分土寄せをなし乾燥.雜草の發育を防止する爲め畦を作り.全面に敷藁を敷くべし。茄子は生育旺盛なるものなれば摘心すれば結果よし。其方法は第 1 の雷出でたる時.その下に位せる 2 芽を殘し.それより下の側芽は殘らず掃除し.3 叉の姿勢となす。斯くして 1 番成りなれば上方の 2 葉目に開花し.同時に兩側枝にも開花する故 3 箇の果は取れ.漸次分岐し結花多くなるものなり。秋季に於ては漸次樹勢衰ふるものなるも.この際枝梢の先端を刈り込み.人糞尿を與

PL. 31.

ふれば再び新芽を出し,開花結實し,所謂秋茄子を得らるゝものなり。

(ヘ) 施肥　茄子は結果期間長きもの故,自然他作物に比し肥料多量に要するものなり。窒素肥料の過用はさくるも米糠・藁灰等を多量に與ふれば樹性强壯になり,果に艶現はれ,皮薄く甘味を增し,種子減少し,良結果を得らるゝものなり。言ふ迄もなく基肥は豫め植付前に施し,補肥は數回與ふべし。

左に農林省園藝試驗場の施肥標準量を揭げ參考の資に供せん。

10アール(1反歩)當

基肥	堆肥	1.127 瓲(300貫)	糠	225 瓲(60貫)
	油粕	566 瓲(151貫)	過燐酸石灰	375 瓲(100貫)
	灰	125 瓲(33貫)	人糞尿	375 瓲(100貫)
補肥	人糞尿	375 瓲(100貫)	灰	375 瓲(100貫)

右基肥及補肥に含有せる三要素の含有量は左の割合に相當す。

窒素 20.6 瓲(5.5貫)　燐酸13.1瓲(3.5貫)　加里16.9瓲(4.3貫)

(ト) 採收　5月中旬頃より2-3日置きに畑を見廻り充分發育せざるとも着色次第,早朝或は夕刻に採收す。最初は早目に採取し小果を貰ひ,盛夏の候に於ては殆ど隔日に各株より1顆を得らるゝなり。10アール(1反)の收量は千成種にて3-4萬顆,目方3,005 瓲(800貫)內外なり。

(チ) 採種　種子を採種するには2番成のものにして果形正しく,その品種の特徵を具備せるものを選定するを第一の要件とし,この際採種に供せる果のみを殘し他果は早朝に採取し目的の果を充分に成熟せしむるが肝要なり。果皮は黃褐に變化せしを程度となし,收穫し2週間許蔭所に置きたる後種子を取り出し水洗し,浮びたる種子は捨て,沈みたるを取り蔭干となし乾燥せしむるなり。大小により差あるも1顆より約0.36-0.054立(2-3勺)は採種せらるゝ割合なり。

速成栽培法　茄子は現今都會附近の速成栽培の奬要なるものにして當要年々增加せしめ農家の副業となし有望なるも,遺憾なるは栽培管理少々手數を要することなり。

茄子の速成栽培は通常フレームを利用するものなれば下記フレームの作り方に從ひて設備なせばよろしきも,本種は高溫を要するのみならず生育の時日長き爲め,他種類に比し多量の醱熱材料を要するものなれば特にこの點につき留意すべきなり。卽ち床溫20度乃至27.8度を要し,又その醱熱材料は種類及季節によりて相違あるも,比較的廉價にして長期間發熱の持續し得るものを選定すべし。左に最寒の候に用ふるものとして,1框に對する愛知縣農事試驗場の醱熱材料使用例を示さん。

第一法	紡績屑	225 瓲(60貫)	藁	37.5 瓲(10貫)
	水	240 瓲(64貫)		
第二法	紡績屑	131 瓲(35貫)	藁	30 瓲(8貫)
	馬糞	37.5 瓲(10貫)	水	168 瓲(44貫)

速成栽培の目的は多くの收益を得ん爲めなるが故に,その生產期に就きては充分に考慮すべし。通常播種してより1番成を採收する迄に要する日數は平均120日許なれば,1-2月頃蔬菜の缺乏せる期に採收せんとなすには9月下旬より11月上旬迄に播種するを適期とす。速成栽培用に供する品種は早生種にして色澤美麗,形整正なるものを選定すべし。大低1床に36株卽ち縱に3株,橫に12株許植込み,剪枝,剪葉を行ひ,常に强健なる發育を圖り,適宜に補肥を行ひ,病害の驅除豫防に注意をなすは勿論なるも,一方昆蟲類の跡き時期なるが故に,勉めて人工媒助を行ふ必要あり。斯く注意を怠たらず栽培すれば,普通の出來ばへにても1株より1 箇乃至15-6箇は採收出來得るものなり。

溫床栽培の要領　速成栽培家として好成績を擧ぐるには相當熟練と,綿密なる注意及管理を拂はねば不結果に終らずとも,平均の收益を收得出來得ぬことを忘るべからず。

以下促成栽培家の心得おくべき要譯を記述し參考に供すべし。

1. 促成栽培用とし最も適當なる品種は早生丸茄子,眞黑,中生千成等優良なり。
2. 定植床は少くも醱熱物を39糎(1.3尺)位の厚さに踏込み,而して床上の厚さに踏込み,而して床上の厚さは15糎(5寸)位となすべし。
3. 定植後5-6日間覆筵を被ひ日蔭になし置くべし。
4. 茄子は7葉目前後に於て第1花雷を出し,その下部に位する各葉腋より枝を出すものなるが故に,第1花着の2枝を殘し,他は摘去り,所謂3又狀になすが最良結果を得らるものなり。
5. 茄子は顆の着色に强き光線を必要となすが故に,常に床內の乾燥を計らるべし。濕氣多量或は溫度低き場合は花粉の成熟不完全にして完全なる受精出來ず,花部腐敗する恐あり。
6. 氣候寒冷なる爲め昆蟲の飛來少きが故に人工交配を行ふ必要あり。
7. 時には葉を剪除し,顆に充分日光を受けしむる必要あり。漸次生長せし時は綠にて果を縛り枝の上方に吊り上げ日光に曝すを可とす。
8. 生育中は1週間に1回位灌水し,尙1ヶ月1回位宛稀薄せる液肥を與ふべし。
9. 生育中に螟蟲の發生を發見せば猶豫なく燻殺,或は藥劑撒布を行ひ撲滅を計るべし。

茄子の加工法　茄子を家庭的に調食せしむるは重要なる蔬菜なる故實に多種あるも,それ等は周知の事實なるが故左に2-3の加工法に就きて記述すべし。

(イ) 芥子漬　小粒の茄子(秋茄子)の蒂を除き柄のみを切り捨て鹹目に鹽漬とし壓石をなして1晝夜程漬け取り出し,簀様のものに擴げ1日許り日光に乾し水氣を取り去り,別に芥子粉6分許を少量の水にて堅く捏ね,布に包みて半日位たちたる後水に浸し,鹽4分,酒7分,醬油3分の割合にて捏ね合せたるものを壺又は甁に,前の鹽茄を漬け込みて目張りをなす。漬込み各品の分量は1定せるもにあらざれば要領よく加減すべし。

(ロ) 雷座芥子漬　小茄子を縱橫切になし淡鹽にて1晩壓し漬けになし,小茄子160顆位に麹大板1枚,芥子0.36立(2合)の割合にして,前方法通り酒・醬油を捏ね合せ味噌位の堅さとなし,壺に鹽茄子を漬け込み,その上に竹皮を敷き,壓蓋をなして小さき重石をなせば翌日は食用に供せらるゝものなり。

(ハ) 粕漬　中等大の茄子を選び蒂を去り2日許り鹽漬となし,水が表面に上りたる時取り出し,1日陽乾になし,酒粕3750瓲(1貫)に對し鹽0.54立(3合)を混ぜて漬け込み,輕き重石を置き,數ヶ月後に食用に供す。1年後粕を新らたになせば風味更に上等なり。

1424. **タマゴナスビ** 黃茄 (32圖版-299)……ナス科
Solanum Melongena, L. var. *inerme*, Denal.

〔形態〕本種も亦前種と同樣畑地に栽培せらるゝ年一生草本なり。前種の一栽培變種なれば,概形殆どよく彼に似たれども,全體に彼より小形にして,且つ莖に刺を有せず。果實は圓形にして,その色初めは白色を呈すれども,熟すれば黃色に變す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶。

1425. **ヒラナス** ……ナス科
Solanum integrifolium, Poir.

〔形態〕外來の品種にして,本邦には畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり,莖は僅々30-60糎(1-2尺)に生長し,全株に鱗毛を密布し,枝梢には鉤刺を散生す。葉は卵狀橢圓形にして羽狀に淺裂し,各裂片は圓頭をなし,葉柄によりて互生す。花は小形,白色を呈し,2-6花蛇族生す。果實は球形の漿果にして概ね扁扇し,耳形を有し,熟すれば鮮紅色,或は黃色を呈し,果徑3-4-5糎(1-1·5寸)許を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕亞細亞。

1426. **フユサンゴ** ……ナス科
Solanum Pseudo-capsicum, L. (32圖版-300)

〔形態〕專ら觀賞用として栽培する外來の小灌木にして,全株に稍短毛を有するものと,有せざるものとあり。莖は高さ僅々30-60糎(1-2尺)に過ぎず。葉は長橢圓狀披針形或は披針狀倒卵形,鈍頭をなし,基脚狹く,全緣或は波緣をなし,有柄にして互生し,不等大をなす。花は葉に對生し,小形にして其形ナスの花に似たり。果實は球形の漿果にして赤熟し,果形約1糎(3-4分)許を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕白耳。

1427. **ハリナスビ** 刺茄 ……ナス科
Solanum sisymbrifolium, Lam. (32圖版-301)

〔形態〕園地に栽植せらるゝ外來種にして,全株に短毛を密布し,黃色を呈する鋭狀の刺を多數に生ず。葉は長橢圓形にして,羽狀に中裂或は全裂し,各裂片も亦長橢圓形をなし,緣邊深波形をなすか,或は稍羽裂す。花は總狀花序をなし,頂生或は側出し,各花は徑2·4糎(8分)許を有す。萼は5深裂し,各裂片は披針形をなす。果實は徑約2·4糎(8分)許を有する球形の漿果にして,多くの刺毛を有する宿存萼に包被せらる。〔花色〕淡碧色或は白色。〔花候〕6-7月。〔原產地〕墨西哥。

1428. **きんぎんなすび** 金銀茄 (32圖版-302)・ナス科
Solanum xanthocarpum, *Schrad.* et *Wendl.*

(異名) にしきはりなすび　〔形態〕山野,路傍等に自生する多年生草本にして,高さ30-60糎(1-2尺)に生長し,全株稍無毛なれども,多くの刺毛を有す。葉は長柄を有し,葉身は紙質にして,卵形或は橢圓形をなし,邊緣は深波狀或は稍羽狀に中裂し,長さ約6-12糎(2-4寸)に達す。花は聚繖花序をなして側出し,各花は小梗により,少數花を着く。萼は先端5裂し,各裂片は卵狀長橢圓形をなす。花冠は徑2·4糎(8分)許を有し,外面に毛茸

を有す。果實は球形の漿果にして、熟すれば黄色或は白色を呈し、稍綠彩を帶ぶ。この果實は徑1·3-1·8 糎(4-6 分)を有し、苞片より遙に超出するものなり。〔花色〕碧色。〔花候〕6-7 月。〔分布〕臺灣。

以上に記述せる種類の外に **ムラサキハリナスビ** (S. citrullifolium) と稱する一園藝品にして、往々庭園に栽植せらるゝものあり。本種は墨西哥の原産種にして、一年生草に屬し、全株に腺毛及眞直の刺毛を有し、葉は羽狀に中裂し、各裂片は鈍頭、緣邊波狀を呈し、花色菫色、果實は球形をなし、多くの刺を有する宿存萼に包まるゝものなり。

1429. サンゴジュナスビ 養蕃·茄蕃·柿洋茄子·六月柿　ナ　ス　科
Solanum Lycopersicum, L.　(32 圖版-303)
(*Lycopersiicum esculentum, Mill.*)

〔異名〕アメナス·トマト(Tomato)·タウガキ　〔形態〕畑地に培養する外來の一年生草本なり。莖は高さ 1·5-2 米(5-7 尺)に及び、全株に腺毛を散生す。葉は不整齊なる羽狀をなし、小葉は分裂し互生をなす。この小葉は柄を有し、大形をなせる小葉は缺刻狀鋸牙緣をなせども、小形の小葉は圓形或は卵形をなし、屢ば全緣なり。夏日梢上に小枝を分ち數花によりて總狀花序をなし側出す。萼は 5 深裂し、各裂片は披針形をなす。花冠は幅形をなし、萼と同長。內外 6 雄蕊、1 雌蕊を有す。果實は球形の漿果にして、初めは黃色を帶べども、後深紅色を呈し、頗る美麗なり。この果には種類により黃色を呈するもの、形狀に大小ありて一樣ならず。〔花色〕黃色。

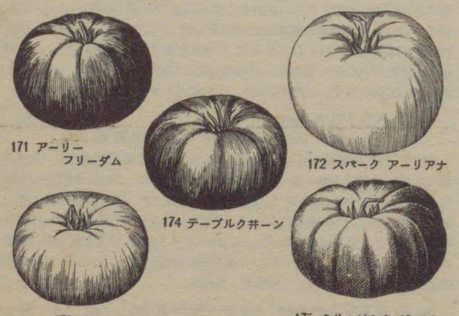
〔花候〕夏。〔原產地〕南米秘露。

人生との關係　歐州にては今より 120 年程以前より盛に培養せられ「サラド」として食用に供し、或蒸燒にして副食物とし、或は「スープ」又は「ソース」等を作り、蔬菜中重要の位置を占め、其消費額は甚だ多量なるものなり。本邦に於ても近時之れが食用者多きを加へ、現今にては其產出期には到處の市場に之れを見ざるなき狀態に至りたり。隨つて之れが栽培も到處に行はれ、或は露地に或は溫室に、殊に都會地に近き農家、園藝は之れが栽培に心血を注ぎつゝある有樣なり。以下少しく本植物につき、その品種及栽培法につき記述すべし。

蕃茄の栽培品種と其栽培法

蕃茄には品種極めて多種にして、近時本邦に於ても需要頓に增加せし爲め、現に其栽培せられつゝあるもの、實に多種多樣なり。最近に於て之れが栽培の便宜上先づ果の大小·形態·色澤·壁の薄性·木立性等により下の如く大別し、この大別により更に之れより各品種に分類せられつゝあり。即ち

普通型種	(Common Tomato)	アクム、テーブル、クキン、ポンデローザ フリーダム等
櫻桃型種	(Cherry Tomato)	チエリー種
洋梨型種	(Pear Tomato)	イエロー、プラム
大葉型種	(Large Leaf Tomato)	ミカド
木立型種	(Dwarf Tomato)	ドワーフ、セム
房須具利型種	(Curant Tomato)	レツド、カーラント、カスケード



1. アーリー·フリーダム (Early Freedom)　早生種に屬し果は殆ど球形をなし中等大、果色は鮮紅色を呈し外觀頗る美麗にして酸味少く而も豐產なり。促成栽培として有利なる品種なり。

2. スパークス·アーリアナ (Sporks Earliana)　早生種に屬し扁球にして等に臍を有し、果皮鮮紅色を呈し肉質柔かく甘味を有す。一房に 5-6 顆を結び、極めて豐產なり。促成栽培用として適當なり。

3. アクム (Acme)　中生種に屬し果は正しき扁球をなし、帶部に嚴なく頂部にも稍點を有せず。果色暗紅色を呈し肉緻り味極めて美味なり。性强健にして品質優良而も貯藏に耐ふるものなれば蕃茄中第一等品と云ふべきものなり。

4. ゴールデン·ジュビリー (Golden jubbilee)　中生種に屬する中位果のものにして、果形扁球をなし橙色に成熟し臭氣少く味佳良なり。

5. クリムソン·カツシヨン (Crimson Cushion)　晩生種に屬し果は扁球にして稍々背高く、頂部に弱點を有し、帶部に嚴多し。本果は濃朱色に成熟し、肉質柔く種子少きも風味稍々劣れるのみならず、餘り豐產ならず。普通ソース製造用として栽培せらる。

6. ポンデローザ (Ponderosa)　本種も亦晩生種に屬するものなり。果は扁球にして角張り、果形大きく縱に淺き溝を有し、果色深紅色にして肉質厚く、種子少く性强健豐產なり。用途は前種同樣ソース用に適す。

7. サンライズ (Sun Rise)　近時盛に栽培せらるゝフランス產の新種にして戶外にての栽培も出來得るも、溫室栽培用として優良品なり。　果皮は赤色を呈し程よくそろひ美麗にして美味なり。促成用として推奬すべきものとす。

8. テーブル·クキーン (Table queen)　晩生種に屬し、外觀はアーリ·フリーダムに酷似し、風味佳良なる豐產種なり。

9. アーリースト·オブ·オール (Earliest of all)　早熟種に屬する優良品種に屬し溫室栽培用として重要せらるゝものなり。この外促成用として重要せらるゝものにプリンセス·オブ·ウエルス、ベスト·オブ·オール等、生食用としてテンダーロイン、ソース用としてピーチ、ブロウ、アーリ、ラーヅ、レツド等著名なり。

10. 櫻桃型トマト (Cherry Tomato)　本種に屬するものは果形小さく球形にして一房は十箇內外結果するものなり。チエリー種之に屬す。

11. 洋梨型トマト (Pear Tomato)　本型に屬する種類は果形小形にして長形を呈する樣恰も洋梨の如く、一房に十箇內外着生し、橙黃色に成熟す。エロウ·プラム (Yellow Plum) は之に屬す。

12. 大葉型トマト (Large Leaf Tomato)　普通型トマトに類似するも葉の分岐少く大形なる特徵を有するものなり。ミカド (Mikado) 之に屬す。　この種の果形は稍と普通種同樣大形にして、果形は不正扁球をなし、果面平滑にして朱赤色に成熟し外觀美麗なり。本果は肉質柔く多量の水分を含み味は亦良好なれば生食に適す。東京の市場に見るものは主にこの種類なり。

13. 木立型トマト (Dwarf Tomato)　樹姿矮性にして莖太く支柱を與へずも直立す、葉は濃綠色を呈し密生す。ドワーフ·セム (Dwarf Gem) 之に屬すなり。

14. 房須具利型トマト (Curent Tomato)　果形小さく球形なれ臭氣及酸味强く味佳ならず、殆ど食用に供せざるも觀賞として、栽培せらるゝものなり。本種の果は長き房形をなし十數箇の顆列生する樣見事なり。レツド·カーラント (Red currant) カスケード (Cascade) 等之に屬す。

培栽法　極めて丈夫な蔬菜なれば土質、氣候を取りわけ選定することなく栽培容易なるものなれども低溫の土地及び空氣悪き所は避くるを可とし主として排水よき肥沃の壤土、或は砂質壤土に於きて優良品を產することは爭はれぬ事實とす。

本植物は茄子同樣種子によりて繁殖せしむるものにして、最初苗床にて苗を仕立、本畑に栽殖するものなり。

(イ) 播種　播種期は茄子、胡瓜と同樣成る可く早く收穫出來得るやう2月下旬頃より3月上旬頃溫床に播種し、茄子より低溫にして發芽するものなれば踏み込みも少くして充分なり。床土は腐葉6 糎(2 寸)の厚さに入れ種子は新しき鮮色なるを10 アール(反)當り0.1 立(5 勺)位を用意し一晝夜水に浸し6-9 糎(2-3 寸の間隔を置き厚薄なきやう條播となし、種子の見えざる程度に腐壤土を覆ひ、藁を敷きたる後灌水し、障子をかけ置くべし。發芽後は出來得る限り日光に當て灌水を減じ、時々間引く必要あり。　殊にこの苗は他の植物と異り生育極めて迅速にして容易に足高となるものなれば屢々假植の必要あり。最初の假植は本葉1-2 枚開展せし時播種床同樣床へ稍々深目に植ゑ、本葉3-4 枚になりたる時第二回の假植を行ふべし。假植床は踏込量を幾分減じ田土を多く5 寸位の厚さに入れ稍々深植にし、活着迄日覆をなし、活着後は日光に當て灌水を減じ、通風よろしき所に置くべし。

(ロ) 定植　5 月上旬頃本葉5-6 枚となりたれば定植す。本畑は通常麥の間に植付くるも、每年同一地に連作するを嫌ふものなり。位置は60 糎(2尺)毎に二畦植けに植ゑ、次一畦をあけ交互の畦を作り60 糎(2 尺)畦を通路となす。定植數日前植込み地に45 糎(1 尺5 寸)位の孔を堀り基肥を施し、鍬底をなし、定植は風なき曇天或は夕方行ふを可とす。苗は先づ灌水を行ひたる後2-30 分後に充分土をつけて堀り取り、一方鍬柒の上に孔をあけ、一握りの灰を入れ、下葉が地上に附着せんとする程度に深く植込めば、埋れたる莖より根を出し發育旺盛となるものなり。植込みたる後株の周圍に指にて倫を畫きその中に薄き人尿をかけ、細竹にて假支柱をなす。

(ハ) 採取　生果用は6 月中旬頃より色付初めたるものを早く採收するを可とす。漸次結實多數になれば價格暴落するものなれば、前半期を生食用に、後半期はソース用に利用すれば經濟的なる方法とす。10 アール(反)當りの收量は通常3381-5635 瓩(900-1500 貫)位なり。採收の際は果梗をつけ切取る樣にすべし。

(ニ) 採種　固有の形狀をなし完熟せるものを切り取り、小さき器に入れて打ち碎き、其種子のみを採取したるものを充分に水洗し、日蔭にて乾燥せしめたる後貯藏す。0.018 立(1 勺)の種子を採收せんには約十顆を要する割合なり。

促成栽培法　蕃茄は收穫期間長き上繁茂激しきものなれば溫床より寧ろ硝子室にて栽培するを宜しとす。通常トマトの高價なる時期は3-4 月頃なれば10 月下旬頃播種するを最も好期とす。品種はスパークス、アーリアナは最も促成栽培に適する良品にして而も播種期は低溫にて差支へなきものなれば別に踏込を行はざる床に播種し得るものなり。簡便なる播種方法として長さ60 糎(2 尺)、幅30 糎(1 尺)、深さ15 糎(5 寸)の木箱に床土を盛り之に播播し、種子の見えざる程度に覆土し、フレームの中に置く。かくて灌水に注意し、本葉2 枚になりたれば假植をなし、12月下旬に第二回の假植をなすべし。1 箇月後に第三回の假植をなし、更に强健なる苗を養成し一月上旬頃第四回の假植を行ひ約1 箇月後に定植を行ふなり。畑地は床土を12 糎(4 寸)の厚さになし、東西三列、一列八本宛植込み活着と同時に胡瓜同樣の棚をなし、其の後は極めて繁茂激しきものなれば側枝は何れも摘除し、又摘葉も必要なり。　夫れのみならず常に灌水に注意し、開花迄は充分に灌水し、有苗中は2-3 日に1 回、その後は每日施すを可とす。但し開花中は落花の濕れあるものなれば灌水を節し、換氣は出來得る限り行ひ强壯に育つべし。

極めて莖葉繁茂し易きものなれば常に過肥に陷らざるやう注意を要す。高一堆肥、人糞尿等多量に施與したる場合は莖葉のみ徒長し、結實せる果は反つて小さく、色澤極めて不良となるものなり。10 アール(反)の施用量は基肥として堆肥375 瓩(100 貫)、藁灰26 瓩(7 貫)、米糠18 瓩(5 貫)、人糞尿300 瓩(80 貫)を施し、第二回は堆肥375 瓩(100 貫)、米糠37 瓩(10 貫)、藁灰30 瓩(8 貫)、人糞尿375 瓩(100 貫)を、畝刈後兩側に作條を設け施肥するを通慶とす。

管理としては5 月下旬頃一番花の開花せる時附近の側枝及び主枝2 本を殘し、其他の腋芽は總て搔取り、2 本仕立てとなすを普通とす。

其他に1本仕立、3 本仕立等の方法あれども2 本仕立を行ふを最も實用的なる方法とし、最も廣く行れつゝあり。元來トマトは前述の如く草勢旺盛なるを以て主枝の伸長につれ側枝の發生著しく、反對に結實尠くなり、尙成熟を遲速せしむるものなれば、なるべく頻繁に適芽し、時には葉の一部を剪除し、空氣陽光の流通を圖り、莖葉の勢力抑壓を計る必要あり。若し旱魃の虞れあれば時に敷藁を施し、或は畦の間に灌水を行ふも適當なる方法とす。

温床栽培の要領

a. 速成栽培用の品種となしては、アーリエスト·オブ·オール、ベスト·オブ·オール、スパークス·アーリアナ等を選ぶを可とす。

b. 温床は播氏25 度より30 度とす。

c. 栽培期は10 月中旬播種、2 月上旬定植、3 月中旬採收開始、6 月下旬採取終了。

d. 假植は茄子同樣3-4 回行ひ3 ケ月經過したる後定植す。苗を旺盛ならしめ最後に6 寸鉢に假植し、第一の開花を見定め定植するを可とす。

e. 定植をなすべき場所には醱熟物36 糎(1-2 尺)位を踏込み、15 糎(5寸)位の厚さに用土を入れ適宜の間隔に定植す。

f. 整枝　通常フレーム內にては一本仕立となす。主枝伸長したる時は胡瓜同樣棚を作りて交互に出さしめ5 月以後に障子を取除け同時に梢をも取り除き、一株1 本宛支柱を施し、之に結びて6-7 房みのりたる頃心を止むるなり。

家庭的栽培法　前項の栽培法を參酌し合理的に管理栽培を行へば容易に生長し家庭的栽培作物となし趣味と實用を兼ねたる果菜とす。

夏時の食用に供する目的ならば溫室又にフレーム內に箱·鉢或は古金盥に3 月初旬種子を蒔き付け、第一の本葉を出したる時少し許りの腐壤土に砂を混じる鉢に一本植ゑとなし、55 度より60 度位の溫度を與へ、根の充分强くなりたる頃腐熟せる廐肥を混じたる5 寸鉢に植かへ、表面の乾かざる程度に灌水し　4-5 2 ケ月は冷涼なる所に置き、5 月の終り頃充分肥料を含みたる壤土を1 尺鉢に入れ植換をなし、根の充分擴張する迄灌水を怠らぬ樣になすべし。この際日蔭に置かず、通氣良好になし、葉腋に出でたる側枝は凡てこれを摘除し、3-4 房着果せし頃摘心を行ふを可とす。

莖は星根或は適當に長き棒或は叉紐に渡し縛りつけ、果が膨れ初めたらば、一週間に一度位稀薄せる人糞尿を與ふれば好成績を擧ぐるものなり。戶外にて栽培せんとなすには溫暖なる地方にては3 月上旬播種し移植度數を多くなし、最後に五寸鉢に植換へ小さき果が一房着きたる頃卽ち6 月上旬頃溫き畑或は庭園に植ゑ付くるなり。

耕作、肥料、支柱、摘心等は前同樣なり。一年中新鮮なるものを得るには栽培の如何によるなり。卽ち春の終りより夏にかけ採收をなすには1 月溫室內にて播種し、冬採收する目的は8 月頃播種すべし。トマト栽培につき重要なることは凡そ60 度の溫度を保たしむること、又通氣良好になし灌水に注意を要し光線に當つること等なり。

1430. ジャガタライモ 爪哇芋·馬鈴薯·陽芋·蕃薯(俚)　ナ　ス　科
Solanum tuberosum, L.　(32 圖版-304)

(異名) ジャガタライモ·ゴショイモ·ハツショウイモ·キンカイモ·テウセンイモ·カフシウイモ·イヅイモ·アカイモ·ゼンカウジイモ·エドイモ·オランダイモ·アップルイモ·アツプル　〔形態〕畑地に栽培する多年生草本にして、高さ60-90 糎(2-3 尺)に達し、全株に短毛を布く。葉は通常卵形又は長橢圓形をなし、銳頭にして全緣をなせる5-9 葉の小葉片より成り、更に每小葉の間に甚だ小形なる小葉片を着生す。夏日莖の頂端に多數の花を攅簇す。本花は繖房なる花梗を有し、花冠は盃狀をなし、先端5 裂し、各裂片は短くして、各々三角形をなす。本植物は果實を結ぶこと極めて稀なれども、その果實は小形の漿果にして黃色に成熟するものなり。吾人の食用に供する部分は俗に芋と稱し、外觀頗る根に似たれども、事實は地下にある枝の諸部が變化肥大し、圓塊となりたるものなれば、植物學上より之を觀れば、この芋なるものは地下莖の變形したるものにして、これを塊莖といふを正當なる用語とするものなり。去ればこの塊莖は外面に薄き皮膜を被り、諸所に數多の芽を有し、又諸所より根を生ずるものなり。

人生との關係　塊莖を食用に供す。殊に現今に於ける必要は殆ど日常缺くべからざる程度に需要多きものなり。卽ち日常食用に供する以外、澱粉を製し、或は酵酵とし、或は酒、味噌、醬油を醸し、又酒精の原料とする外、嗽葉も食用に供せらるゝものなり。去れどこの嗽葉には「ソラニン」(Solanin)なる有毒素を含有することあれば注意すべし。又塊莖にても、共芽には往々同樣の毒分を含むものなり。去ればこの毒素を避けんとするには、塊莖を切りて水中に浸し、然る後使用するを最も安全なる方法とす。卽ちこの毒素は水に溶解する性質を有するものなれば、この浸漬によりて澱分は水中に出づるものなり。又塊莖より澱粉を製する際生ずる無用の液汁は、洗濯用水に供すれば無害の除垢料となるものなり。以下少しく馬鈴薯の調理法及共品種並栽培法につき記述すべし。

瓜哇薯の栽培品種と其栽培法及加工法

瓜哇薯は品種極めて多種なるが其栽培せらるゝ主なるものを次に例擧すべし。

1. アーリーローズ (Early Rose)　米國の原產種にして本邦へは古來より渡來し各地に栽培せらる。早生種にして一名二度薯とも稱せられ、芋は長橢圓體の扁形にして相當大形となり、皮は平滑にして淡黃色を呈するも、目は稍々深く紅色なり。肉は淡黃色にして紅色を帶び、粉狀な呈甘味を有するも、時には澁きものあり。豐產なるも病氣の抵抗には稍々弱し。煮食用に適する種類なり。

2. デゥーレー (Dooley)　大形ならざるも扁球の整形にして、目淺く、外皮は黃色にして肉白色を呈するものなり。味佳良にして市場向なるも收量多からざる缺點あり。

3. アイリッシュ·コッブラー (Irish cobbler)　最大種にして、1.125 瓩(30 匁)位とす。目淺く外皮黃白色を呈し、滑かなり。肉は帶白色にして風味良く豐產なり。　中生種に屬し本邦の風土に適す。

4. 長崎赤　神奈川縣地方にては之を金時と云ひ、中等大の球形にして淡紅色を呈

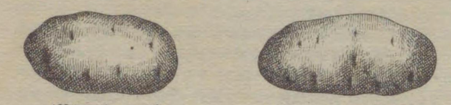
す.目甚だ深く凹めり。肉は黄白色を呈し澱粉の含量多量なるも味不美なり。爲めに多くは澱粉の製造に使用せらる。

5. **五郎八**　草丈高く.芋は橢圓體にして中位乃至大形なり。外皮粗糙にして黄白色を呈し.肉亦黄白色を呈し.質緻密にして澱粉に富み.晩生種に屬し豐産なるも.甘味乏し。

6. **赤芽**　橢圓體の大形種なり。外皮は黄褐色を呈し.目淺く肉淡黄色を呈すれども煮ると白色に變じ.甘味多く美味なり。澱粉少量にして為に弱きも極めて豐産なり。この種に莖の直立するものと.匍匐するものとの2種あるも.後者は收量少きを以て直立性のもののみを種用となすを可とす。

7. **ホワイト・ローズ** (White Rose)　米國産にして草丈稍々短く.芋は橢圓體をなし大形なり。目は微紅色を帶び.外皮は暗黄色を呈し.質緻密にして味佳く.晩生種に屬し收獲多量なる種類なり。

8. **スノー・フレーク** (Snow Flake)　雪形と稱し.長橢圓體の中等大にして表皮白色を呈し.目淺く.肉純白にして雪の如きを以てこの名あり。質緻密にして水分少く.澱粉の含量多量なるに拘らず味可良.且つ豐産にして貯藏にも堪ゆる故.澱粉の原料.赤食用及輸出に適す。晩生種に屬す。



182 アーリーローズ　183 ホワイト エレファント　184 スノーフレーム　185 スノーボール　186 五郎八　187 甲州　188 アメリカンワンダー

以上説明せしもの外主なる品種を表記すること下記の如し。

品種名	形狀	大きさ	皮色	肉色	品質	主産地	摘要
三圓	長橢圓	甚大	黄色	黄白	中	青森	收量甚多
白	長橢圓	大	黄色	黄白	下	北海道	收量小
甲州	球	大	黄色	黄白	中	山梨	收量中
根室	長橢圓扁	大	濃紫	黄白 紫暈	下	北海道	收量甚多
(ホワイト・エレファント) (White Elephant)	長橢圓	中	黄色	黄白	中		收量中
(バーバンクス・シードリング) (Burbank's Seedling)	橢圓扁	大	暗黄	黄白	中		收量中
(スノーボール) (Snow Ball)	長橢圓	中	黄紅	白色	上		收量中
(アメリカン・ワンダー) (American Wonder)	橢圓扁	中	黄色	黄白	上		收量中
(テレフオン) (Telephon)	短橢圓扁	大	暗黄	黄白	上		收量中
(タコマ) (Takoma)	扁球	大	紅色	黄白	中		收量中
(シカゴ・マーケット) (Chicago Market)	尖橢圓	中	暗紅	黄色	中		收量中

栽培法　熱帶の原産なるも寧ろ降水量の少なき温帶の北方に於いて最も生育可良なり。土質は排水可良.稍々輕鬆なる壤土にして肥沃なる處を理想とす。普通種薯によりて蕃殖す。種薯は完熟に近きものを採取し.品種の特徴を具備し.目淺く外皮滑かにして病害並に損傷なき中位のものを選ぶべし。若し大形なる場合は縦に切り.切り口に木灰.石灰.硫黄類を塗沫し用ふるも可なり。病害を被れる畠より採取せしものゝ場合は豫めボルドー液又は稀薄なる昇汞水に浸し.水洗し陽乾せしものを用ふれば安全なり。栽培期は春.夏の二期とし.夏作は暖地に於いて2月下旬より3月下旬.寒地に於いては3月中旬より5月上旬に栽培し.秋作は7月上旬より8月下旬を栽殖の適期とす。夏作はなるべく早きを可とし.秋作は主として翌年の種薯採取の目的を以て栽培するものなり。秋作は特に催芽法を行ふ必要あり。これは種薯の休眠不充分にして發芽困難なるを以て.一時冷所に貯藏し.或は苗床に入れ.或は叉凍席にて覆ひ乾燥を避け.發芽せしむるを可とす。土地は叮寧に深耕し.堆肥を鋤込み.畦幅60糎(2尺)に作條を切り.株間24-45糎(0.8-1.6尺)位にとりて栽殖す。肥料は窒素肥料を多く要すれども.さりとて過用せし場合は地下部の徒長を促しよろしからず。肥料は基肥.補肥に分けて使用し加里及び燐酸肥料は主として基肥として施用す。次に農林省園藝試驗場に於ける施肥標準量を參考の資に供せん。

肥料	總量	基補	補肥第一回	補肥第二回	三要素量
堆肥	750瓩(200貫)	750瓩(200貫)	——	——	
大豆粕	37瓩(10貫)	37瓩(10貫)	——	——	窒素15.375瓩(4.100貫)
人糞尿	1500瓩(400貫)	375瓩(100貫)	562瓩(150貫)	562瓩(150貫)	
過燐酸石灰	30瓩(8貫)	——	30瓩(8貫)	——	燐酸12.825瓩(3.420貫)
木灰	56瓩(15貫)	55瓩(15貫)	——	——	加里14.775瓩(3.940貫)

作條を切りたれば大豆粕.過燐酸石灰.草木灰等を混合したるものをそこに施し種薯を置き6-9糎(2-3寸)の深さに覆土するも寒害著しき所にては稍々深くし.萠芽9-12糎(3-4寸)位に伸びたる時.1に株つき勢力旺盛にして充實せるものを1-2本を殘し.他は摘除し.同時に第一回の補肥を施し淺く培土す。其後2-3週間經過し.第二回の補肥をなし.中耕及培土を行ふものなるも.その際輕き土壤の所に於いては頂上に淺き溝を作り.水が根に傳ひ得るやうにし.重き土壤の所にては頂上を尖らせ排水を良好ならしむるを可とす。其後も適宜に培土を行ひ.莖の倒伏.或は薯の露出を防止し.花梗抽出の際は摘除す。採收は莖葉の黄色を帶ぶるを徴となし.土地の乾燥せる日を選び收穫するを宜しとす。收穫せしものは1-2日よく乾燥せしめ暗き床上に並べ.寒地に於きては籠或は俵に入れ凍らざるやう貯藏し.又寒を利用するも可なり。尚又圃場にての貯藏法も行はるゝも.そは凍害防止と同時に腐敗を防ぐべく排水換氣を充分に努め.殊に種薯を圃場に貯藏する場合は木灰或は石灰を充分に撒布し.空氣の流通よき乾燥地を選ぶを肝要とす。收量は通常夏作にて1500-1875瓩(4-500貫).秋作は563瓩(150貫)内外なり。

瓜哇薯の加工法

澱粉製造法　小規模にて製造をなすには瓜哇薯をよく水洗し泥土を去り磨潰し磨となし.數倍量の水を加へ攪拌し麻袋に入れ.絞り採りたる乳狀液を桶に入れ.沈澱するを俟ち上水を傾け.新に加水攪拌し沈積せしめ.上淨を有せざる迄反復す。最後に上水を棄て泥狀の澱粉を淺き筥に移し.乾燥せしめ細碎し販賣す。大規模の場合に於ては種々なる機械を用ふるのみにて洗滌.磨碎.濾過.分離.乾燥等の諸過程を經て製するも.その原理に至りては前の方法と全く同一なり。品質優美なるものとは色澤.鮮麗純白にして光澤に富み.その上充分乾燥し夾雜物を有せぬ.且つ臭氣なきものを云ふなり。夾雜物を肉眼にて鑑別し難き時は顯微鏡檢査を行ふか.小量の澱粉を試驗管に入れ加水して能く振盪し.澱粉以外の沈澱物を調査するなり。澱粉は稀薄沃度加里溶液に遇ふ時は美麗なる藍紫色を呈するものなり。又60度以上の溫湯中にて糊狀を呈しクズ湯となり.又これに麥芽を加へ適度の溫度を與ふるときは漸次溶解し.糊精と麥芽糖とを生成せる性質を有するものを生ず。

1431. ルリヤナギ ..... ナス科
Solanum glaucophyllum, Desf. (32圖版-305)

〔異名〕スズカケヤナギ・リウキウヤナギ・チャウジクヮ　〔形態〕園地に培養せらるゝ外來の常綠灌木なり。莖は單一にして高さ1-5米(5-6尺)に達し.全株粉白色を呈す。葉は卵狀乃至長橢圓狀披針形.銳尖頭をなし.基脚鋭く.全緣にして短柄を有し互生す。花は總狀或は房狀花序をなし頂生或は側出す。本花の萼は杯形をなし5齒緣を具へ.花冠は廣鐘形をなし.長さ10-12粍(3-5-4分)許.先端5裂し.各裂片は.卵狀橢圓形.銳頭なり。蒴果は橢圓狀球形をなし.黄熟す。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔原産地〕南米秘露。

1432. モンパナスビ ..... ナス科
Solanum incanum, L.

〔形態〕前種と同樣一年生草本にして.全株に星毛を密布し.所々に刺を有す。葉は卵形にして.深波狀緣をなすか.或は分裂し.葉柄を有し互生す。花は完全登花と.雄性不登花とより成り.前者は單生.或は總狀花序をなせる後者の基脚に生ず。萼は鐘形にして5齒緣をなし.花冠は外面に毛茸を有す。蒴果は球形にして.黄熟し.多刺を有する宿存萼より超出す。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1433. いぬほほづき 龍葵・天茄(支) ..... ナス科
Solanum nigrnm, *L.* (32圖版-306)

〔異名〕うしほほづき・やぶほほづき・くろほほづき・やまほほづき・ひたひほほづき・いのほほづき　〔形態〕諸國の原野.路傍等に自生する一年生草本にして.高さ60-90糎(2-3尺)に達し.斜に枝を分つ。葉は有柄にして互生し.卵形にして基部楔形をなし.全緣なるか.不規則にして粗大なる波狀鋸齒をなし.短毛を有するか又は稍平滑にして一種の臭氣を有す。夏日枝葉の中間に花梗を抽くこと3糎(1寸)許にして.5-7の小梗を分ち繖形をなし.白色花を綴り.相連りて下垂す。萼は5裂し.各裂片は廣濶.鈍

299 タマゴナスビ　300 フユサンゴ　301 ハリナスビ　302 キンギンナスビ
303 サンゴジユナスビ　304 ジヤガタライモ　305 ルリヤナギ　306 いぬほほづき
307 ひよどりじようご　308 めじろほほづき　309 ストレプトソーレン・シエームソニー　310 はだかほほづき

頭にして、花冠より短小なり。花冠は深裂して5片をなし、5雄蕊を有し、花冠の基部に着生し、中央に1雌蕊を擁す。花後南天實大の漿果を結び、黒色に成熟し、中に小扁子 20–30 を藏す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州・九州・小笠原・臺灣・朝鮮・支那。

人生との關係　本草は酷烈なる麻痺性の毒分を含有するものなれば、誤りてこれを食すれば昏酔、搐搦等の諸症を發すれども、これを醫藥用として利用すれば催眠、鎮痛に効ありといふ。

朝鮮に於ても民間藥として、本植物の苗、莖、葉共に煎用す。即ち瞳氣を消し、補腎、壯陽に効ありと稱す。尙ほ彼の地の人は嫩葉を茹でて菜として食用に供すといふ。

1434. **ひよどりじょうご** 白英 ……ナス科
Solanum lyratum, *Thunb.* (32圖版-307)

〔異名〕ほろし・つつらこ　〔形態〕諸國の山野に自生する多年生の蔓草にして、全株に軟毛を布く。莖は細長く、葉は長柄を有し、葉身は長楕圓形、銳頭をなし、基部は心臟形をなすもの、或は缺刻ありて耳形をなせるもの、又戟形をなせるもの等あり。莖頂に近き葉は全緣なるものを有する等、形態變化に富むものなり。花は葉柄と相對して聚繖花序を出し、長柄を有する白色の小花を着生す。萼は鐘狀にして5裂し、花冠も亦5裂し、披針形にして反捲す。雄蕊5箇ありて、花絲甚だ短く、葯は互に相接して子房を包み、花柱は長く葯外に挺出す。果實は漿果にして1極(3分)内外を有し、熟すれば赤色を呈す。〔花色〕帶白色。〔花候〕夏–秋。〔分布〕北海道・本州各地・九州・對馬・臺灣・朝鮮・支那。

人生との關係　前種と同樣有毒植物の一なれば注意を要す。

1435. キミノヒヨドリジョウゴ ……ナス科
Solanum lyratum, Thunb. var. *xanthocarpum*, *Makino.*

〔形態〕本植物も亦山野に自生する多年生蔓草にして、前種の一變種とし戟形葉など彼と同樣なれども、本種の漿果は黄熟するを異るところとす。
〔花色〕白色。〔花候〕夏–秋。〔分布〕本州中部。

1436. **やまほろし** ……ナス科
Solanum nipponense, *Makino.*

〔異名〕ほそばのほろし　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。本種は次種マルバノホロシに比し、葉は小形にして、往々基脚に一對の缺刻を有し戟形をなし、花は白茶色を呈し、漿果は球形をなすを異るところとす。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各地・四國・九州。

191 やまほろし　192 まるばのほろし

1437. **まるばのほろし** 白英 ……ナス科
S. nipponense, *Makino.* var. macrocarpum, (*Maxim.*)

〔異名〕まるばのひよどりしょうご　〔形態〕各地の山林、原野等に自生する多年生草本にして、莖は他物に纏繞し、又は傾上し、長さ 60–180 糎(2–9尺)に達す。この莖及葉柄には2縱線を有し、線上に剛毛を生ず。葉は葉柄により、互生し、卵形、銳尖頭をなし、全緣にして緣毛を有し、基脚は稍心臟形をなし、脈上に毛茸を有す。花は徑 13 粍(4分)許を有し、多數撒簇して聚繖花序に排列す。萼及花冠は先端5裂し、萼の裂片は短くして廣く、楕圓形をなし鈍頭なり。花冠の裂片は三角狀披針形にして毛茸を有す。漿果は長楕圓形或は卵形にして長さ 15 粍(5分)許を有し、赤紫色に成熟す。
〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各地。

人生との關係　果實は有毒なれども、又レウマチス鎭痙等の藥として効ありといふ。

1438. **めじろほほづき** 紅絲線(支) ……ナス科
Solanum biflorum, *Lour.* (32圖版-308)

〔形態〕多く各地の海邊に近く自生する多年生草本にして、莖は高さ 1·5 米(數尺)に達し、全株に短毛を布く。葉は有柄にして互生し、葉身は長楕圓狀卵形にして銳頭をなし、波狀緣を具ふ。花は梢上方葉腋より短花梗を抽出し、概ね1花を着生す。萼は鐘狀にして 10 裂し、花冠は5深裂す。雄蕊は5箇を有し、葯は花柱の周圍に聚まり、且つこれを擁す。果實は漿果にしてホホヅキの果實に似、更に大なり。熟すれば紅色を呈し、果の頂上に1箇の白點を有す。これ此和名を有する所以なり。本果は扁球形をなし、宿存萼を伴ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏–秋。〔分布〕四國・九州・小笠原島・琉球臺灣・朝鮮・支那。

19. ストレプトソーレン屬 STREPTOSOLEN.

1439. **ストレプトソーレン・ジェームソニー** ナス科
Strepotosolen Jumesonii, Miers. (32圖版-309)

〔形態〕近時の外來に係る小灌木にして、莖高さ 1·2–1·5 米(4–5尺)に達し、全株に毛茸を有す。葉は長卵形にして先端尖り、全緣なり。この葉は長柄を有し、互生す。花は纖房狀をなし梢上に着生す。〔花色〕橙黄色。
〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培せらるゝものなれども、又切花としても珍重せらる。

20. ハダカホホヅキ屬 TUBOCAPSICUM.

1440. **はだかほほづき** 龍珠 (32圖版-310)……ナス科
Tubocapsicum anomalum, *Makino.*

〔異名〕やまほほづき　〔形態〕林野に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬し、莖は高さ 60–90 糎(2–3尺)に達す。葉は單生又は双生し、互生なり。葉身は長卵形にして銳尖頭をなし、基脚楔形を呈し、葉柄に流れ、全緣なり。夏日梢上葉腋毎に有梗の花を着け、2–3 花集合す。萼は鐘狀にして截頭をなし、花冠も亦鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は先端尖りて反捲す。雄蕊は5箇あり、葯は黄色を呈し、雌蕊は1箇を有す。子房は球狀をなし、一花柱にして、その先端に1箇の柱頭を有す。果實は漿果にして始は綠色を呈し、熟すれば深紅色となれども、萼片を以て包被せらるゝことなし。
〔花色〕黄色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

人生との關係　有毒植物の一なれば小兒等に注意を與ふべきものとす。

1441. **まるばはだかほほづき** ……ナス科
T. anomalum, *Makino.* var. obtsusum, *Makino.*

〔形態〕前種の一變種に屬し、葉は廣卵形、鈍頭をなし、基脚圓くして葉柄に流れ、稍波狀緣をなし、側脈粗く、各側 3–5 脈を有するものなり。漿果は徑 13 粍(4分)許を有し、赤色に成熟す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。
〔分布〕四國。

*　*　*　*　*

22. ノラナ科 NOLANACEÆ.

本科の植物は、草本或は、小灌木なり。葉は互生、或は對生し、何れも全邊なり。花は兩性、整齊にして單生、或は數花相集りて總狀花序をなす。萼は下位にして、先端5深裂す。花冠は合瓣花冠にして、5-10裂し、その裂片に芽中に於ては皺襞様に排列す。雄蕊は5箇ありて、花冠に着生し、その裂片と互生す。心皮は通常5箇ありて分離、稀に結合し、8-10室の子房を生ず。花盤は肉質をなし、雌蕊の下に位す。果實は小堅果、核果或は離果なり。種子は胚乳を含む。

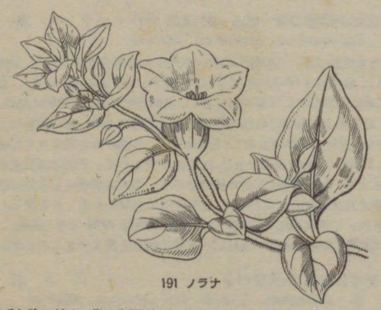
本科には世界を通じ、3屬凡そ50種の植物を有すれども、多くは南亞米利加の西海岸にのみ產出し、本邦には栽培せらるゝもの唯1屬、2種を有するに過ぎざるものなり。

1. ノラナ屬 NOLANA

1442. **ノラナ** …… ノラナ科

Nolana paradoxa, Lindl.

〔形態〕園地に栽培せらるゝ一年生草本なり。莖は斜上し、高さ1-2呎(3-7分)許に達し、葉は卵圓形、全緣なれども、稜葉は長柄を有し、莖生葉は無柄なり。花は枝上葉腋上に着生し、徑約3糎(1寸)許萼片は卵狀披針形、花冠は漏斗形をなし、紘部は碧色、喉部は白色を呈し、筒部の內面は淡黃色を呈す。〔原產地〕南米智利。



191 ノラナ

人生との關係　本邦にては專ら觀賞用として栽培するものなり。

總索引

ア

アイザハシホガマ …… 114
アキス …… 132
アイスクリーム …… 14
アヲウリ …… 16
アヲキヌタサウ …… 61
アヲバナノハコネウツギ …… 39
アヲホホヅキ …… 36
アカイモ …… 143
アカガチ …… 136
アカキナノキ …… 54
アカダウリ …… 20
アカダマカヅラ …… 65
アカダマノキ …… 65
アカナス …… 142
アカヌマサウ …… 105
アカネ …… 53
アカネ …… 70
アカネカヅラ …… 70
アカネムグラ …… 70
アカバナツクバネウツギ …… 38
アカバナツクバネウツギ …… 38
アカバナテウセンアサガホ …… 132
アカバナヘウタンボク …… 45
アカバナムグラ …… 73
アカブラキ …… 74
アカミツギ …… 74
アカミミズ …… 74
アカミミズキ …… 74
アカヤジワウ …… 118
アカンツス・スピノサス …… 79
アカンバ …… 74
アクム …… 142
アコダ …… 20
アコダウリ …… 20
アサウリ …… 16
アシナガスミトリスミレ …… 87
アゼタウガラシ …… 106
アゼナ …… 106
アゼムシロ …… 9
アタゴサウ …… 87
アヂサイバノサンゴジュ …… 49
アツバキンチヤクサウ …… 101
アツブル …… 143
アツブルイモ …… 143
アハバナ …… 33
アブノメ …… 102
アフリカウンラン …… 113
アフリカスミレ …… 91
アマウリ …… 15
アマクサ …… 21
アマダマシ …… 135
アマチヤヅル …… 21
アマナ …… 9
アマモドキ …… 135
アメリカオホバコ …… 77
アメリカカボチヤ …… 21
アメリカキササゲ …… 96
アメリカタマガサ …… 54
アメリカテウセンアサガホ …… 132
アメリカホホヅキ …… 136
アメリカミゾホホヅキ …… 110
アラゲガマズミ …… 46
アラゲヘウタンボク …… 44
アラビヤ・コーヒーノキ …… 57
アラゲクワエンサウ …… 65
アリサンアキ …… 83
アーリスト・オブ・オール …… 142
アリドホシ …… 57
アーリー・フリータム …… 142

イ

イガナスビ …… 132
イガホホヅキ …… 136
イサハオホバコ …… 74
イシガキクハガタ …… 126
イシカハシホガマ …… 117
イシカンラ …… 69
イセハナビ …… 83
イセママコナ …… 109
イソギキヤウ …… 9
イヅイモ …… 143
イヅコゴメグサ …… 102
イツツノイロ …… 15
イトウリ …… 22
イトコグサ …… 74
イトシヤジン …… 6
イナモリサウ …… 69
イヌソゾミ …… 50
イヌタラエフ …… 49
イヌニンドウ …… 40
イヌノフグリ …… 122
イヌフグリ …… 122
イヌホホヅキ …… 144
イノホホヅキ …… 144
イハギキヤウ …… 5
イハギリサウ …… 88
イハシヤジン …… 2
イハタバコ …… 87
イハチサ …… 87
イハツクバネウツギ …… 38
イハヅタヒ …… 69
イハツリガネサウ …… 2
イハナ …… 87
イハハギ …… 65
イハブクロ …… 117
イボウリ …… 19
イボタヘウタンボク …… 45
インドカボチヤ …… 20

ウ

ウグヒスカグラ …… 43
ウグヒスガクレ …… 43
ウグヒスノキ …… 43
ウグヒスボク …… 43
ウゴマ …… 95
ウコンウツギ …… 39
ウシノシタ …… 91
ウシノヒタヒ …… 50
ウシホホヅキ …… 144
ウスイロサンゴバナ …… 80
ウスギカハラマツバ …… 61
ウスベニカノコサウ …… 33
ウスユキムグラ …… 53
ウヅタウガラシ …… 131
ウラミウグヒスカグラ …… 43
ウラムラサキ …… 83
ウリクサ …… 121
ウリバローレルカヅラ …… 83
ウルツブサウ …… 105
ウルツブシホガマ …… 117
ウンラン …… 106
ウンランカヅラ …… 106
ウンランモドキ …… 113

エ

エゾアリドホシ …… 40
エゾオホバコ …… 77
エゾキンレイクワ …… 34
エゾコゴメグサ …… 105
エゾシホガマ …… 113
エゾニハトコ …… 45
エゾノカハヂシヤ …… 125
エゾノクガイサウ …… 122
エゾノヨツバシホガマ …… 114
エゾノヨツバムグラ …… 61
エゾヒナノウスツボ …… 121
エゾヘウタンボク …… 44
エゾミヤマクハガタ …… 125
エゾムグラ …… 58
エゾルリトラノヲ …… 126
エドイモ …… 143
エノミタウガラシ …… 131
エノミタンネ …… 45
エメラルドゼム …… 16

オ・ヲ

ヲカウツボ …… 92
ヲカサダケ …… 92
ヲガサハラオニク …… 95
オキナハサンゴジュ …… 49
オキナハスズメウリ …… 14
オキナハハクサンボク …… 50
ヲギノツメ …… 80
オクエゾコゴメグサ …… 105
オクノウグヒスカグラ …… 43
ヲクテマルナス …… 138
ヲクテヤマナズ …… 138
オシマガマズミ …… 49
オトギリキヌタサウ …… 61
ヲトコヲミナヘシ …… 33
ヲトコヘシ …… 33
ヲトコベシ …… 33
ヲトコメシ …… 33
ヲトコヨウゾメ …… 49
オトメギキヤウ …… 5
ヲドリコサウ …… 113
ヲドリヅル …… 69
オニク …… 92
オニシホガマ …… 117
オニツクバネウツギ …… 38
オニナス …… 133
オニナベナ …… 29
オニヘウタンボク …… 44
オニミルクサ …… 137
オバコ …… 74
オホアカネ …… 70
オホアブノメ …… 105
オホイヌフグリ …… 122
オホイハギリサウ …… 88
オホイハタバコ …… 91
オホウシノシタ …… 91
オホカハヂシヤ …… 125
オホカメノキ …… 50

總索引

オホカラスウリ……29
オホキヌタサウ……70
オホキンレイクワ……34
オホクルマアカネ……70
オホシマアリドホシ……57
オホシラタマカヅラ……70
オホシロウリ……16
オホスズメウリ……26
オホセリカハ……138
オホセンナリ……135
オホタニウツギ……39
オホタバコ……135
オホタマガサ……66
オホチヤウジガマズミ……46
オホツクバネウツギ……38
オホツチ……33
オホツリガネニンジン……2
オホデマリ……50
オホナンバンギセル……92
オホニハトコ……45
オホバイハヅタヒ……70
オホバエゾヘウタンボク……44
オホバオミナヘン……34
オホバコ……74
オホバシホガマ……114
オホバジユズネノキ……57
オホハシリドコロ……130
オホハタケクハガタ……132
オホバナヂキタリス……102
オホバナノヒメシヤジン……2
オホバナマウリンクワ……130
オホバノヤヘムグラ……58
オホバノヨツバムグラ……61
オホバヘウタンボク……44
オホバミゾホホヅキ……110
オホヒキヨモギ……121
オホヒナノウスツボ……121
オホヘウタン……22
オホヘウタンボク……44
オホベニウツギ……39
オホミゾカクシ……10
オホムシカリ……50
オホヤヘクチナシ……62
オホリンネサウ……40
ヲミナヘシ……33
ヲミナベシ……33
ヲミナメシ……33
ヲメキグサ……137
オモヒグサ……92
ヲヤマムグラ……53
オランダイモ……143
オランダオホバコ……77
オンバコ……74

カ

カイルパ……74
カイゲンオホキウリ……19
カウシンサウ……87
カウライゴセリ……130
カガチ……136
カガリビサウ……113
カギカヅラ……73
カグラサウ……80
カサダケ……92
カシハバテツセンアサガホ……132
カステラタウナス……20
カスミムグラ……53
カタミノカツラ……97
カツシヨクキナノキ……54
カツタイカツラ……25
カツラウリ……16
カノコサウ……34
カハヂシヤ……125
カバネグサ……69
カバフトムシトリスミレ……87
カハラガシハ……96
カハラギリ……96
カハラクサギナ……96
カハラササゲ……96
カハラヒサギ……96
カハラマツバ……61
カフシウイモ……143
カブテコプラ……96
カベサウ……50
カベノキ……50
カベンサウ……50
カホウ……14
カボチヤ……20
ガマズミ……46
カミナリササゲ……96
カメガラ……50
カモウリ……13
カラスウリ……19
カラクサ……9
カラクサカヅラ……106
カラクチナシ……62
カラウリ……26
カラスガマズミ……49
カラスノカギヅル……73
カラタニウツギ……39
カラフトシホガマ……113
カラフトヒヨクサウ……120
カルハフシナシ……19
カンチヤウジ……53
カンパヌラ・ラプンキユロイデス……6
カンボク……50

キ

キアサガホ……132
キウスエグサ……69
キウリ……19
キカラスウリ……26
キキナノキ……54
キキヤウ……10
キキヤウニンジン……2
キクガラクサ……102
キクザ……20
キクザタウナス……20
キクバクハガタ……125
キクバトラノヲ……129
キクムグラ……61
キクモ……105
キサササギ……96
キサササゲ……96
キサンゴ……49
キセルサウ……92
キソムシカリ……50
キダチイナモリサウ……66
キダチキツネノマゴ……80
キダチタウガラシ……132
キダチニンドウ……40
キタヅ……45
キタミサウ……106
キチガヒナスビ……132
キチヤウジ……132
キツダ……138
キツネノテブクロ……101
キツネノヒマゴ……80
キツネノマクラ……26
キツネノマゴ……80
キネネノマゴクワ(科)……79
キヌタサウ……61
キバサウ……132
キバナウツギ……40
キバナウリクサ……121
キバナカハラマツバ……61
キバナカラスウリ……26
キバナヂキタリス……102
キバナツクバネウツギ……38
キバナノシホガマ……113
キバナノツキヌキニンドウ……43
キバナヒメシホガマ……113
キバナマツムシサウ……30
キミノエゾニハトコ……45
キミノニハトコ……45
キミノヒヨドリジヤウゴ……147
キムラタケ……92
ギモミヂ……96
ギヨクシンクワ……54
キリ……113
キリカヅラ……106
キリノキ……113
キヨスミウツボ……95
キンカイモ……143
キンギヨサウ……98
キンギヨシバ……78
キンギヨボク……83
キンギンナスビ……141
キンギンボク……43
キング・ジヨージ……16
キンチヤクサウ……98
キンチヤクナス……138
キンマクワウリ……15
ギンマクワウリ……15
キンレイクワ……33

ク

クカイサウ……122
クガイサウ……122
ク　コ……135
クサタヅ……40
クサトベラ……1
クサニハトコ……40
クチナシ……61
クチナシグサ……113
グドウジン……26
クハガタサウ……125
クリムソン・カツシヨン……142
クルマサウ……122
クルマサンシチ……122
クルマバアカネ……70
クルマバサウ……53
クルマバシホガマ……114
クルマムグラ……58
クロタウガラシ……131
クロバナニハトコ……45
クロバナヘウタンボク……45
クロバナマツムシサウ……30
クロホホヅキ……144
クロミノウグヒスカグラ……43
クロミノオキナハスズメウリ……25
クロミノスズメウリ……25
クワエンサウ……65
クワエンボク……97
グンバイヅル……126

ケ

ケアカミヅキ……74
ケアカミミヅキ……74
ケイハタバコ……88
ケウグヒスカグラ……43
ケガマズミ……49
ケカラスウリ……19
ケカンボク……50
ケキナモドキ……74
ゲクワコロシ……132
ケコンロンクワ……66
ケツクバネウツギ……38
ゲツケイカヅラ……83
ケテウセンアサガホ……132
ケナシエゾノヨツバムグラ……61
ケナシカンボク……50
ケナシキリカヅラ……109
ケナシタマガサ……66
ケナシヤブテマリ……50
ケナシヤマムグラ……58
ケニハトコ……45
ケブカキツネノマゴ……80
ケホホヅキ……137
ケムマ……19
ケヤナギハグロ……80
ケヨノミ……43
ケンサキ……62
ゲンシウツボ……95
ゲンダルサウ……80

コ

コウグヒスカグラ……43
コウシンスキクワ……14
コウフウボク……70
コウルウメ……49
コーカサスマツムシサウ……30
コガマズミ……46
ゴキヅル……13
コギヨクシンクワ……54
コキリカヅラ……109
コキンレイクワ……33
コクチナシ……62
コクハガタサウ……125
コケツメグサ……110
ココノヘギリ……113
コゴメグサ……102
コゴメグサシホガマ……114
コゴメヘウタンボク……44
コシホガマ……118
ゴシヨイモ……143
ゴシンカウ……96
コタウガラシ……131
コタヌキモ……84
コツクバネウツギ……33
コトリトマラズ……57
コナタウリ……20
コネソ……49
ゴネヅ……50
コノテバナ……9
コハクサンボク……50
ゴバジユズネノキ……57
コバナツクバネウツギ……38
コバノガマズミ……46
コバノクハガタ……126
コバノコゴメグサ……105
コバノハマヂンチヤウ……78
コバノヘクソカヅラ……69
コバノヨツバムグラ……58
コハマヂンチヤウ……78
コバンムグラ……66
コーヒーモドキ……57
ゴ　マ……95
ゴマギ……49
ゴマクサ……101
ゴマシホガマ……114
ゴマシホヤナギ……49
ゴマノハグサ……118
ゴマノハグサクワ(科)……97
コミヤマガマズミ……46
コメバコゴメグサ……102
コモウツギ……45
ゴモジユ……49
コヤブテマリ……50
コリンクチナシ……61
ゴリンバナ……37
コールス・アーリー……14
ゴールデン・ジユビリー……142
コーレリア・ポゴテンシス……92
コンロンクワ……65

サ

サイエフシヤジン……2
サイキヤウ……20
サイコクガマズミ……46
サヲトメカツラ……69
サヲトメバナ……69
サガリマツブサ……131
サギゴケ……109
サギシバ……109
サギスゲ……109
サザエオホバコ……74
サツキヒナノウスツボ……121
サツトンス・エブリーデー……19
サツトンス・エーワン……16
サツトンス・エーワン……19
サツトンス・スカーレット……16
サツマ……20
サツマイナモリ……66
サツマルリミノキ……62
サドハラ……138
サハギキヤウ……9
サハタウガラシ……105
ザブンギ……66
サホヒメ……118
ザラメキスズメウリ……25
ザルジニアセラギノイデス……129
サルトカヅラ……73
サルメンバナ……137
サンゴジユ……49
サンゴジユスズメウリ……25
サンゴジユナスビ……142
サンゴジユボク……49
サンゴバナ……80
サンクソクワ……62
サンマイメ……19
サンライズ……142

シ

シコクママナ……109
シシタウガラシ……131
シシンラン……88
シソクサ……105
シソハウリクサ……121
シタイシヤウ……80
シテウゲ……65
シデシヤジン……9
シナオホナガナス……138
シナカボチヤ……20
シナギリ……113
シナサンジヤクキウリ……19
シナシユ……25
シナシロナス……138
シナツクバネウツギ……38
シホガキサウ……113
シホガマギク……113
シマウツボ……95
シマウリ……16
シマウリ……19
シマオユク……92
シマガマズミ……49
シマギキヤウ……6
シマキツネノマゴ……80
シマギヨクシンクワ……54
シマザクラ……66
シマシヤジン……2
シマソナレムグラ……66
シマタウガラシ……132
シマタヌキモ……84
シマタラエフ……49
シマハクサンボク……50
シマハビロ……62
シマヘウタンボク……73
シマホタルブクロ……5
シマホホヅキ……137
シマミサヲノキ……70
シマミカキグサ……87
シヤウゲンボク……96
ジヤウゴバナ……79
ジヤカウウリ……15
ジヤカウササウモドキ……101
ジヤカウミゾホホヅキ……110
ジヤカゴサウ……109
ジヤガタライモ……143
シヤクヘウタン……22
ジヤコンサウ……66
シユクコンタバコ……135
ジユズネノキ……57
シヨクヨウホホヅキ……136
シラケシヤジン……5
シラタマカヅラ……69
シロアミメグサ……79
シロウリ……16
シロバナイナモリサウ……69
シロバナイハギリサウ……88
シロバナイハタバコ……88
シロバナウゲヒスカグラ……43
シロバナウツギ……39
シロバナオホバコ……77

總索引

シロバナカンチヤウジ……54
シロバナサンタンクワ……62
シロバナビロウドウツギ……40
シロバナサギゴケ……109
シロバナシホガマ……113
シロバナタカネシホガマ……114
シロバナハンクワイアザミ……117
シロバナママコナ……109
シロバナミミカキグサ……84
シロバナヤウシユテウセンアサガホ……132
シロミミズ……57
シロヤヂワウ……118
シンコクダイマル……138
シンテンヤマアキ……83

ス

スキクワ……14
スキートサイベリアン……14
スカビオサ……30
スズカケサウ……98
スズカケヤナギ……144
ススケノハナ……22
スズムシサウ……83
スズメウリ……25
スズメノタウガラシ……105
スズメノハコベ……110
ストレプトカーブス・ポリアンサス……91
ストレプトゾーレン・ジエームスソニー……147
スパークス・アーリアナ……142
スヒカヅラ……37
スヒカヅラ……40
スモトリバナ……74

セ

セイカンウリ……15
セイタカサキゴケ……109
セイヤウアカネ……70
セイヤウウンラン……105
セイヤウテウセンアサガホ……132
セイヤウニハトコ……45
セイヤウハシリドコロ……130
セイヤウマツムシサウ……30
セイヤウマンダラゲ……132
セツカコウ……50
セリバシホガマ……114
ゼンカウジイモ……143
センダンキササゲ……97
センダンギリ……96
センダンクワ……62
センナリヘウタン……22
センナリホホヅキ……137
センリゴマ……118

ソ

ソクヅ……40
ソクド……40
ソケイノウゼン……97
ソゾミ……45
ソナレムグラ……66
ソバウリ……19
ソバナ……2
ソラミタウガラシ……130

タ

ダイセンクハガタ……125
ダイセンヘウタンボク……44
ダイソケイ……97
ダイダイイロニハトコ……45
タイトウアキ……83
タイワンアマチヤヅル……22
タイワンカギカヅラ……73
タイワンカラスウリ……29
タイワンキクモ……106
タイワンキツネノマゴ……80
タイワンギリ……113
タイワンコゴメグサ……102
タイワンシシシラン……88
タイワンスズメウリ……25
タイワンソクヅ……40
タイワンタヌキモ……84
タイワンツルギキヤウ……6
タイワンミサヲノキ……70
タイワンヤマアキ……83
タウアサガホ……132
タウオホバコ……77
タウガキ……142
タウガラシ……130
タウシヤジン……2
タウナス……20
タウナスビ……132
タウマツムシサウ……30
タカヲホホヅキ……136
タカギナス……138
タカサゴガマズミ……49
タカネオミナヘシ……34
タカネシホガマ……114
タカネマツムシサウ……30
タカネママコナ……110
タカノツメ……131
タキジシヤ……87
ダキバオホバコ……77
ダシチヤウ……70
タシロアキ……83
タソガレグサ……22
タチイヌフグリ……122
タチコゴメグサ……102
タチニンドウ……40
タツノキ……96
タヅノキ……45
タツバ……45
タニウツギ……39
タニギキヤウ……9
タニワタリノキ……66
タヌキモ……84
タバコ……135
タバコノキ……1
タビビトナカセ……95
タマガサノキ……54
タマクルマバサウ……53
タマゴウリ……19
タマゴナスビ……141
タマザキシホガマ……117
タマヅサ……26
ダラスケノキ……96
ダルマ……25
タルマイサウ……117
タンゲブ……6
タンチウジヤコン……69
ダンテウゲ……73
タンテウボク……73
タンバホホヅキ……136

チ

ヂギタリス……101
チシマギキヤウ……5
チシマキンレイクワ……34
チシマシホガマ……114
チシマシヤジン……1
チシマヘウタンボク……45
ヂジヤウマモリ……131
チーゼル……30
チチグサ……33
チチブヘウタンボク……43
チメグサ……33
チヤウジガマズミ……46
チヤウジギキヤウ……9
チヤウジクワ……144
チヤウジナ……9
チヤウチウジヤコン……69
チヤウチンバナノウゼンカヅラ…96
チヤボオホバコ……74
チヤボシホガマ……117
チヤメラサウ……132
チヨウケンカツラ……98
チヨウケンサウ……98
チリメン……20
チリメンバノキンチヤクサウ…101
ヂワウ……118

ツ

ツガリグサ……80
ツキヌキサウ……45
ツキヌキニンドウ……40
ツクシクガイサウ……122
ツクシシホガマ……114
ツクシヤブウツギ……39
ツクバネアサガホ……136
ツクバネウツギ……38
ツクバネタニウツギ……38
ツクバネニチニチ……136
ツケウリ……16
ツシマヘウタンボク……44
ツシママコナ……110
ツタカヅラ……106
ツタバキリカヅラ……109
ツタバゴキヅル……13
ツチアマナ……9
ツツラコ……147
ツノゴマ……95
ツノシホガマ……97
ツリガネカヅラ……96
ツリガネニンシン……2
ツリガネヤナギ……117
ツルアマチヤ……21
ツルアリドホシ……65
ツルウリクサ……121
ツルカノコサウ……34
ツルギキヤウ……6
ツルキンギヨサウ……98
ツルクハガタ……126
ツルクビ……6
ツルクビ……25
ツルサギゴケ……109
ツルニンジン……6
ツルヒナギキヤウ……10
ツルレイシ……25

テ

テウセンアサガホ……132
テウセンイモ……143
テウセンウリ……13
テウセンオホバコ……77
テウセンクチナシ……62
テウセンタバコ……132
テウセントラノヲ……126
テウセンマツムシサウ……30
テツバウウリ……21
テフテフグサ……137
テーブル・クキン……142
テマリカンボク……50
テマリクワ……50
テマリバナ……50
デリシアス……20
テリハクサトベラ……1
テリハコバノガマズミ……46
テリハツクバネウツギ……38
テングクハガタ……126
テングスズメウリ……25
テンジヤウマモリ……131
テンヂクナスビ……132
テンヂクマモリ……131
テンニンカラクサ……122

ト

トウガン……13
トウグワ……13
トウテイラン……126
トカドヘチマ……25
トキハガマズミ……50
トキハナヅナ……66
トキハハゼ……109
トゲナシテウセンアサガホ……132
トゲナシマンダラゲ……132
トゲナシヤヘムグラ……58
トコン……73
トサカグサ……113
トサカバナ……113
トサノコゴメグサ……02
トヂギキヤウ……10
トツサカ……113
トトキニンジン……2
トマト……142
トモエシホガマ……113
トラノヲ……122
トラノヲスズカケ……98
トラノヲノキ……129
トリガタヘウタンボク……43
トレニヤ……121

ナ

ナガウリ……22
ナガエフタバムグラ……66
ナカテセンナリ……138
ナカテヤマナス……137
ナガバアカネ……70
ナガハオホバコ……77
ナガバカノコサウ……33
ナガバガマズミ……46
ナガハシヤジン……2
ナガバジユズネノキ……57
ナガバナイソトマ……6
ナガバナカンチヤウジ……54
ナガバナタバコ……135
ナガバハヘドクサウ……78
ナガヒゲヨノミ……43
ナガフクベ……22
ナガミノタウガラシ……131
ナガユフガホ……22
ナガレイシ……25
ナシウリ……15
ナスクワ（科）……129
ナスビ……137
ナタウリ……20
ナチサウ……88
ナツハゼ……109
ナツメウリ……15
ナベナ……29
ナンキンボウブラ……20
ナンクワ……20
ナンバンアサガホ……132
ナンバンカラスウリ……26
ナンバンギセル……92
ナンヤウクサトベラ……1

ニ

ニガウリ……25
ニクジユ……92
ニシキウツギ……39
ニシキカボチヤ……20
ニシキハリナスビ……141
ニシキミゾホホヅキ……110
ニチニチアサガホ……136
ニツクワウタウガラシ……131
ニツクワウヘウタンボク……44
ニハタヅ……40
ニハタバコ……122
ニハトコ……45
ニヒジマガマズミ……49
ニヒタカカノコサウ……30
ニヒタカマツムシサウ……30
ニホヒバンマツリ……130
ニホヒホホヅキ……110
ニホンスキクワ……14
ニンドウ……40
ニンドウモドキ……73

ヌ

ヌカヅキ……136
ヌノハ……2

ネ

ネコジリヲ……122
ネズミノハナトホシ……57
ネヅミバナ……57
ネバリルリマガリバナ……130
ネムロシホガマ……114
ネムロフシダマ……45

ノ

ノウゼン……96
ノウゼンカヅラ……96
ノウリ……26
ノコギリサウ……113
ノセウ……96
ノタヌキモ……84
ノヂサ……34
ノヂシヤ……34
ノムラヘウタンボク……44
ノラナ……148

ハ

ハアザミ……79
バアソブ……6
ハオリノヒモ……131
ハカタオホキウリ……19
ハカタナス……138
ハクテウゲ……70
ハクテウボク……70
ハクサンオオバコ……77
ハクサンヲミナヘシ……33
ハクサンヘウタンボク……43
ハクサンボク……50
ハグロサウ……79
ハコネウツギ……38
ハゴロモニハトコ……45
ハシカグサ……66
ハシリドコロ……137
ハゼナ……109
ハゼハナ……109
ハダカホホヅキ……147
ハタケクハガタ……122
ハタケゴシロ……9
ハタケムシロ……9
ハタザホギキヤウ……5
ハチヂヤウコゴメグサ……102
ハチヂヤウハクサンボク……50
バチバチグサ……102
ハツシヨウイモ……143
ハツバード……20
ハテルマギリ……62
ハナウリクサ……121
ハナガサノキ……65
ハナキササゲ……96
ハナギリ……113
ハナギリサウ……88
ハナクチナシ……62
ハナグルマ……117
ハナゾノツクバネウツギ……38
ハナタバコ……135
ハナダマノキ……73
ハナチヤウジ……118
ハナヂワウ……118
ハナヘウタンボク……44
ハナムグラ……58
ハナヤヘムグラ……73
ハナヨモギ……113
ハニガキ……66

總索引

ハハキオホバコ……74
ハヒベニギリ……88
ハブテコブラ……96
ハヘドクサウ……78
ハヘトリグサ……78
ハマウツボ……92
ハマウツボクワ（科）……92
ハマオホバコ……77
ハマクコ……135
ハマクハガタ……126
ハマシヤジン……5
ハマヂンチヤウ……73
ハマトラノヲ……126
ハマニンドウ……40
ハマベンケイ……78
ハマリンチヤウ……78
ハマレンゲ……135
ハヤザキヘウタンボク……44
ハヤトウリ……26
バラモンサウ……132
ハリガヤフシナリ……19
ハリナシテウセンアサガホ……132
ハリナスビ……133
ハリナスビ……141
ハルヲミナヘシ……34
ハンクワイアザミ……117
ハンクワイシホガマ……117
バンザノキ……50
バンソケイ……130
バンダイクハガタ……125
バンテイシ……70
バンナンクワ……20
バンマツリ……130
ハンモミヂゴキヅル……13

ヒ

ヒウガウリ……20
ヒガノコサウ……33
ヒキヨモギ……121
ヒゲママコナ……110
ヒゴロモコンロンクワ……66
ヒサゴ……22
ヒシモドキ……95
ヒタヒホホヅキ……144
ヒトハグサ……113
ヒトハグハ……131
ヒトヘノコクチナシ……62
ヒナギキヤウ……10
ヒナコゴメグサ……105
ヒナシヤジン……1
ヒナノウスツボ……121
ヒメアリドホシ……57
ヒメウンラン……106
ヒメカノコサウ……30
ヒメカハジシヤ……135
ヒメカラスウリ……26
ヒメギキヤウ……5
ヒメギリサウ……91
ヒメキンギヨサウ……106
ヒメキンチヤクサウ……98
ヒメクサドベラ……1
ヒメクハガタ……126
ヒメクロミノスズメウリ……25
ヒメコゴメグサ……105
ヒメシヤジン……2
ヒメスヒカヅラ……40
ヒメセンナリホホヅキ……137
ヒメタウガラシ……131
ヒメタヌキモ……84
ヒメツリガネヤナギ……117
ヒメツルニンジン……6
ヒメトラノヲ……126
ヒメナンバンギセル……92
ヒメノウゼンカヅラ……97
ヒメミミカキ……87
ヒメミミカキグサ……84
ヒメムグラ……58
ヒメヨツバムグラ……58
ヒヤクナリヘウタン……22
ヒヨクサウ……126
ヒヨス……132
ヒヨドリジヨウゴ……147
ビラカ……50
ヒラナス……141
ヒレミゾホホヅキ……110
ビロウドウツギ……40
ビロウドギリ……88
ビロウドスヒカヅラ……40
ビロウドモウズキクワ……122
ヒロハゴマクサ……110
ヒロハコンロンクワ……65
ヒロハサワギキヤウ……9
ヒロハツクバネウツギ……38
ヒロバニハトコ……45
ヒロハノヲトコヨウゾメ……49
ヒロハヘウタンボク……44
ヒロハヨノミ……43

フ

フアンシーコード……21
フアンニー・アーリー……15
フアンニーズ・アーリー……14
フイリイナモリサウ……69
フイリイハタバコ……88
フイリウグヒスカグラ……43
フイリキバナノミゾホホヅキ……110
フイリクチナシ……62
フイリケンサキ……62
フウリンサウ……5
フギレホタルブクロ……6
フクシマシヤジン……2
フクベ……22
フクベノキ……96
フクリンクチナシ……62
フサオホバコ……74
フサタヌキモ……84
フシグロミゾホホヅキ……110
フタイロコリンシア……101
フダウホホヅキ……137
フタバムグラ……66
フタヘギキヤウ……10
フタヘハクテウゲ……70
フヂキギキヤウ……9
フチトリオシベ……79
フデタウガラシ……130
フトレイシ……25
フユサンゴ……141
ブラツク・ピユーテイー……138
ブラツク・ペキン……133
フラットス……33
フリ……15

ヘ

ヘウソカヅラ……69
ヘウタン……22
ヘウタンカヅラ……73
ヘウタンゲサ……122
ヘウタンボク……43
ヘウタンボク……73
ヘクサヅル……69
ヘクソカヅラ……69
ベゲタブルマロー……21
ヘチマ……23
ベチユニヤ……136
ヘツカニガキ……66
ベニアミメグサ……79
ベニウツギ……39
ベニカヅラ……70
ベニカノコサウ……33
ベニギリ……91
ベニコツクビネ……38
ベニツクバネウツギ……38
ベニツリガネヤナギ……117
ベニバナキチヤウジ……132
ベニバナサハギキヤウ……9
ベニバナスヒカヅラ……40
ベニバナヘウタンボク……45
ベニマツリ……70
ヘビノハナ……114
ヘミノキ……50
ヘラオホバゴ……77
ベラドンナ……130

ホ

ホウヅキバ……74
ボウブナ……20
ボウブラ……20
ホウライアマ……135
ホウワウゲ……73
ホザキウンラン……106
ホザキノミミカキグサ……84
ホシタウガラシ……131
ホシザキイナモリサウ……69
ホシナシミヤマガマズミ……49
ホソバ……50
ホソバアカネ……70
ホソバイハギキヤウ……6
ホソバウコンウツギ……39
ホソバウンラン……106
ホソバオホバコ……75
ホソバキツネノマゴ……80
ホソバギヨクシンクワ……54
ホソバクチナシ……62
ホソバコゴメグサ……102
ホソバジユズネノキ……57
ホソバソバナ……2
ホソバニハトコ……45
ホソバノキヌタサウ……61
ホソバノヒメシヤジン……2
ホソバノベニゴテウ……98
ホソバノホロシ……147
ホソバノミヤマシヤジン……2
ホソバノヨツバムグラ……58
ホソバノヘクソカヅラ……69
ホソバヒメトラノヲ……126
ホソバママコナ……110

總索引

ホソバミサヲノキ……70
ホソバヨノミ……43
ホタルブクロ……5
ボチヤウジ……69
ホテイミミカキ……84
ボネチ……45
ホホヅキ……136
ボリビヤキナノキ……57
ホロギク……102
ホロシ……147
ホンオニク……92
ボンキン……20
ボンデローザ……142

マ

マウンテン・スウキート……14
マカヤキ……96
マガリナデシコ……130
マゴメフシナリ……19
マクワウリ……15
マスバシヤジン……2
マツガネサウ……87
マツムシチウ……30
マツラコゴメグサ……102
ママコナ……109
マルコバ……74
マルヅケ……16
マルバキンレイクワ……34
マルバクチナシ……62
マルバクハガタ……126
マルバコゴメグサ……102
マルバサハタウガラシ……105
マルバサギゴケ……109
マルバタバコ……135
マルバツクバネウツギ……38
マルバノウンラン……106
マルバノコンロンクワ……65
マルバノニンジン……2
マルバノヒヨドリジヨウゴ……147
マルバノホロシ……147
マルバノヨツバムグラ……61
マルバハダカホホヅキ……147
マルバハタケムシロ……9
マルバミゾカクシ……9
マルバミヤマシグレ……49
マルバヨノミ……43
マルバルリミノキ……62
マルユフガホ……22
マンネンクワ……80

ミ

ミカドギリ……113
ミカハタヌキモ……84
ミケモン……20
ミサヲノキ……70
ミサキシラタマ……69
ミゾカクシ……9
ミゾホホヅキ……110
ミチバハキ……74
ミヅサハタウガラシ……105
ミヅタバコ……87
ミツバイヌノフグリ……125
ミツバナカンテウジ……54
ミミカキグサ……84
ミヤマウグヒスカグラ……43
ミヤマカノコサウ……34
ミヤマガマズミ……46
ミヤマクハガタ……125
ミヤマコゴメグサ……105
ミヤマシグレ……49
ミヤマシホガマ……114
ミヤマシホガマギク……114
ミヤマシヤジン……2
ミヤマタニウツギ……39
ミヤマトラノヲ……125
ミヤマニガウリ……26
ミヤマニハトコ……45
ミヤマヒメトラノヲ……125
ミヤマヘウタンボク……44
ミヤママコナ……109
ミヤマムグラ……58

ム

ムカヘバシホガマ……113
ムシカリ……50
ムシクサ……129
ムシトリスミレ……87
ムスビジサウ……26
ムツバアカネ……70
ムラサキウンラン……106
ムラサキキリカヅラ……109
ムラサキシタイシヤウ……80
ムラサキタウガラシ……131
ムラサキチヤウジ……65
ムラサキツクバネウツギ……38
ムラサキテウセンアサガホ……132
ムラサキホタルブクロ……6
ムラサキミゾホホヅキ……121
ムラサキミミカキグサ……84
ムレゴテフ……137

メ

メヲトバナ……40
メキシコヂギタリス……121
メゴシツ……79
メジロホホヅキ……147
メタラエフ……49
メツクバネウツギ……38
メドノキ……50

モ

モウズキクワ……122
モエギウツギ……39
モクベツシ……26
モクベンケイ……73
モミヂカラスウリ……29
モミヂバゴキヅル……13
モモバギキヤウ……5
モンバナスビ……144
モンバモウズキ……122

ヤ

ヤイトバナ……69
ヤウシユカノコサウ……34
ヤウシユテウセンアサガホ……132
ヤウラクシヤジン……9
ヤウラクホホヅキ……136
ヤギサウ……1
ヤクシマオホバコ……77
ヤクシマムグラ……58
ヤグラオホバコ……74
ヤクワウクワ……132
ヤクワウボク……132
ヤコビニア・パウシフロラ……80
ヤツシロサウ……5
ヤツブサ……131
ヤツマタオホバコ……77
ヤナギチヤウジ……118
ヤナギバウンラン……106
ヤナギハグロ……80
ヤナギマツムシサウ……30
ヤハズカヅラ……83
ヤハズミゾホホヅキ……110
ヤブウツギ……39
ヤブサンゴ……49
ヤブテマリ……50
ヤブヘウタンボク……44
ヤブホホヅキ……144
ヤブムグラ……58
ヤヘカハ……43
ヤヘギキヤウ……10
ヤヘクチナシ……62
ヤヘタンテウギ……73
ヤヘノハタケムシロ……9
ヤヘノミゾカクシ……9
ヤヘハクテウゲ……70
ヤヘムグラ……57
ヤヘヤマイナモリサウ……69
ヤヘヤマカヅラ……65
ヤヘヤマヘウタンボク……44
ヤマアキ……83
ヤマアキモドキ……83
ヤマウグヒスカグラ……43
ヤマウツボ……95
ヤマカノコサウ……34
ヤマクハガタ……126
ヤマシグレ……49
ヤマシヤジン……2
ヤマチシヤ……87
ヤマツツミ……122
ヤマデマリ……50
ヤマテラシ……50
ヤマト……14
ヤマトラノヲ……126
ヤマナカシヤジン……2
ヤマナスビ……132
ヤマナンバンギセル……92
ヤマヒナノウスツボ……121
ヤマビハサウ……88
ヤマホホヅキ……136
ヤマホホヅキ……144
ヤマホホヅキ……147
ヤマホロシ……147
ヤマミツバ……2
ヤマムグラ……58
ヤマルリトラノヲ……126
ヤンバルハグロサウ……79

ユ

ユキノシタ……9
ユキワリシホガマ……114

總索引

ユフガホ ……22
ユフダチノキ ……96

ヨ

ヨツヅミ ……45
ヨツバアカネ ……70
ヨツバグサ ……69
ヨツバシホガマ ……114
ヨツバハコベ ……69
ヨツバムグラ ……58
ヨメコロシ ……43
ヨモギウツボ ……92

ラ

ライデンギリ ……96
ラシヤカキグサ ……30
ラモンデイア・ミコニ ……92
ランバイ ……50

リ

リウキウアキ ……83
リウキウアヲキ ……69
リウキウアリドホシ ……57
リウキウカラスウリ ……29
リウキウヒマゴ ……80
リウキウヤナギ ……144
リベリアコーヒーノキ ……57
リンダウツリガネヤナギ ……117
リンダウモドキ ……117
リンドウハクテウゲ ……70
リンネサラ ……40
リンボウギク ……30

ル

ルリダマノキ ……62
ルリテフテフ ……9
ルリトラノヲ ……126
ルリバナカヅラ ……83
ルリマガリバナ ……130
ルリミゾカクシ ……9
ルリミノキ ……62
ルリヤナギ ……144

レ

レイシ ……25
レンプクサウ ……37

ロ

ロツキーフオード ……16
ロベリア ……9
ロベヘアサウ ……9
ローレルカヅラ ……83
ロングチユベツト ……33

ワ

ワセシロサウ ……16
ワセツルセンナリ ……137
ワセボウブラ ……20
ワタシホガマ ……114
ワラベナカセ ……96

第二卷五十音總索引 終

内外植物原色大圖鑑

不模寫
許複製

著者檢印證

内外植物原色大圖鑑
第二卷
豫約頒布

昭和九年四月二十日再版發行
昭和八年四月二十日發行
昭和八年四月十日印刷

發行所 東京市神田區錦町一丁目拾六番地 植物原色大圖鑑刊行會 振替東京四六〇一六番

責任製本所 東京市神田區美土代町三丁目拾四番地 合資會社 山口製本所

印刷所 東京市京橋區築地四丁目四番地 中屋三間印刷株式會社

圖版製版技師 橋本敏夫

製版主任 高橋八十八

製版所 東京市本鄉區駒込曙町拾三番地 照文社製版部

本文及彩色圖

印刷者 東京市京橋區築地四丁目四番地 鈴木茂

發行者 東京市神田區錦町一丁目拾六番地 宮下軍平

著作者 東京市本鄉區駒込曙町拾三番地 村越三千男

149
ミドリ

638-811
1200501565656
38
811